公営住宅　1種中耐平和団地
8号棟新築工事

図面目録

意匠図

図面番号	図面名称	縮尺
A－1	表紙	—
2	図面目録	—
3	特記仕様書 (1)	—
4	特記仕様書 (2)	—
5	特記仕様書 (3)	—
6	全体配置図，附近見取図	1:500 1:1,000
7	配置図，仮囲い図	1:300
8	面積表 (1)	—
9	面積表 (2)	—
10	面積表 (3)	—
11	面積表 (4)	—
12	構造概要 外部内部仕上表	—
13	平面図 (1)	1:100
14	平面図　屋根伏図 (2)	1:100
15	立面図	1:100
16	断面図	1:100
17	平面詳細図　3DK－A′	1:30
18	平面詳細図　3DK－C′	1:30
19	平面詳細図　3DK－E′	1:30
20	平面詳細図　3DK－B′	1:30
21	平面詳細図　3DK－D′	1:30
22	平面詳細図　3DK－F′	1:30
23	平面詳細図　3DK－J	1:30
24	断面詳細図 (1)	1:30
25	断面詳細図 (2)	1:30
26	断面詳細図 (3)	1:30
27	断面詳細図 (4)	1:30
28	断面詳細図 (5)	1:30
29	断面詳細図 (6)	1:30
30	断面詳細図 (7)	1:30
31	断面詳細図 (8)	1:30
32	断面詳細図 (9)	1:30
33	展開図　3DK－A′,C′,E′ (1)	1:50
34	展開図　3DK－A′,C′,E′ (2)	1:50
35	展開図　3DK－B′,D′,F′ (1)	1:50
A－36	展開図　3DK－B′,D′,F′ (2)	1:50
37	展開図　3DK－B′,D′,F′ (3)	1:50
38	展開図　3DK－J	1:50
39	床伏図天井伏図　3DK－A′	1:50
40	床伏図天井伏図　3DK－C′	1:50
41	床伏図天井伏図　3DK－E′	1:50
42	床伏図天井伏図　3DK－B′	1:50
43	床伏図天井伏図　3DK－D′	1:50
44	床伏図天井伏図　3DK－F′	1:50
45	床伏図天井伏図　3DK－J	1:50
46	階段平面詳細図　(Dの反転タイプ)	1:50
47	階段断面詳細図　(Dの反転タイプ)	1:50
48	共用廊下詳細図 (1)	1:50
49	共用廊下詳細図 (2)	1:50
50	ブリッジ部詳細図	1:30
51	建具案内図	
52	建具数量表	—
53	建具表 (1)	1:50
54	建具表 (2)	1:50
55	特殊詳細図 (1)	図示
56	特殊詳細図 (2)	〃
57	特殊詳細図 (3)	〃
58	特殊詳細図 (4)	〃
59	特殊詳細図 (5)	〃
60	特殊詳細図 (6)	〃
61	特殊詳細図 (7)	〃
62	特殊詳細図 (8)	〃
63	特殊詳細図 (9)	〃
64	特殊詳細図 (10)	〃
65	棒廻り詳細図	〃
66	パネル伏図　3DK－A′ (1)	1:50
67	パネル伏図　3DK－A′ (2)	1:50
68	パネル伏図　3DK－C′ (1)	1:50
69	パネル伏図　3DK－C′ (2)	1:50
A－70	パネル伏図　3DK－E′ (1)	1:50
71	パネル伏図　3DK－E′ (2)	1:50
72	パネル伏図　3DK－B′ (1)	1:50
73	パネル伏図　3DK－B′ (2)	1:50
74	パネル伏図　3DK－B′ (3)	1:50
75	パネル伏図　3DK－D′ (1)	1:50
76	パネル伏図　3DK－D′ (2)	1:50
77	パネル伏図　3DK－D′ (3)	1:50
78	パネル伏図　3DK－F′ (1)	1:50
79	パネル伏図　3DK－F′ (2)	1:50
80	パネル伏図　3DK－F′ (3)	1:50
81	パネル伏図　3DK－J (1)	1:50
82	パネル伏図　3DK－J (2)	1:50
83	参考図 (浴室ユニット) (1)	図示
84	参考図 (浴室ユニット) (2)	〃
85	参考図 (浴室ユニット) (3)	〃
86	参考図 (浴室ユニット) (4)	〃
87	参考図 (浴室ユニット) (5)	〃
88	参考図 (浴室ユニット) (6)	〃
89	地中梁スリーブ図	1:100

構造図

図面番号	図面名称	縮尺
S－1	一般共通事項	—
2	ボーリング柱状図	—
3	杭基礎伏図	1:100
4	2.3階床伏図	1:100
5	4.5階床伏図	1:100
6	屋根伏図	1:100
7	基礎配筋図	1:40
8	床版配筋リスト，雑詳細図	1:40
9	床版配筋詳細図	1:40
10	壁平面配筋図 (1)	1:40
11	壁平面配筋図 (2)	1:40
12	壁平面配筋図 (3)	1:40
13	壁平面配筋図 (4)	1:40
14	〃	
15	壁配筋詳細図 (1)	1:40
16	壁配筋詳細図 (2)	1:40
17	壁配筋詳細図 (3)	1:40
18	壁配筋詳細図 (4)	1:40
19	壁配筋詳細図 (5)	1:40
20	壁配筋詳細図 (6)	1:40
21	壁配筋詳細図 (7)	1:40
22	壁配筋詳細図 (8)	1:40
23	壁配筋詳細図 (9)	1:40
24	壁配筋詳細図 (10)	1:40
25	壁配筋詳細図 (11)	1:40
26	壁配筋詳細図 (12)	1:40
27	階段配筋詳細図	1:40

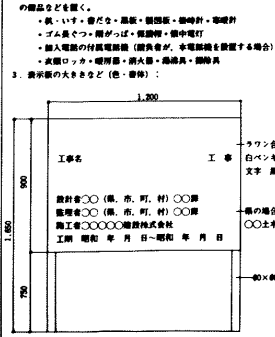
工事仕様書

1．建築工事の仕様書は公共住宅建設工事共通仕様書（昭和57年度版）の規則節及び建築編を適用する。
2．共通仕様書のうち、特記によるものと、その他必要な事項を特記事項とする。
3．特記事項を適用するもの。　※昭和57年度版 公共住宅建設工事共通仕様書を略称する。
(1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は、●印のついたものを適用する。
　●印が2印合は※印のあるものを適用する。
　●印と●印の合は共に適用する。
(3) 施工箇所数、施工面、養生過礼の補助面は監員の指示による。
4．前金払
　契約金額 300万円以上の工事にあっては、10分の4を超えない範囲内に限り前金払を請求することができる。
5．部分払
　※工事で前金払を行ったものについては部分払は1回、前金払がなされていないものは2回を超えて部分払をすることは出来ないものとする。
6．部分払対象出来
　工事現場に搬入した工事材料のうち次のものは部分払の対象とする。（ただし、監督職員の検査に合格したものであって、納期写真及び出来高等の確認があるものに限る。）
　1．躯体工事　2．土工事　3．地盤工事　4．コンクリート工事　5．型枠工事　6．鉄筋工事　7．鉄骨工事　8．既製コンクリート工事　9．防水工事　10．石工事　11．タイル工事　12．木工事　13．金属工事　14．左官工事　15．建具工事　16．塗装工事　17．内外装工事　18．仕上げユニット、その他工事　19．PC工法による工事　20．外構整備工事
7．工事着手から工事完成まで大気関係に御入すること。

章	項目		特記事項（細則節）
1一般共通事項	①	1．1．2 設計図書	**1節 一般事項** 設計図書の優先順位：現場説明書、特記仕様書、設計図（標準図以外のもの）、設計図（標準図）、設計書、仕様書
	②	1．3．1 足場・その他	**3節 仮設物その他** 2．足場、機械、リフトなどの設置：※建築工事
	③	1．3．4 監督員事務所	監督員事務所の規模、仕上げ、備品など：・1号（10㎡程度）・2号（20㎡程度）○3号（35㎡程度）・4号（65㎡程度）・設けない

名称	仕上げその他
床	板張り又はビニル床タイル張り
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り
壁 腰	着色合板又は鉄板張り調合ペイント塗り
休憩室	壁紙き

監督員事務所には、監督員の指示を受け、取り、給排水その他設備を設け、必要に応じて下記の備品などを置く。
・机・いす・書だな・黒板・掲示板・時計・冷暖房
・ゴム長ぐつ・傘がっぱ・保護帽・懐中電灯
・加入電話の付属電話機（監員者が、本電話機を設置する場合）
・衣類ロッカ・暖房器・消火器・救急具・筆記具

	④	1．3．5 請負者事務所その他	3．表示板の大きさなど（色・書体）： 
	⑤	1．7．1 記録	**7節 記録** 3．工事記録写真の撮影時期、箇所など：下記のものを監督員に提出する。

区分	分類・規格	部数	標準の大きさ（cm）
着工前及び工事中	モノクロームサービス版	1部	24×36以上
完成時	・手札版 ・キャビネ版 ◎カラー ○サービス版 ・4ツ切	・2部・3部 ・2部・3部 ・2部・3部 ・2部・3部	・90×120以上 ・24×36以上 ・45×60以上
	カラースライド	1部	24×36以上

章	項目		特記事項（細則節）
	⑥	1．7．2 しゅん工図その他	◎柱、梁、配筋等の拡大写真は全景を撮影し、拡大写真の位置が明確できるものとする。 ◎拡大写真は寸法の確認を容易にするため、幅、鉄及び高さの寸法が1枚の写真で判定できるようスケールを添え、明確に撮影する。 ◎配筋の拡大写真は鉄筋の被覆を確保したのち撮影する。 ◎部分払い請求の場合、出来形写真（外部2面、内部　面）を提出すること。 ◎完成写真は全景を2面（南東、北東）撮影し、カラー写真（75×110） ◎完成写真の室内写真は各室内を（　面）撮影し、カラー写真（サービス版）を提出する。 ◎特例鉄筋写真撮影を用は対称物の全景を撮影し、カラー写真（75×110）を2部提出する。 ◎鉄筋工事の工事写真は各工事場所毎に撮影（箇所名、個本名、寸法を表示）し、カラー写真（サービス版）をアルバム作成の上、1部提出する。 Lゅん工図の内容：●配置図　●不要 Lゅん工図の提出：●配置図　●屋外排管図　●全体配置　●平面図　●給排水衛生ガス設備図 ●電気設備図　・ 提出作成：　・監督員の指示を受け、指定された用紙に書き、原図を提出する。 ・
1一般共通事項	①	1．1．2 関連工事との取合い	**1節 一般事項** 建築工事、電気設備工事、機械設備工事などが別契約の場合の工事区分 設備工事との取合 施工範囲（下記の補強） ※鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型わく、及びスリーブ ※壁、天井の埋込箇所の下地材 これらの補強は、標準詳細図などのとおりとし本工事とする。なお、細部については監督員の指示による。
2仮設工事	①	2．2．2 ベンチマーク	**2節 掘り、やり形、足場その他** ベンチマークの設置方法：※コンクリート杭　・固定物　・
	②	2．2．4 仮設物その他	墨出基準：※1節
	③	仮設用水	個内既存の施設　・利用できる（※有償　・無償）　・利用できない
	④	仮設用電力	個内既存の施設　・利用できる（※有償　・無償）　・利用できない
	⑤	仮設電話	◎要　・不要
	⑥	仮囲い、さく囲	◎要　・不要
	⑦	保護ネット、シート	◎要　・不要
3土工事	①	3．2．3 掘戻し及び盛土	**2節 根切り及び埋戻し** 1．1階床下の盛土：※根切り発生土　◎　・真砂土◎ 地下室などの埋戻し土：　※根切り発生土　・真砂土 不用土処分：※監督員と協議し、個地内に処分　・場外自由処分　・場外指定地処分
	②	3．2．6 不用土処分	
4地盤工事	①	4．1．1 届　別	**1節 一般事項** 4．試験杭：※打込み杭の1本は試験杭と兼用　図示による ・図示の　6 本、L＝　21 m、φ＝300 mm プレボーリング掘削深さ　GL－　　m 試験個数の適用：　・する　◎しない 載荷試験の適用：　・する　◎しない
	②	4．2．2 一般事項	**2節 打込み杭地業** 2．図示の　100 本、L＝ 17.0 m、φ＝ 300 mm プレボーリング掘削深さ　GL－　　m
	③	4．2．4 材料	

くいの種類	種類・材質など	長さ(m)	断面寸法(mm)	長期設計支持力 t/本	継手及び端手部状	先端部形状及び処理
・遠心力鉄筋コンクリートくい	JIS規格品 ※1種・2種				◎なし ○あり ・（　）	※開そく管 ・（　）
◎プレストレストコンクリートくい	JIS規格品 ※A種・B種・C種	19.0	300φ	36t/本	※溶接式 ・（　）	※開そく管九人形
・高強度プレストレストコンクリートくい	プレストレスト工業 ・（　）					※開そく管・（　）
・鋼管ぐい	※2種(STK41) ・（　）				※あり（4.2.2図4.2.2表による） ・なし	※開放管（4.2.1図及び4.2.1表による） ・（　）
・H形鋼ぐい	※2種(SS41) ・（　）				※あり ・なし	

④ 4．2．5 杭打ち試験
⑤ 4．2．6 支持力の算定　①試験杭の位置、杭の種類、寸法：※図面による　・
支持力の算定：※昭和46年1月29日建設省告示第 1113号
⑥ 4．2．7 工法　(1)施工法の種類：　◎既打工法　・プレボーリング併用工法
プレボーリングの深さ：　・GL－　　m（オーガー径　　mm）
(2) ハンマーの種別、重量：※ジーゼルハンマー　・13型　・22型　・25型　・
やぐら：※3点支持クローラークレーン　・
⑦ 4．2．8 鋼　手　①杭の継手の工法：※アーク溶接による突合継手
⑧ 4．2．10 施工機械　9 その他工法　5．鋼杭の現場継手の形状：鋼管杭の場合　※4．2．2図及び4．2．2表
施工精度：
図示による
⑩ 4．3．3 材　料
⑪ 4．3．4 試験掘削及び支持地盤の確認
⑫ 4．3．5 工　法
⑬ 4．3．7 鋼　手

3節 場込み杭（セメントミルク工法）地業
1．杭　材：　◎別紙による。
2．セメント　◎別紙による。
3．試験掘削：　◎掘る（ただし掘削調査は省略する場合は2ヶ所とする）
(1) 施工機会：・
※4．3．5による

章	項目		特記事項（細則節）
	⑭	施工精度	※4．2．10による
	⑮	4．4．4 材料その他	**4節 場所打ちコンクリート杭地業** 1．鉄　筋 (1) 異形鉄筋の種別：※SD 30　・SD 35 2．コンクリート (1) 10: 水セメント比などの種別：・A種　・B種 深礎工法の場合のモルタルなどの種別：・A種　・B種
	⑯	4．4．6 工法	掘削の工法：　・アースドリル工法　・リバース工法　・オールケーシング工法
	⑰	その他	・深礎工法
	⑱	4．4．8 施工精度	掘削深さ（m）　・ 断面寸法（m）　・ 長期設計支持力（t／本）　・ 4．2．10による。
	⑲	4．5．2 一般事項	**5節 杭の載荷試験** 2．載荷量（最大荷重）　・ 載荷方法　・ サイクル数　・ 3．試験杭の位置　・図面による 放置期間　※放置期間は(1)、(2)、(3)　・
	⑳	4．8．1 材料	**8節 捨てコンクリート地業** 1．コンクリートの種別：　・A種　※B種　・135kg／㎥　5．9．1表 2．コンクリートの厚さ：　※60mm　◎（　50　）
	㉑	4．9．1 材料	**9節 玉石、割り石コンクリート地業** 2．・A種　※B種

章	項目		特記事項（細則節）
5コンクリート工事	①	5．1．2 設計基準強度	**1節 一般事項** 普通コンクリート

設計基準強度Fc（kg／㎠）	適用箇所
※ 210	
・ 180	
・	

	②	5．1．3 コンクリートの製造個別	製造個別：　※1個　・2個　5．1．1表
	③	5．1．4 軽量コンクリートの種別	軽量コンクリートの種別：　※1個　・2個 設計基準強度Fc（kg／㎠）：　※150　・180　・210 所要気乾単位容積重量：　・
	④	5．2．1 セメント	**2節 材料** セメント：　※普通ポルトランドセメント　・混合セメントのA種 ・早強ポルトランドセメント
	⑤	5．2．2 骨材	2．骨材の品質 (6) 骨材中の塩分含有量の限度：　※0.04%以下 ・0.04を超え 0.1%以下のものは監督員の承認を得て使用できる。
	⑥	5．2．4 混和材料	混和剤：　※コンクリート製造所の仕様 AE剤又はAE減水剤標準形 ・AE剤　製造所　竹本油脂（チューポールC）山宗化学KK（ヴィンシル） ・AE減水剤　・　山陽国策パルプKK（サンプーK）日本シーカKK（プラストクリートNC）日曹マスタービルダーズKK（ポゾリスNo.70）藤沢薬品工業KK（パリックS）竹本油脂（チューポールEX）
	⑦	防錆剤	混和材：　※フライアッシュ（JISA6201）　・（　） ・使う　◎使わない 製造所
	⑧	5．3．2 単位セメント量など	**3節 調合一般** 3．混和剤の種類：　※3の1(1)(2)　・
	⑨	5．3．4 空気量	所要空気量：　※普通コンクリートは4％　・ ※軽量コンクリートは5％　・
	⑩	温度補正	単重　・不要。
	⑪	5．4．3 レディーミクストコンクリートの呼び強度の選定	**4節 レデーミクストコンクリート** 1．レディーミクストコンクリートの種別：　※JISA5308の標準品　◎特注品
	⑫	5．8．1 種別	**8節 寒中コンクリート** 2．寒中コンクリートの適用：
	⑬	5．8．6 養生	2．初期養生 (1)初期養生期間：　※5.8.2 表により定め、養生打切りは、5.8.5 の1による試験を行って…
	⑭	5．9．2 材料	**9節 軽量コンクリート** 1．捨てコンクリート、胴木押さえコンクリートの骨材の最大寸法：　※25mm
	⑮	5．9．3 設計基準強度	1．設計基準強度：

種別	設計基準強度Fc（kg／㎠）	適用箇所
◎A種	180	土間、掘石、割栗、間知石積みの基礎
◎B種	150	捨てコンクリート、配管補強用コンクリート、胴木押えコンクリート

○			**11節 コンクリート仕上げなど** 1．コンクリート面の処理：　※5.11.2表
	⑯	5．11．5 散積、吹付け及び型枠張り下地	
6鉄筋	①	6．2．1 種別及びセき板	**2節 材料及び構造** 2．セき板の種別：　・A種　※B種　6．2．1表

枠工事	②	6．2．2 組立て	8．打放しコンクリートの出隅部分の面取り材の形状：　※監督員の指示
○	③	6．3．1 型枠の取外し	**3節 型枠の存置期間** 2．型枠の最小存置期間：　※6.3.1表及び6.3.2表
	④	6．3．2 支柱の盛りかえ	1．支柱の盛りかえ：　※最上階において、底版下及び小梁下の支柱に適用する
7鉄筋工事	①	7．1．1 異形鉄筋	**1節 材料**

種類	種別	径（mm）及び使用箇所
異形	※SD30	D10～D19
鉄筋	・SD35	
	・	

7．1．1表 |
| | ② | 7．1．2 丸鋼 |

種類	種別	径（mm）及び使用箇所
丸鋼	※A種	
	・B種	

| | ③ | 7．1．3 溶接金網 |

形状	◎正方形　・長方形	
寸法	・50　・75　◎100　・150　・	
鉄線の径	・2.6　・3.2　・4.0　・5.0　◎6.0　・	

	④	7．2．1 継手	**2節 加工及び組立て** 4．鉄筋の継手：　※重ね継手　・ガス圧接（径 19mm以上） ・作業者の技能資格、　・NAK1種、※NAK2種、・NAK3種
	⑤	7．2．2 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	2．7.2.5 表以外で個人上不利な箇所及びその最小かぶり厚さ：・
	⑥	7．2．3 柱	3．組分を含む骨材を使用する場合のかぶり厚さ：　・7年間　40mm
	⑦	7．2．4 大梁	2．梁　筋 (1) 梁筋・ (2) 梁筋の組立ての際の間隔：　※(1)、(2)、(3) 1．大梁筋の継手及び定着
	⑧	7．2．8 壁	(1) 一般部壁 (A) 壁にハンチをつける場合の傾斜：　※1：4
	⑨	7．2．9 床版	2．あばら筋、腹筋及び補立筋 (1) あばら筋・ 4．壁開口部の補強 (1) 壁開口部の補強：　※7.2.7 表A形…
	⑩	7．2．10 設備通孔の補強	3．はね出し床版の場合の配筋：　※1)の(1)、(2) (1) 一般部分の主筋の径、本数：　・ (2) 出隅部分の主筋の径、本数：　◎上D13－5本 5．その他の補強 (3) 土間コンクリートに補強筋を入れる場合の形：　・A型

	①	8．1．4 施工精度	**1節 一般事項** 施工精度：　※日本建築学会制定の「鉄骨工事精度基準」による
	②	8．2．1 鋼材	**2節 材料** 1．鋼材の材質、JISマーク表示品の指定：

材質	※SS41	・	・
規格	※JIS規格品	・JIS規格適合品（※試験を行う	・試験を行わない）

3．特殊高力ボルト |
8鉄骨工事	③	8．2．2 高力ボルト	(1) 特殊高力ボルトの種類：　・（　　） セットの種類など：　※JIS型の2種同等（F10T）
	④	8．2．3 溶接材料	2．頭付きスタッドの製造所：
	⑤	8．2．6 ターンバックル	1．ターンバックルの鋼：　※JISA5541の1種　・2種
	⑥	8．5．9 溶接完了後の検査	**5節 溶接検査** 3． (4) 放射線試験、マクロ試験：　※行わない　・行う (5) (4) 超音波探傷試験：　※行わない　・行う (ハ) 検査率、検査方法：　※(1)、(2)として標準仕様　・
	⑦	8．7．2 ボルトの締付及び増込み	**7節 アンカーボルト** 2．ボルトの締付及び増込工法：　・A種　※B種　・C種　8．7．1表
	⑧	8．7．4 柱脚ならし仕上げ	3．柱底モルタルを無収縮モルタルとする場合の無収縮モルタルの製造所： 4．ならしモルタル工法：　・A種　※B種　8．7．2表
9既製コンクリート	①	9．3．2 材料	**9節 軽量形鋼構造** 1．鋼材 (2) 丸鋼：　※A種　・B種　7．1．1表 ・監督員の承認する者　・社団法人全国鉄筋工業連合会認定工場
	②	9．1．5 コンクリートの調合	**1節 補強コンクリートブロック積み（根盤）** 1．ブロック
	③	9．1．6 配筋	

種類	◎C種規格品　・C種適合品
厚さ（%）	◎100　・120　・180　・190

3．鉄筋：　※異形鉄筋のSD30　・SR24　・
2．設計基準強度（Fc）：　※180kg／㎠
3．各部の配筋
(1) 壁の配筋：　※9．1．4表

2節　補強コンクリートブロック積み（耐力壁）

ブロックの厚さ（㎜）：　・C種 150　・C種 190　・

3．各部の配筋
(1) 壁の配筋：　※9．1．4節
(2) 支座部、端部（開口部を含む）の配筋、取合い部：　※9．2．1節
4．ますかきの配筋：　※9．1．2節、9．1．3節

2節　アスファルト防水

種別：・屋根保護防水層（密着工法）　・屋根保護防水層（絶縁工法）　・屋根露出防水層（絶縁工法－1）　・屋根露出防水層（絶縁工法－2）　・海宝防水工法

2．アスファルトフェルト：　※30kg品　・40kg品
アスファルトルーフィング：　※25kg品　・45kg品
6．アスファルト：　※屋根防水は3種、壁面防水は1種又は3種　・
8．砂付きルーフィング：　※JIS A 6007の40kg品
屋根が断熱材の砂付きルーフィング：
屋根が合成繊維の砂付きルーフィング：
1．砂きとコンクリート
(1) コンクリートの種別：　・A種　※B種　5．9．1表
2．伸縮目地
(2) 伸縮目地の構造：　※縦25mmの合成樹脂発泡材の目地筋…　・

1．材料
(1) 屋外の厚さ、強伏垂直試験、含水率など：
別に定める試験の適用：　・材料－1の試験を適用する　・適用しない
(2) 伸縮目地材：　※メーカー仕様　・
防水工事の施工については、10年間の保証書を提出すること。ただし、保証は定期点検と施工者の過失とする。

3節　塗　膜　防　水

4節　合成高分子ルーフィング防水

1．主材料：　
材料

1．ルーフィング
(1) ルーフィングの個選所：
(2) ルーフィングの種類、厚さ：　・

5節　シーリング材

3．シーリング用材料の種別、目地寸法：　・A種　・B種　※C種（告示変更ワク通り）　※D種　・E種　・F種　10．5．1表
4．接着性試験の適用：　・する　・しない

2節　テラゾブロック張り

1．張石の種類、大きさ：　※大理石の厚で12mm以下、荒こう目で6mm以下…　・
個選所

3節　張　石　張　り

1．張石の厚さ仕上げ：　※磁器厚さ（寛ずり）…　・
3．コンクリート
(2) 裏面張に使用する張石の種類：　※荒こう目で大きさ6mm以下　・

4節　壁石及び階段石

1．石の品質：　・1等品　※2等品　・3等品
2．仕上げの種類：　※磨厚さ　・

5節　テラゾタイル張り

テラゾタイルの種類、形状、寸法：　・300形（　　石）　・400形（　　石）

1節　一　般　事　項

工法の種別：

工法の種別		
壁	屋外	・密着張り
		・圧着張り
		・改良積上げ張り
		ユニット・タイル張り：・圧着張り
		・改良積上げ張り
	屋内	・密着張り
		・圧着張り
		・振上げ張り
		ユニット・タイル張り：・圧着張り
		・改良積上げ張り
		・被着剤張り
床		・ドライタイプ（クリンカータイル…）
		◎ウエットタイプ（一般タイル…）

2節　陶磁器質タイル張り

1．タイルの形状、寸法：

施工箇所	形状寸法(㎜)	目地	うめざり	その他
	・25×25	磁器質	無	他
一般	◎108×60	磁器質		ハンドリップ
住戸内玄関床	◎100×100	磁器質		
	・			
	・100×100	陶器質	陶	他
	・			
	・			

2．使物の使用：
使物使用ヵ所

内　装	※出隅　天端のみ使用
外　装	※使用しない　・使用する

6．枠、器具取合部、伸縮目地のシーリング用材料：　・A種　・B種　・C種　※D種　・E種　・F種
7．張付け用材料　10．5．1表
(2) 張付けモルタルの基本種の個選所：　・接着化学工業㈱ hi.メトローズ　・松本油脂製薬㈱ニューマーボローズ
(3) 接着剤：　※エポキシ系
別に定める品質試験の適用：　※しない　・する

1．伸縮目地
(1) 伸縮目地の位置：　※具個所選定部の取合い部、構造上の要所及び図示による　・
(2) 伸縮目地の寸法：　※幅10mm以上×深さ7mm以上　・
4．張タイル
(9) 振張り
(a) タイルの張付けモルタル：　※プレミックス（振興会）モルタル　・
(b) 試験張り、接着力試験、抽取り検査：　※しない　・する

3節　陶磁器質タイル型枠先付け

個別：　・タイルシート法　・目地ますま法　・桝木法

1．タイルのまじ寸：　・磁器質　・せっ器質
3．タイル
(4) 役物：　・使う　・使わない
(7) せき板の種類：　※6．2．1表のB種又は金属製タイル先付け用パネル　・
(8) 伸縮（開閉、多開開）目地のシーリング用材料：（10．5．1表のC種）　・A種　・B種　※C種　・D種　・E種　・F種　10．5．1表

1．目地割り及び伸縮目地
(3) 伸縮目地の位置：　※12．3．3表…　・図示による
(4) 伸縮目地用シーリングの目地寸法：　※幅25mm以上、深さ10mm以上　・

4節　れ　ん　が　積　み

普通れんがの種類：　※1種　・2種　・3種

2．普通れんが積み
(1) れんが積み：　※半枚積み　・

1節　一　般　事　項

1．13．1．1表　種種及び品等：　※各部の選定　◎磁器材：N（磁器質）
13．1．2表　製品規格、化粧厚様：　※ヘムロック、シトカスプールスの製部　・
2．種種の代用を認める場合13．1．3表：　・
※見え掛り化粧材は仕上がり寸法とする。
13．1．4表の接着付金物の接着用：　※エポキシ樹脂系のもので、次の11、(2)…　・

防あり処理：　・する　・しない
個別選定所：
白あり防除工事については、5年間の保証書を提出すること。

11節　屋根野地、軒回りその他

13．11．1表の（注）野地板に合板を用いる場合の材料：　※コンクリート型枠用合板（JASの2種）　・

2節　表　面　処　理

3．鉄の亜鉛めっきの個別等

施工箇所	亜鉛めっきの種類	付着量の種別
	◎A種	◎A種　※B種　（一面の付着量）
	・B種	・A種　※B種　・C種
	・C種	亜鉛付着量（片面g／㎡）・20・30・40・50

(3) 表面処理亜鉛めっき鉄板
(4) 亜鉛の最少付着量：　・
5．亜鉛めっき部の試験の適用：　・する　・しない

3節　長尺亜鉛鉄板ぶき

1．屋根ふき形式：　・瓦棒葺（心木なし）　・平葺　・
2．屋根ふき工法を定める専門業者：　・三晃金属工業㈱　・富士波工業㈱　・大同塗材㈱
1．長尺亜鉛鉄板：　※着色亜鉛鉄板のコイル　・片面着色亜鉛鉄板　・両面着色亜鉛鉄板　・亜鉛鉄板
2．長尺亜鉛鉄板の厚さ：　・0．27　・0．3　・0．35　※0．4　・0．5　・0．6
5．下ふき材料（アスファルトルーフィング）kg／21㎡）：　※22kg品　・35kg品　・45kg品
折板：　形状、折板のあき（　）
材　　質：　※片面着色亜鉛鉄板　・両面着色亜鉛鉄板　・亜鉛鉄板
亜鉛鉄板の厚さ（㎜）：　・0．8　・1．0　・1．2　・1．6
軒先面戸：　※あり　・なし
軒先フレーム：　※あり　・なし

4節　と　い

1．といその他の材種　・配管用鋼管　※硬質塩化ビニル管（VP）　・硬質塩化ビニル管（VU）　14．4．1表
2．とい受け金物：　亜鉛めっきを行った鋼板とし、14．4．2表及び14．4．3表　※ステンレス鋼
1．樋どい受け金物の形式：　丁番作り…・ステンレス　SUS304

1．継手：　※冷間接合、接着剤を用いる

2．防　露
(1) 防　露：　※14．4．4表
(2) 断熱層の厚さ：　※20㎜
排水口の位置：　・設けない　※設ける（図示）

小林鋳㈱㎜　ネオソク㈱㎜　㈱戸畑作所　第一機材㈱㎜　昌谷川鉄工所　福岡鋳物㈱㎜
ヨハケ管ヒオセライト形（強）カネカ・VP管（ゆるみ）　日和興業㈱に決定する。

5節　硬質鉱骨壁下地

2．スタッド、ランナーの種類：　※14．5．1表　・

6節　硬質鉱骨天井下地

2．野縁などの種類：　※14．6．1表の屋内は19形、屋外は25形　・

7節　雑　金　物

2．材料及び工法
(1) 材料の種別、寸法形状、表面処理：　◎アルミ合金製
※BL製品、及びBL製品以外、共に固定はアンカー方式とし、監督員の承認を得ること。
材料及び工法
(1) 材料の種別：　※ステンレス鋼　・鋼　SUS304
(2) 表面処理：　・A種　・B種　14．2．1表
1．材種、形状、寸法など：　◎ステンレス鋼（SUS－304）　・
・ビニールタイヤ又は合成ゴム入り　・タイヤなし　・
・他

1．材質、形状、寸法：　※ステンレス丸棒径16㎜×12㎜（足付）　・

材質、寸法、形状、施工箇所：　※ステンレス鋼　・アルミニューム　・
高さ：　※1800まで　・天井まで

材質：　※アルミ鋳　・アルミダイキャスト製　・
形式：　◎追従型物干金物（引抜式）
・固定型物干金物　（鋼管式）

2節　モルタル塗り

4．混合者有量：　※0．04%以下　・
6．保水剤は、12．2．1の7の表による。
2．防水剤の個選所：　石膏建材KK（石膏）KK日本セメント防水剤個選所（ウォータイトB号）　ベストンKK（ベストンB）　マグナ工業KK（マグナー混2号）KK油脂化工社（マソール防水剤）KKイノウエポンド（新ジストン）大阪防水

防水モルタル塗りについては、元請負者と工事個選者連署による10年間の保証書を提出すること。

5節　人　造　石　塗　り

2．種石の種類：

仕上げの種類	種石の種別	施　工　箇　所
・とぎ出し	カナリヤ、寒水、硬灰…	
・洗出し	・	
・小たたき類	・	

5．目地の有無：　・あり　・なし

6節　現場テラゾ塗り

※15．5．1による。

7節　各種吹付け

3．種種シーリング用材料：　・A種　・B種　・C種　※D種　・E種　10．5．1表

JISA6915種種品

厚付工法	厚さ（㎜）	種種の種類	上塗材
※吹付工法	※5・	・吹放し　・凸部処理	・光沢　・つや消し
・こて塗り工法	※8・	・ひき起し　・凸部処理	・光沢　・つや消し

2．材料
(1) 種別：外部用　◎A種　・B種
内部用　・A種　・B種

2．材料
種類：　・E　・RE　・C　・RS　15．7．8表
3．仕上げなど
仕上げ材塗りの個別：　・メタリック　・光沢　・つや消し
1．適用範囲
(2) 種類及び吹付け厚さ：　※吹付け厚さ5㎜
・セメント系　・粘結材系　・合成樹脂エマルジョン系

2節　素地ごしらえ

鉄面の素地ごしらえ：　◎A種　※B種

4節　合成樹脂調合ペイント塗り（S,O,P塗り）

亜鉛めっき面の塗り工程　16．4．3表
（注）1．工程2の個別：　◎A種　・B種
・船外さび止めペイント
・亜鉛化給さび止めペイント
・塩基性クロム酸給さび止めペイント
・シアナミド給さび止めペイント

鉄部の塗り工程：　16．4．2表

塗料	備考
・船外さび止めペイント（・1種、・2種）	鉄骨構造物、屋外階段、手すり、タンクの類
・亜鉛化給さび止めペイント（・1種、・2種）	
・塩基性クロム酸給さび止めペイント（・1種、・2種）	
・シアナミド給さび止めペイント（・1種、・2種）	

5節　クリヤラッカー塗り（L,C塗り）

塗り工程：　・A種　※B種　16．5．1表

7節　塩化ビニル系塗料塗り（V,E塗り，A,E塗り）

2．塩化ビニル樹脂エナメル：　※JIS K 5582の1種　・2種　・3種

10節　有光沢合成樹脂エマルションペイント塗り（G,P塗り）

材料の種選所：（株）堀和化学、その同等以上とする。

11節　マスチック塗材ローラ塗り

2．材料の種選所：

1．

種別	・A種　・B種　・C種
工種3の仕上材の種類	・塗厚形　・エマルション形
凸部処理	・凸部処理をする　・しない

1節　一　般　事　項

防火戸の種定：・

2節　アルミニウム合金製建具

2．アルミニウム合金製建具：　※BLマーク表示品　◎BL製品とする。

1．17．2．1表のその他の材料
小もじ：　※JIS G 4303のSUS 305
木もじ、ナット、リベットの類：　※JIS G 4308のSUS 305

1．性能の種別の区分：　17．2．3表

強さ（kg／㎡）	・A（160）	・B（200）	・C（240）	◎D（280）	・E（360）
気密（㎥／㎡）	・N	・A（120）	・B（30）	◎C（8）	・D（2）
水密（kg／㎡）	・N	・A（10）	・B（15）	・C（25）	◎D（35） ◎E（50）
耐風	・N	・A（25）	・B（30）	・C（35）	・D（40）
防火	・N	・A	・B		

2．水切り板の有無：　・有　・無

1．取付け
(2) 取付け方法：　※現場検付け　・現場先付け　・工場製作板先付け
3．網戸の使用方法による区分：　※外開き内勝手の可能式　・
4．網の材質：　◎合成樹脂製　◎ステンレス製　・ガラス繊維入り合成樹脂製

3節　個　装　建　具

2．個別建具（BL認定のあるもの）について：　※BLマーク表示品　・
◎遮光網等張り付け（地、P5）

6．防せい処理：　※14．2．1表のC種、亜鉛付着量は両面で120g／㎡以上…　・

4節　本　製　建　具

2．合　板
(1)

個別	※ラワン	・国内産個種	・
品等	※17．4．2表		

6．振ふすま個
(1) 在来ふすまの周囲枠の仕上げ：　※17．4．5表のA種　・B種　・C種
17．4．5表
周囲骨の寸法：　・16．5×21（㎜）
中骨の個ずき寸法：　・12×13．5（㎜）
引手受、個子の寸法：・12×13．5　中3本（中1本は引き手上）は21×13．5（㎜）
引手受個の寸法：　・振形13．5（㎜）

5節　シ　ャ　ッ　タ　ー

開閉機械による個別：　・上部電動式（手動併用）　※手動式
強度による個別：　・50　※65　・80
シャッターケース：　・露げる　・露げない
ガイドレール　ステンレス個厚さ1．5㎜（※仕は除く）
中柱（個個）内法高2．5m以上個個型
座板（外部）ステンレス個　2L－3×60×60
塗個：　※融付塗個　・電蓋塗個
操作スイッチ及び2次側配線は本工事に含む
強度による個別：　・30　※80　・
機能による個別：　・防火シャッター　・防煙シャッター
防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び開放時煙感知器付とし、連動制御種及び感知器は別途とする。
シャッターケース（防火、防煙以外の場合）：　・露げる　・露げない
開閉機械による個別：　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式　・下部手動式
操作スイッチ及び2次側配線は本工事に含む（関連官告示2563号による）
8．材　料
(2)
ガイドレール：　・
まぐさ：　・
座板又は座板の包み板：　・
開閉機（下部手動式）のカバー：　・
スイッチボックス個の材質：　・

電動シャッター、自動扉の施工個別は下記による。
自動扉の電源スイッチ以降の配線工事（配管及び位置ボックスは別途工事とする）
電動シャッターの操作スイッチ以降、シャッター制御盤までの配線工事（配管及び位置ボックスは別途とする。）
機器付属の操作盤内に電動機保護用過電器及び遠相用コンデンサーを設置。

6節　建　具　用　金　物

5．丁番の寸法：　・個個による
7．マスターキー：　・不要　※要　・外所
コンストラクションキー：　※不要　・要　・外所　・
1．丁番：　※JIS A 5501の厚ロスステンレスヘアライン仕上げ…　・
寸法：　※図面による
2．ドアクローザ：　※BLマーク表示品（・1個　・3個）　・

建具金物
ドアチェック：　・面付き型　・埋込型
◎ストップ付き　※ストップなし
ピボットヒンジ：　※わく付き　・床付き

・BL製品

7節　ガ　ラ　ス

1．ガラスの厚さ：　※個個による

建具の個別	種別	種種
個別	・パテ（※1個・2個）シーリング材C個	
アルミニウム個	・ガスケット	※シーリング材C個　・パテ（・1個　※2個）
ステンレス個	・シーリング材C個	・パテ（※1個　・2個）
木　個	※パテ（木個個具、建具用ガラスパテ）	

1節　一　般　事　項

1．一般事項
(6) 個付け時の寸法が狂い場合の施工：　※個建用の仕様による

外装工事

8 18. 8. 1 材料

2節 塗形石膏スレートぶき(外壁を含む)

1. スレート
(1)品質：種類 ・大波 ・中波 ・小波 ・リブ板
質 ・大波 ・中波 ・小波 ・リブ板

3 18. 2. 2 工法 1. 施工地域： ・寒冷地域(適用県内全域)
・多雪地域(ボルト締めの工法は特殊フックとする。)(適用、北陸地域)

4 18. 2. 3 外装の工法 2. 出隅： ・

3節 壁 塗 装 (別途工事)

5 18. 3. 1 材料 1. 壁のJIS A 5902の等級： ※ヘラ付き、2回 ・

6 完成後の保護 2. (2) 除去施工後の処理： ※18. 3. 1表 ・
・壁は完成検査から1年以内に発錆、ダニ目(通称タケノミダニ)等発生した場合は直ちに補修処理する。

4節 フローリングボード張り

7 18. 4. 1 材料 2. 樹種、等級、寸法： ※18. 4. 1表 ・

8 18. 4. 2 工法 4. 塗装： ※オイルステイン着色のうえウレタン塗り ・

5節 複合フローリング張り

9 18. 5. 2 材料 1. 天然木化粧複合フローリング： ※2の標準仕様 ・
特殊加工化粧複合フローリング： ※3の標準仕様 ・4の標準仕様 ・

6節 ビニル床シート張り

10 18. 6. 1 材料 1.

種別	厚さ (mm)			色柄
ビニル床シート	※住宅用			※ 無地
・	・一般用	・1.5 ・2.0	※2.5 ・3.0	・模様

7節 合成樹脂系複合床材張り

11 18. 7. 1 材料など 1. 複合の種類： ・A種 ※B種

8節 ビニル床タイル張り

12 18. 8. 1 材料 1. ビニル床タイル
(2)

種別その他	厚さ (mm)
※ビニル床タイル(平滑質)	※2 ・3
ビニル床タイル(軟質)	※2 ・3

2. ビニル巾木：

材質	厚さ (mm)	高さ (mm)
※軟質 ・硬質	※2 ・	・60 ※75 ・100

9節 合成樹脂塗り床

13 18. 9. 2 材料 1. ・弾性ウレタン塗り床 厚さ (mm)： ※2 ・ 18. 9. 1表
表面仕上： ※平滑仕上 ・防滑仕上 ・つや消し仕上げ

14 18. 9. 3 工法 施工所：
2. エポキシ樹脂塗り床 厚さ (mm)： ・
表面仕上： ※防滑仕上 ・流し展べ仕上げ ・レジンモルタル仕上げ
施工所：
(3) 補強ガラスクロス： ※樹脂EP-21A、補強量は1層 ・

10節 石こうボード、その他のボード及び合板張り

15 18. 10. 1 材料 3. 普通合板
5. 機能合板

材種	機能など	厚さ	工法
合板	生地のまま又は透明塗料塗りの場合	・2.7 ・3	・A種
	※ラワン ・( )	・4 ・5.5 ・9 ・12	
	不透明塗料塗りの場合、押入床 ※しな ・( )	・4 ・6 ・9 ・12	※B種

4. 特殊加工化粧合板

工法	施工箇所	タイプ、厚さ
※A種 ・B種		・W-3等W ・3.7 ・5 ・5.2 ・4 ・4.2 ・4.8 ・5 ・5.5 ・6
※A種 ・B種		・ ・

6. 化粧石こうボードの止付け： ※カラー釘 ※ステンレス釘
・石膏けい酸カルシウム板の止付け： ・
・木毛板の止付け： ・

16 18. 10. 2 工法 4. ボード類、合板などの張付け 18. 10. 5表
(2)

材種	施工箇所	張り方		厚さ (mm)	工法
せっこうボード	壁	・下張り	※突付け	・9 ・12	・A種※B種
		・上張り	・突付け	・9 ※12 ・	・A種※B種
			・目違し		
			・目違処理	テーパー付 ・9 ※12	
	天井	・下張り	※突付け	・9 ・12	・A種※B種
		・上張り	・突付け	・9 ・12	・A種※B種
			※目違し		
			・目違処理	テーパー付 ※9 ・12	
化粧せっこうボード			・突付け	・9	・A種※B種
			・目違し		
石膏セメント板(平板)				・5 ・6	・A種※B種
石膏セメント板(フレキシブル板)				・3 ※4 ・6 ・8	・A種※B種
石膏けい酸カルシウム板				・4・5 ※6・8・10・12	・A種※B種
水モセメント板				中間 ・20 ・25 ・30	
パーティクルボード				・10・12・15・18・20	
硬質繊維板				・3.5・5・7・9・12・15	

17 天井目地 ※目地巾4～6mm、目地底板テープ貼 ・

11節 壁 板 張 り

18 18. 11. 1 材料 1.

施工箇所	品質	種度	耐火性能の該当
公共住宅等、省エネ、住宅、フラット35S、JIS A-1414対応		オペレーションルーム等	・1級 ※2級 ・4級
共用、階下等			・1級 ・2級 ・4級
			・1級 ・2級 ・4級
			・1級 ・2級 ・4級

接着剤： ※接着仕様 ・
張遮所：

19 18. 11. 2 下地処理 2. 合板張り、石こうボードなどの目違の処理： ※セメントフィラー ・

20 クロース直貼工法 ・張布 ・張り発泡クロス ・責任施工とする
張遮所：

13節 カーペット敷き

21 18. 13. 2 材料 3. タフテッドカーペットの種別： ・A種 ・B種
7. 下張り材： ・

22 18. 13. 3 工法 1. 敷込み工法： ※グリッパー工法 ・全面接着工法

14節 断熱及び防露工法

23 18. 14. 2 材料 材料種別：

材料種別	厚さ (mm)	備考
③ フォームポリスチレンボードの種別：JIS A 9511の1号・2号・3号・4号	③20・25・30・50	
⑤ グラスウール保温筒の種別：※2号32K (10kg/㎥)	・25・40・50	
⑦ グラスウールマットの区分：※外張区分VY	・50	
⑨ ポリエチレンフィルム ：※1種 (厚さ0.1mm)	・	

24 18. 14. 3 工法 1. 壁の工法： ・
3. 工法： ※標準(1)～(4) ・

15節 壁下パネル

25 18. 15. 2 材料 1. 水モセメント板系： ※標準寸法、重量 ・
2. 水片セメント板系： ※同上 ・
3. 発泡プラスチック系の張遮所：

16節 内装プレハブ工法

26 18. 16. 3 材料 7. 金属材料
(3) 鋼板の表面処理： ※JIS H 8610の2種3級

27 18. 16. 4 製作、組立て及び工法 張遮所：

19 仕上げユニットの他工事

1 19. 1. 1 基礎 1節 浴室ユニット
2. 浴室ユニットの製遮所： ※BLマーク表示品 (浴槽、ドア類基礎を含む)

タイプ	呼称		
⊙ A	⊙1116	・1117	・1216
・ B	・1116	・1117	・1216

2 19. 1. 2 給水試験 試験の適用： ・する ・しない

3 19. 1. 3 給水試験 試験の適用： ⊙する ・しない
浴室内機器等それ以外の色寸法 (シャワーなし (給湯配管の場合給湯器は2節カーテンレール 設備工事とする)

4 19. 2. 1 材料その他 1. カーテンレール 材質：・アルミニウム ※ステンレス鋼 SUS 430
形状：⊙C型 ※H ⊙D型 ・I型

3節 その他

5 19. 3. 3 キッチンキャビネット 流し台、コンロ台、つり戸棚、キッチンキャビネット： ※BLマーク表示品 ・

6 19. 3. 2 集合郵便受箱 集合郵便受箱： ※BLマーク表示品 (3号 SA型) SUS 304

7 19. 3. 3 室名札、掲示板その他 室名札、掲示板：

品目	材質	寸法	形状その他
※室名札	プラスチック	270×130	公共住宅用 プラスチック SK 602－P型 彫字の り付
※掲示板	仲スチレン 合板ラシャ張又はOP塗	550×410	公共住宅型 SK 601型
・黒板	木製、仲・		下仲付、色ミドリ
※階数表示板	プラスチック 階ごとする	100φ	公共住宅型 SK 601型ゼネ式
⊙鍵掛箱子	スチール 1号 ステンレス (国官検定合格品)	600×600	超強ハック 鍵子 収納型
⊙タオル掛	ステンレスパイプ	・ 2本掛 (Φ19) 13φ ・ 3本掛 9.5φ	ブラケット(ABS樹脂)付 SUS 430
⊙水切棚	ステンレスパイプ	・ℓ=900 2段吊 ・ℓ=1200 3段吊	SUS 304
⊙湯沸器取付板	木製	・現ポによる	OP
・洗面所鏡板	プラケットスチール製	200×150	ステンレスビス止め
⊙紙巻器	(カンキ扇仲) (バランス型仲) プレキャスト	250×250 345×235	
・床吸メロ	鉄・アルミ製	※450×450 ・600×600	(UP仕様)
・壁上吸メロ	・ステンレス製	・ ※丸型 ・角型(Φ800×600)	
・ハウジング・基本鏡 ・補強鏡		・ 450φ (ハウジング) 600×600 (補強鏡) ・ 450φ (補強鏡)	600×600×3t 600×600×3t
⊙紙巻器	※取付ける。		
・ ・	モザイクタイル (陶器)	・現ポによる	壁面にユニット貼タイル貼
⊙石鹸置棚		・100φ	他の製作仕様 ※5節ユニットタイル貼壁面に貼る
⊙※電気ヒーター		・100φ	※5節ユニットタイル貼壁面に貼る

⊙鋼製棚板 *200×300 ※5・6節ユニット貼壁面に貼る

20 PC工法による工事

1 20. 1. 2 関連基礎工事 4節 資通孔その他
スリーブの材質： ・鋼管 ・硬質塩化ビニル管 ・亜鉛鉄板 ・つば付き鋼管 ※紙チューブ

1節 一般事項

2 20. 2. 2 鋼材 別契約工事の場合の工事区分： ※(1)表1/2標準 ・
(2) 穴埋め： ・

2節 PC板製作に使用する材料及び部品

3 20. 3. 2 鋼材 3. 鋼材の材質： ・

3節 PC板の製作

3 20. 3. 8 表面仕上げ 2. タイル張り仕上げ
(2) 製造方法： ※先付け工法

5節 PC板の運搬及び組立て

4 20. 5. 4 PC板組立て時の検査 2. PC板のき裂及び破損の検査時期及びに関係方法： ・

6節 接合部

5 20. 6. 6 添えプレート 鋼板の水平ドライジョイントに用いる添えプレートの材質： ・

6 20. 6. 7 接合施工 11. フレアグルーブ溶接の余盛： ・
13. 超音波探傷試験
(1) 試験の適用： ・

7節 ジョイント用コンクリート

7 20. 7. 1 調合及び管理 1. 設計基準強度： ※210kg／㎠ ・

8節 防水処理

8 20. 8. 2 材料及び工法 (1) ジョイント用テープ状シールの製遮所： ・
(2) 液状シール材の製遮所： ・

21 外装整備工事

1 21. 2. 2 腰壁 2節 塗装工事
1. 材料
(1) 腰部壁に用いる材料： ※川砂又は海砂
(2) 上下階境に用いる材料： ・
2. 工法 ・
(3) 盛土材料： ・
3. 支持力比 (CBR) 試験の適用： ・する ※しない

2 21. 2. 3 腰壁 1. 材料の種別、呼び名： ※23. 2. 1表のクラッシャーランのC－40又はクラッシャーランスラグのCS－40
4. 支持力係数試験
(1) 支持力係数試験を行う場合、所要係数： ・
(2) 支持力係数試験を行う場合、試験箇所数： ・

3 21. 2. 4 コンクリート舗装 1. 材料
(2) 冬季に施工する場合で早強セメントを用いる場合： ※使用しない ・
(5) 溶接金網の個目

形状	・正方形	・長方形
寸法	・50 ・75 ・100 ・150	
鉄線の径	・2.6 ・3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0	

2. 配合その他
(1) 加熱混合物の種類： ※密粒度アスファルト混合物 (13)
・細粒度アスファルト混合物 (13)

4 21. 2. 5 アスファルト舗装 3. 工法
(8) シールコートの適用： ※する ・しない
4. 標準的検査
(1) コアの採取数： ・
(2) アスファルト混合物の抽出試験： ※しない ・

5 21. 2. 6 平板舗装 1.

種類	・コンクリート平板	・カラー平板	・人工ガ平板	・長出し平板
寸法				

2. 工法
(2) 平板敷き
(4) 敷込み工法： ※砂で敷込む工法 ・

6 21. 2. 7 敷きば、縁石及び側溝 3. 材料
(1)

種別	形状	呼び					
・側溝	U型	・150	・180	・240	・300A ※300B ・300C	・360A	・450 ・600 ・900
・ ・	L型	・250B	・300	・350			
・ ・	V型						
・コンクリート縁石		※参車境界ブロック ・A ・B ・C					
・ ・		・地先境界ブロック ・A ・B ・C					

(2) コンクリートの設計基準強度： ※5. 9. 1表のA種 ・B種
(3) 地盤の材料： ※4. 7. 1項り込み砂利又は切り込み砕石 ・
JIS K 5665トラフィックペイント溶巻 (ガラスビーズ15%散入) 幅150 厚1. 5mm

3節 排水工事

7 21. 3. 1 白線引き 2. 鉄筋： ・A種 ※B種 7. 1. 1表

8 21. 3. 3 材料 4. 排水管、その他：
・遠心力鉄筋コンクリート管 φ
・鉄筋コンクリート管 φ
・硬質塩化ビニル管 φ
・陶管 φ
・遠心力鉄筋コンクリート管の継手 ・カラー継合 ※ソケット継合
6. 側溝の形状、寸法： ・
7. 排水ます、ふたの種類

種別	・排水ます・現場打 ・現場打	・コンクリート製蓋	・グレーチング蓋	・鋳鉄製蓋	・
寸法					

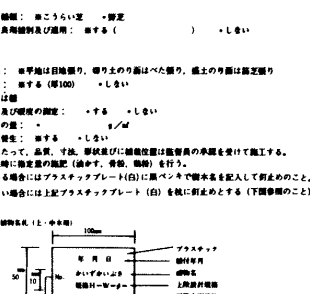
9 雪 割 10 21. 3. 4 工法 1. 一般事項
(4) 植栽し土： ※植栽り土の中の良質土 ・

4節 植栽工事

11 21. 4. 1 植栽 1. 材料
(5) 植込み用土： ※現地発生土の良質土 ・
2. 工法
(3) 支柱
(イ) 種類： ・三脚 ・四脚 ・鳥居形 ・本掛け ・
(ニ) 防腐処理： ※防腐剤塗り ・焼丸太
3. 散水の設備
(2) 通管等： ・
4. 補植補充
(1) 補植期間： ※引渡しの日から1年 ・
保証書 ・提出する

12 21. 4. 2 芝張り、吹付け植栽その他 1. 材料
(1) 芝
(イ) 芝の種類： ※こうらい芝 ・野芝
(ロ) 土壌改良用種別及び適用： ※する ( ) ・しない
2. 工法
(1) 芝張り
(イ) 工法： ※平地は目地張り、傾り土のり面はべた張り、盛土のり面は筋芝張り
(ロ) 客土： ※する (厚100) ・しない
(2) 吹付け植栽
(イ) 植性及び種度の測定： ・する ・しない
(ロ) 種子の量： ・ g／㎡
(ニ) 試験養生： ※する ・しない

13 承認 ・植栽にあたって、品質、寸法、形状及びに植栽位置は監督員の承認を受けて施工する。
14 施肥 ・植栽施工時に指定量の施肥 (油かす、骨粉、物粉) を行う。
15 鉄板 ・支柱のある場合には(プラスチックプレート(白)に黒ペンキで樹木名を記入して貼よのこと。
・支柱のない場合には上記プラスチックプレート (白) を杭に貼よとする (下図参照のこと)



5節 間知石及びコンクリート間知ブロック積み

16 21. 5. 2 材料 1. 間知石の材種： ・花こう岩 ・安山岩 ・ ・35間知 ・45間知
3. コンクリート間知ブロックの種類、重量区分：

形状	高さ×巾×奥行	kg／個	重量区分
※ 長方形			A
・ 正方形			A
・正六形			A

4. 地盤の材料： ※4. 6. 1項り石 ・玉石 ・砂利
5. 基礎コンクリート： ・A種 ・B種 5. 9. 1表
振込みコンクリート： ・A種 ※B種 5. 9. 1表

17 21. 5. 3 工法 3.
(2) 積み方： ※谷積み ・布積み ・ ・縦り積み ・から積み
(3) 目地り： ・する ・しない
(1) 伸縮目地の材種： ・
厚さ： ・

6節 砂利敷き

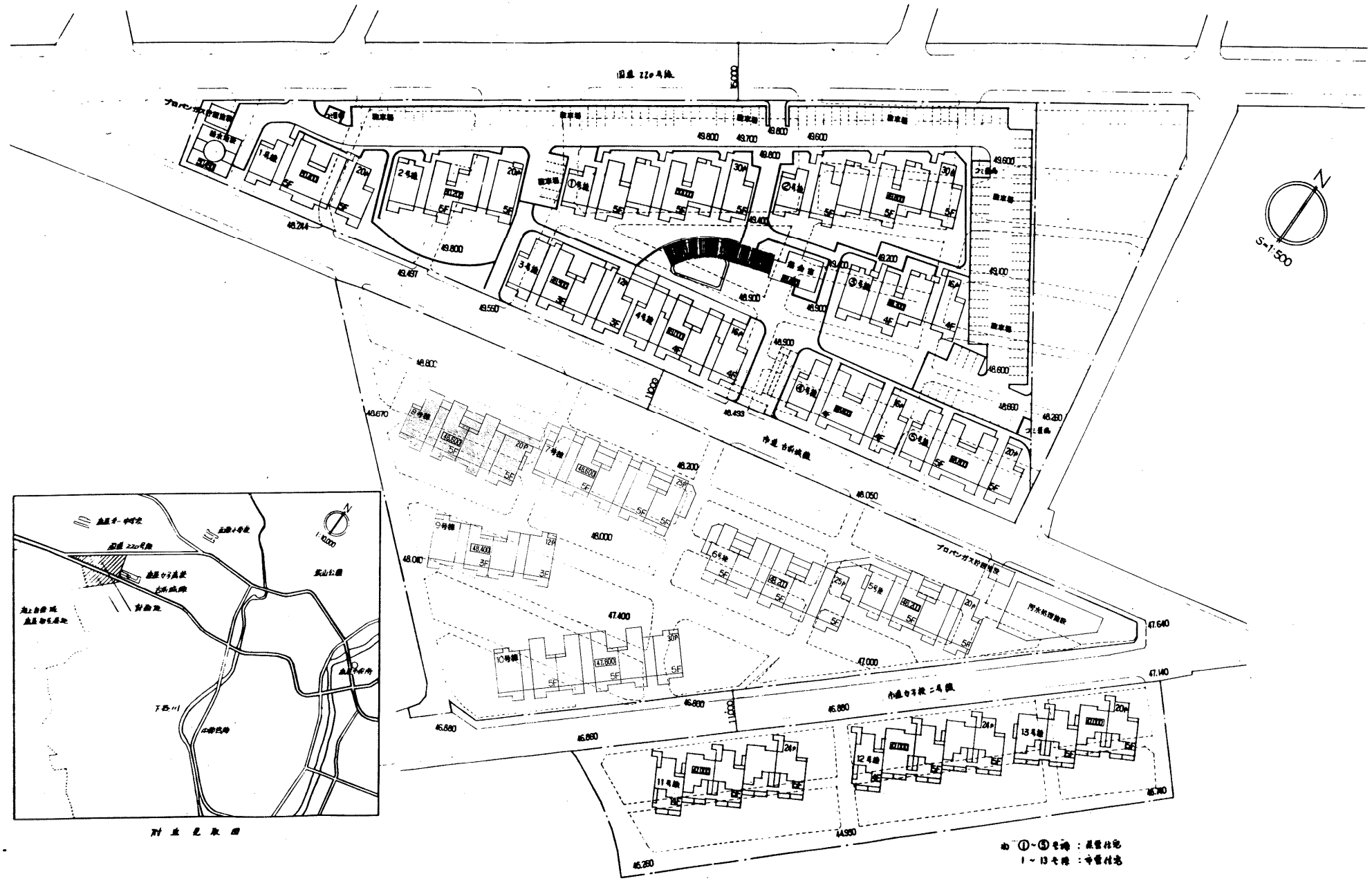
18 21. 6. 1 材料及び敷均 砂利敷きの種別： 通路 ※A種 ・B種
植物周囲その他 ・A種 ※B種 21. 6. 1表

7節 敷地境界石敷

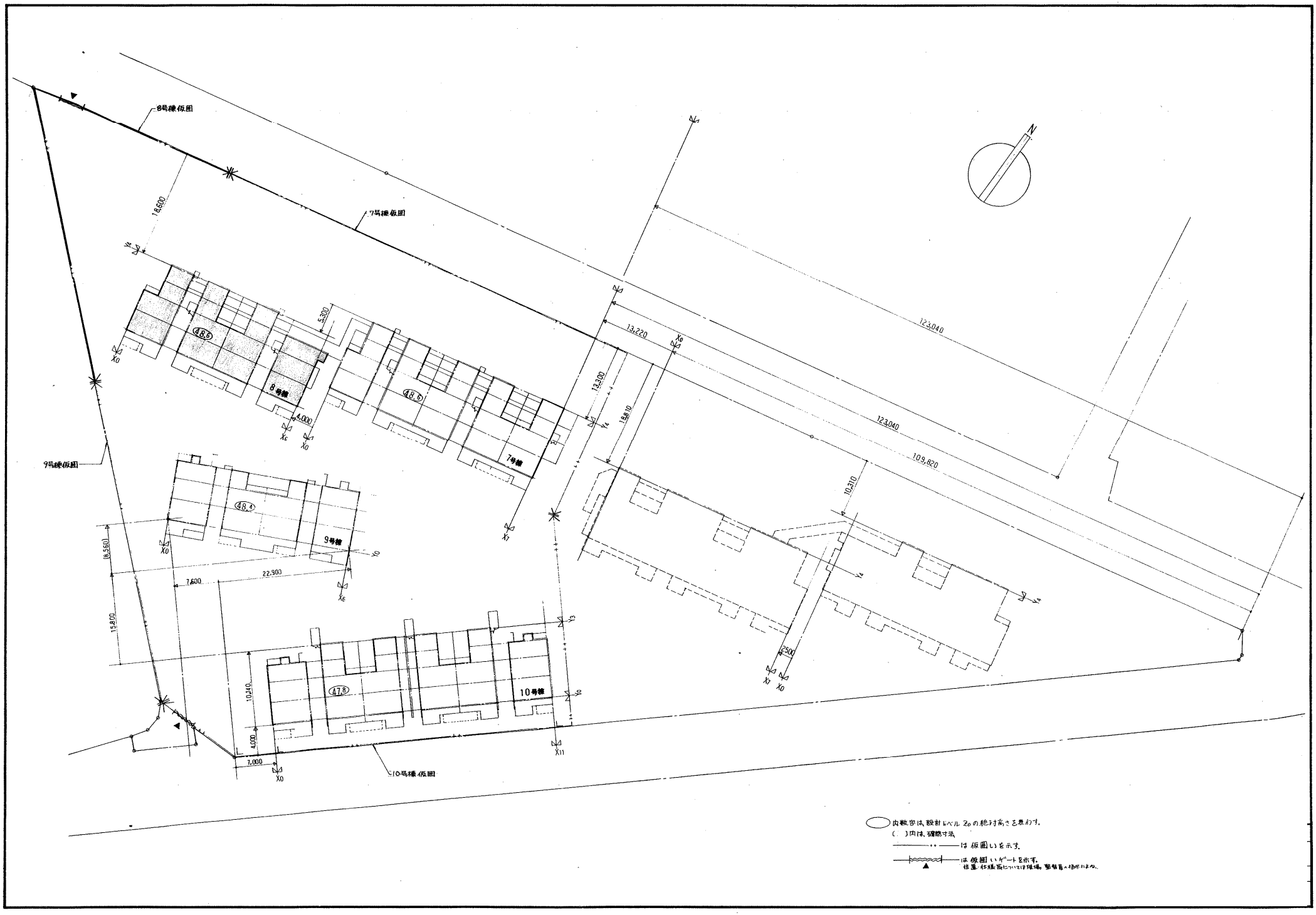
19 21. 7. 1 材料及び工法 1. 石張の種別： ※A種 ・B種 ( ) 21. 7. 1表

項目	特記付加事項
承認事項	・実施工程表 ・下請業者名簿 (主要材料共) ・現寸図 (格計、サッシュ等) 及び施工図 ・レディミクストコンクリート調合表 ・アスファルト配合設計報告書 ・保護工事計画図 (仮設建物)
材料承認及び検査	・木材、内外装材、左官材、木製建具 (フスマ共)、造具金物、一般鋼金物、樹子、吹付見本、塗装塗装色 (紙、鉄、鋼)、接し台
試験報告書及び提出書類	・鉄筋・レディミクストコンクリート・コンクリートブロック・鋳ガ ・アスファルト舗装地盤
工事報告	・バケツ、懐中電灯、金槌、木槌、手鉄、鋸石、ハシゴ、ドライバー (+、－)、チョーク、下げ振りレベル、スコップ、ツルハシ、スチールテープ30m以上 (現場には監督員の指示による) 散水用ホース30m程度
発生材の処理	・引渡しをしない (自由処分) ・引渡しを受けるもの (場所)
杭の個人	・試験杭打の結果により、監督員の指示に基づき、本杭を決定し個人する。
消防設備等特工届出書	・施工者 (有資格者) で届出すること。

5



附 近 見 取 図


8号棟仮囲
7号棟仮囲
9号棟仮囲
10号棟仮囲
1,600
5,300
4,000
13,220
13,300
18,910
123,040
109,820
10,310
230
(8,560)
7,600
22,900
15,800
10,210
4,000
7,000
48.6
48.5
48.4
47.8
8号棟
7号棟
9号棟
10号棟
N
内数字は、設計レベル Z0 の絶対高さを表わす。
( )内は、確認寸法
は 仮囲いを示す。
は 仮囲いゲートを示す。
位置・形状等については現場、警察署との相談による。

面積表

単位：M²

	7号棟	8号棟
建築面積	546.0629	431.5481
延べ面積（公住法）	2079.0540	1651.4078
延べ面積（基準法）	2177.8424	1709.1572

住戸タイプ別面積表

住戸タイプ	住棟番号	住戸専用部分	バルコニー部分	共用部分	公住法による合計	
2DK-F	7号棟	③ 55.0866	① 4.6573	14.0128	73.7567	
3DK-A'	8号棟	④ 64.6810	⑪ 5.0900	12.3445	82.1155	
3DK-B'	7号棟	⑤ 66.2899	① 4.6573	14.0128	84.9600	
	8号棟			12.3445	83.2917	
3DK-C'	8号棟	⑥ 64.5160	⑪ 5.0900	12.3445	81.9505	
3DK-D'	7号棟	⑦ 66.1249	①4.6573 ⑫4.6265	14.0128	84.7950	84.7642
	8号棟			12.3445	83.1267	83.0959
3DK-E'	8号棟	⑧ 64.4486	㊀ 3.7050	12.3445	80.4981	
3DK-F'	7号棟	④ 66.0575	㊌3.2724 ⑭2.5524	14.0128	83.3427	82.6227
	8号棟		㊌ 3.2724	12.3445	81.6744	
3DK-J	7号棟	⑩ 65.9730	① 4.6573	14.0128	84.6431	
	8号棟			12.3445	82.9748	

階別面積表

7号棟

	2D	2E	2F	3B'	3D'	3F'	3J	合計	住専用部分	バルコニー部分 公住法	バルコニー部分 基準法	共用部分 ポーチ	共用部分 P.S	共用部分 階段	共用部分 合計	合計 公住法	合計 基準法
5F						5		5	330.2875	15.6420	20.5200	54.3585	1.2375	27.1296	82.7256	428.6551	433.5331
4F					5			5	330.6245	23.1633	45.9600	12.0760	6.1875	31.3200	49.5835	403.3713	426.1680
3F			3				2	5	247.2058	23.2865	48.9300	12.4230	6.6000	129.7990	148.8220	469.3143	494.9578
2F					5			5	330.6245	23.1633	45.9600	12.0760	6.1875	28.4880	46.7515	400.5393	423.3360
1F				5				5	331.4495	23.2865	45.9600	12.0760	5.3625	4.9995	22.4380	377.1740	399.8875
合計			3	5	10	5	2	25	1620.1918	108.5416	207.3300	103.0095	25.5750	221.7361	350.3206	2079.0540	2177.8424

8号棟

	3A'	3B'	3C'	3D'	3E'	3F'	3J	合計	住専用部分	バルコニー部分 公住法	バルコニー部分 基準法	共用部分 ポーチ	共用部分 P.S	共用部分 階段	共用部分 合計	合計 公住法	合計 基準法
5F					1	3		4	262.6211	13.5222	14.5800	43.4868	0.9900	19.5264	64.0032	340.1465	341.2043
4F			1	3				4	262.8907	19.0003	33.2040	9.6608	4.9500	24.2208	38.8316	320.7226	334.9263
3F	1	1					2	4	262.9169	19.0619	33.2040	9.7096	4.7850	78.1113	92.6959	374.6747	388.8168
2F			1	3				4	262.8907	19.0003	33.2040	9.6608	4.9500	19.0368	33.6476	315.5386	329.7423
1F	1	3						4	263.5507	19.0619	33.2040	9.6608	4.2900	3.7620	17.7128	300.3254	314.4675
合計	2	4	2	6	1	3	2	20	1314.8701	89.6466	147.3960	82.2688	19.9650	144.6573	246.8911	1651.4078	1709.1572

階別面積計算根拠

7号棟

階	項目		計算根拠式	
5F	住戸専用部分		5 × ⑨ = 5 × 66.0575	= 330.2875
	バルコニー部分	公住法	⑪ + 4 × ㊌ = 2.5524 + 4 × 3.2724	= 15.6420
		基準法	⑪ + 3 × ㊌ + ㊀ = 2.9700 + 3 × 5.1300 + 2.1600	= 20.5200
	ポーチ		5 × ⑬ = 5 × 10.8717	= 54.3585
	P.S		5 × ㉔ = 5 × 0.2475	= 1.2375
	階段		2 × ⑨ + ㊊ = 2 × 9.7632 + 7.6032	= 27.1296
4F	住戸専用部分		5 × ⑦ = 5 × 66.1249	= 330.6245
	バルコニー部分	公住法	4 × ⑫ + ① = 4 × 4.6265 + 4.6573	= 23.1633
		基準法	4 × ㊇ + ㊉ = 4 × 9.7860 + 6.8160	= 45.9600
	ポーチ		5 × ⑪ = 5 × 2.4152	= 12.0760
	P.S		5 × ㉔ = 5 × 1.2375	= 6.1875
	階段		2 × ⓒ + ㊍ = 2 × 12.1104 + 7.0992	= 31.3200
3F	住戸専用部分		3 × ③ + 2 × ⑩ = 3 × 55.0866 + 2 × 65.9730	= 247.2058
	バルコニー部分	公住法	3 × ① + 2 × ① = 3 × 4.6573 + 2 × 4.6573	= 23.2865
		基準法	3 × ㊇ + 2 × ㊇ = 3 × 9.7860 + 2 × 9.7860	= 48.9300
	ポーチ		3 × ⑫ + 2 × ⑫ = 3 × 2.4846 + 2 × 2.4846	= 12.4230
	P.S		3 × ㉓ + 2 × ㉓ = 3 × 1.3200 + 2 × 1.3200	= 6.6000
	階段＋廊下		2 × ⓑ + ㊐ + ㊋ = 2 × 8.7984 + 8.6112 + 10.3510	= 129.7990
2F	住戸専用部分		5 × ⑦ = 5 × 66.1249	= 330.6245
	バルコニー部分	公住法	4 × ⑫ + ① = 4 × 4.6265 + 4.6573	= 23.1633
		基準法	4 × ㊇ + ㊉ = 4 × 9.7860 + 6.8160	= 45.9600
	ポーチ		5 × ⑪ = 5 × 2.4152	= 12.0760
	P.S		5 × ㉔ = 5 × 1.2375	= 6.1875
	階段		2 × ⓐ + ⓔ = 2 × 9.5184 + 9.4512	= 28.4880
1F	住戸専用部分		5 × ⑤ = 5 × 66.2899	= 331.4495
	バルコニー部分	公住法	5 × ① = 5 × 4.6573	= 23.2865
		基準法	4 × ㊇ + ㊉ = 4 × 9.7860 + 6.8160	= 45.9600
	ポーチ		5 × ⑪ = 5 × 2.4152	= 12.0760
	P.S		5 × ㉑ = 5 × 1.0725	= 5.3625
	集合郵便受		2 × ㊎ + ㊏ = 2 × 1.8810 + 1.2375	= 4.9995

8号棟

階	項目		計算根拠式	
5F	住戸専用部分		⑧ + 3 × ⑨ = 64.4486 + 3 × 66.0575	= 262.6211
	バルコニー部分	公住法	㊀ + 3 × ㊌ = 3.7050 + 3 × 3.2724	= 13.5222
		基準法	㊇ + 2 × ⑫ + ㊀ = 2.1600 + 2 × 5.1300 + 2.1600	= 14.5800
	ポーチ		⑬ + 3 × ⑬ = 10.8717 + 3 × 10.8717	= 43.4868
	P.S		4 × ㉔ = 4 × 0.2475	= 0.9900
	階段		2 × ⑨ = 2 × 9.7632	= 19.5264
4F	住戸専用部分		⑥ + 3 × ⑦ = 64.5160 + 3 × 66.1249	= 262.8907
	バルコニー部分	公住法	⑪ + 2 × ⑫ + ① = 5.0900 + 2 × 4.6265 + 4.6573	= 19.0003
		基準法	㊉ + 2 × ㊇ + ㊉ = 6.8160 + 2 × 9.7860 + 6.8160	= 33.2040
	ポーチ		⑪ + 3 × ⑪ = 2.4152 + 3 × 2.4152	= 9.6608
	P.S		㉔ + 3 × ㉔ = 1.2375 + 3 × 1.2375	= 4.9500
	階段		2 × ⓒ = 2 × 12.1104	= 24.2208
3F	住戸専用部分		④ + 2 × ⑩ + ⑤ = 64.6810 + 2 × 65.9730 + 66.2899	= 262.9169
	バルコニー部分	公住法	⑪ + 2 × ① + ① = 5.0900 + 2 × 4.6573 + 4.6573	= 19.0619
		基準法	㊉ + 2 × ㊇ + ㊉ = 6.8160 + 2 × 9.7860 + 6.8160	= 33.2040
	ポーチ		⑪ + 2 × ⑫ + ⑪ = 2.4152 + 2 × 2.4846 + 2.4152	= 9.7096
	P.S		㉑ + 2 × ㉓ + ㉑ = 1.0725 + 2 × 1.3200 + 1.0725	= 4.7850
	階段＋廊下		2 × ⓑ + ⓚ = 2 × 8.7984 + 60.5145	= 78.1113
2F	住戸専用部分		⑥ + 3 × ⑦ = 64.5160 + 3 × 66.1249	= 262.8907
	バルコニー部分	公住法	⑪ + 2 × ⑫ + ① = 5.0900 + 2 × 4.6265 + 4.6573	= 19.0003
		基準法	㊉ + 2 × ㊇ + ㊉ = 6.8160 + 2 × 9.7860 + 6.8160	= 33.2040
	ポーチ		⑪ + 3 × ⑪ = 2.4152 + 3 × 2.4152	= 9.6608
	P.S		㉔ + 3 × ㉔ = 1.2375 + 3 × 1.2375	= 4.9500
	階段		2 × ⓐ = 2 × 9.5184	= 19.0368
1F	住戸専用部分		④ + 3 × ⑤ = 64.6810 + 3 × 66.2899	= 263.5507
	バルコニー部分	公住法	⑪ + 3 × ① = 5.0900 + 3 × 4.6573	= 19.0619
		基準法	㊉ + ㊉ + 2 × ㊇ = 6.8160 + 6.8160 + 2 × 9.7860	= 33.2040
	ポーチ		⑪ + 3 × ⑪ = 2.4152 + 3 × 2.4152	= 9.6608
	P.S		㉑ + 3 × ㉑ = 1.0725 + 3 × 1.0725	= 4.2900
	集合郵便受		2 × ㊏ = 2 × 1.8810	= 3.7620

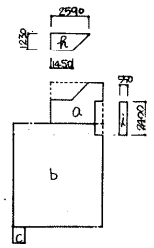
7号棟 住戸タイプ別.共用部分面積

350.3206 / 25 = 14.012824

8号棟 住戸タイプ別.共用部分面積

246.8911 / 20 = 12.344555

2DK - F



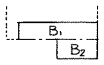
a. = 10.8864
b. = 47.0448
c. = 0.9600
R. = 1.23 × (2.59 + 1.45) × ½ = 2.4846
i. = 240 × 0.55 = 1.3200

住戸専用面積
(a+b+c)−(R+i) = 55.0866 ⑬

ポーチ部分面積
R. = 2.4846 ⑫

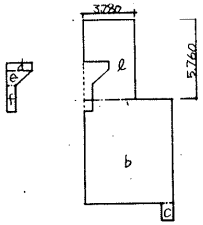
P.S部分面積
i = 1.3200 ㉓

バルコニー部分面積
公住法床面積
(B1+B2+B3)×⅓ = 4.6573 ①
基準法床面積
B1 + B3 = 9.7860 Ⓐ



B1 = 6.8160
B2 = 4.1860
B3 = 2.9700

3DK - B'



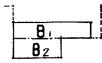
b. = 47.0448
c. = 0.9600
d. = 1.1895
e. = 1.2257
f. = 1.0725
ℓ. = 5.76 × 3.78 = 21.7728

住戸専用面積
(b+c+ℓ)−(d+e+f) = 66.2899 ⑤

ポーチ部分面積
d + e = 2.4152 ⑪

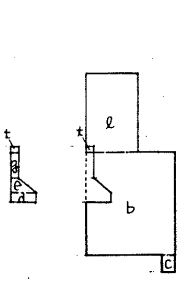
P.S部分面積
f = 1.0725 ㉑

バルコニー部分面積
公住法床面積
(B1+B2+B3)×⅓ = 4.6573 ①
基準法床面積
B1 = 6.8160 Ⓗ
B1 + B3 = 9.7860 Ⓐ



B1 = 6.8160
B2 = 4.1860
B3 = 2.9700

3DK - D'



B1 = 6.8160
B2 = 4.1860
B3 = 2.9700
B4 = 4.0936

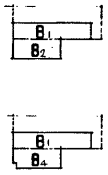
b = 47.0448
c = 0.9600
d = 1.1895
e = 1.2257
g = 0.9900
ℓ = 21.7728
t = 0.2475

住戸専用面積
(b+c+ℓ)−(d+e+g+t) = 66.1249 ⑦

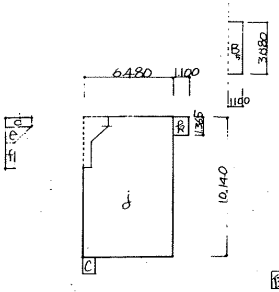
ポーチ部分面積
d + e = 2.4152 ⑪

P.S部分面積
g + t = 1.2375 ㉔

バルコニー部分面積
公住法床面積
(B1+B2+B3)×⅓ = 4.6573 ①
(B1+B3+B4)×⅓ = 4.6265 ⑰
基準法床面積
B1 = 6.8160 Ⓗ
B1 + B3 = 9.7860 Ⓐ



3DK - A'



c. = 0.9600
d. = 1.1895
e. = 1.2257
f. = 1.0725
j. = 10.14 × 6.48 = 65.7072
R. = 1.365 × 1.10 = 1.5015

住戸専用面積
(c+j+R)−(d+e+f) = 64.6810 ④

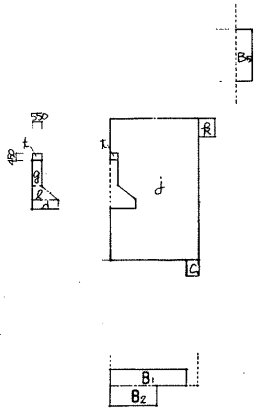
ポーチ部分面積
d + e = 2.4152 ⑪

P.S部分面積
f = 1.0725 ㉑

バルコニー部分面積
公住法床面積
(B1+B2+B5)×⅓ = 5.0900 Ⓚ
基準法床面積
B1 = 6.8160 Ⓗ

B1 = 6.8160
B2 = 4.1860
B5 = 3.88 × 1.10 = 4.2680

3DK - C'



c. = 0.9600
d. = 1.1895
e. = 1.2257
g. = 0.9900
j. = 65.7072
R = 1.5015
t = 0.045 × 0.55 = 0.2475

住戸専用面積
(c+j+R) − (d+e+g+t) = 64.5160 ⑥

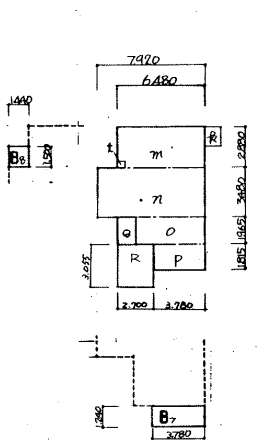
ポーチ部分面積
d + e = 2.4152 ⑪

P.S部分面積
g + t = 1.2375 ㉔

バルコニー部分面積
公住法床面積
(B1 + B2 + B5)× ⅓ = 5.0900 Ⓚ
基準法床面積
B1 = 6.8160 Ⓗ

B1 = 6.8160
B2 = 4.1860
B5 = 4.2680

3DK - E'



R = 1.5015
m = 2.80 × 6.48 = 18.6624
n = 3.48 × 7.92 = 27.5616
o = 1.965 × 5.145 = 10.1099
p = 1.815 × 3.78 = 6.8607
Q = 1.965 × 1.335 = 2.6232
t = 0.2475
R = 3.055 × 2.700 = 8.2485

住戸専用面積
R + m + n + o + P − t = 64.4486 ⑧

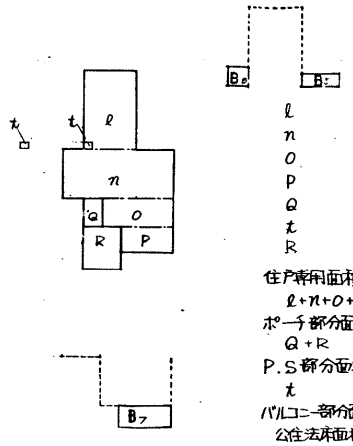
ポーチ部分面積
Q + R = 10.8717 ⑬

P.S部分面積
t = 0.2475 ㉕

バルコニー部分面積
公住法床面積
(B5 + B7 + B8)×⅓ = 3.7050 ㊀
基準法床面積
B8 = 2.1600 ㊃

B5 = 4.2680
B7 = 1.24 × 3.780 = 4.6872
B8 = 1.50 × 1.44 = 2.1600

3DK-F



ℓ	= 21.7728
n	= 27.5616
O	= 10.1099
P	= 6.8607
Q	= 2.6232
t	= 0.2475
R	= 8.2485

住戸専用面積
ℓ+n+O+P−t = 66.0575 ----⑨

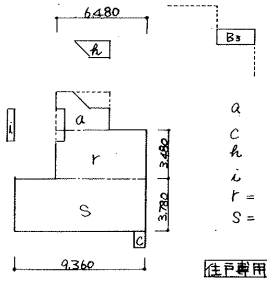
ポーチ部分面積
Q+R = 10.8717 ----13

P.S部分面積
t = 0.2475 ----23

バルコニー部分面積
公住法床面積
(B3 +B7+B8)×1/3 = 3.2724 ----㋓
(B3 +B7)×1/3 = 2.5524 ----㋑
基準法床面積
B3 = 2.9700 ----①
B8 = 2.1600 ----㋐
B3 + B8 = 5.1300 ----②

B3	= 2.9700
B7	= 4.6872
B8	= 2.1600

3DK-J



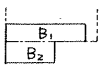
a	= 10.8864
c	= 0.9600
h	= 2.4846
i	= 1.3200
r = 3.48 × 6.48	= 22.5504
S = 3.78 × 9.36	= 35.3808

住戸専用面積
(a+c+r+S)−(h+i) = 65.9730 ----⑩

ポーチ部分面積
h = 2.4846 ----12

P.S部分面積
i = 1.3200 ----23

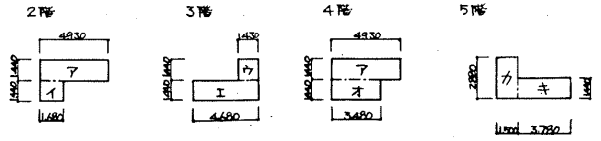
バルコニー部分面積
公住法床面積
(B1 + B2 + B3)×1/3 = 4.6573 ----㋒
基準法床面積
B1 + B3 = 9.7860 ----Ⓐ



B1	= 6.8160
B2	= 4.1860
B3	= 2.9700

階段部分

〈中階段〉



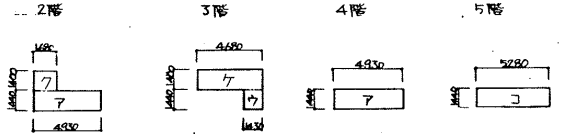
ア = 4.93 × 1.44 = 7.0992
イ = 1.68 × 1.44 = 2.4192
ア+イ = 7.0992+2.4192 = 9.5184 ----ⓓ

ウ = 1.43 × 1.44 = 2.0592
エ = 4.68 × 1.44 = 6.7392
ウ+エ = 2.0592+6.7392 = 8.7984 ----ⓑ

ア = 7.0992
オ = 3.48 × 1.44 = 5.0112
ア+オ = 7.0992+5.0112 = 12.1104 ----ⓒ

カ = 1.50 × 2.88 = 4.3200
キ = 3.78 × 1.44 = 5.4432
カ+キ = 4.3200 +5.4432 = 9.7632 ----ⓐ

〈妻階段〉(6号棟のみ)



ア = 7.0992
ク = 1.68 × 1.40 = 2.3520
ア+ク = 7.0992+2.3520 = 9.4512 ----ⓔ

ウ = 2.0592
ケ = 4.68 × 1.40 = 6.5520
ウ+ケ = 2.0592+6.5520 = 8.6112 ----ⓕ

ア = 7.0992 ⓓ

コ = 5.28 × 1.44 = 7.6032
コ = 7.6032 ----Ⓐ

集合郵便受

〈中階段部〉



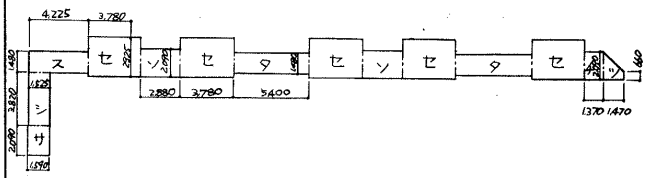
又 = 1.90 × 0.99 = 1.8810 ----㋕

〈妻階段部〉



又 = 1.25 × 0.99 = 1.2375 ----ⓘ

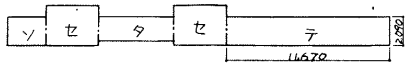
7号棟3階廊下部分 + ブリッジ部分



サ	2.090 × 1.590 = 3.3231
シ	3.820 × 1.525 = 5.8255
ス	1.480 × 4.225 = 6.2530
セ	2.925 × 3.780 = 11.0565
ソ	2.090 × 2.880 = 6.0192
タ	1.480 × 5.400 = 7.9920
チ	2.090 × 1.370 = 2.8633
ツ	(2.090 + 660) × 1.470 × 1/2 = 2.0212

サ+シ+ス+5×セ+2×ソ+2×タ+チ+ツ
= 3.3231 + 5.8255 + 6.2530 + 5×11.0565 + 2×6.0192 + 2×7.9920 + 2.8633 + 2.0212
= 103.5910 ------ ㋖

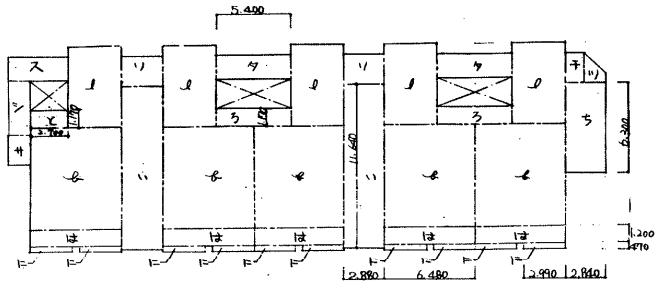
8号棟3階廊下部分



セ	= 11.0565
ソ	= 6.0192
タ	= 7.9920
テ	= 2.090 × 11.670 = 24.3903

2×セ+ソ+タ+テ
= 2×11.0565 + 6.0192 + 7.9920 + 24.3903
= 60.5145 ------ Ⓚ

7号棟 建築面積算定表



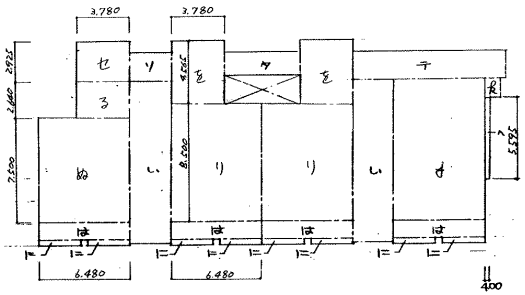
ヘ				= 47.0448
ホ				= 21.7728
ト				= 3.3231
チ				= 5.8255
リ				= 6.2530
ヌ				= 6.0192
ル				= 7.9920
ヲ				= 2.8633
ワ				= 2.0212
い	= 11.640	×	2.880	= 33.5232
ろ	= 1.170	×	5.400	= 6.3180
は	= 1.200	×	6.480	= 7.7760
に	= 0.470	×	2.990	= 1.4053
ヒ	= 1.170	×	2.700	= 3.1590
ち	= 6.300	×	7.840	= 17.8920

K_7 = ヘホ+ホト+トチ+チリ+リヌ+ヌル+ルヲ+ヲワ+ワい+ろは+はに+にヒ+ヒち

= 5(47.0448)+5(21.7728)+3.3231+5.8255+6.2530+2(6.0192)+2(7.9920)+2.8633
+2.0212+2(33.5232)+2(6.3180)+5(7.7760)+10(1.4053)+3.1590+17.8920

= 546.0629

8号棟 建築面積算定表



よ				= 65.7072
ゑ				= 1.5015
セ				= 11.0565
リ				= 6.0192
タ				= 7.9920
テ				= 24.3903
い				= 33.5232
は				= 7.7760
に				= 1.4053
ヘ	5.595	×	0.400	= 2.2380
り	8.500	×	6.480	= 55.0800
ぬ	7.500	×	6.480	= 48.6000
る	2.640	×	3.780	= 9.9792
を	4.585	×	3.780	= 17.2557

8_K = よゑ+ゑセ+セリ+リタ+タテ+テい　+4はに+8に　+ヘヘ+2り+2ぬ+2る+2を

= 65.7072+1.5015+11.0565+6.0192+7.9920+24.3903+2(33.5232)+4(7.7760)
+8(1.4053)+2.2380+2(55.0800)+48.6000+9.9792+2(17.2557)

= 431.5481

7号棟	5F	3F'-2	3F'-2	3F'-2	3F'-2	3F'-2
	4F	3D'-2	3D'-2	3D'-2	3D'-2	3D'-2
	3F	2F-2	3J-2	3J-2	2F-2	2F-2
	2F	3D'-2	3D'-2	3D'-2	3D'-2	3D'-2
	1F	3B'-2	3B'-2	3B'-2	3B'-2	3B'-2
		階段Dの反転		階段Dの反転		階段Eの反転

8号棟	5F	3F'-1	3F'-1	3F'-1	3E'-1
	4F	3D'-1	3D'-1	3D'-1	3C'-1
	3F	3B'-1	3J-1	3J-1	3A'-1
	2F	3D'-1	3D'-1	3D'-1	3C'-1
	1F	3B'-1	3B'-1	3B'-1	3A'-1
		階段Dの反転		階段Dの反転	

棟番号	棟別	住戸タイプ	専有床面積	戸数	延床面積	備考 住戸専用部分	備考 バルコニー部分	計
7号棟	2棟	2F	73.7567	3	221.2701	55.0866	4.6573	59.7439
		3B'	84.9600	5	424.8000	66.2899	4.6573	70.9472
		3D'	84.7950	2	169.5900	66.1249	4.6573	70.7822
			84.7642	8	678.1136	66.1249	4.6265	70.7514
		3F'	83.3427	4	333.3708	66.0575	3.2724	69.3299
			82.6227	1	82.6227	66.0575	2.5524	68.6099
		3J	84.6431	2	169.2862	65.9730	4.6573	70.6303
合計				25	2,079.0534			

棟番号	棟別	住戸タイプ	専有床面積	戸数	延床面積	備考 住戸専用部分	備考 バルコニー部分	計
8号棟	1棟	3A'	82.1155	2	164.2310	64.6810	5.0900	69.7710
		3B'	83.2917	4	333.1668	66.2899	4.6573	70.9472
		3C'	81.9505	2	163.9010	64.5160	5.0900	69.6061
		3D'	83.1267	2	166.2534	66.1249	4.6573	70.7822
			83.0959	4	332.3836		4.6265	70.7514
		3E'	80.4981	1	80.4981	64.4486	3.7050	68.1536
		3F'	81.6744	3	245.0232	66.0575	3.2724	69.3299
		3J	82.9748	2	165.9496	65.9730	4.6573	70.6303
	小計							
合計				20	1,651.4067			

積層タイプ 凡例

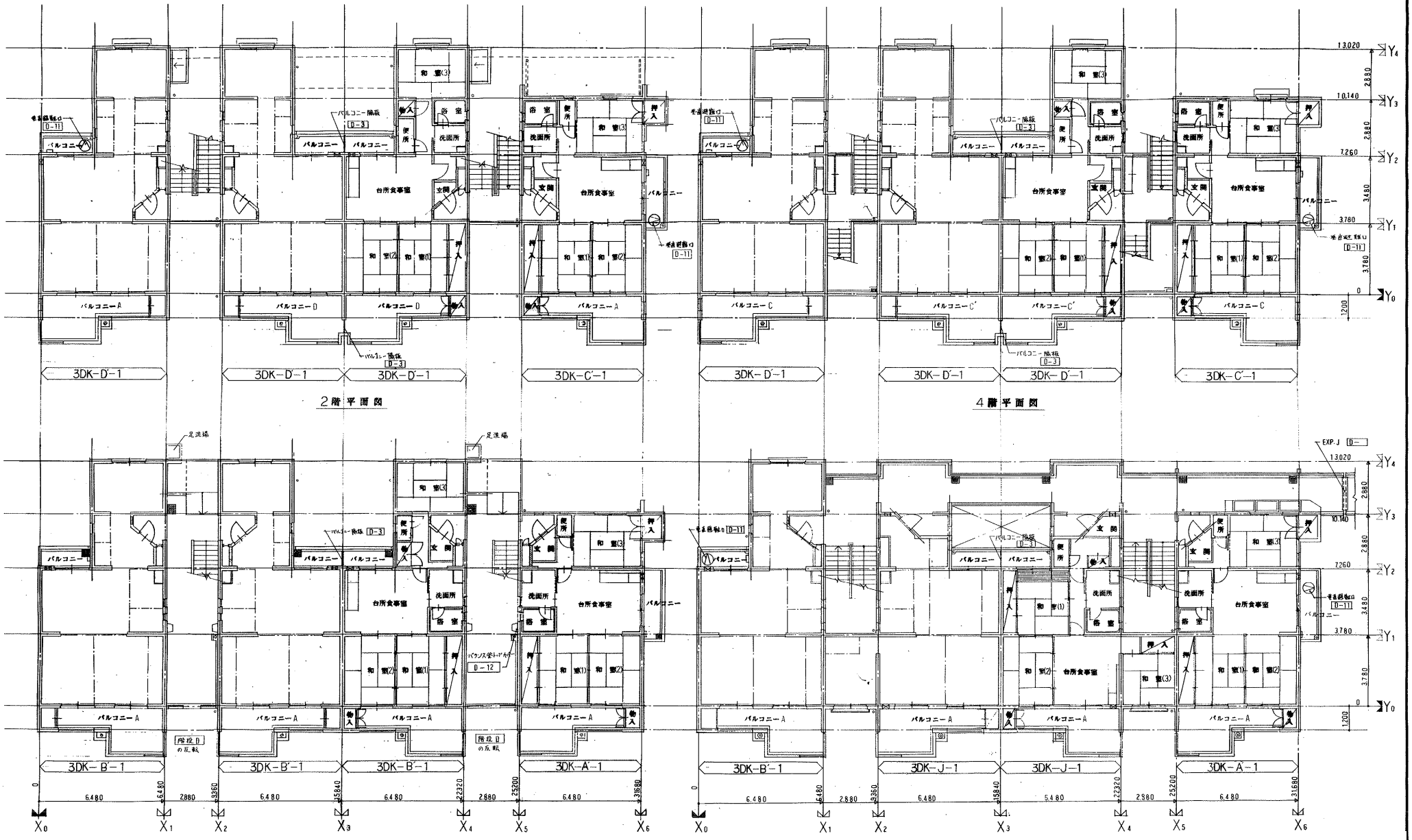
	㋐	㋑	㋒	㋓
5F	3F'	3F'	3E'	3F'
4F	3D'	3D'	3C'	3D'
3F	2F	3J	3A'	3B'
2F	3D'	3D'	3C'	3D'
1F	3B'	3B'	3A'	3B'

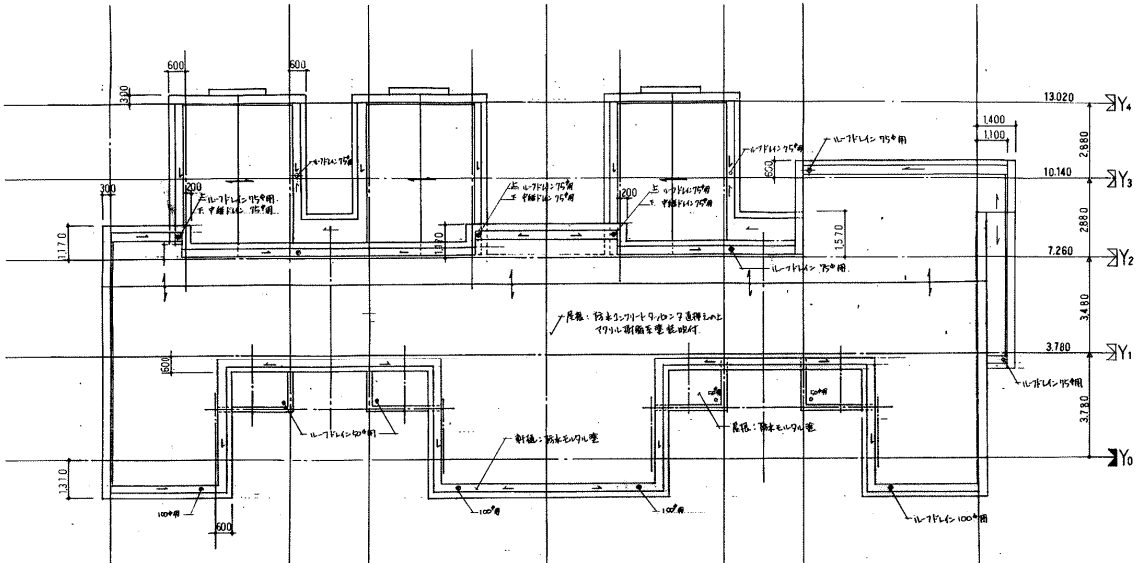
構造概要

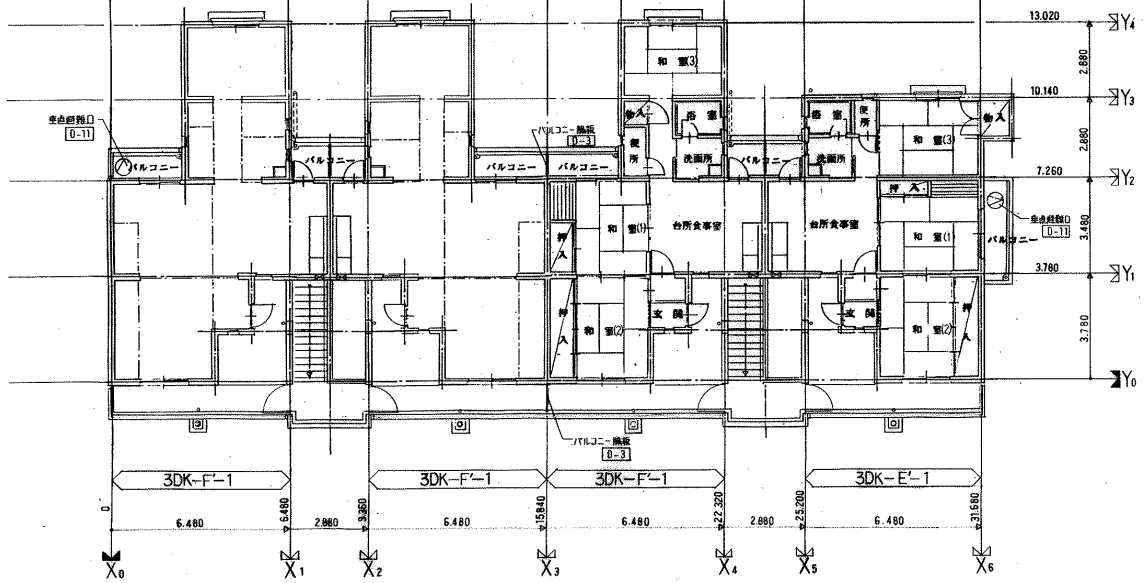
基礎	壁	床	屋根	備考
鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	

外部仕上表

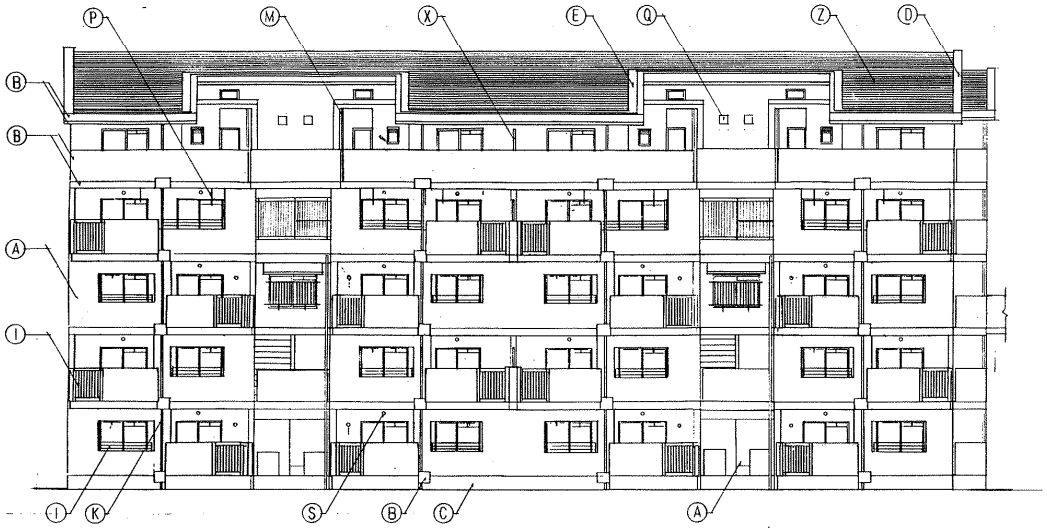
屋	壁	屋根	庇、雪手摺	建具、飾り柄	玄関ポーチ	階段室、3階廊下	バルコニー	テラス	備考
コンクリート打放し H=500	コンクリート打放しの上リシン吹付 一部コンクリート打放しの上GP	(アルミスパンドレス もの=1000ぐらい) 防水コンクリート勾配シート 上塗塗り アクリル樹脂系塗装 0吋付 基部立上り: 最上階:コンクリート打放しの上GP 二階:コンクリート造コテ押えの上GP 他: 腰に幅 住戸毛割目地. 屋根:防水モルタル造コテ押え 立:コンクリート打放しの上GP 三階:コンクリート打放しの上GP	大庇屋根:瓦庇 最上階:コンクリート打放しの上GP. 一部 石綿スレート板@4mの上GP 上面:コンクリート造コテ押えの上GP 雪手摺:アルミ製 BL 面格子:アルミ製 BL	窓:カラーUP 100㎜ 75㎜ 50㎜ 新築:防水モルタル塗 飾り柄 庇部:防水モルタル塗 下面:コンクリート打放しの上GP 小口:コンクリート打放し 手摺:コンクリート造コテ押えの上GP 上裏:コンクリート打放しの上GP ルーフドレイン:100㎜φ 75㎜φ 50㎜φ 雨樋ドレイン:100㎜φ, 75㎜φ エーブドレイン:50㎜φ	床: 土間:モルタル塗 一部 土間:防水モルタル塗 玄関ポーチ:土間より10吋下がり ただし下階が住戸内の場合は 室内防水の上、防水モルタル塗 巾木:床に準じ 壁:コンクリート打放しの上ビリヒン吹付 天井:コンクリート打放しの上GP ただし上階が住戸内の場合は 石綿板@3(屋内断熱材@25)GP.	床:防水モルタル塗 壁:洋間は腰壁:コンクリート打放しの上GP 一部ビリヒン吹付. 腰壁:コンクリート打放しの上GP 袖壁:コンクリート打放しの上ビリヒン吹付 天井:コンクリート打放しの上GP 笠木:石綿板@3(屋内断熱材@25)GP 手摺:鉄鋼:コンクリート造コテ押えの上GP. 木製:ラワン集成材 t=40 W=80 アルミ製:アルミ製 BL 3階廊下:床:コンクリート造コテ押え. 手摺:鉄鋼:コンクリート造コテ押えの上GP. 木製:ラワン集成材 t=40 W=80	床:コンクリート造コテ押え 巾木:コンクリート打放し 天井:防水モルタル塗 手摺壁:コンクリート打放しの上GP. 手摺天端:コンクリート造コテ押えの上GP 手摺笠木:アルミ製 BL 袖壁:コンクリート打放しの上ビリヒン吹付 物干金物 壁面埋込 D 1階 住戸および隣りバルコニー:境界柵 格子高400付	床:コンクリート造コテ押え 一部:洗濯用防水層(断熱化粧) 巾木:コンクリート打放し 手摺壁:コンクリート打放しの上GP. 手摺笠木:コンクリート造コテ押えの上GP 手摺:アルミ製 BL 天井:コンクリート打放しの上GP 物干金物(壁付アルミ製)	笠木:亜鉛メッキ鋼板 幅400 ピット:亜鉛メッキ鋼板
巾木:亜鉛メッキ鋼板 幅150
ふさぎ板:亜鉛メッキ鋼板 幅150
庇雨樋:亜鉛メッキ鋼板 幅400
庇樋吊金物:亜鉛メッキ鋼板 幅400
庇樋竪樋:亜鉛メッキ鋼板 幅100
庇樋集水器:亜鉛メッキ鋼板 幅400
庇樋竪樋:亜鉛メッキ鋼板 幅100
庇樋竪樋:亜鉛メッキ鋼板 幅100
庇樋竪樋:亜鉛メッキ鋼板 幅100


2階平面図
4階平面図
1階平面図
3階平面図
3DK-D'-1
3DK-C'-1
3DK-B'-1
3DK-A'-1
3DK-J-1
3DK-C-1
3DK-B-1
3DK-A-1
台所食事室
和室(1)
和室(2)
和室(3)
バルコニー
バルコニー A
バルコニー C
バルコニー C'
バルコニー D
バルコニー A'
バルコニー 隔板 D-3
D-11
D-12
EXP.J D—
足洗場
階段Dの反転
13020
10140
7260
3780
0
2880
3480
1200
6480
2880
3360
5840
2320
2880
5200
3150
X0
X1
X2
X3
X4
X5
X6
Y0
Y1
Y2
Y3
Y4

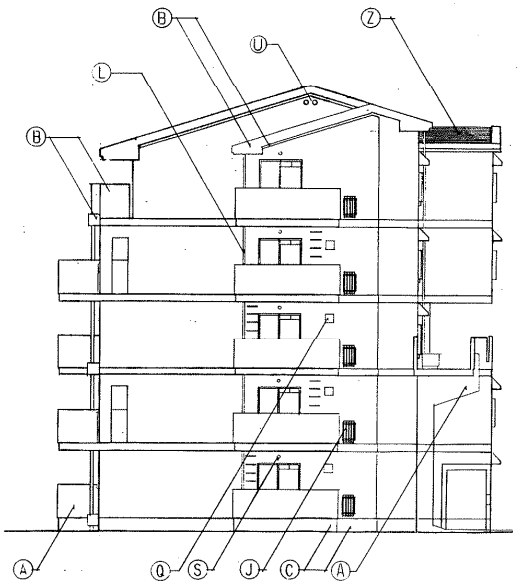

屋根伏図


3DK-F'-1
3DK-F'-1
3DK-F'-1
3DK-E'-1
台所食事室
和室(1)
和室(2)
和室(3)
浴室
洗面所
便所
玄関
バルコニー
13.020
10.140
7.260
3.780
0
2.880
3.480
3.780
6.480
2.880
3.360
15.840
22.320
35.280
31.680

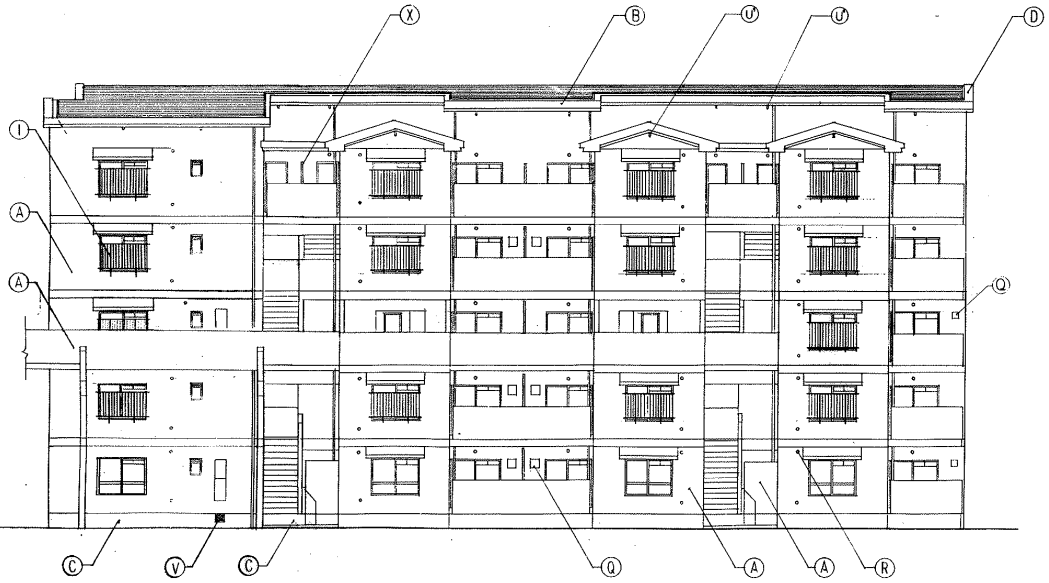
5階 平面図



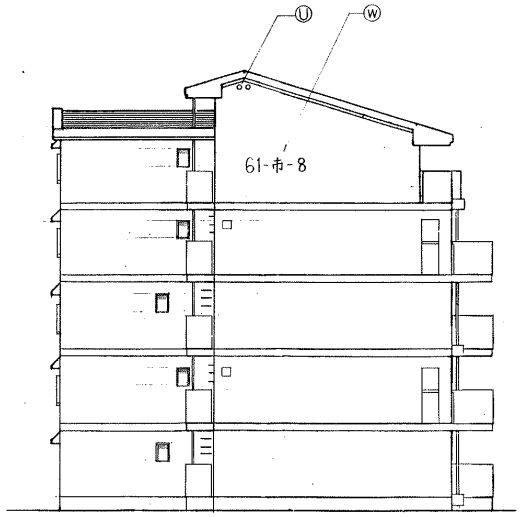
南立面図



東立面図

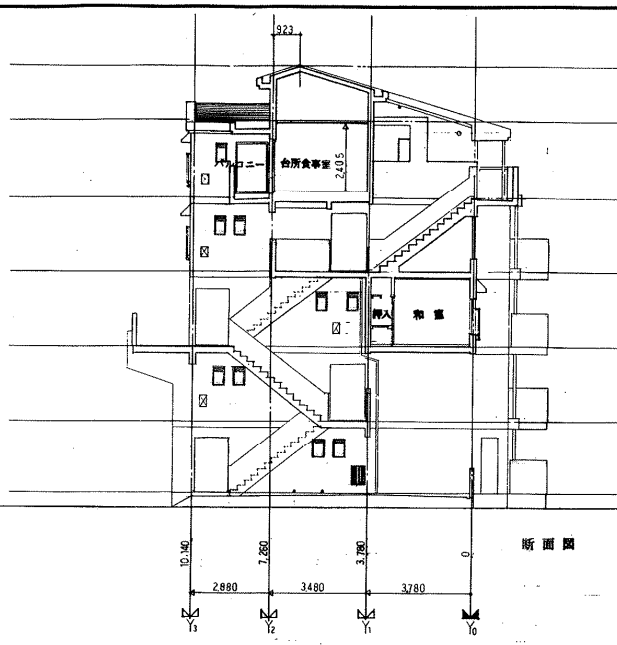


北立面図

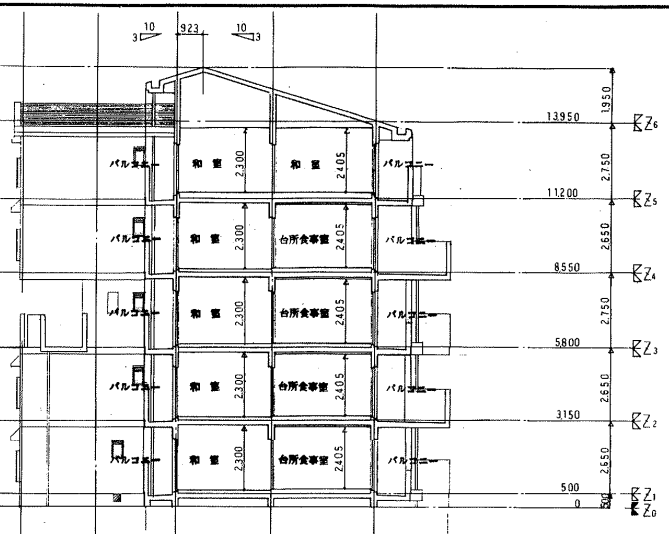


西立面図

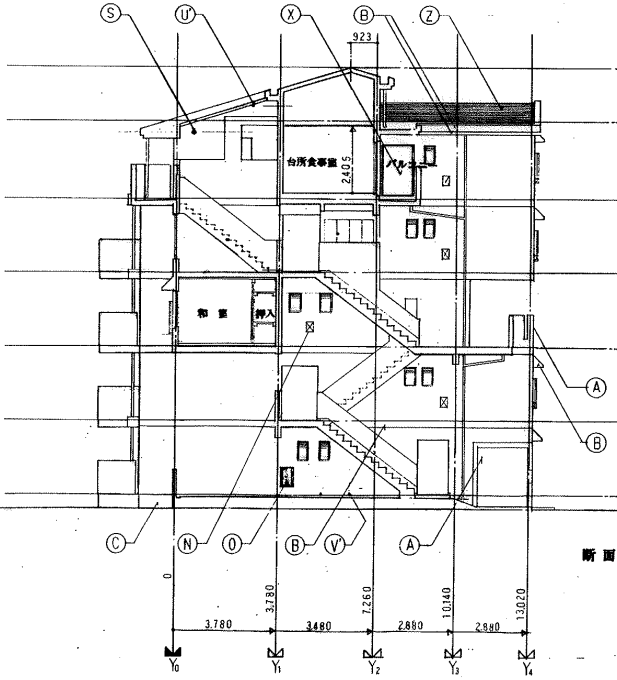
記号	仕上	
(A)	コンクリート打放しのE.リシン吹付	
(B)	コンクリート打放しのE.G.P.	
(C)	コンクリート打放し	
(D)	コンクリート打放しのE.G.P.	
(E)	防水モルタル	
(F)	打継目地	D-4
(G)	化粧目地	D-4
(I)	アルミ製手摺	D-5 D-20
(J)	アルミ製面格子	D-25
(K)	雨樋 VP 100φ (カラー)	
(L)	雨樋 VP 75φ (カラー)	
(M)	雨樋 VP 50φ (カラー)	
(N)	バランス管トップ	
(O)	バランス管トップカバー(ステンレス製)	D-12
(P)	物干金物	E-301-1
(Q)	換気扇 PC枠 300×300	E-343
(R)	設備用スリーブ 100φ	
(S)	丸型レジスター 100φ	
(U)	天井換気孔 100φ	
(V)	床下換気孔	D-15
(W)	建番号 61-市-8	D-26
(X)	バルコニー鉄筋	D-3
(Z)	防水コンクリートタンピング仕上げとアクリル樹脂系塗装吹付	
(U')	天井換気パイプ 60φ	E-335
(V')	床下換気パイプ 60φ	E-335



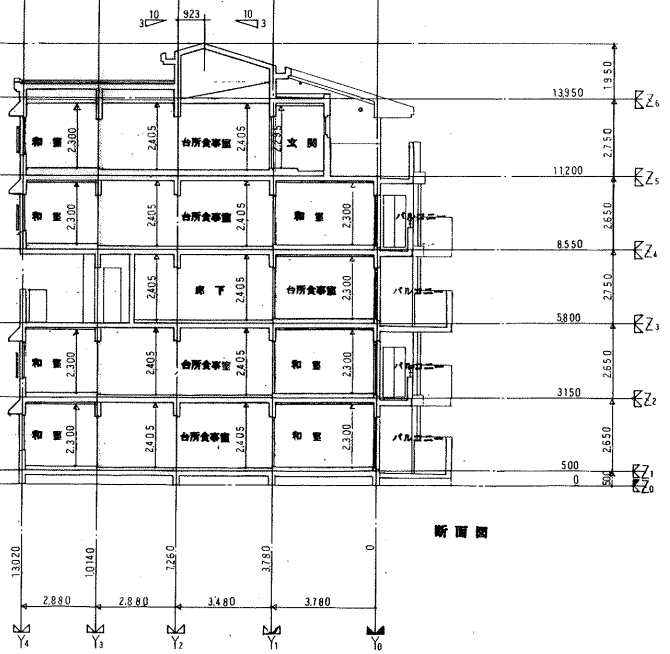
断面図



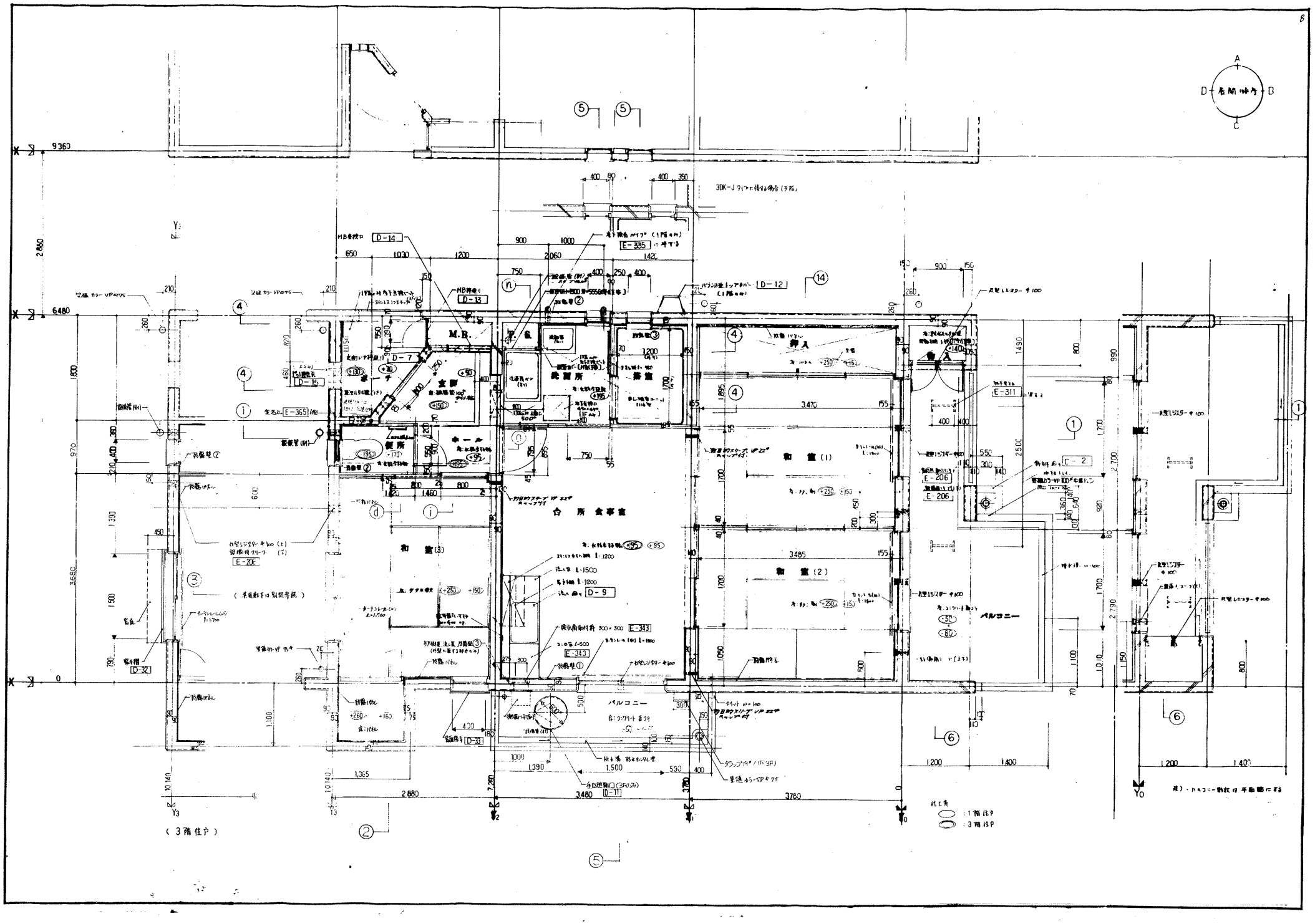
断面図

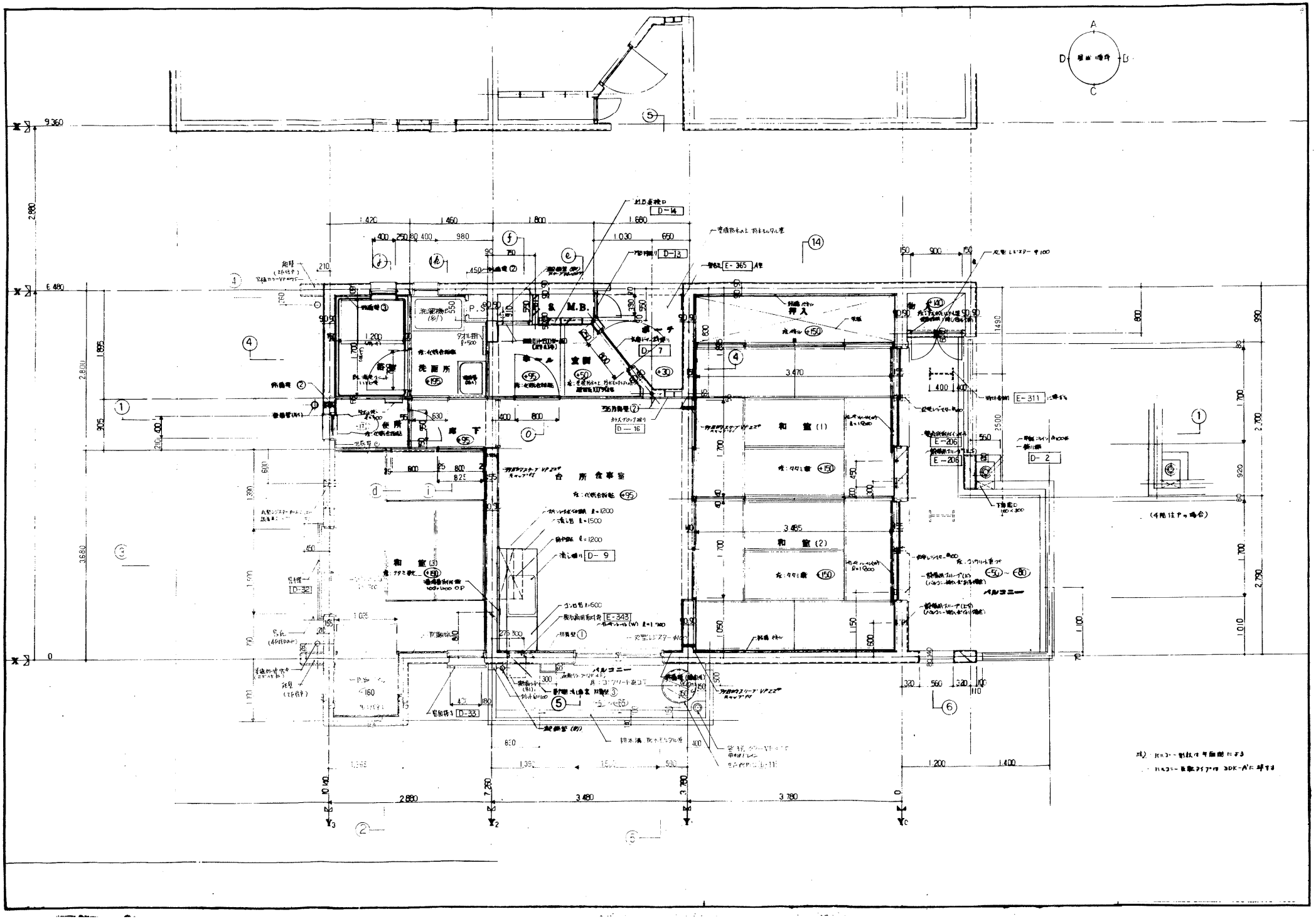


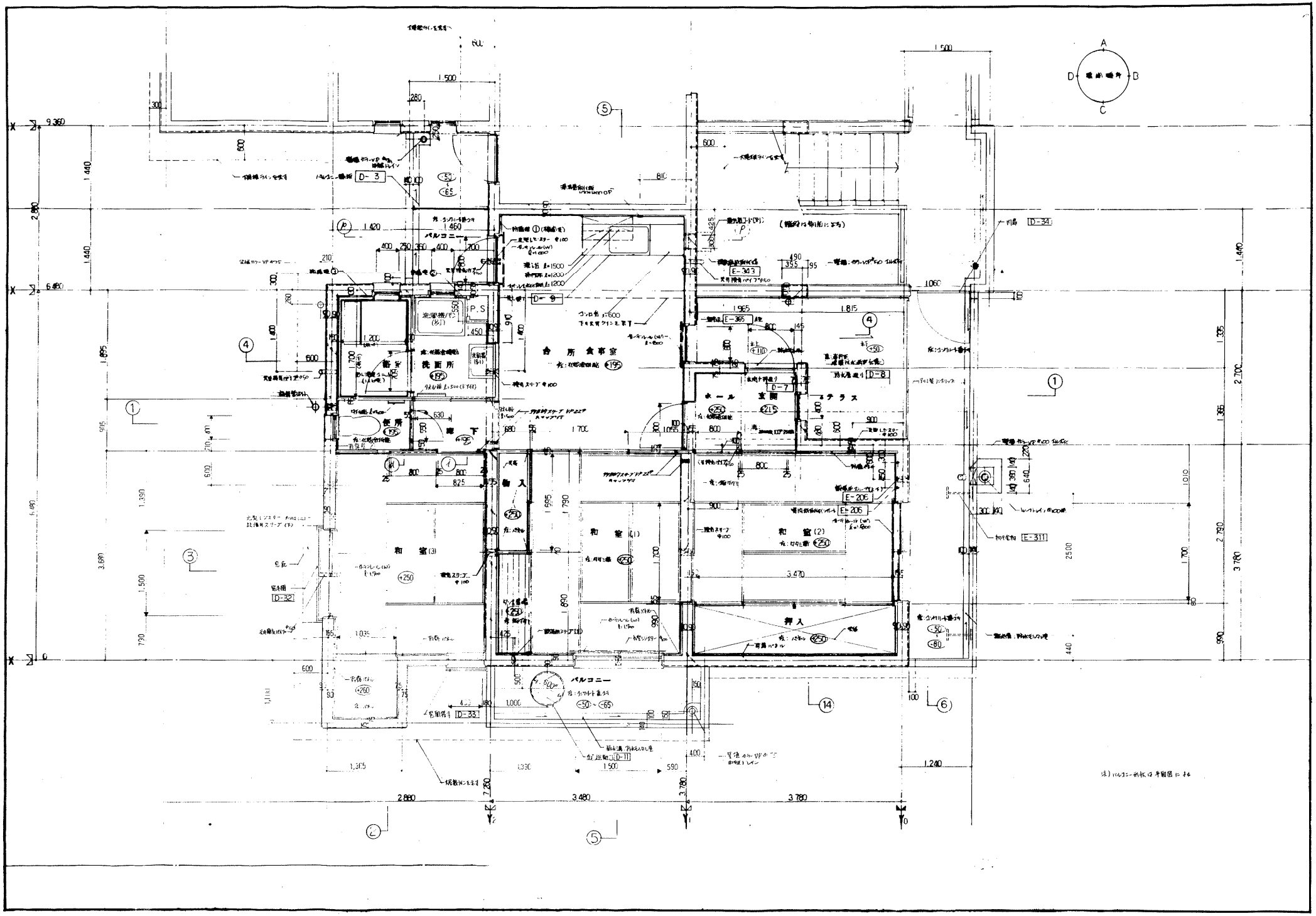
断面図



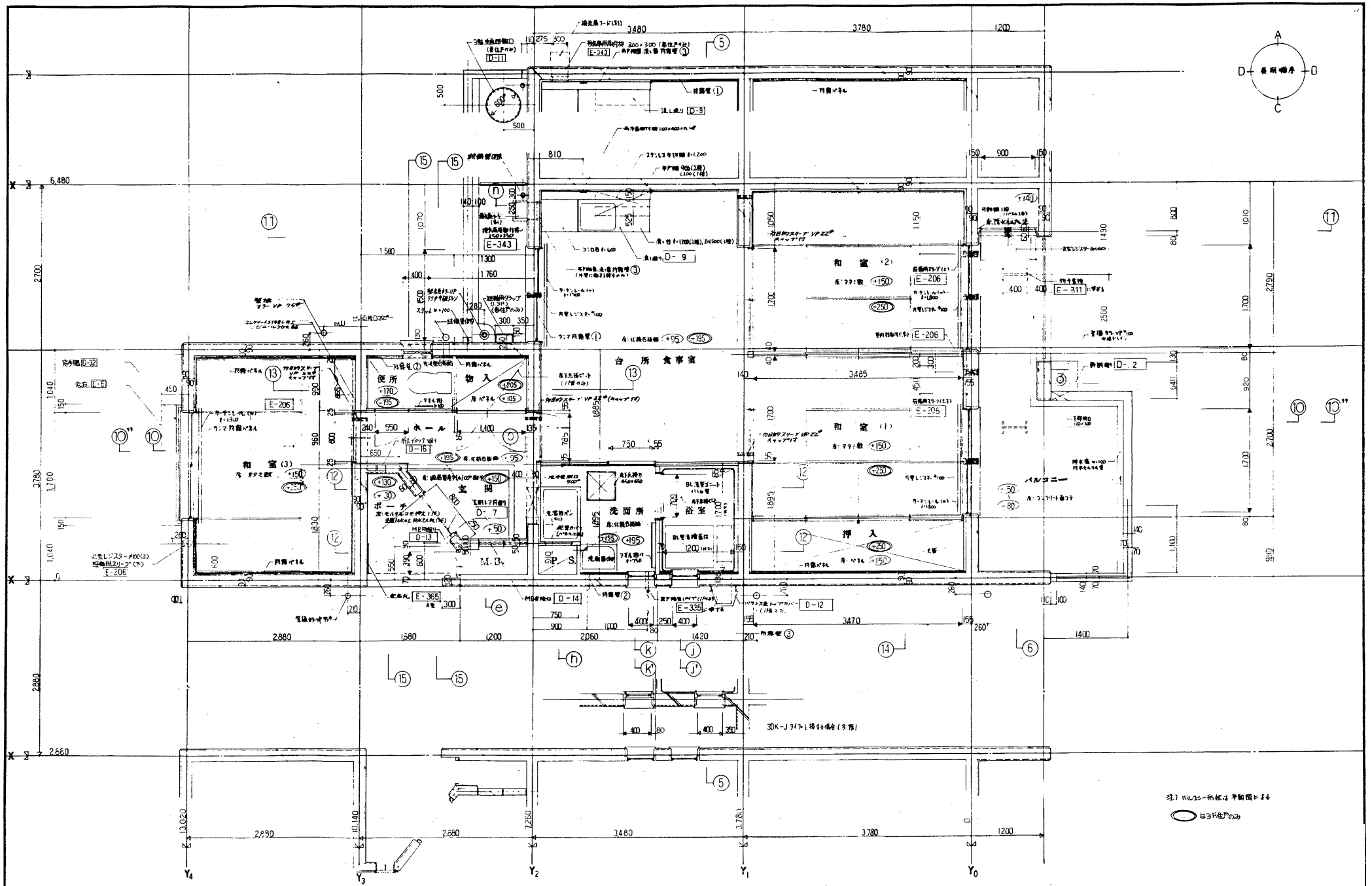
断面図

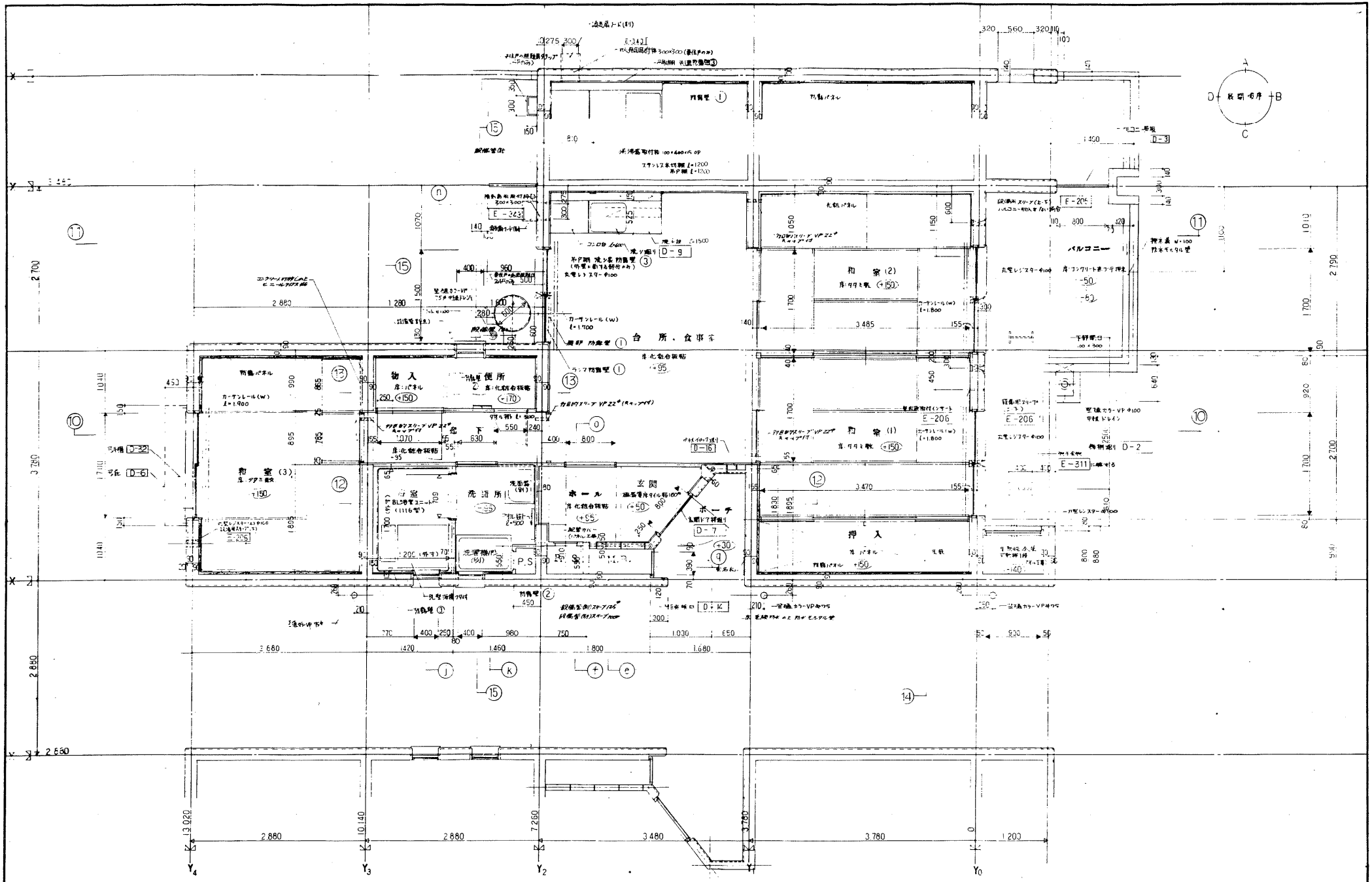

M.B.
玄関
便所
合所食事室
和室(3)
和室(1)
和室(2)
押入
バルコニー
(3階住戸)

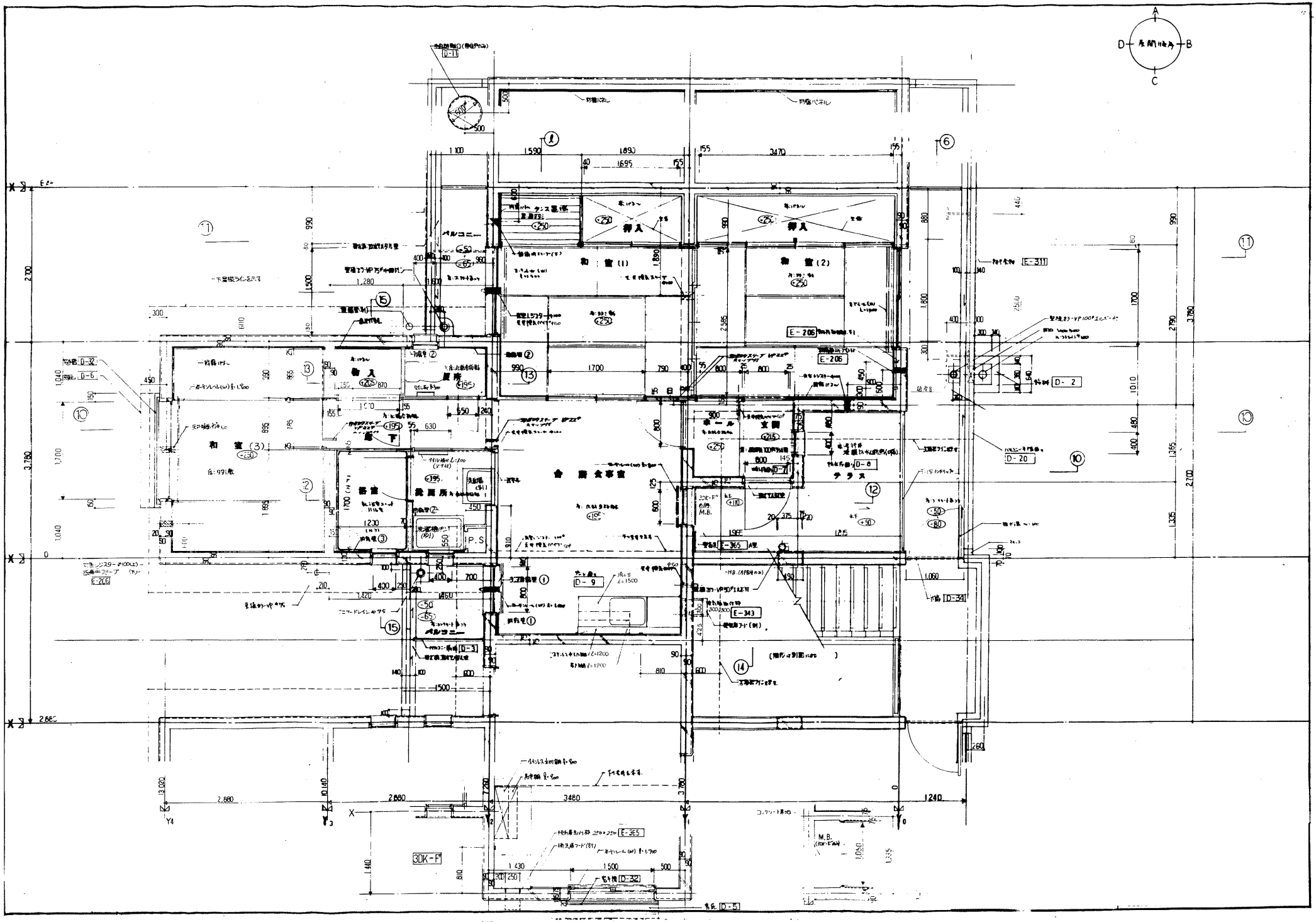

台所食事室
和室(1)
和室(2)
和室(3)
洗面所
浴室
洗濯機
収納
押入
バルコニー
(4階はアゥ場合)

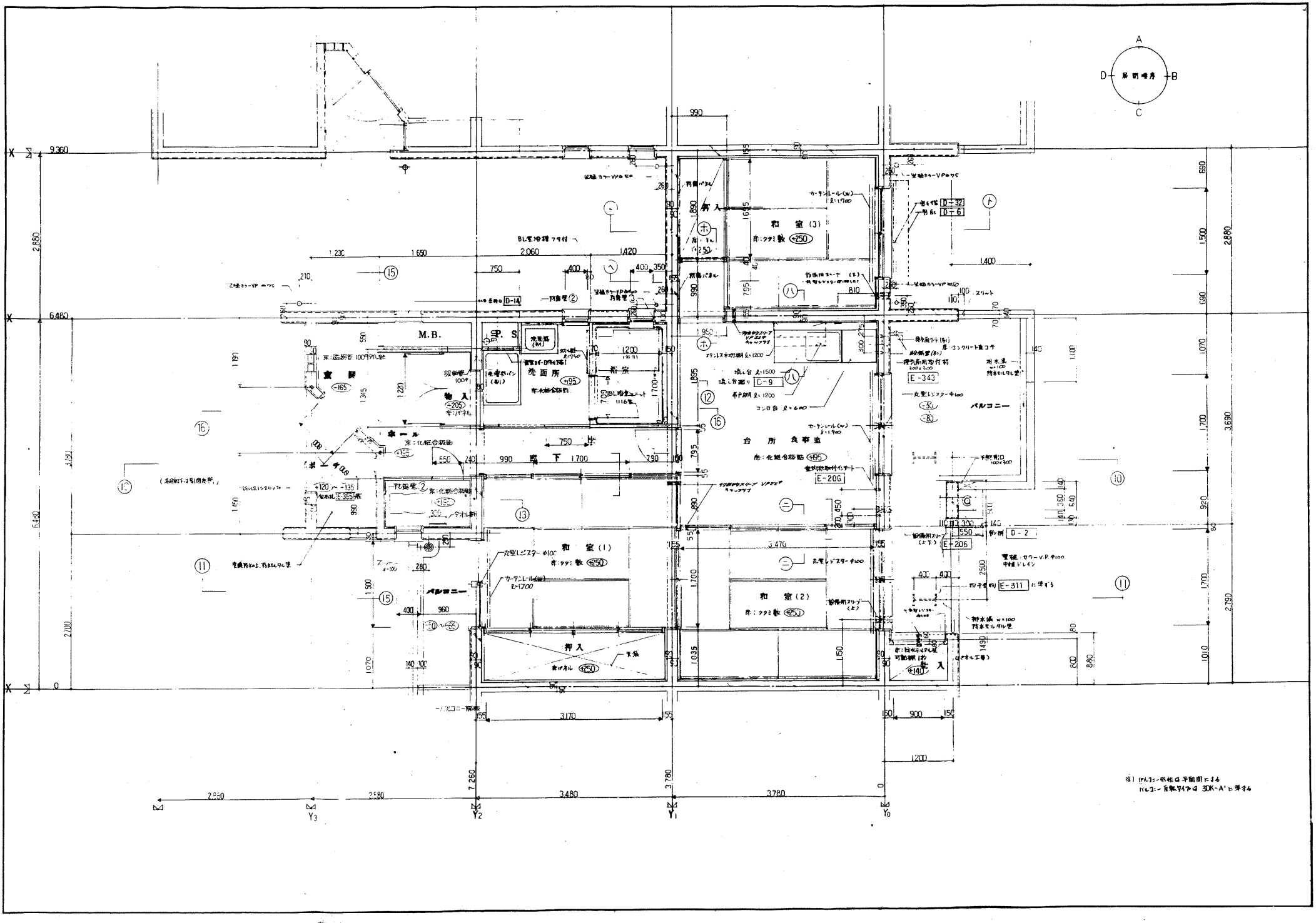


注）バルコニー防水は平面図による

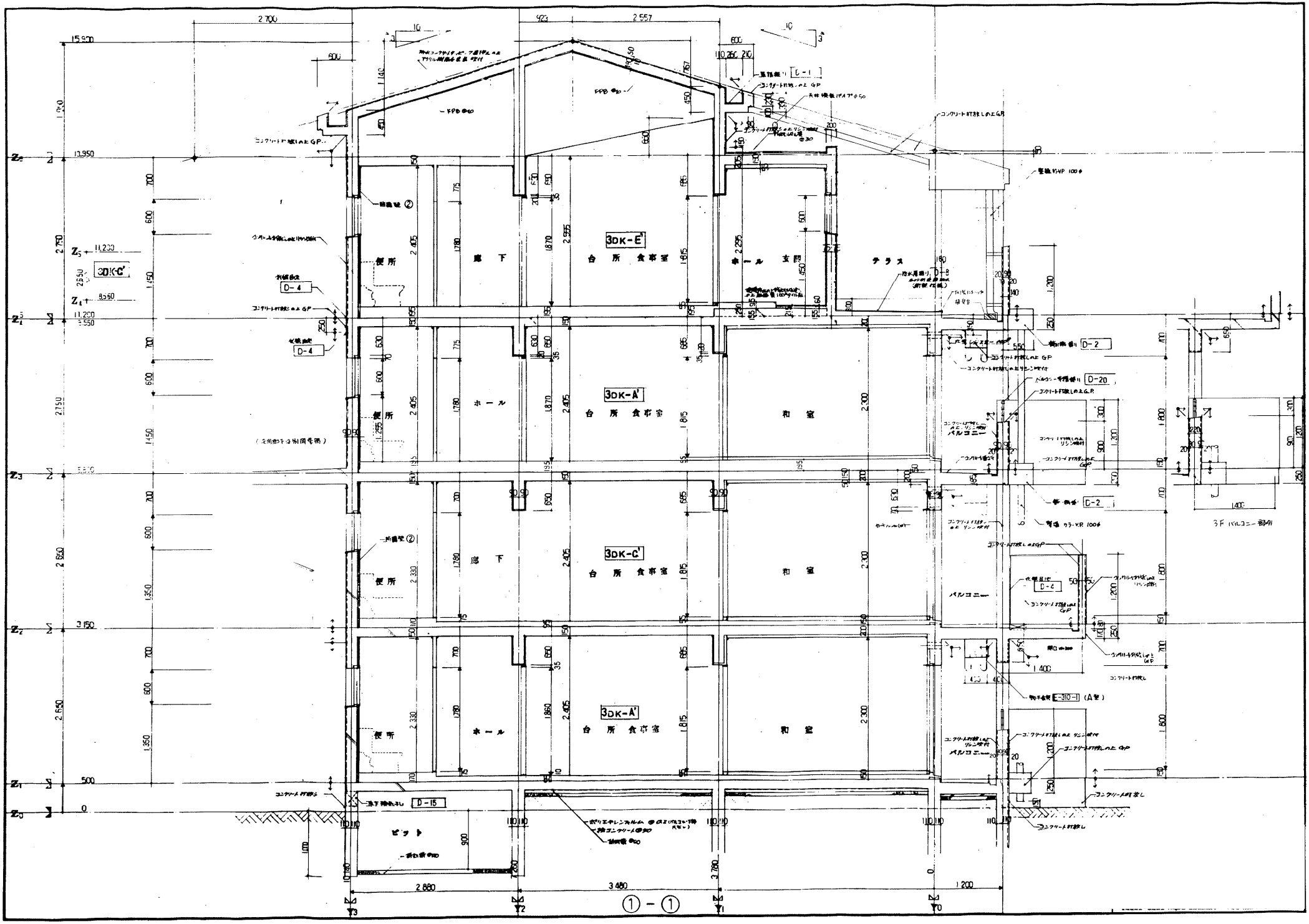

和室(3)
和室(2)
和室(1)
台所
食事室
便所
物入
ホール
玄関
シューズ
洗面所
浴室
押入
バルコニー
M.B.
P.S.
D-32
E-5
E-206
D-16
D-7
D-13
E-365
D-14
E-335
D-12
E-343
D-11
D-9
D-2
E-311
6,480
2,700
2,790
2,880
2,660
3,480
3,780
1,200
2,880
1,580
1,200
2,060
1,420
3,470
1,400
2,890
10,140
2,660
7,260
3,485
3,780
1,200
Y4
Y3
Y2
Y1
Y0
3DK-J タイプL 特1号 横倒 (3階)
注) バルコニー納まりは平面図による
は3戸住戸のみ

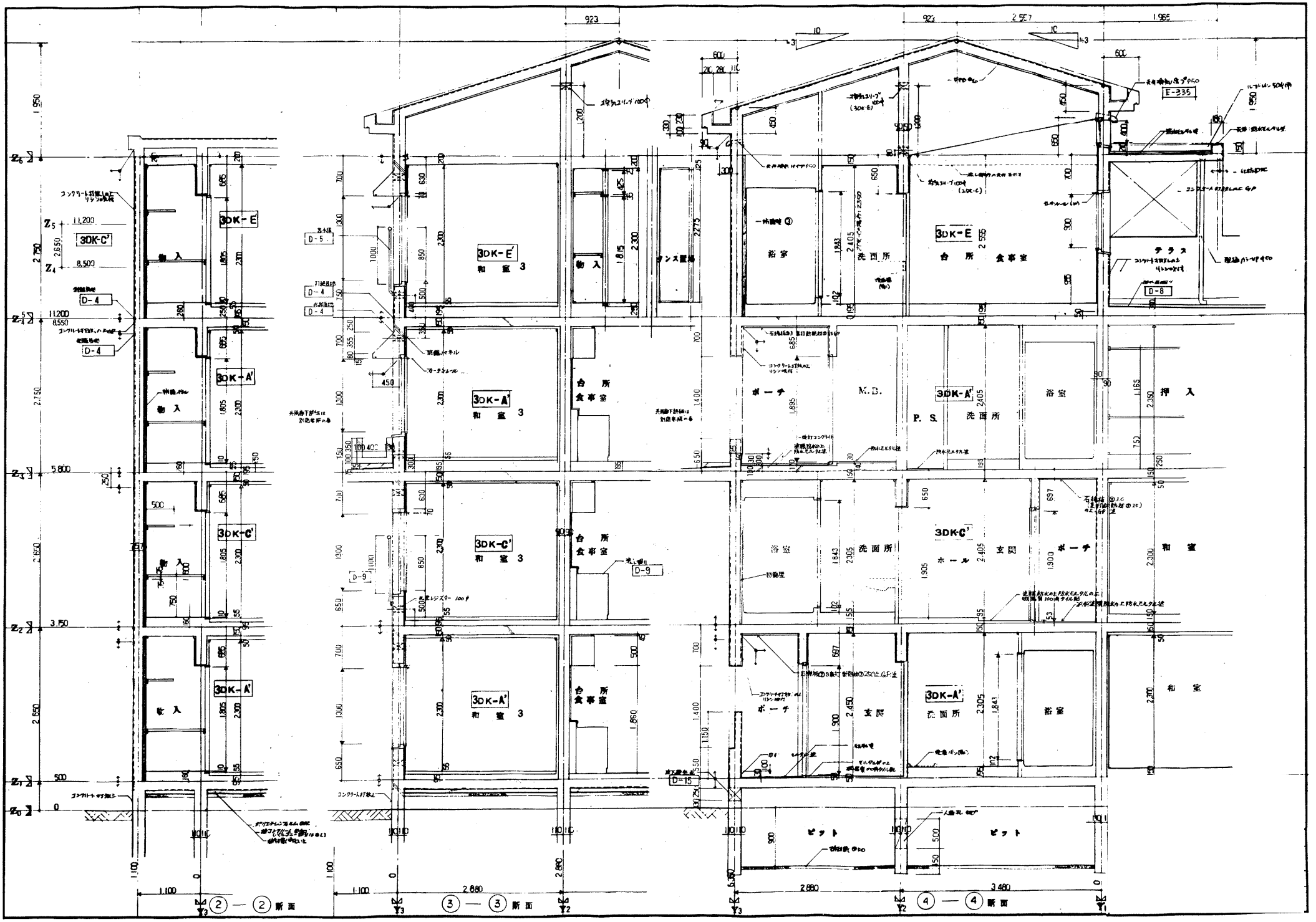

和室(3)
和室(2)
和室(1)
物入
便所
洗面所
浴室
ホール
玄関
ポーチ
台所、食事室
押入
バルコニー
D-32
D-61
D-9
D-16
D-7
D-3
D-2
E-206
E-311
E-323
E-343
2,880
1,280
3,485
3,470
2,880
2,880
3,480
3,780
1,200
13,020
10,140
7,260
3,780
0
Y4
Y3
Y2
Y1
Y0

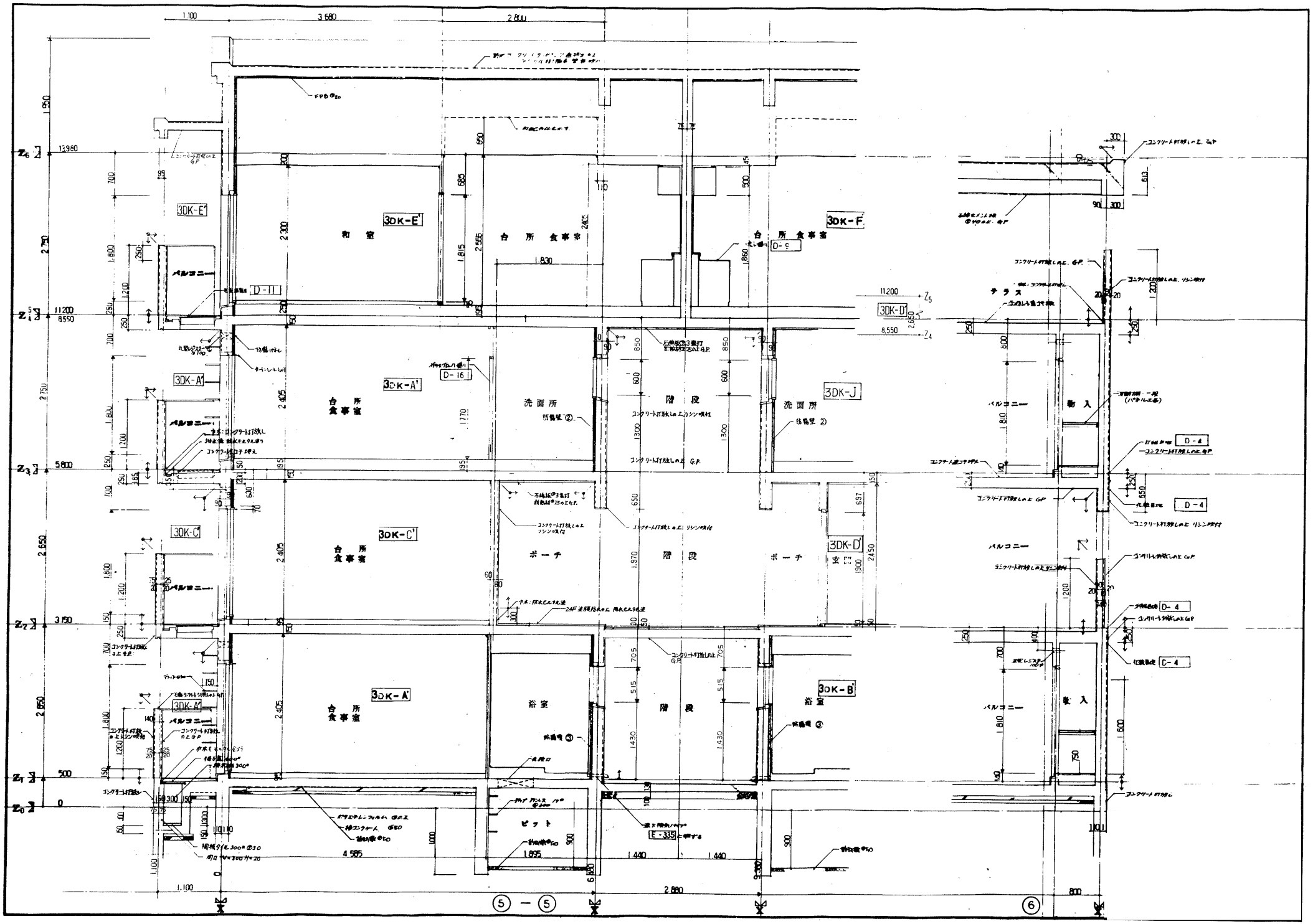

和室(1)
和室(2)
和室(3)
押入
廊下
玄関
ホール
会所食事室
台所
食品庫
P.S
ベランダ
テラス
3DK-F
D-10
D-32
D-6
D-15
D-2
D-20
D-8
D-7
D-9
D-3
D-5
E-311
E-206
E-365
E-343
E-206
D-341

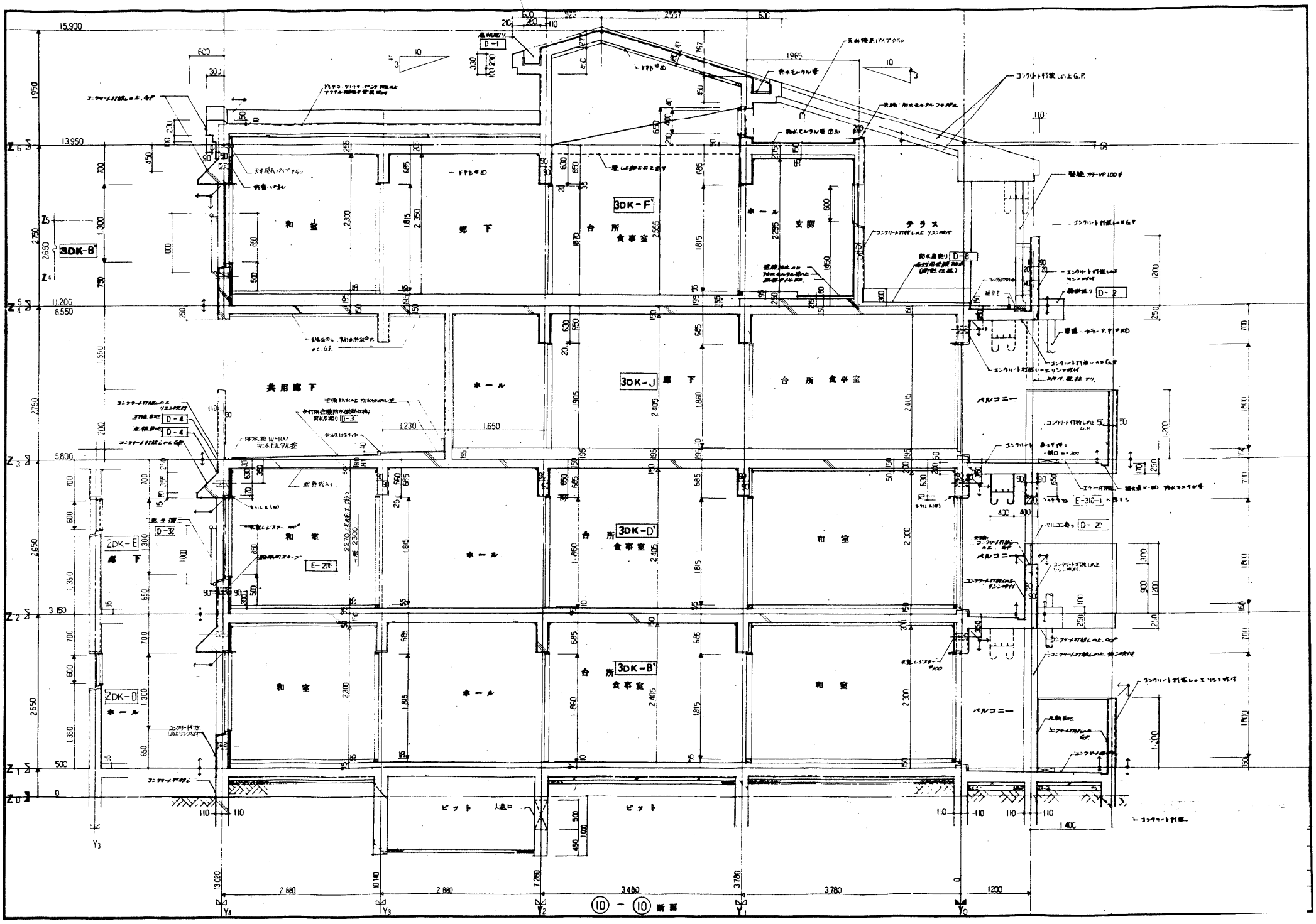


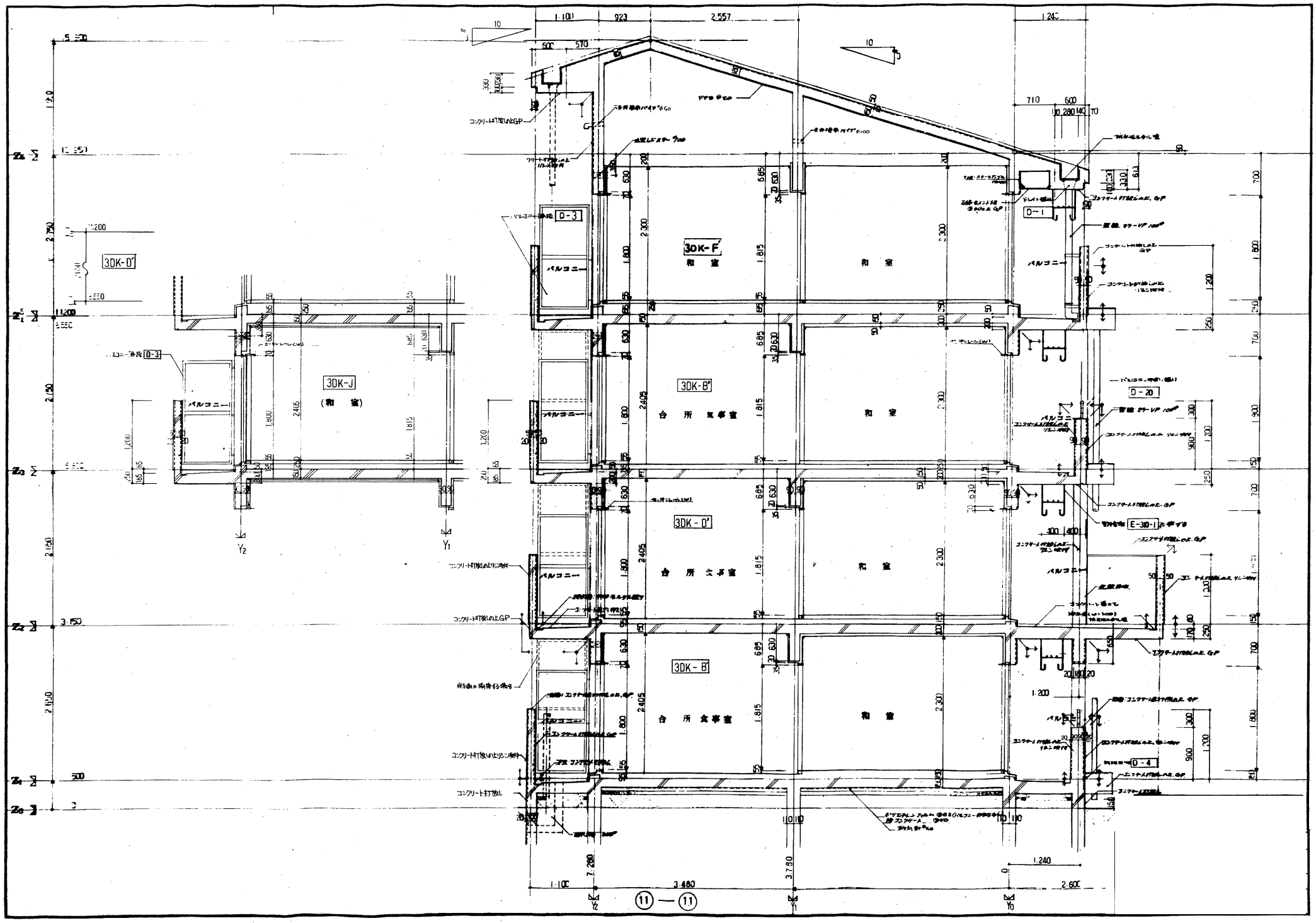
注）バルコニー断面は平面図による
バルコニー展開図は 3DK-A' と異なる

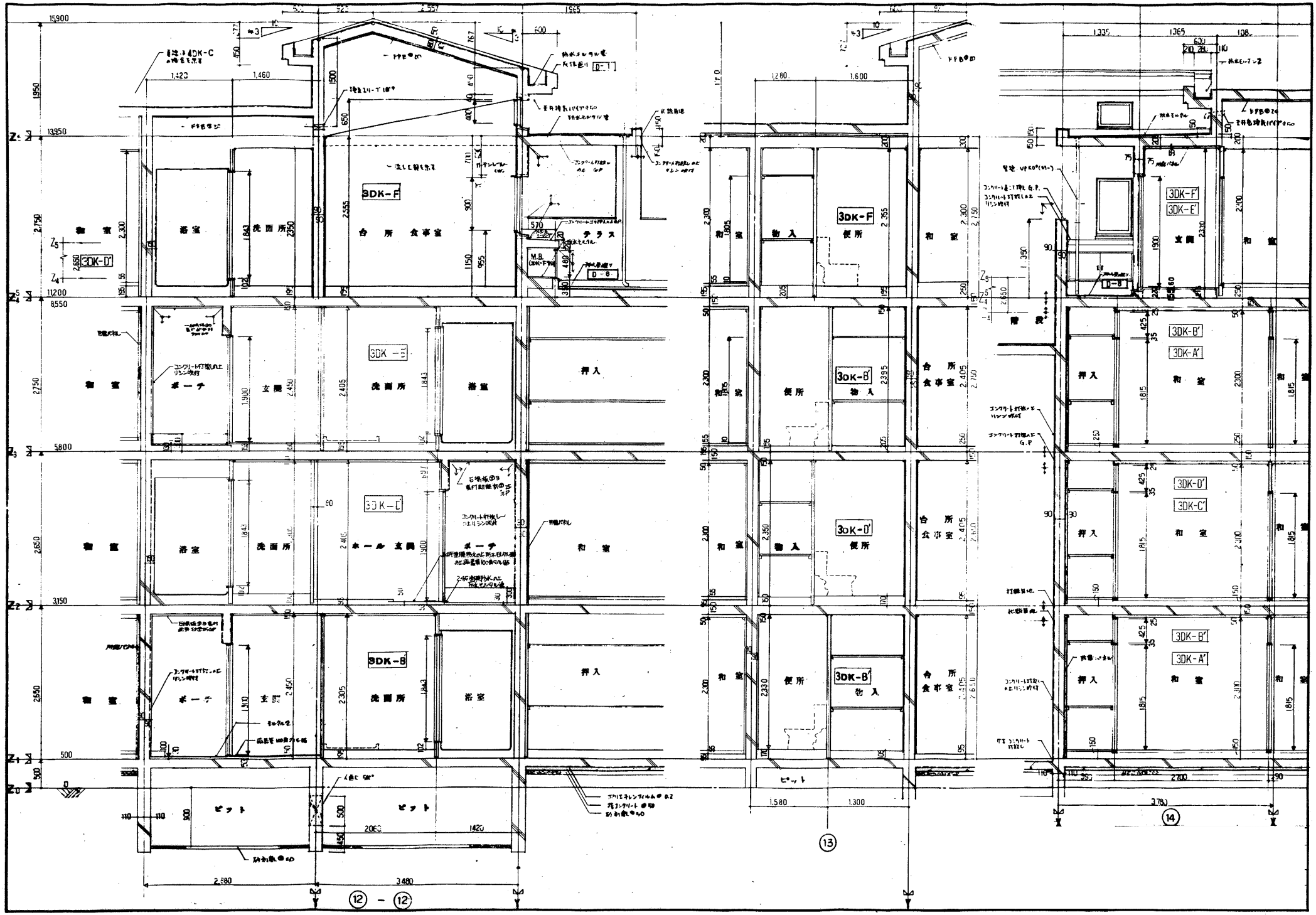

3DK-E'
台所食事室
廊下
便所
ホール
玄関
テラス
3DK-A'
台所食事室
ホール
便所
和室
3DK-C'
台所食事室
廊下
便所
和室
3DK-A'
台所食事室
ホール
便所
和室
3DK-C'
ピット
バルコニー
3F バルコニー部分
①－①

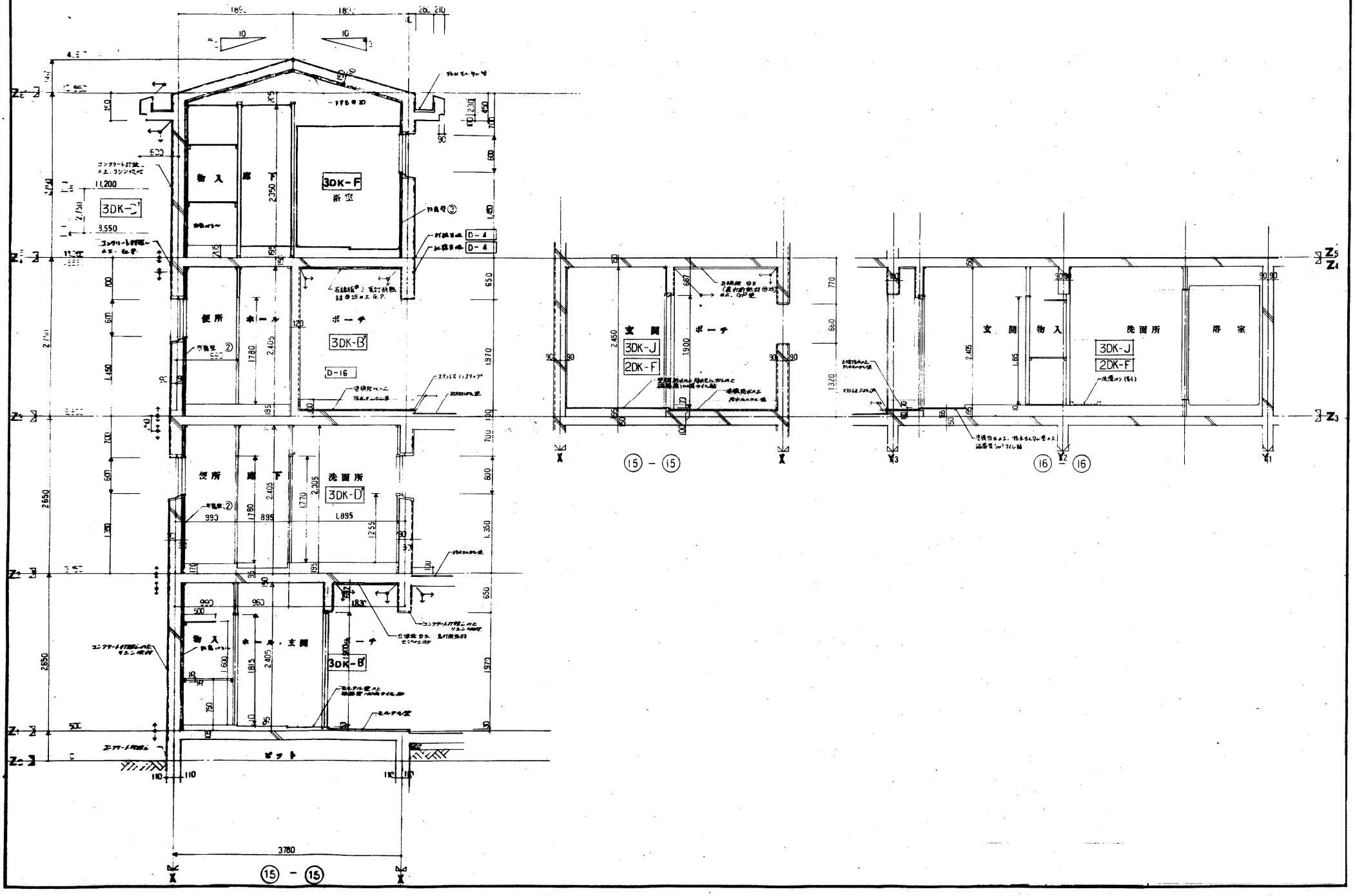

3DK-E'
和室3
物入
3DK-A'
和室3
台所
食事室
3DK-C'
和室3
3DK-A'
和室3
3DK-E
浴室
洗面所
台所
食事室
テラス
3DK-A'
ポーチ
M.B.
P.S.
洗面所
浴室
押入
3DK-C'
浴室
洗面所
ホール
玄関
ポーチ
和室
3DK-A'
ポーチ
玄関
洗面所
浴室
和室
ピット
ピット
2-2 断面
3-3 断面
4-4 断面

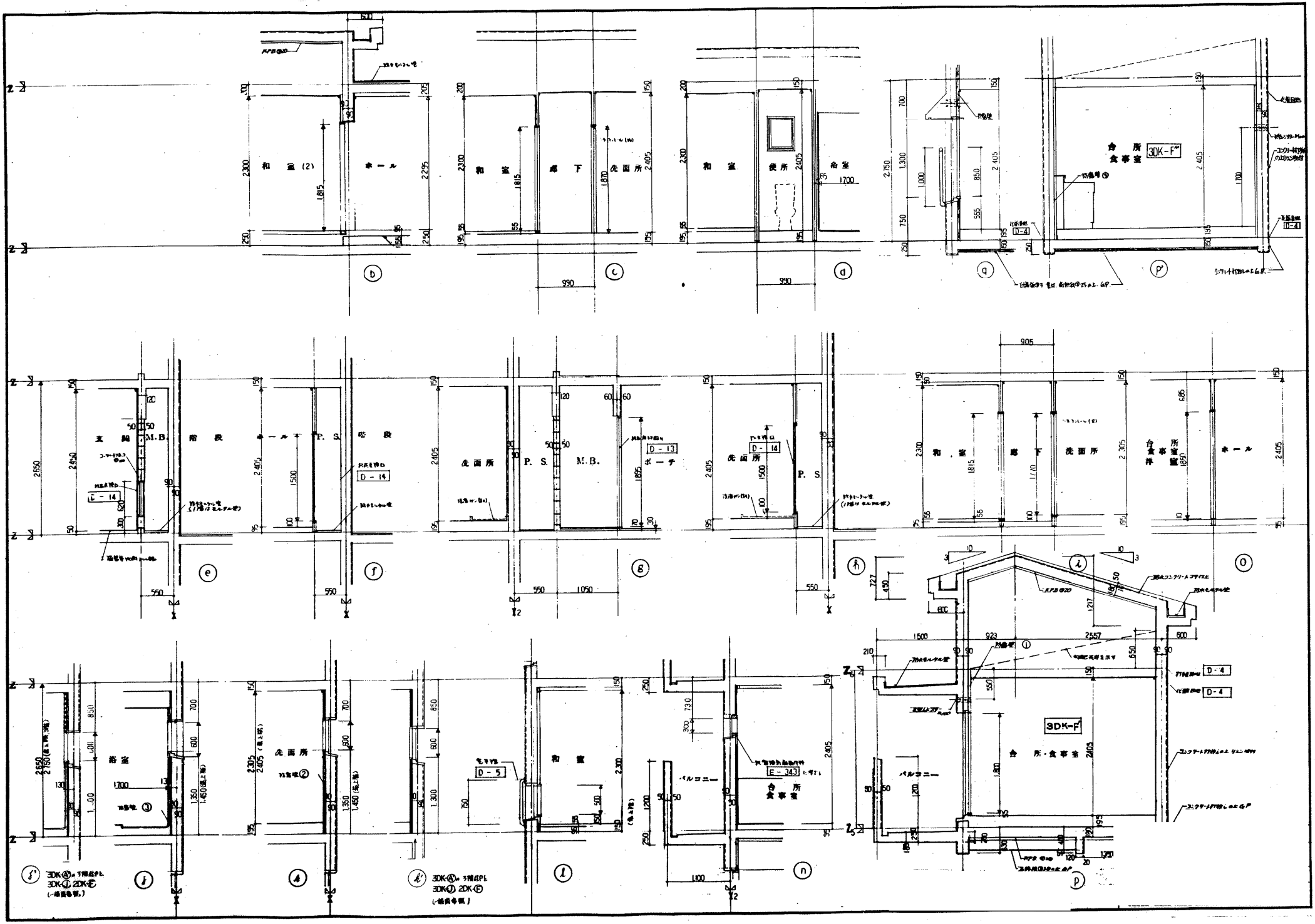

3DK-E'
和室
3DK-F
台所食事室
3DK-A'
台所食事室
洗面所
階段
3DK-J
3DK-C'
台所食事室
ポーチ
階段
ポーチ
3DK-D'
3DK-A'
台所食事室
浴室
階段
浴室
3DK-B'
ピット
バルコニー
テラス
物入
D-11
D-16
D-9
D-4
E-335
⑤ — ⑤
⑥

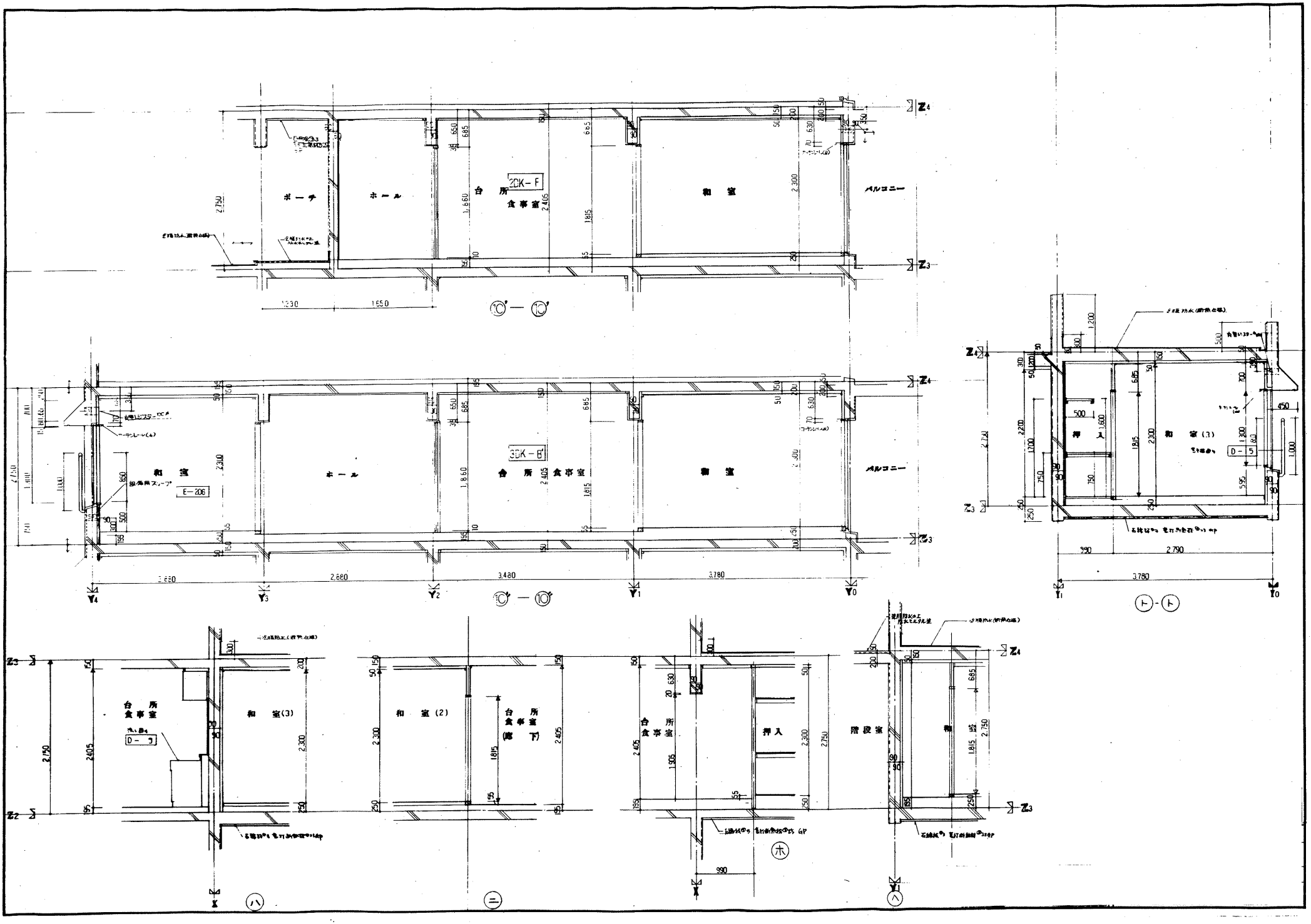

3DK-B'
3DK-F'
3DK-J
3DK-D'
3DK-B'
2DK-E
2DK-D
和室
廊下
台所
食事室
ホール
玄関
テラス
共用廊下
バルコニー
ピット
人通口
D-1
D-2
D-3
D-4
D-5
D-8
E-20E
E-310-1
⑩ - ⑩ 断面


3DK-D'
3DK-J
(和 室)
3DK-F
和 室
3DK-B'
台 所 食事室
3DK-D'
台 所 食事室
3DK-B'
台 所 食事室
和 室
D-1
D-3
D-20
D-4
E-30-1
バルコニー
(11) — (11)

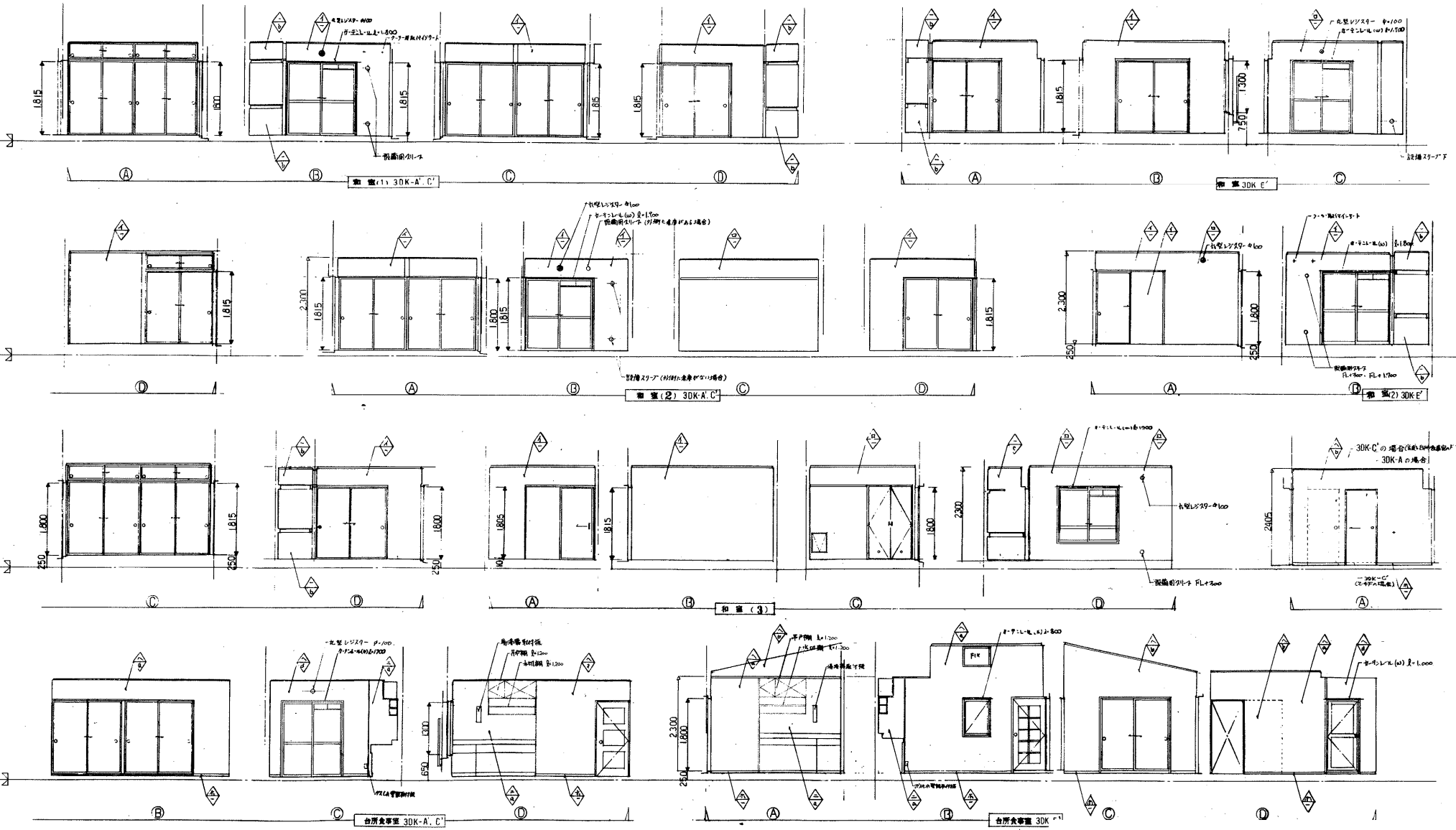

3DK-F
3DK-D'
3DK-C
3DK-B
3DK-A'
3DK-B'
3DK-C'
3DK-D'
3DK-E'
3DK-F'
浴室
洗面所
台所食事室
テラス
ポーチ
玄関
ホール
押入
和室
物入
便所
階段
ピット
⑫ - ⑫
⑬
⑭


物入
廊下
3DK-F
浴室
3DK-J
便所
ホール
ポーチ
3DK-B
D-16
便所
廊下
洗面所
3DK-D
物入
ホール・玄関
ポーチ
3DK-B
ピット
3780
⑮ - ⑮
玄関
ポーチ
3DK-J
2DK-F
⑮ - ⑮
玄関
物入
洗面所
浴室
3DK-J
2DK-F
⑯ - ⑯

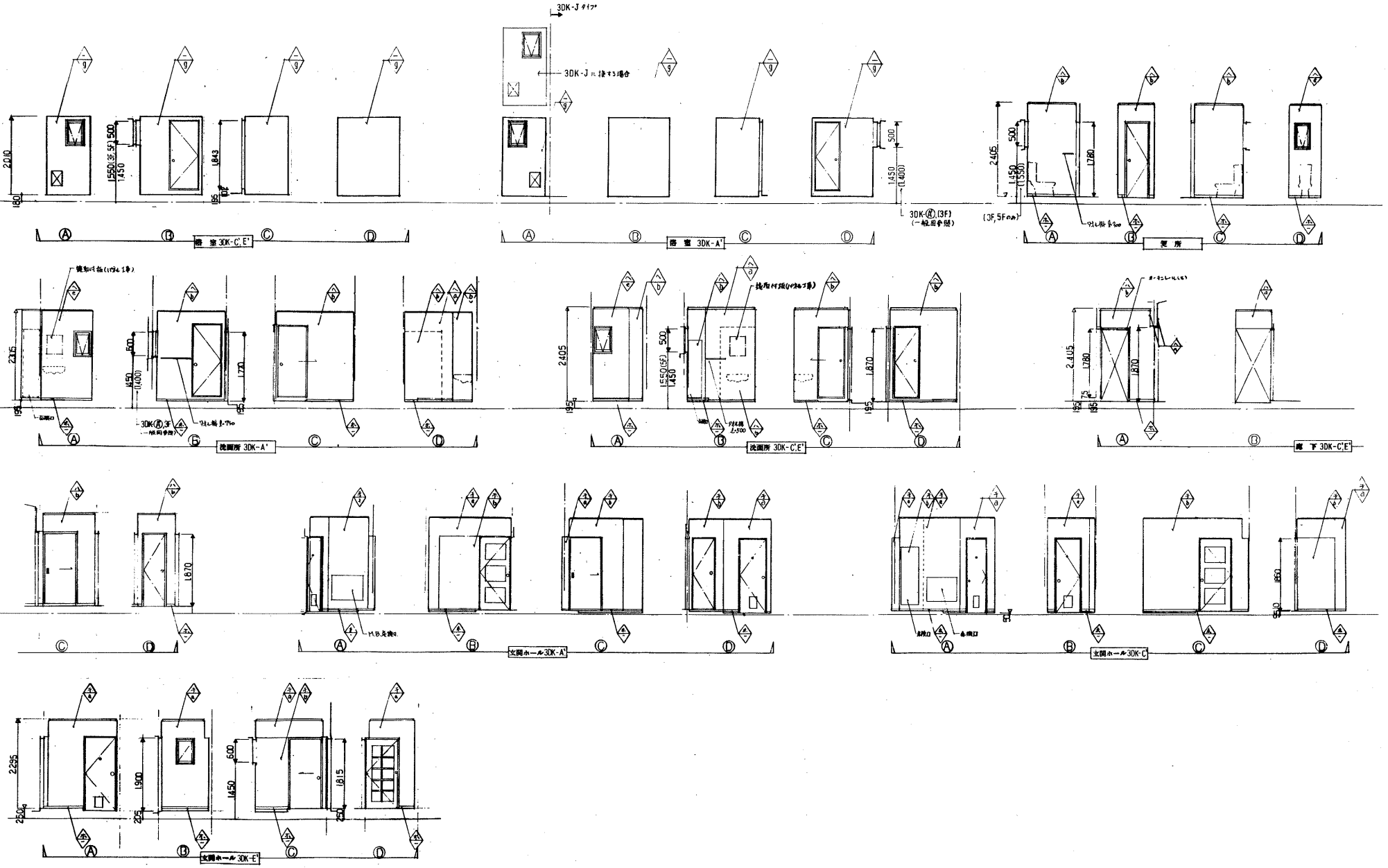

和室(2)
ホール
和室
廊下
洗面所
和室
便所
台所
食事室
3DK-F
玄関
M.B.
暗段
ホール
P. S.
暗段
洗面所
P. S.
M.B.
ポーチ
洗面所
P. S.
和室
廊下
洗面所
台所
食事室
洋室
ホール
浴室
洗面所
和室
バルコニー
台所
食事室
バルコニー
3DK-F
台所・食事室


2DK-F
ポーチ
ホール
台所
食事室
和室
バルコニー
⑩'—⑫'
3DK-E
E-206
和室
ホール
台所
食事室
和室
バルコニー
⑩'—⑩
押入
和室(3)
D-5
⑦-⑦
台所
食事室
和室(3)
D-3
⑧
和室(2)
⑨
台所
食事室
(縮下)
台所
食事室
押入
⑪
階段室
和室
⑫

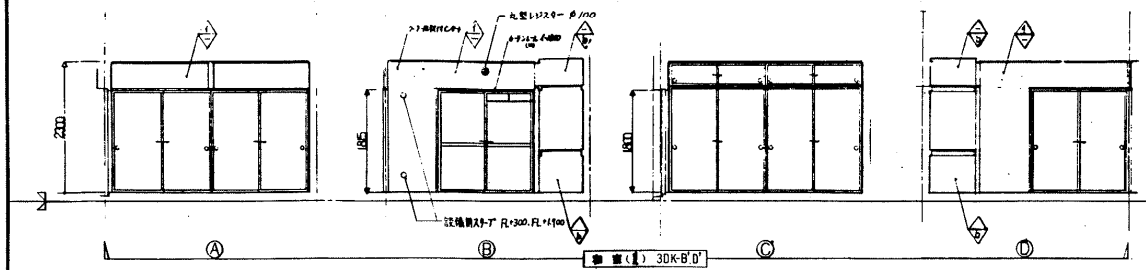
凡例													
仕上	仕上げ	ⓘ 仕様パネル1	ⓐ 仕様パネル2	ⓝ ビニールクロス	㉣ G.P	㉤ 木製SOP	㉥ EP-I		㉦ EP-II				
下地	下地材	ⓐ モルタル塗	ⓑ 素地パネル1	ⓒ 素地パネル2	ⓓ 防錆壁1	ⓔ 防錆壁2	ⓕ 防錆壁3	ⓖ 浴室ユニット					

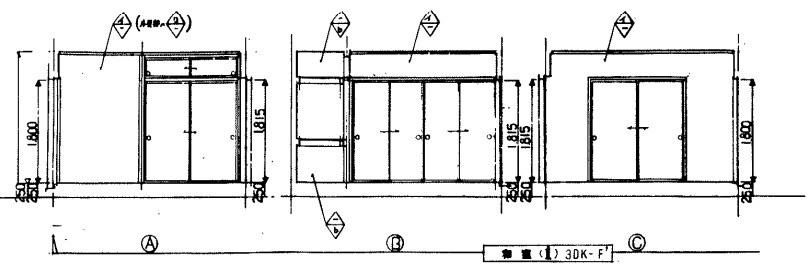


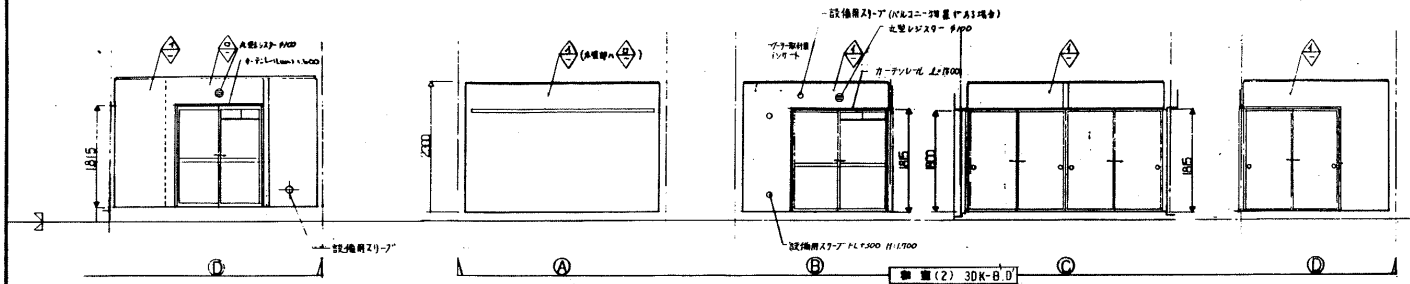
凡例	仕上	仕上材	㋑ 化粧ﾊﾟﾈﾙ1	㋺ 化粧ﾊﾟﾈﾙ2	㋩ ビニールクロス	㋥ G.P	㋭ 木製 S.O.P	㋬ EP−I		㋣ EP−II				
	下地	下地材	ⓐ モルタル壁	ⓑ 素地ﾊﾟﾈﾙ1	ⓒ 素地ﾊﾟﾈﾙ2	ⓓ 防傷壁 1	ⓔ 防傷壁 2	ⓕ 防傷壁 3	ⓖ 浴室ユニット					

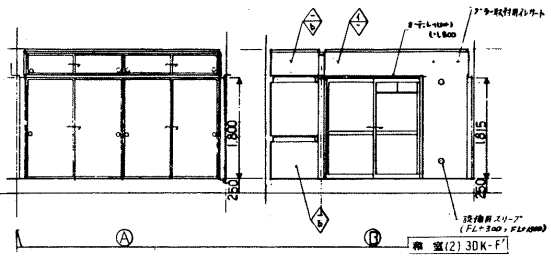


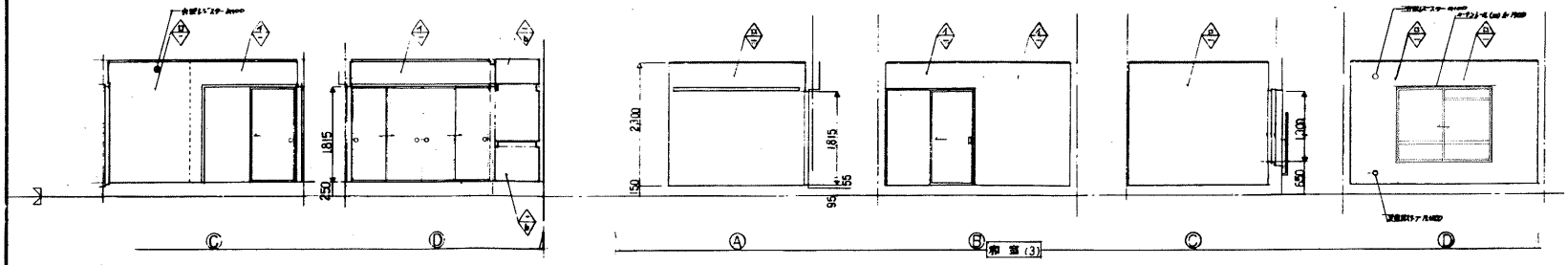
凡例											
仕上材	① 化粧パネル1	⑧ 化粧パネル2	Ⓐ ビニールクロス	㊀ G.P.	Ⓐ 木製 SOP	⊘ EP-I	○	㊃ EP-II			
下地材	Ⓐ モルタル塗	ⓑ 素地パネル1	ⓒ 素地パネル2	ⓓ 防露壁1	ⓔ 防露壁2	ⓕ 防露壁3	② 浴室ユニット				

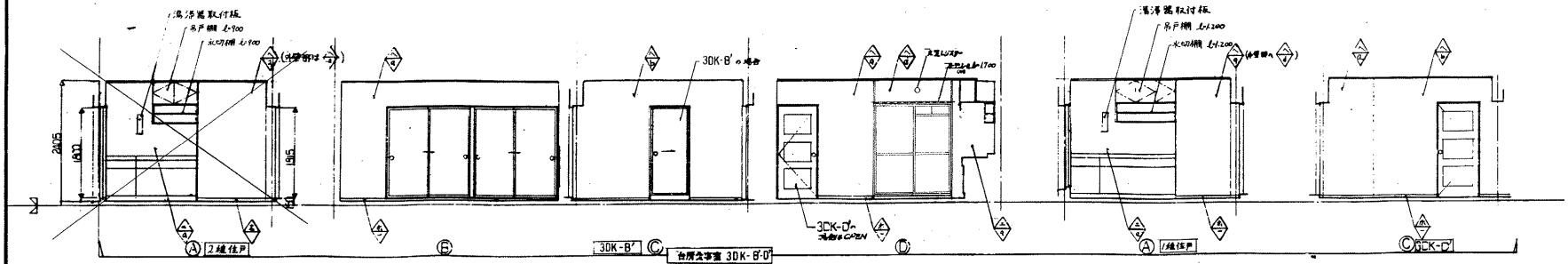




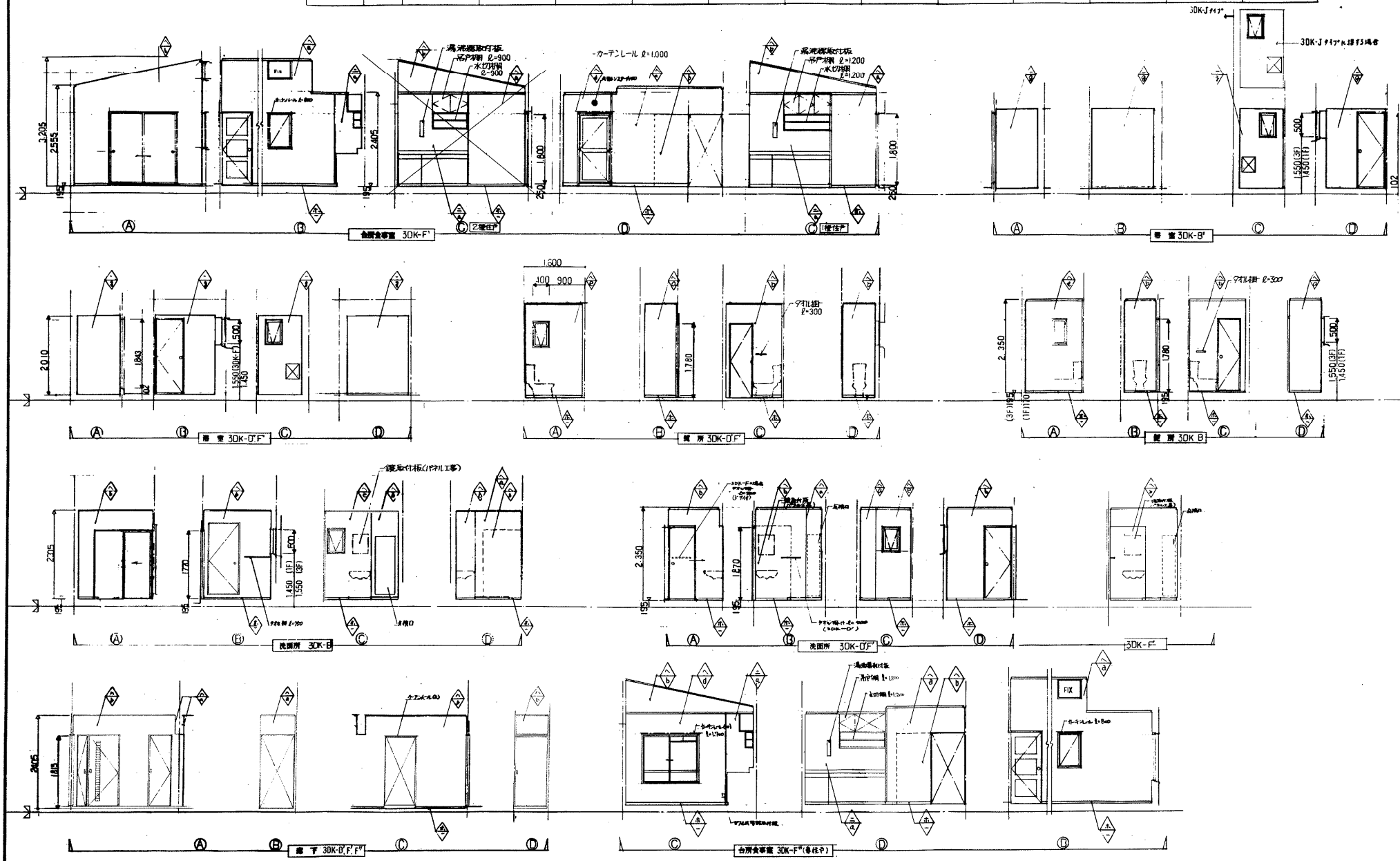




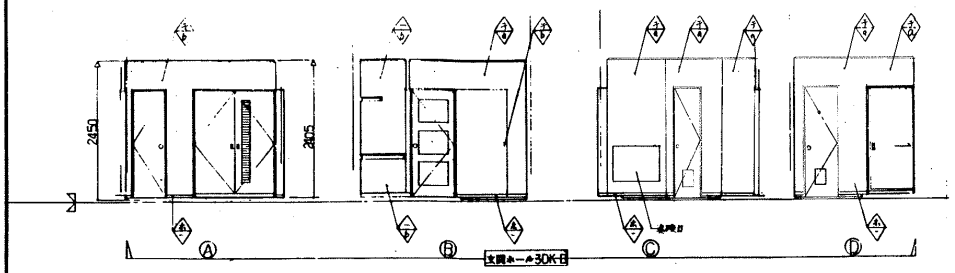


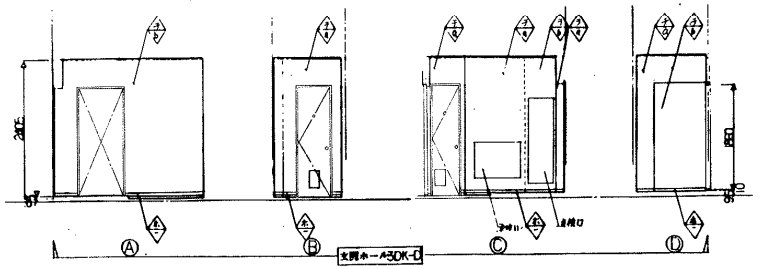


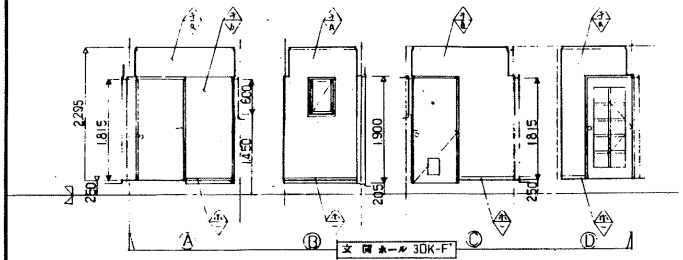
凡例												
仕上	仕上材	㋐化粧ﾊﾟﾈﾙ1	㋑化粧ﾊﾟﾈﾙ2	㋒ビニールクロス	㋓ G.P	㋔木製 S.O.P	㋕EP-Ⅰ	○	㋖EP-Ⅱ			
下地	下地材	ⓐモルタル塗	ⓑ素地ﾊﾟﾈﾙ1	ⓒ素地ﾊﾟﾈﾙ2	ⓓ防露壁 1	ⓔ防露壁 2	ⓕ防露壁 3	ⓖ浴室ユニット				



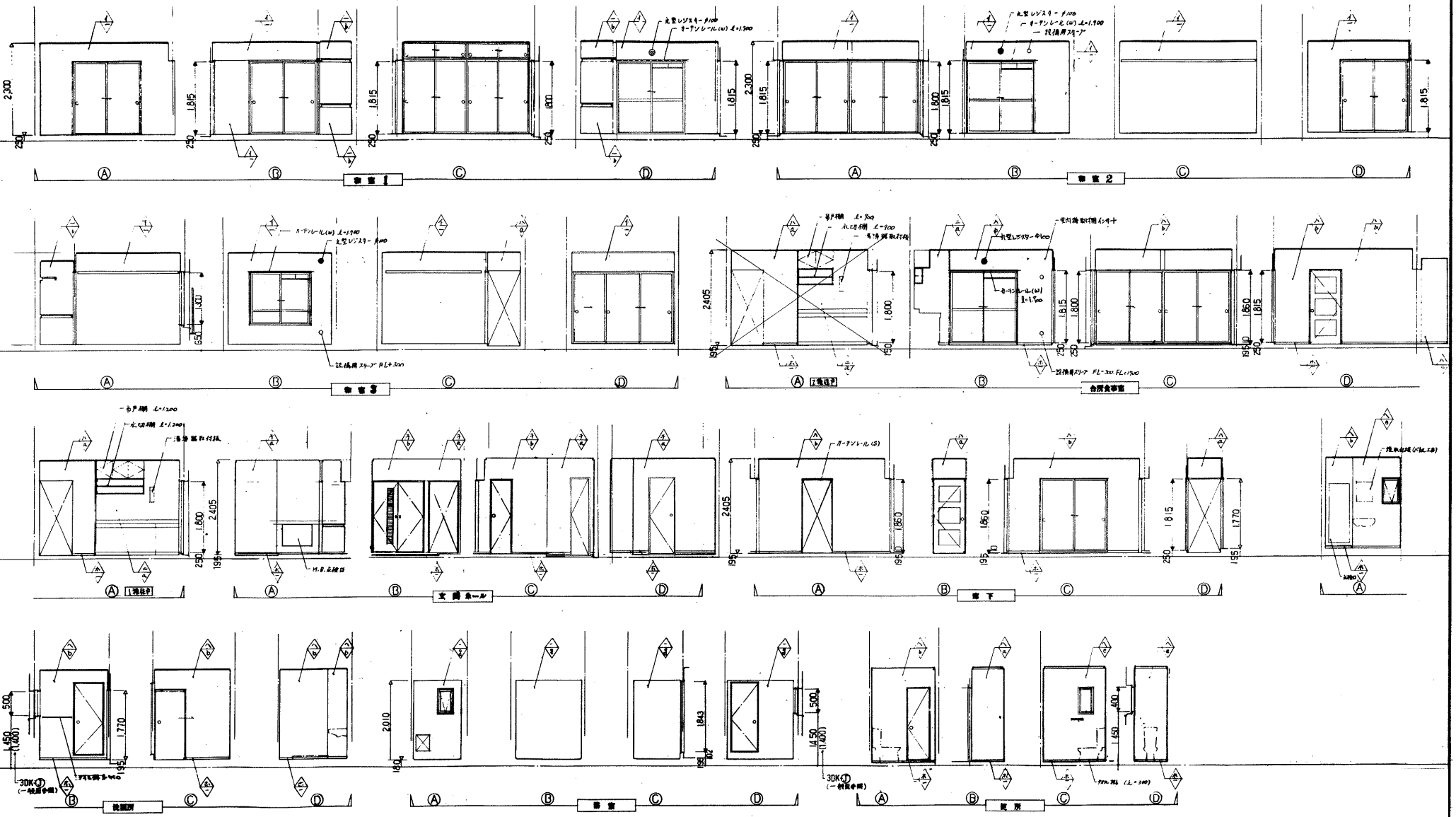
凡例													
仕上 / 下地	仕上材	㋐化粧パネル1.	㋑化粧パネル2.	㋒ビニールクロス	㋓G.P	㋔木製S.O.P	㋕EP－I	○	㋖EP－II				
	下地材	ⓐモルタル塗	ⓑ素地パネル1.	ⓒ素地パネル2.	ⓓ防露壁1.	ⓔ防露壁2.	ⓕ防露壁3.	ⓖ浴室ユニット					

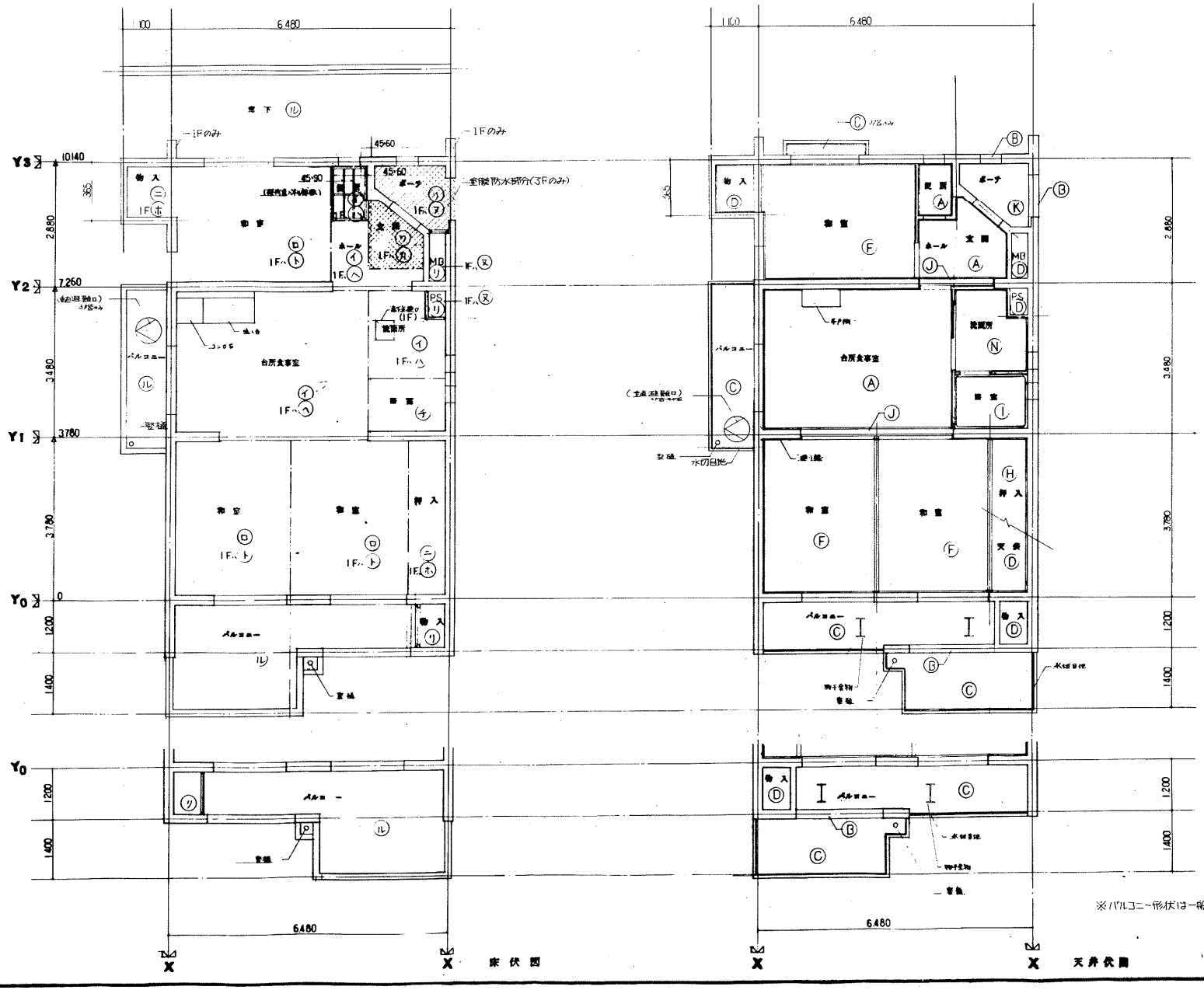






凡例	仕上材	㋑ 化粧パネル 1	㋺ 化粧パネル 2	㋩ ビニルクロス	㋥ GP	㋭ 樹脂 SOP	㋬ EP-I	○	㋣ EP-II				
	下地材	㋐ モルタル塗	㋺ 素地パネル 1	㋩ 素地パネル 2	㋥ 石膏壁 1	㋭ 石膏壁 2	㋬ 石膏壁 3	㋣ 浴室ユニット					

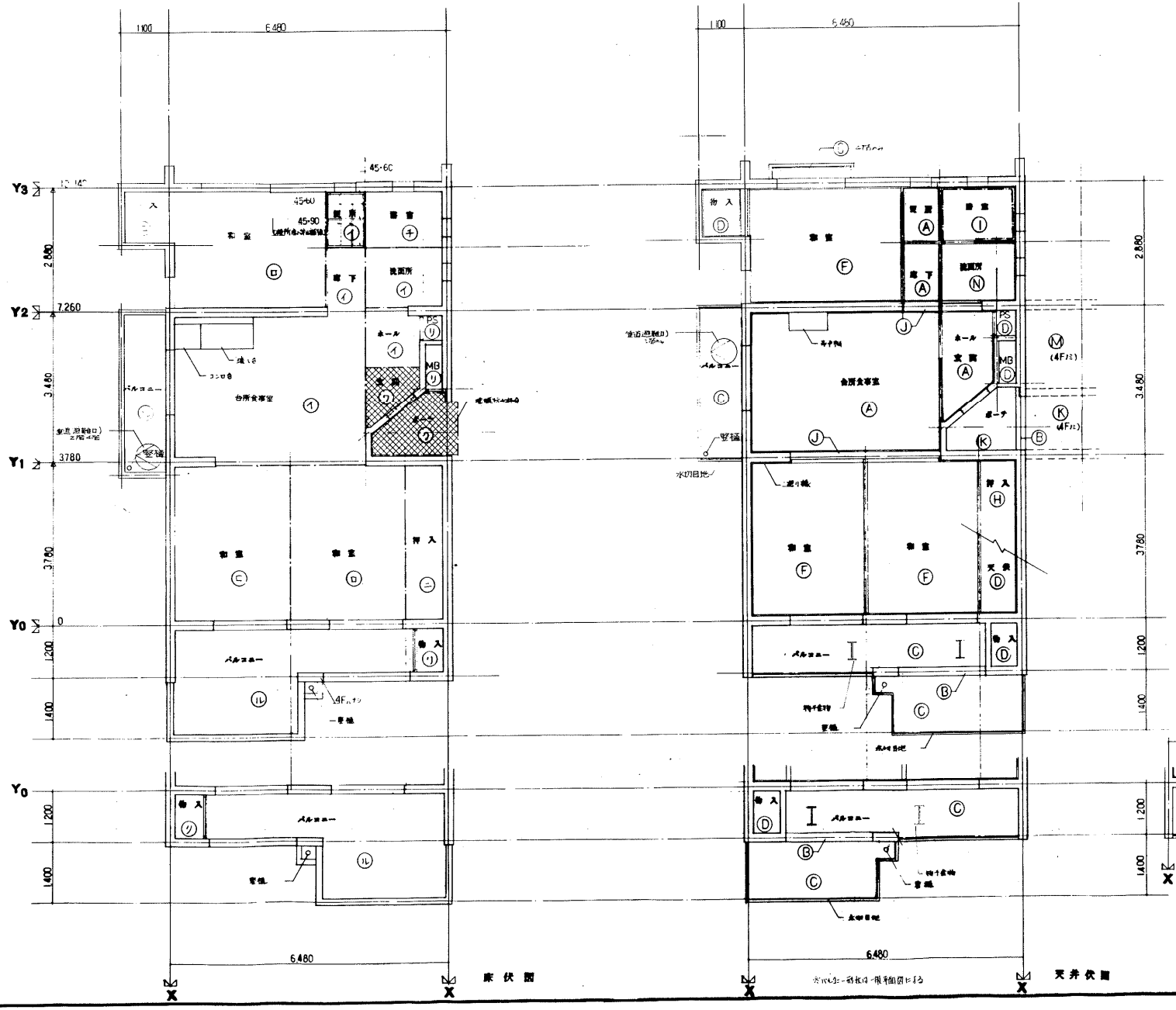




※バルコニー形状は一般平面図による

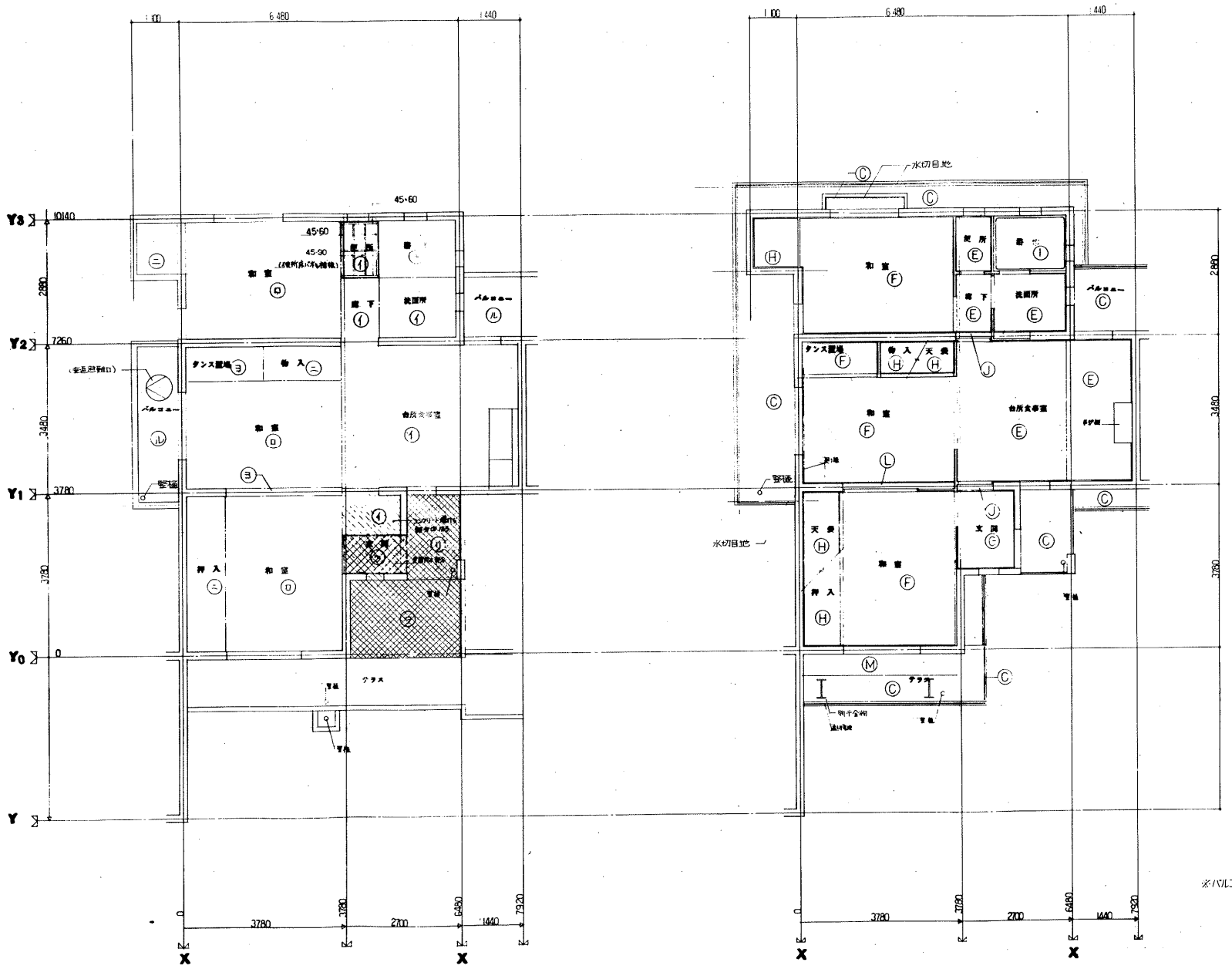
記号	床伏図
イ	下地パネル①の上化粧合板貼
ロ	下地パネル⑥の上タフト敷
ハ	下地パネル⑥の上化粧合板貼
ニ	パネル⑥
ホ	パネル⑧
ヘ	軽量プラスチック系パネル⑥の上化粧合板貼
ト	軽量プラスチック系パネル⑥の上タフト敷
チ	BL浴室ユニット(1116型)
リ	防水モルタル
ヌ	モルタル壁
ル	コンクリート直ゴテ
ヲ	有機系塗膜防水(断熱仕様)
ワ	防水モルタルの上磁器質100角タイル
カ	モルタルの上磁器質100角タイル
ヨ	縁石ブロック

記号	天井伏図
A	コンクリート打放しの上軽量気泡板貼
B	コンクリート打放しの上リシン吹付
C	コンクリート打放しの上EP
D	コンクリート打放し
E	化粧パネル①(シプトン模様)
F	化粧パネル②(壁性模様)
G	化粧パネル⑤(断熱材入)
H	畳地パネル
I	BL浴室ユニット(1116型)
J	モルタル壁の上EP
K	石膏板張り断熱材張打(PFD@25)の上EP重
L	化粧パネル(じゅらく)
M	石膏ボード張りの上EP
N	コンクリート打放しの上EP-I



記号	床伏図
(イ)	下地パネル⑥の上化粧合板貼
(ロ)	下地パネル⑥の上タイル張
(ハ)	下地パネル⑤の上化粧合板貼
(ニ)	パネル⑥
(ホ)	パネル⑧
(ヘ)	電気プラスチック系パネル⑩の上化粧合板貼
(ト)	電気プラスチック系パネル⑩の上タイル張
(チ)	BL浴室ユニット(いれ型)
(リ)	防水モルタル塗
(ヌ)	モルタル塗
(ル)	コンクリート直ゴテ
(ヲ)	各所防露防水(断熱仕様)
(ワ)	防水モルタル上磁器質100角タイル
(カ)	モルタル上磁器質100角タイル
(ヨ)	磁タイル

記号	天井伏図
(A)	コンクリート打放しの上軽量骨材吹付
(B)	コンクリート打放しの上リシン吹付
(C)	コンクリート打放しの上ケイ酸
(D)	コンクリート打放し
(E)	化粧パネル⑪(ジプトン模様)
(F)	化粧パネル⑪(格縁模様)
(G)	化粧パネル⑪(断熱材入り)
(H)	各地パネル
(I)	BL浴室ユニット(いれ型)
(J)	モルタル塗の上EP
(K)	石膏板⑫3断熱材入り(FPB@45)の上EP
(L)	化粧パネル(いれ)
(M)	石膏セメント各所の上EP
(N)	コンクリート打放しの上EP-I



床伏図

天井伏図

※バルコニー形状は一般平面図

記号	床伏図
①	下地パネル Ⓓ の上化粧合板貼
ロ	下地パネル Ⓓ の上タタミ敷
ハ	下地パネル Ⓓ の上化粧合板貼
ニ	パネル Ⓓ
ホ	パネル Ⓔ
ヘ	発泡プラスチック系パネル Ⓔ の上化粧合板貼
ト	発泡プラスチック系パネル Ⓔ の上タタミ敷
チ	浴室ユニット (1116型)
リ	排水モルタル
ヌ	モルタル床
ル	コンクリート床スラブ
ヲ	防水用塗膜防水 (通常仕様)
ワ	床構造の上 磁器質100角タイル貼
カ	モルタルの上 磁器質100角タイル貼
ヨ	畳タタミ

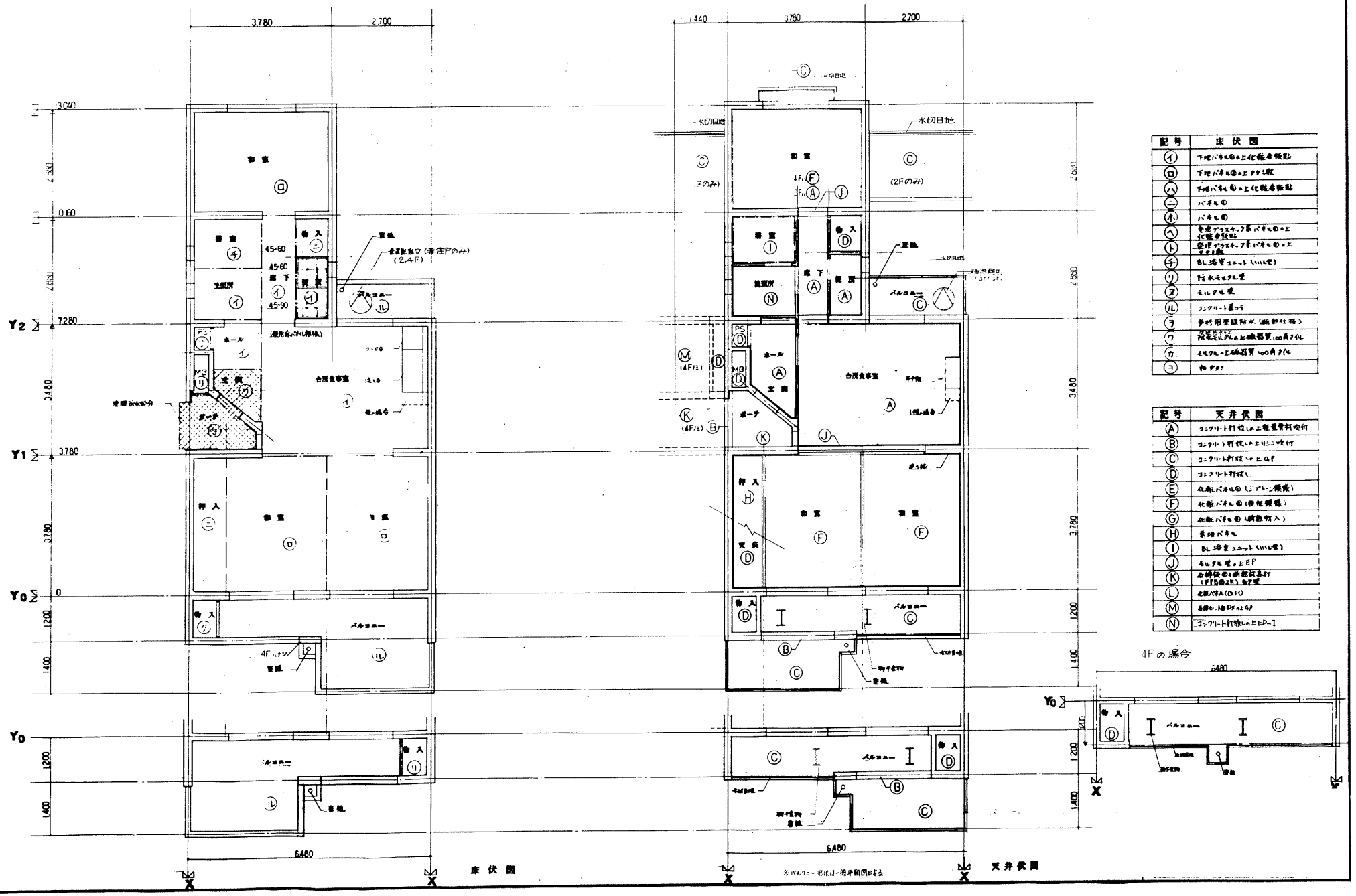
記号	天井伏図
Ⓐ	コンクリート打放しの上塗装材吹付
Ⓑ	コンクリート打放しの上リシン吹付
Ⓒ	コンクリート打放しの上 OP
Ⓓ	コンクリート打放し
Ⓔ	化粧パネル Ⓔ (シプリーン)
Ⓕ	化粧パネル Ⓕ (珪酸鈣板)
Ⓖ	化粧パネル Ⓖ (繊維材)
Ⓗ	畳床パネル
Ⓘ	浴室ユニット (1116型)
Ⓙ	モルタル塗の上 ビニールクロス貼
Ⓚ	石膏板 ⑨ 厚 繊維補強セメント板 OP 8 の上 OP
Ⓛ	化粧パネル (いぐさ)
Ⓜ	石綿セメント板 ⑨ のべニヤ OP
Ⓝ	コンクリート打放しの上 EP-I



記号	床伏図
イ	下地パネル㊤の上化粧合板貼
ロ	下地パネル㊤の上タタミ敷
ハ	下地パネル㊤の上化粧合板貼
ニ	パネル㊤
ホ	パネル㊤
ヘ	畳寸法プラスチック製パネル㊤の上化粧合板貼
ト	畳寸法プラスチック製パネル㊤の上タタミ敷
チ	BL給湯ユニット(いれ電)
リ	防水モルタル塗
ヌ	モルタル塗
ル	コンクリート長コテ
ヲ	各所所要箇所防水(耐候仕様)
ワ	床張用ビニル床タイル上磁器質100角タイル
カ	モルタル上磁器質100角タイル
ヨ	板タタミ

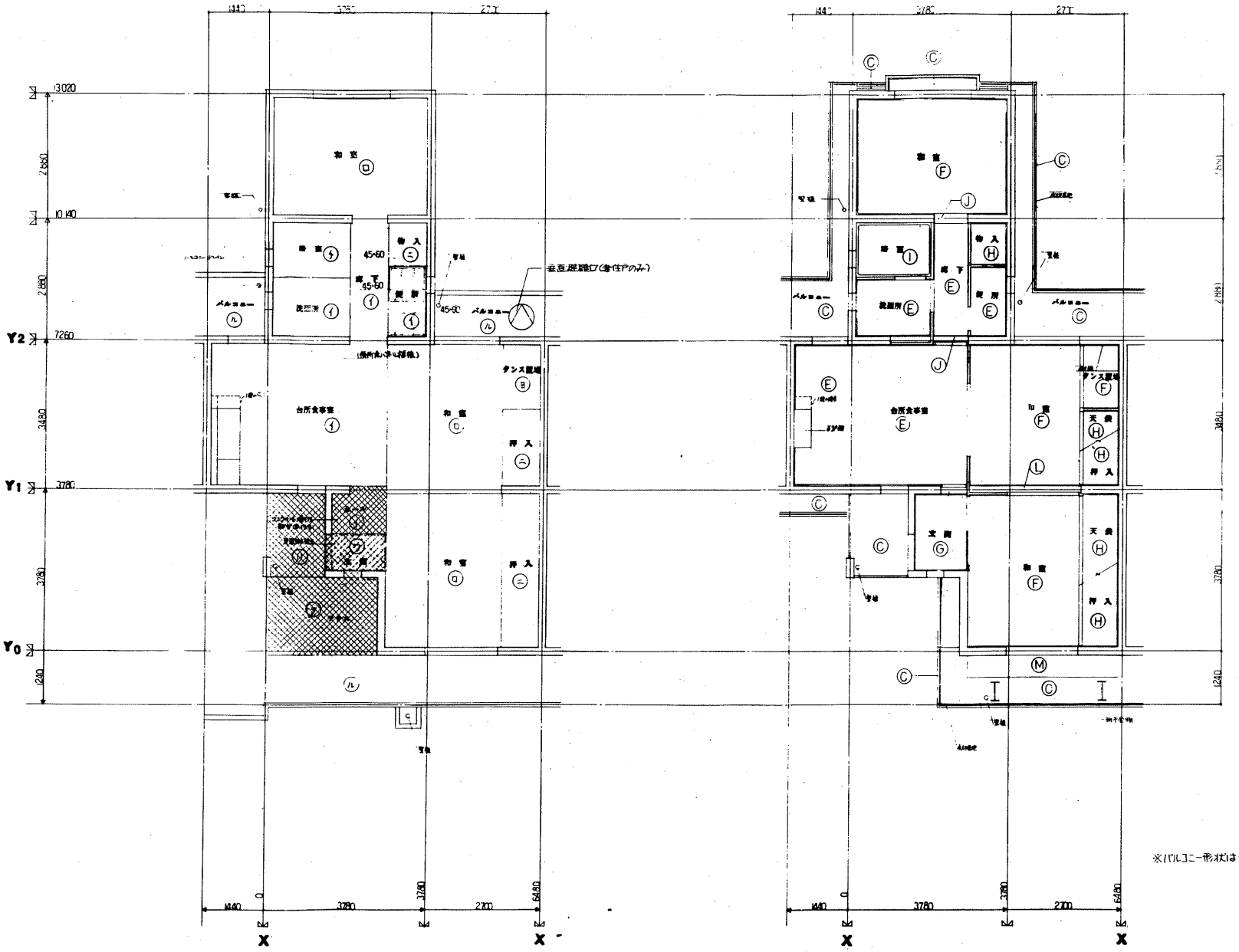
記号	天井伏図
Ⓐ	コンクリート打放し上塗装材吹付
Ⓑ	コンクリート打放しセリシン吹付
Ⓒ	コンクリート打放しとG.P
Ⓓ	コンクリート打放し
Ⓔ	化粧パネル㊤ ビニクロ-ン張り
Ⓕ	化粧パネル㊤ (非耐候機械)
Ⓖ	化粧パネル㊤ (耐候機械)
Ⓗ	各種パネル
Ⓘ	BL給湯ユニット(いれ電)
Ⓙ	モルタル塗+EP
Ⓚ	各種箇所の耐候塗料吹付 (下地のまま)含む
Ⓛ	化粧パネル(いれる)
Ⓜ	木枠サッシ取付のペアガラス
Ⓝ	コンクリート打放しの上EP-I

※バルコニー形状は一般平面図による



記号	床伏図
イ	下地パネル⑩の上化粧合板貼
ロ	下地パネル⑩の上タタミ敷
ハ	下地パネル⑩の上化粧合板貼
ニ	パネル⑩
ホ	パネル⑩
ヘ	玄関プラスチック張パネル⑩の上化粧合板貼
ト	便所プラスチック張パネル⑩の上タタミ敷
チ	BL.浴室ユニット(1116型)
リ	防水モルタル塗
ヲ	モルタル塗
ル	コンクリート基コテ
ヲ	事務所塗膜防水(断熱仕様)
ワ	浴室及び洗面所の床磁器質100角タイル
カ	モルタル下地磁器質100角タイル
ヨ	幅木

記号	天井伏図
Ⓐ	コンクリート打放し(上塗塗装材吹付)
Ⓑ	コンクリート打放し(上リシン吹付)
Ⓒ	コンクリート打放し(上EP)
Ⓓ	コンクリート打放し
Ⓔ	化粧パネル⑩(ジアトーン模様)
Ⓕ	化粧パネル⑩(伸縮模様)
Ⓖ	化粧パネル⑩(織色物入)
Ⓗ	羽目パネル
Ⓘ	BL.浴室ユニット(1116型)
Ⓙ	モルタル塗の上EP
Ⓚ	各種板⑩の上断熱材張り(EPS⑩25)の上EP
Ⓛ	化粧パネル(D15)
Ⓜ	各種板:地肌のまま
Ⓝ	コンクリート打放しの上EP-T



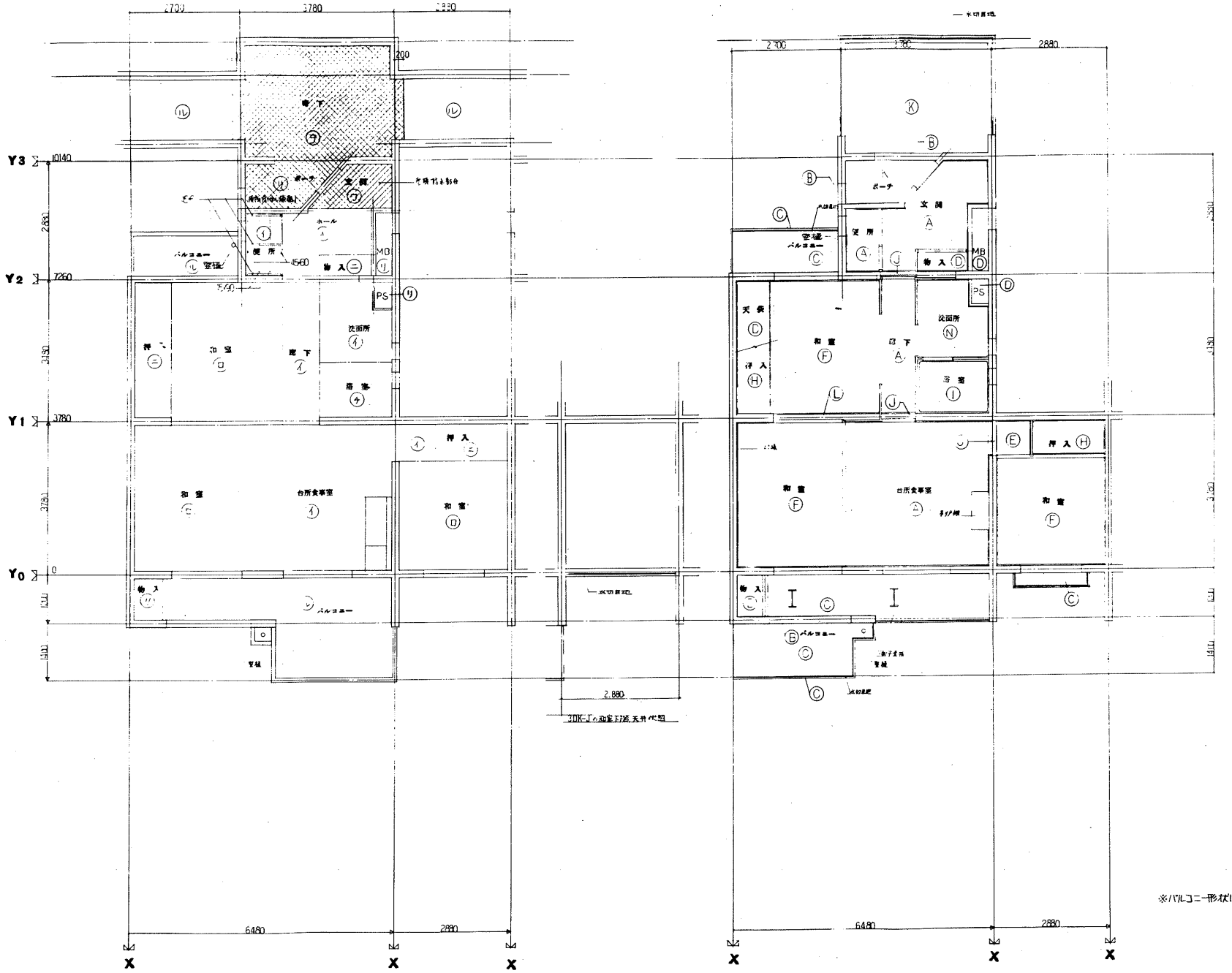
床伏図

天井伏図

記号	床伏図
イ	下地パネルの上化粧合板張
ロ	下地パネルの上クロス張
ハ	下地パネルの上化粧合板張
ニ	パネルの
ホ	パネルは
ヘ	下地パネルの上化粧合板張
ト	下地パネルの上化粧合板張
チ	B.L.ユニット(1116型)
リ	防水モルタル
ヌ	モルタル塗
ル	コンクリート直均
ヲ	多行吸音床防水(断熱仕様)
ワ	床張用ポリエチレン樹脂フィルム上磁器質150角タイル貼
カ	セルフレベリング上磁器質150角タイル貼
ヨ	敷タタミ

記号	天井伏図
A	コンクリート打放しの上断熱吹付
B	コンクリート打放しのエリソン吹付
C	コンクリート打放しのEP
D	コンクリート打放し
E	化粧パネル(ビニルクロス)
F	化粧パネル(珪酸カルシウム)
G	化粧パネル(珪酸カルシウム)
H	化粧パネル
I	B.L.ユニット(1116型)
J	モルタル塗の上、ビニルクロス張
K	化粧ボード張の上塗装
L	化粧パネル(ビニルクロス)
M	石膏ボード張のキャビネット
N	コンクリート打放しの上EP-1

※バルコニー形状は一般平面図による



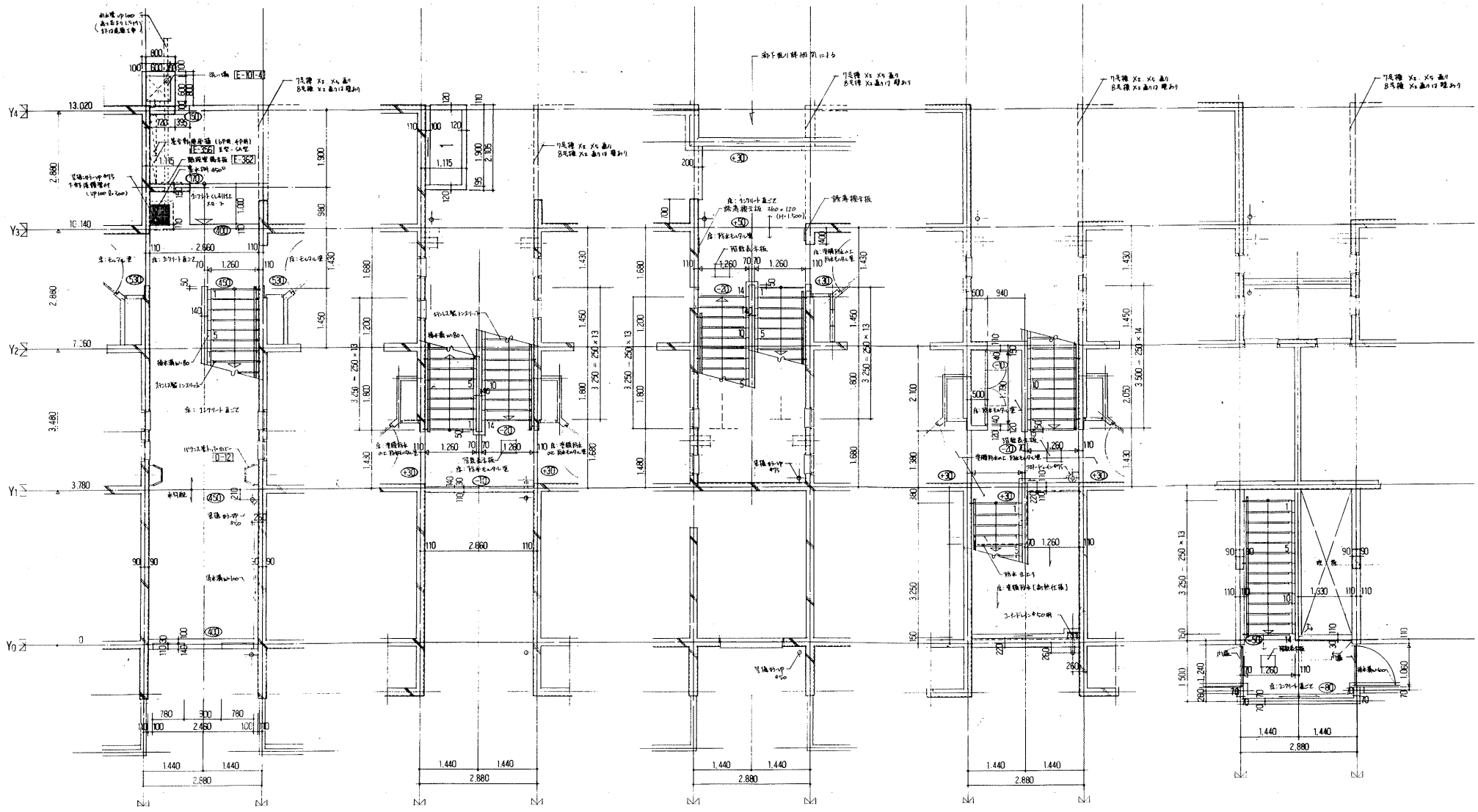
記号	床伏図
イ	下地パネル①の上化粧合板貼
ロ	下地パネル②の上タタミ敷
ハ	下地パネル③の上化粧合板貼
ニ	パネル④
ホ	パネル⑤
ヘ	発泡プラスチック系パネル⑥の上化粧合板貼
ト	発泡プラスチック系パネル⑦の上タタミ敷
チ	BL浴室ユニット(1116型)
リ	防水モルタル
ヌ	モルタル床
ル	コンクリート直ゴテ
ヲ	岩綿吸音板張(断熱仕様)
ワ	床暖房ユニット 熱伝導性モルタル+上 磁器質100角タイル貼
カ	モルタル+上 磁器質100角タイル貼
ヨ	縁タタミ

記号	天井伏図
A	コンクリート打放し+上 軽量鉄骨下地
B	コンクリート打放し+上 リシン吹付
C	コンクリート打放し+上 GP
D	コンクリート打放し
E	化粧パネル⑤(シプワール)
F	化粧パネル⑥(熱伝導性)
G	化粧パネル⑦(断熱材入)
H	畳地パネル
I	BL浴室ユニット(1116型)
J	モルタル塗りの上ビニルクロス貼
K	石膏板⑧+断熱材吸音打(パネル⑧)GP
L	化粧パネル(しゃらく)
M	石膏ボード張⑨+ケイ酸カルGP
N	コンクリート打放しの上 EP-I

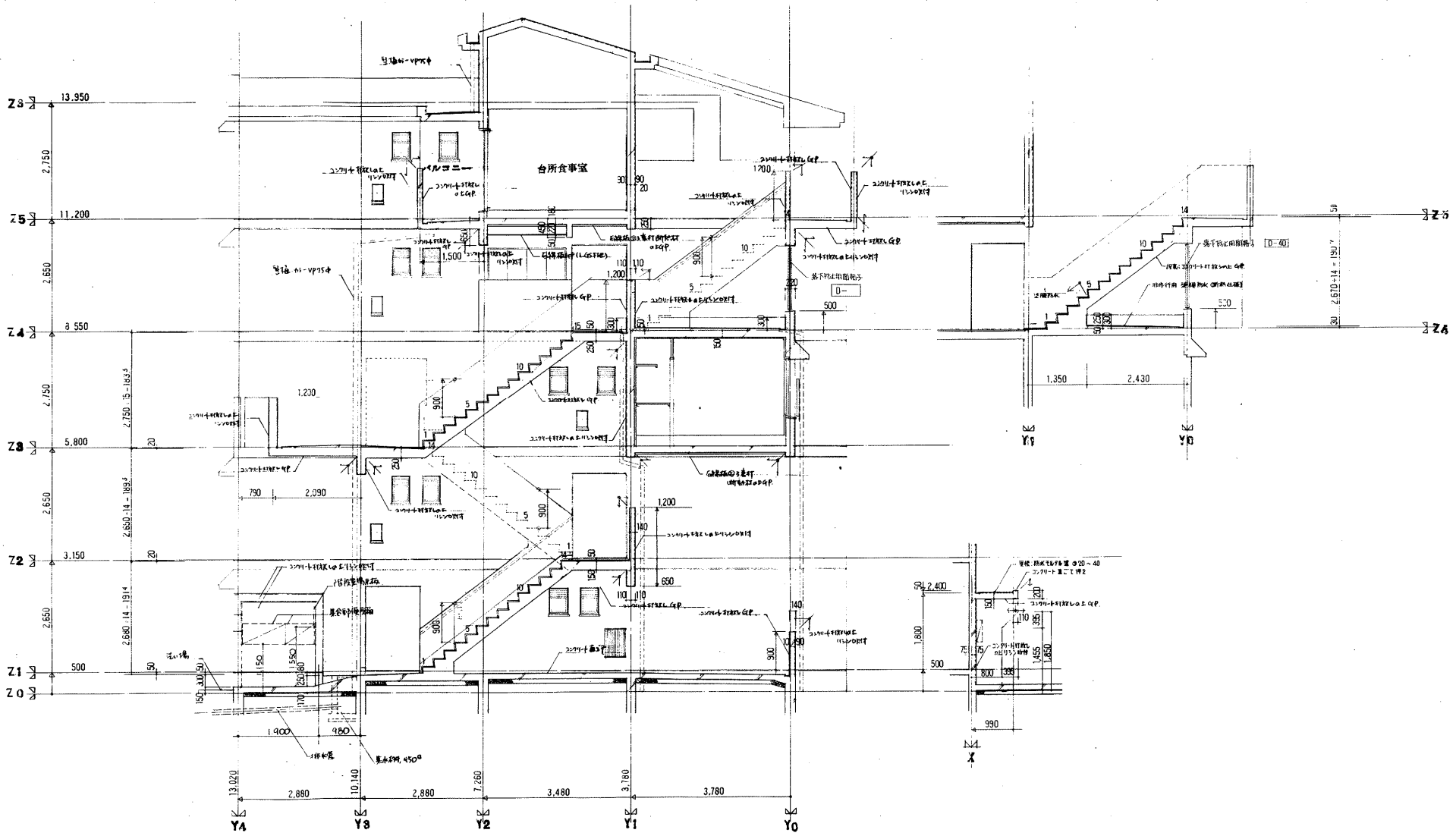
※バルコニー形状は一般平面図による

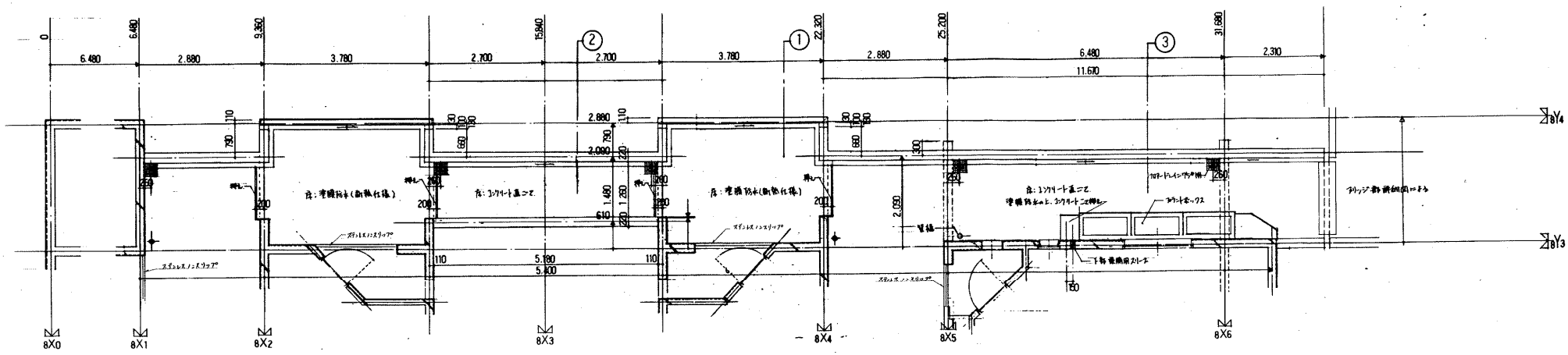
床伏図

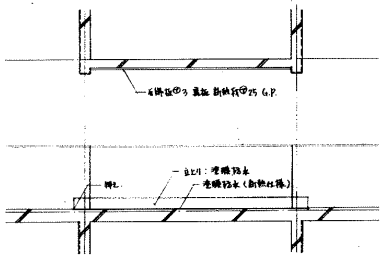
天井伏図



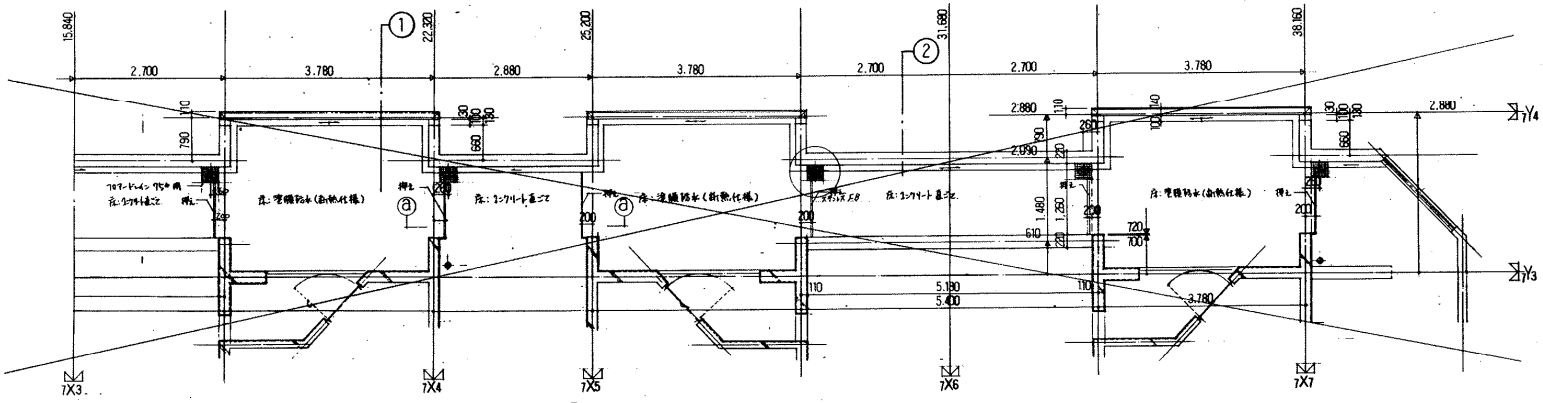
1階平面詳細図　2階平面詳細図　3階平面詳細図　4階平面詳細図　5階平面詳細図

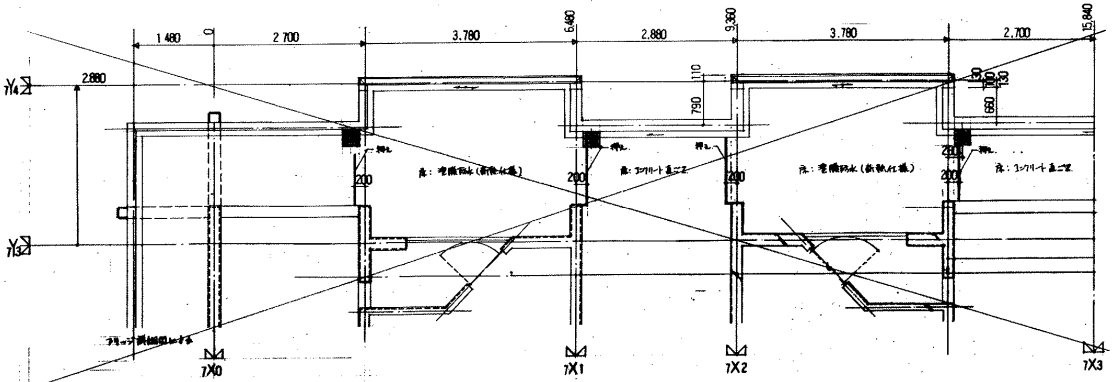

Z8 13.950
Z5 11.200
Z4 8.550
Z3 5.800
Z2 3.150
Z1 500
Z0
2,750
2,650
2,750
2,650
2,650
台所食事室
バルコニー
1,500
1,200
1,200
2,090
790
1,900
980
2,880
2,880
3,480
3,780
3,780
13,020
10,140
7,260
Y4
Y3
Y2
Y1
Y0
1,350
2,430
Y5
Y6
2,400
1,800
990
X

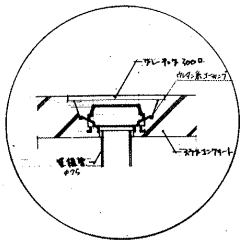




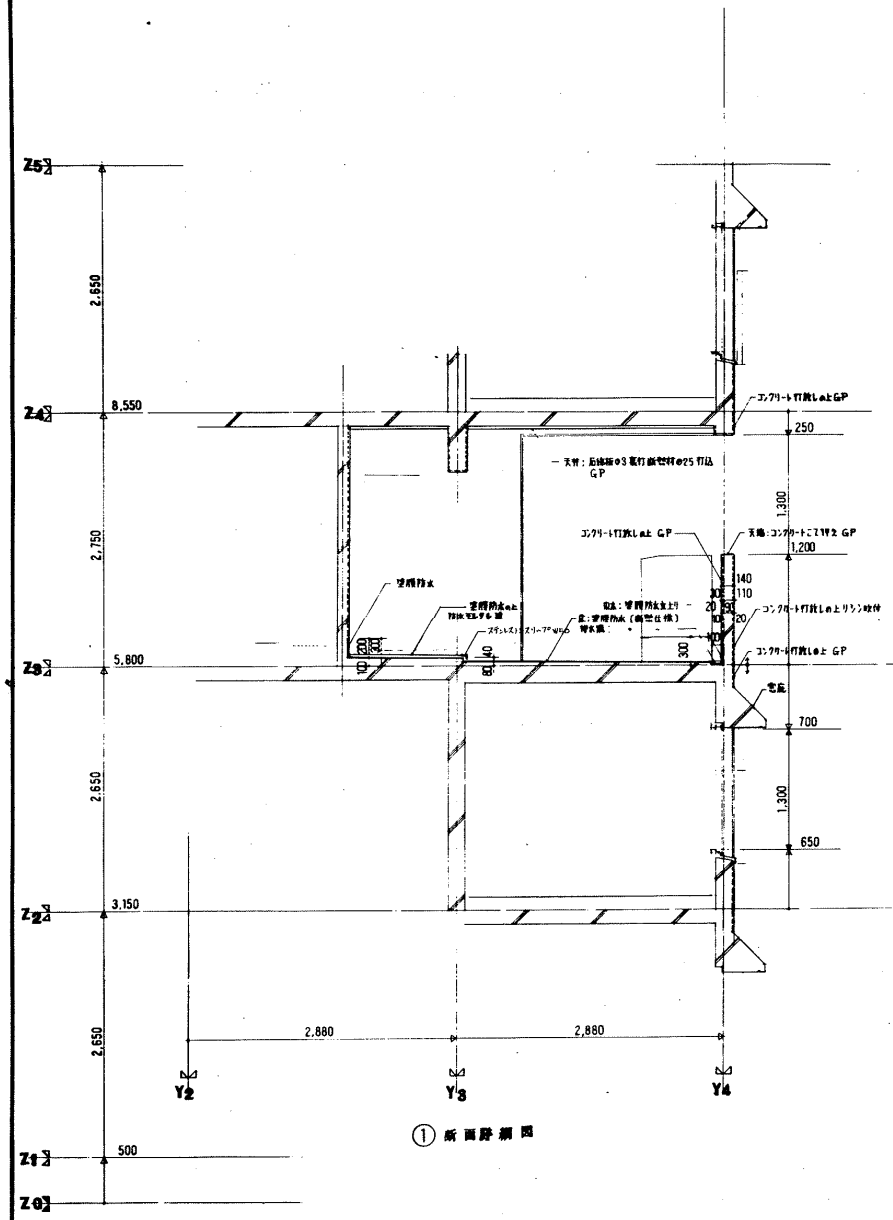
ⓐ 断 面 図



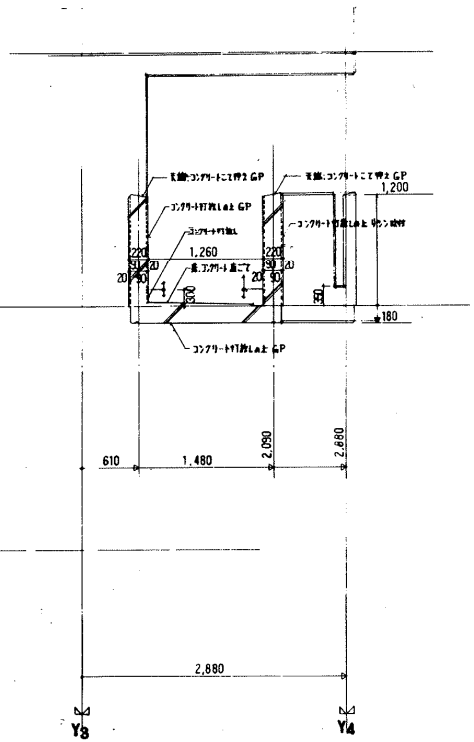




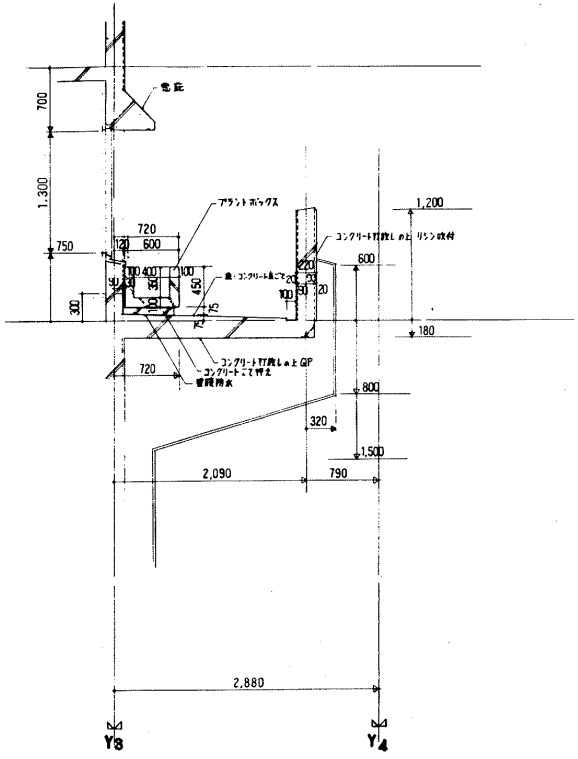
エレベーター機 断面詳細図 1:10



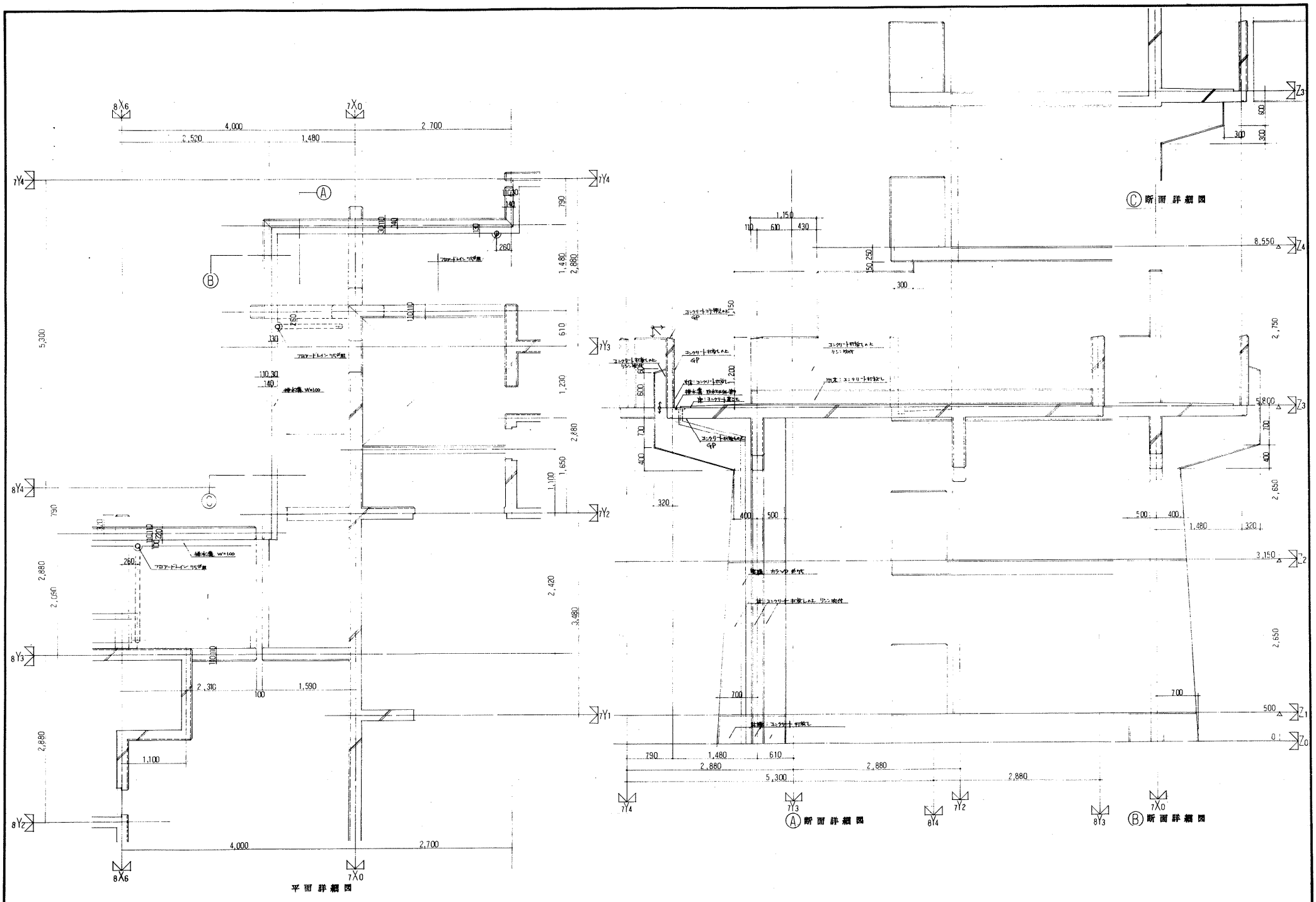
① 断面詳細図



② 断面詳細図

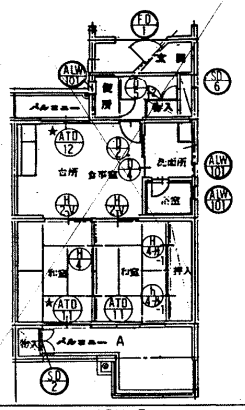


③ 断面詳細図

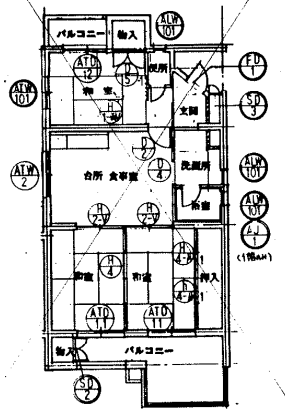

平面詳細図
Ⓐ断面詳細図
Ⓑ断面詳細図
Ⓒ断面詳細図

建具案内図

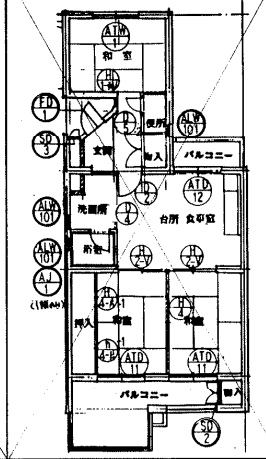
2DK-F



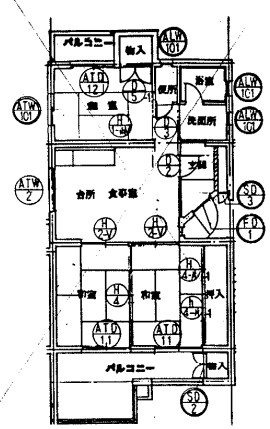
3DK-A



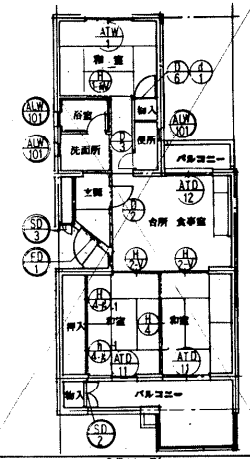
3DK-B



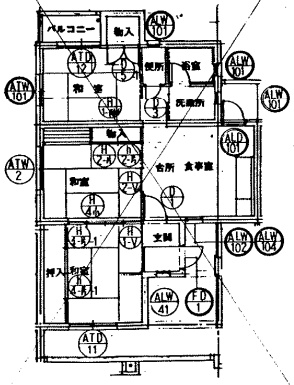
3DK-C



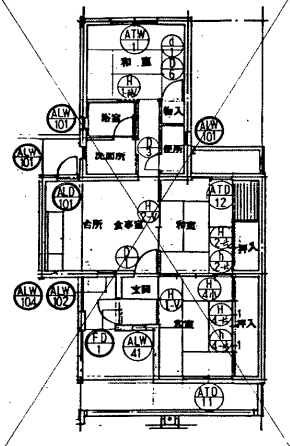
3DK-D



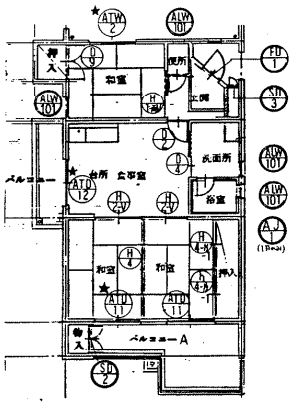
3DK-E



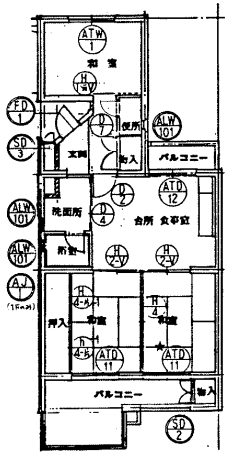
3DK-F



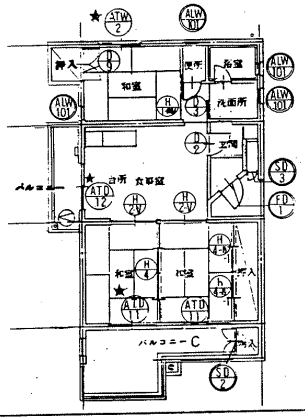
3DK-A'



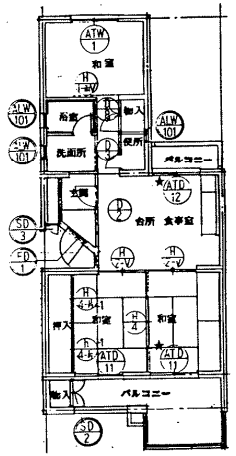
3DK-B'



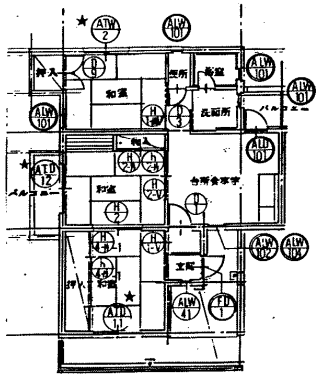
3DK-C'



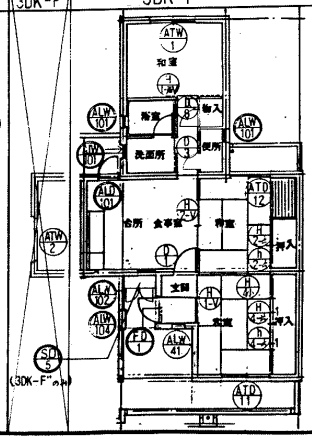
3DK-D'



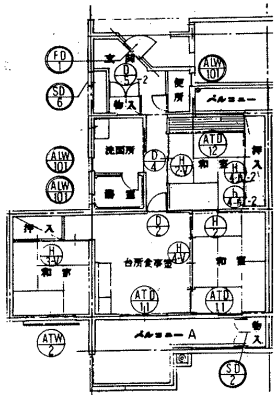
3DK-E'



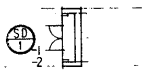
3DK-F'



3DK-J



階段室



-1, -2 の仕様は 別紙詳細図による

備考

注）建具案内図中★印の付いた建具の開きは
下記の通りとする
上部：網入透明ガラス㎜6.8（小窓共）
下部：網入型板ガラス㎜6.8
該当住戸
・1号棟　西側住戸
・5号棟　東側住戸

住戸タイプ別建具数量

戸数	2DK	3DK						3DK								備考
	F	A	B	C	D	E	F	A′	B′	C′	D′	E′	F′	F″	J	
(A)																
(A)																
(A)	1	1	1	1	1			1	1	1	1				1	
(A)		1	1	1	1			1	1	1	1					
(A)														1		
(A)	1															
(A)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
(A)	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	1	1	1	2	
(A)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
(A)						1	1					1	1			
(A)			1		1		1		1		1		1	1		
(A)		1				1		1		1		1		1	1	
(A)						1	1					1	1	1		
(A)	3	3 2(1F㎡)	3 2(1F㎡)	3	3	3	3	3 2(1F㎡)	3 2(1F㎡)			4	3	3	3	
(A)						1	1					1	1			
(A)						1	1					1	1			
(A)		1		1		1										
(A)		1(1F㎡)	1(1F㎡)					1(1F㎡)	1(1F㎡)							
(B)						1	1					1	1	1		
(B)	1	1	1	1	1			1	1	1	1				1	
(B)				1	1	1	1			1	1	1	1	1		
(B)-1	1	1	1					1	1						1	
(B)-2	1		1												1	
(B)					1		1									
(B)									1							
(B)										1		1	1			
(B)								1		1		1				
(B)					1		1									
(B)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
(B)						1	1					1	1	1		
(B)												1			1	
(B)	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	
(B)						1	1					1	1	1		
(B)															1	
(B)	1	1	1	1	1			1	1	1	1					
(B)						1	1						1	1		
(B)															1	
(B)-1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
(B)-2															1	
(B)						1	1					1	1	1		
(B)-1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
(B)-2															1	

7 号 棟

2DK	3DK						合計	備考
F	B′	D′	F′	F″	J			
3	5	10	4	1	2		25	
							2	4F 階段室
3	5	10			2		20	
	5	10					15	
				1			1	
3					2		5	
3	5	10	4	1	2		25	
5 ★1	9 ★1	18 ★2	4	1	4		41 ★4	
2 ★1	4 ★1	8 ★2	4	1	2		21 ★4	
			4				4	
	5	10	4	1			20	
				1	2		3	
			4	1			5	
9	10	30	12	3	6		70	
			4				4	
			4				4	
	5						5	
			4	1			5	
3	5	10			2		20	
		10	4	1			15	
3	5				2		10	
3					2		5	
	5						5	
		10	4	1			15	
	5	10	4	1			20	
			4	1			5	
					2		2	
6	10	20	4	1	2		43	
			4	1			5	
					2		2	
3	5	10					18	
			4	1			5	
					2		2	
3	5	10	4	1			23	
					2		2	
			4	1			5	
3	5	10	4	1			23	
					2		2	

8 号 棟

3DK							合計	備考
A′	B′	C′	D′	E′	F′	J		
2	4	2	6	1	3	2	20	
							2	4F 階段室
2	4	2	6			2	16	
2	4	2	6				14	
						2	2	
2	4	2	6	1	3	2	20	
4	8	4	12	1	3	4	36	
★2	4	★2	6	★1	3	2	15 ★5	
				1	3		4	
	4		6		3		13	
1 ★1		2		1		2	6 ★1	
				1	3		4	
7	9	8	18	4	9	6	61	
				1	3		4	
				1	3		4	
1	3						4	
				1	3		4	
2	4	2	6			2	16	
		2	6	1	3		12	
2	4					2	8	
						2	2	
	4						4	
			6		3		9	
2		2		1			5	
2	4	2	6	1	3		18	
				1	3		4	
				1		2	3	
4	8	4	12	1	3	2	34	
				1	3		4	
						2	2	
2	4	2	6				14	
					3		3	
						2	2	
2	4	2	6	1	3		18	
						2	2	
				1	3		4	
2	4	2	6	1	3		18	
						2	2	

10 号 棟

3DK						合計	備考
A	B	C	D	E	F		
4	8	4	8	2	4	30	
						2	4F 階段室
						2	4F 階段室
4	8	4	8			24	
4	8	4	8			24	
8	16	8	16	2	4	54	
4	8	4	8	2	4	30	
				2	4	6	
	8		8		4	20	
4		4		2		10	
				2	4	6	
10	20	12	24	6	12	84	
				2	4	6	
				2	4	6	
4		4		2		10	
2	4					6	
				2	4	6	
4	8	4	8			24	
		4	8	2	4	18	
4	8					12	
4		4		2		10	
	8					8	
			8		4	12	
4	8	4	8	2	4	30	
				2	4	6	
8	16	8	16	2	4	54	
				2	4	6	
4	8	4	8			24	
				2	4	6	
4	8	4	8	2	4	30	
				2	4	6	
4	8	4	8	2	4	30	

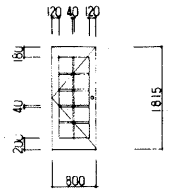
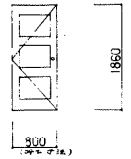
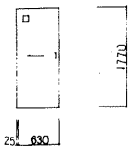
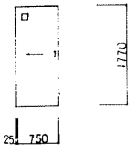
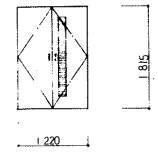
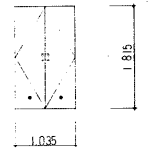
記号	SD-1,-2	SD-3	SD-4	SD-4	SD-5	FD
種式	両袖付2枚開ｷﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄﾄｱ	鋼製片面フラッシュ両開戸	片袖ｷﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄﾄｱ	鋼製片面フラッシュ両開戸	引違ﾒﾀﾙｻｯｼ	鋼製両面フラッシュ片開戸
場所	建具表内図による	建具表内図による	建具表内図による	建具表内図による	建具表内図による	建具表内図による
見込	50	50	50	50	80	80
材料	枠 PL-1.2 パネル PL-1.0	枠 PL-1.2 パネル PL-1.0	枠 PL-1.2 パネル PL-1.0	枠 PL-1.2 パネル PL-1.0	枠 PL-1.2 パネル PL-1.0	枠 PL-1.2 パネル PL-1.0
明子	—	—	—	—	—	—
仕上	亜鉛ﾒｯｷ下地 O.P	亜鉛ﾒｯｷ下地 O.P	亜鉛ﾒｯｷ下地 O.P	亜鉛ﾒｯｷ下地 O.P	亜鉛ﾒｯｷ下地 O.P	亜鉛ﾒｯｷ下地 O.P
開閉金物	ステンレス丁番 4ヶ 上下落し SG41亜鉛ﾒｯｷ2組 戸当り	ステンレス丁番 4ヶ 戸当り 上下落し SG41亜鉛ﾒｯｷ2組	ステンレス丁番 2ヶ 上下落し SG41亜鉛ﾒｯｷ1組 戸当り	ステンレス丁番 4ヶ 上下落し SG41亜鉛ﾒｯｷ2組 戸当り	ステンレス丁番 戸当り	表面ブラシレス用ｵﾌｾｯﾄﾋﾝｼﾞ2ヶ ﾄﾞｱﾁｪｰﾝ1ヶ 戸当り1ヶ 錠用受座1ヶ ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾁ1ヶ ｻﾑﾀﾝﾗｯﾁ1ヶ
表面	1795 FIX FIX 1790	1800 900	1895 350	1800 1080	480 1050	1900 800
備考						

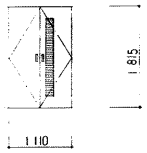
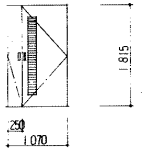
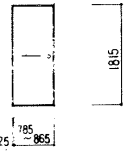
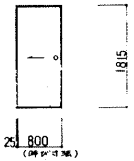
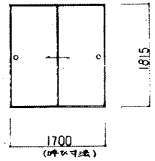
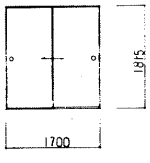
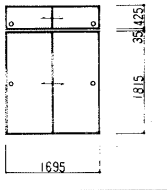
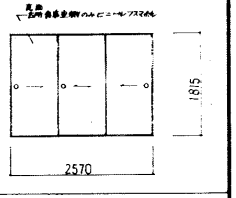
記号	ATD-11	ATD-12	AD-101	DOOR-101	AD-102	ATW-1	ATW-2	ALW-10
種式	引違ｲﾄ(可動ｱﾐ戸付)(AT仕様)	引違ｲﾄ(可動ｱﾐ戸付)(AT仕様)	片開きﾄｱ	引違ｲﾄﾞｱ	片袖嵌ﾒ格ｼ 引違ｲﾄ(可動ｱﾐ戸付)	引違ｲﾄﾞｱ (可動ｱﾐ戸)(AT仕様)	引違ｲﾄﾞｱ (可動ｱﾐ戸)(AT仕様)	引違ｲﾄﾞｱ (可動ｱﾐ戸付)
場所	建具表内図による	建具表内図による	建具表内図による	建具表内図による	建具表内図による	建具表内図による	建具表内図による	建具表内図による
見込	70	70	60	60	70	70	70	60
材料	BL仕様	BL仕様	BL仕様に準する	BL仕様に準する	BL仕様に準する	BL仕様	BL仕様	BL仕様に準する
明子	上部：型板ｶﾞﾗｽ@6.8(室内側) 下部：強入透明ｶﾞﾗｽ@6.8	上部：強入透明ｶﾞﾗｽ@6.8 下部：強入型板ｶﾞﾗｽ@6.8	上部：強入透明ｶﾞﾗｽ@6.8 下部：強入型板ｶﾞﾗｽ@6.8	熱入型板ｶﾞﾗｽ@6.8	同左	上部：強入透明ｶﾞﾗｽ@6.8(外気側) 下部：強入型板ｶﾞﾗｽ@6.8	同左	型板ｶﾞﾗｽ@4mm
仕上	BL仕様	BL仕様	BL仕様に準する	BL仕様に準する	BL仕様に準する	BL仕様	BL仕様	BL仕様に準する
開閉金物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式 ﾏｸﾞﾈｯﾁ	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式
表面	1800 1700	1800 1500	1800 800	400 1200	1650 FIX FIX 660 170 1700 2430	1300 1700	1300 1500	900 900
備考	BL-KJ-1718S	BL-KJ-1518S	水圧 35kg/m² 台風 0.4m/sec			BL-KJ-1713S	BL-KJ-1513S	

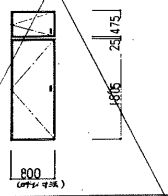
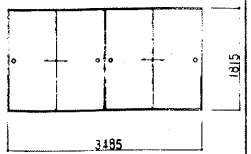
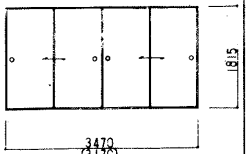
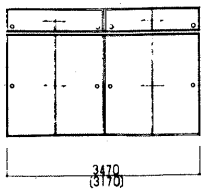
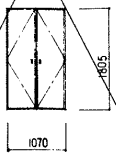
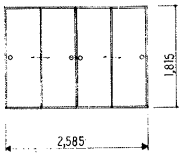
記号	AJ-1	ALW-40	ALW-41	ALW-100	SD-6	DOOR-101
種式	ジャロジー窓 (アミ戸付)	七り出シ窓	七り出シ窓	掛ﾒ格シ窓	片開き フラッシュドア	内倒シ窓 (可動カラリ付)
場所	建具表内図による	建具表内図による	建具表内図による	建具表内図による	建具表内図による	建具表内図による
見込	70	60	60	60	50	60
材料	BL仕様に準する	BL仕様に準する	BL仕様に準する	BL仕様に準する	枠 PL-1.2 パネル PL-1.0	BL仕様に準する
明子	型板ｶﾞﾗｽ@6.0	細入透明ｶﾞﾗｽ@6.8	強入型板ｶﾞﾗｽ@6.8	強入透明ｶﾞﾗｽ@6.8	—	細入型板ｶﾞﾗｽ@6.8
仕上	BL仕様に準する	BL仕様に準する	BL仕様に準する	BL仕様に準する	亜鉛ﾒｯｷ下地	BL仕様に準する
開閉金物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	—	ステンレス丁番 2ヶ 戸当り 上下落し SG41亜鉛ﾒｯｷ1組	附属金物一式
表面	515 380	900 600	600 400	FIX 400 600	1200 400	600 400
備考			0406			

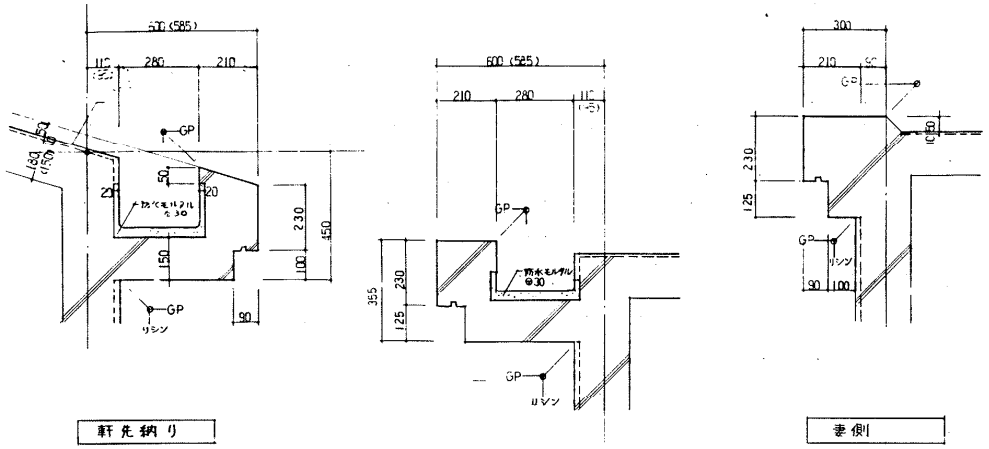
□ ATD扉のアルﾐ框建具については 全て、(サッシュ強度 280kg/m² ｼﾘｰｽﾞ ／ 水密 50kg/m² ｼﾘｰｽﾞ ／ 気密 2m³/hm² ／ 遮音 25~5 dB ｼﾘｰｽﾞ) の性能を有する BL指標ｻｯｼ BL仕様に準するものとする。

又 その他のアルﾐ框建具については (サッシュ強度 200kg/m² ｼﾘｰｽﾞ ／ 水密 35kg/m² ｼﾘｰｽﾞ ／ 気密 0.4m³/hm² ／ 遮音 10dB ｼﾘｰｽﾞ) のｸﾗｽを有するﾓﾉとBL指標ｻｯｼ BL仕様に準するものとする。

記号	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5-2	D-9
型式	片開き框戸	片開きフラッシュ戸	片引きフラッシュ戸	片引きフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸（カラリ付）	両開きフラッシュ戸（型板ガラス付）
場所	台所食事室	台所食事室	洗面所	洗面所	物入	物入（和室）
見込	33	30	30	30	30	30
材料	BL仕様に依る（スプルース）	BL仕様に依る（強合板 t9mm）	BL仕様に依る（当合板 t9mm）	BL仕様に依る（当合板 t9mm）	BL仕様に依る（強合板 t4mm）	BL仕様に依る（強合板 t4mm）
硝子	型板ガラス t4mm	型板ガラス t4mm	型板ガラス t4mm	型板ガラス t4mm		
仕上	O.P	O.P	O.P	O.P	O.P	O.P
附属金物	空錠 1ヶ ステンレス丸落し付3個（102mm）3ヶ 上框台戸当り SUS304 1ヶ	空錠 1ヶ ステンレス丸落し付3個（89mm）2ヶ 上框台戸当り SUS304 1ヶ	吊込引手 SUS304（105mm）2ヶ 戸戸当 強化アイロン 4.5t 2ヶ	吊込引手 SUS304（105mm）2ヶ 戸戸当 強化アイロン 4.5t 2ヶ	フラットネック 4ヶ ステンレス丸落し付3個（89mm）4ヶ 丸座吊元 SUS304（80mm）2ヶ	フラットネック 4ヶ ステンレス丸落し付3個（89mm）4ヶ 丸座吊元 SUS304（80mm）2ヶ
姿図						
備考	K-2E	F-2E	F-2B	F-2B	F-1A・F-3C	F-1A・F-1A

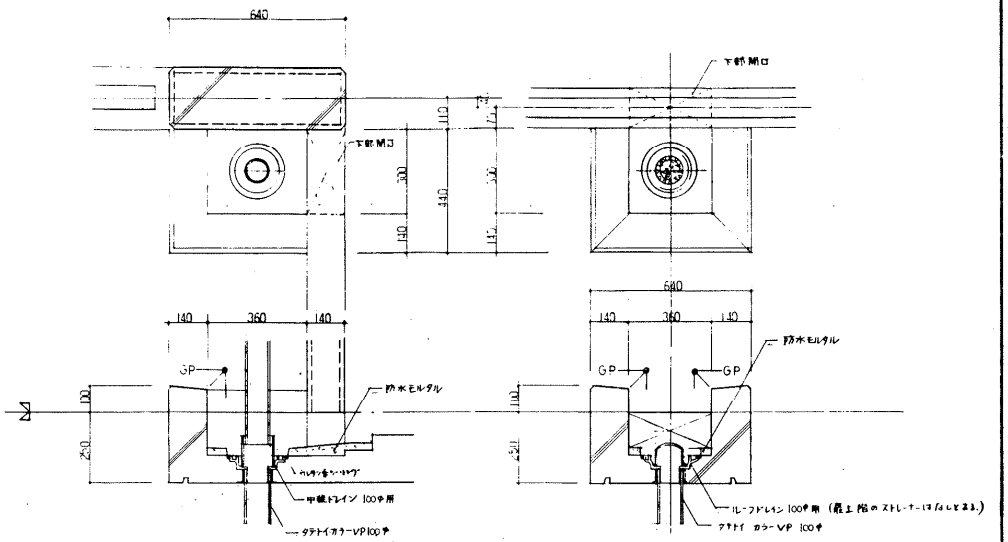
記号	D-7	D-8	H-1-W	H-1-V	H-2	H-2-V	H-2-W / H-2-W	H-3-V
型式	物入	物入	片引き フスマ	片引き フスマ	引違イ フスマ	引違イ フスマ	引違イ フスマ	3枚引違イフスマ
場所	両開き フラッシュ戸（カラリ付）	親子 フラッシュ戸（カラリ付）	和室	和室	和室	和室	押入・天袋	押入 和室
見込	30	30	19.5	19.5	19.5	19.5	19.5	19.5
材料	BL仕様に依る（強合板 t4mm）	BL仕様に依る（強合板 t4mm）	共通仕様書に依る	共通仕様書に依る	共通仕様書に依る	共通仕様書に依る	共通仕様書に依る	共通仕様書に依る
硝子								
仕上	O.P	O.P	和室側 新島の子紙 玄関側 ビニールフスマ紙	和室側 新島の子紙 玄関側 ビニールフスマ紙	両面 新島の子紙	和室側 新島の子紙 台所食事室側 ビニールフスマ紙	片面 新島の子紙	片面 新島の子紙 一部台所食事室側 ビニールフスマ紙
附属金物	フラットネック 4ヶ ステンレス丸落し付3個（89mm）4ヶ 丸座吊元 SUS304（80mm）2ヶ	フラットネック 4ヶ ステンレス丸落し付3個（89mm）4ヶ 丸座吊元 SUS304（80mm）2ヶ	玄関側：ビニールフスマ5ヶ 和室側：ビニールフスマ5ヶ	合成樹脂引手（丸型）大2ヶ	合成樹脂引手（丸型）大4ヶ	合成樹脂引手（丸型）大4ヶ	合成樹脂引手（丸型）大2ヶ 小2ヶ	合成樹脂引手（丸型）大4ヶ
姿図								
備考	F-1A・F-3C	F-1A・F-3C						

記号	D-6 / H-1-1	H-4	H-4-V-1,-2	H-4-W-1,-2 / H-4-W-1,-2	D-5-1	H-4-V
型式	片両き フラッシュ戸	4枚引違イフスマ	4枚引違イフスマ	4枚引違イフスマ	両開き フラッシュ戸	4枚引違イフスマ
場所	物入 ・天袋	和室	和室	押入・天袋	物入（和室）	和室
見込	30	19.5	19.5	19.5	30	19.5
材料	BL仕様による（強合板 t9/4mm）	共通仕様書に依る	共通仕様書に依る	共通仕様書に依る	BL仕様に依る（強合板 t4mm）	共通仕様書に依る
硝子						
仕上	片面ビニールフスマ紙	両面 新島の子紙	和室側 新島の子紙 台所食事室側 ビニールフスマ紙	片面 新島の子紙	片面ビニールフスマ紙	両面新島の子紙
附属金物	フラットネック 4ヶ ステンレス丸落し付3個（89mm）4ヶ 吊棚吊元 SUS304（80mm）1ヶ（65mm）2ヶ	合成樹脂引手（丸型）大8ヶ	合成樹脂引手（丸型）大8ヶ	合成樹脂引手（丸型）大4ヶ 小4ヶ	フラットネック 4ヶ、丸座吊元 SUS304（80mm）2ヶ ステンレス丸落し付3個（89mm）4ヶ	合成樹脂引手（丸型）大8ヶ
姿図						
備考	F-1A	[ ]内寸法は⊖-2の建具寸法とする	[ ]内寸法は⊖-2の建具寸法とする			



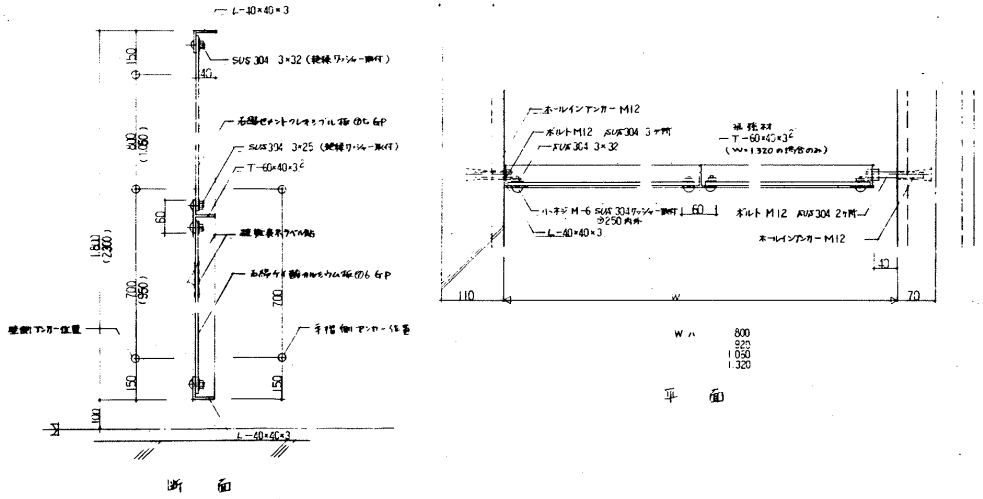
・外部仕上げ材下地はコンクリート打放しとする。

屋根廻り	
1：10	D-1



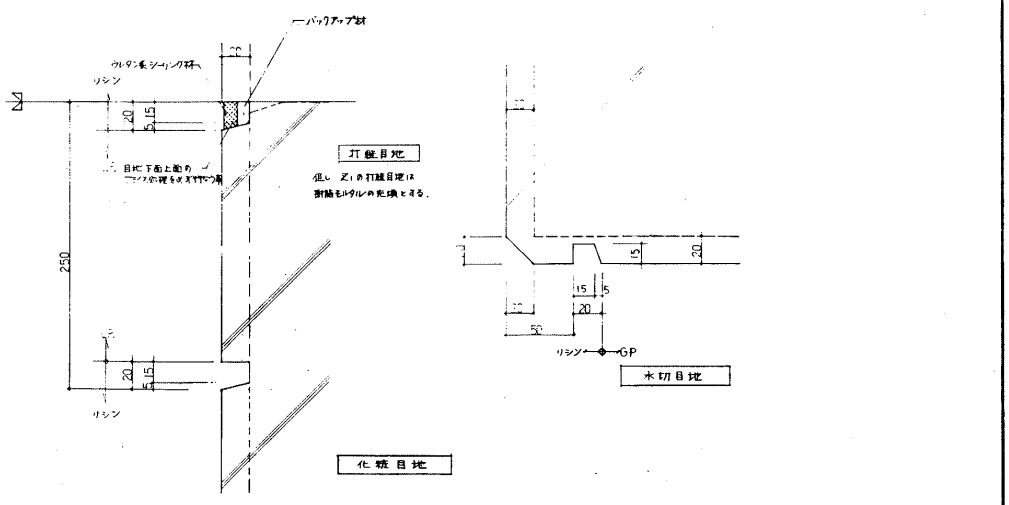
・外部仕上げ材下地はコンクリート打放しとする。

飾りマス	
1：10	D-2



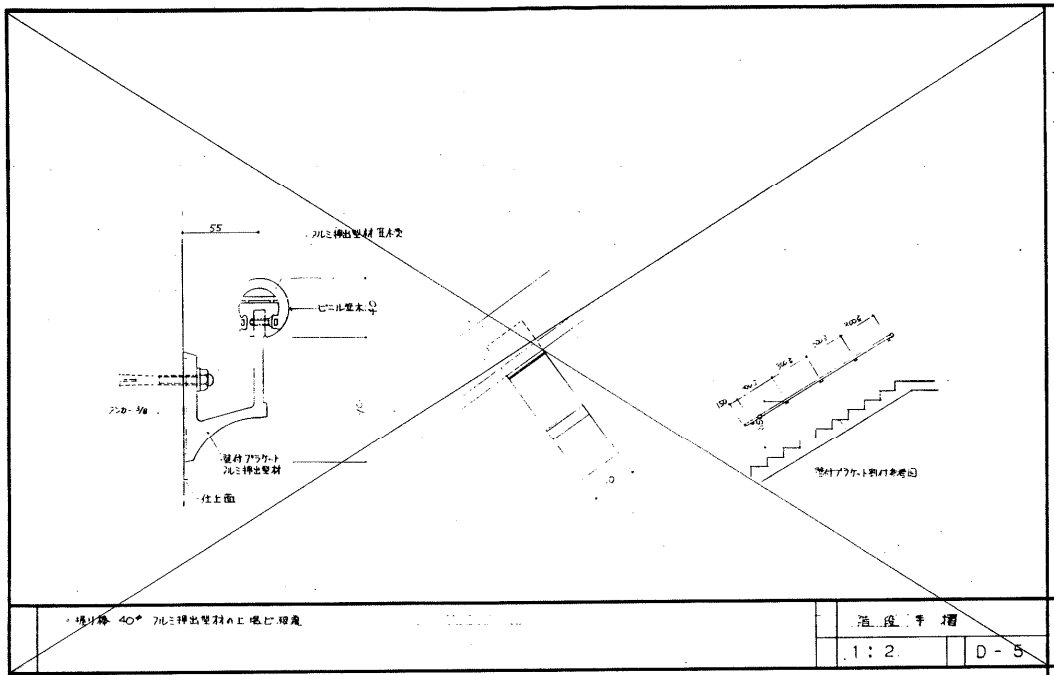
・隔板枠は、アルミ型材とし、材質及び仕上げはBL手すりユニットの仕様に準ずる。
・（ ）内寸法は、化粧バルコニーで敷物を施行する場合

バルコニー隔板廻り（型式図）	
1：5	D-3



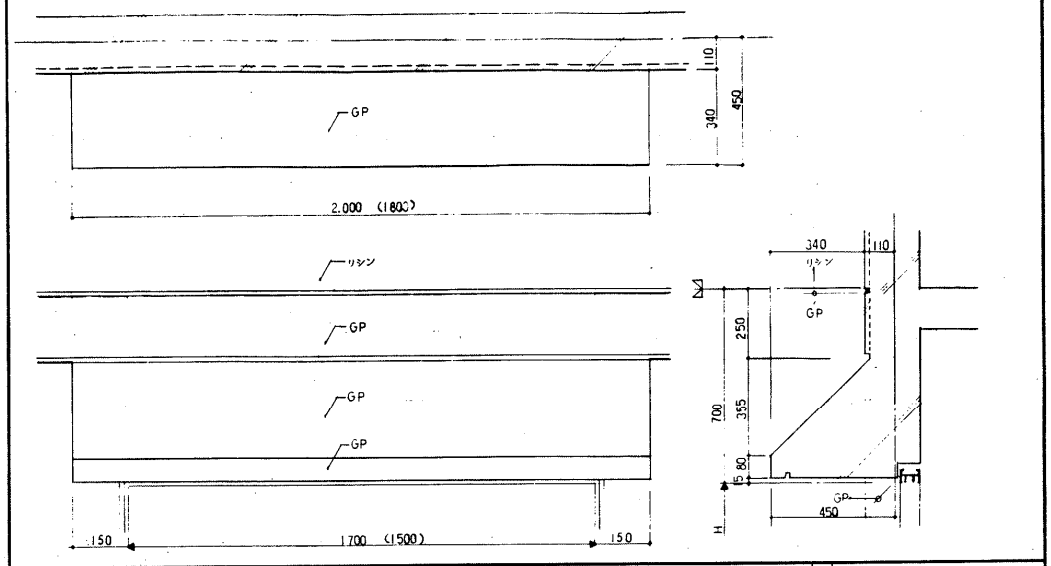
・外部仕上げ材下地はコンクリート打放しとする。

打継・化粧目地・水切廻り	
1：2	D-4



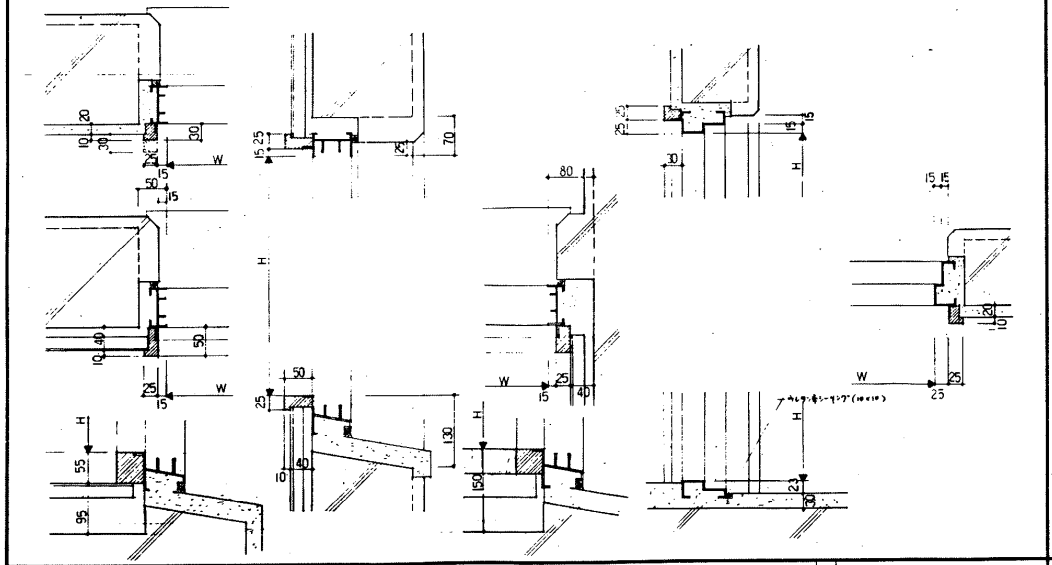
・張り勝 40° アルミ押出型材の上 地仁相度

階段手摺		
1：2	D－5	



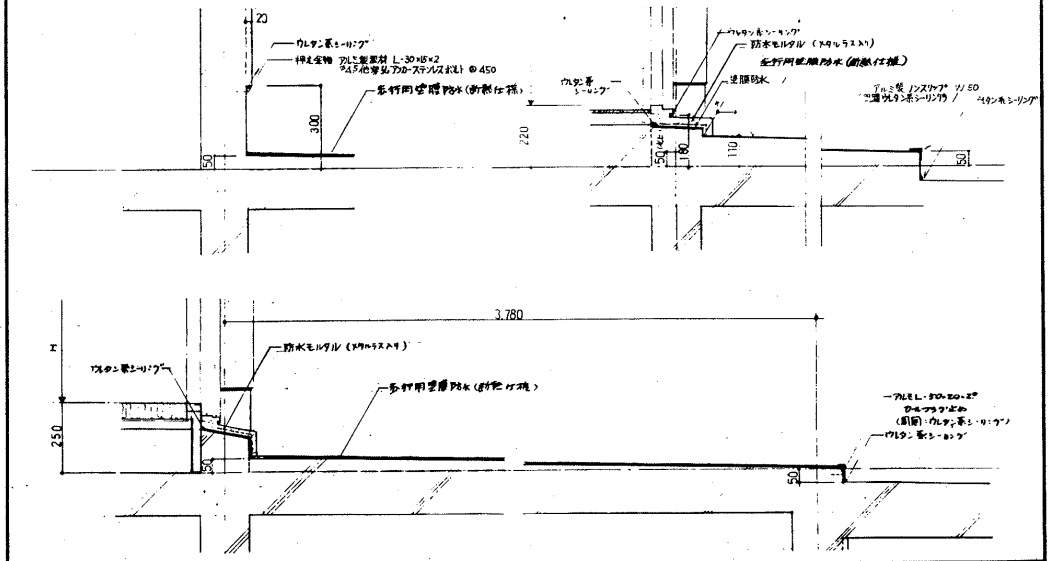
・外部仕上げ材下地は コンクリート打放しの上 こて押え(1回)とする

窓庇		
1：10	D－6	

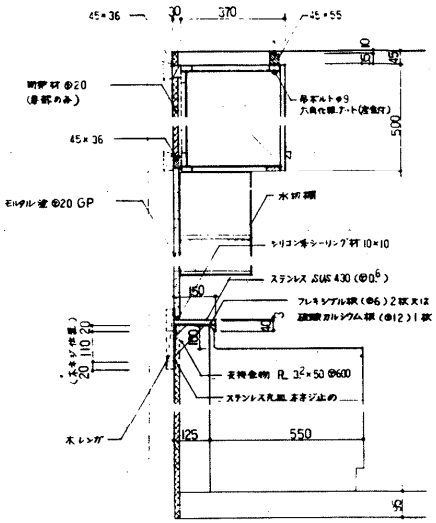


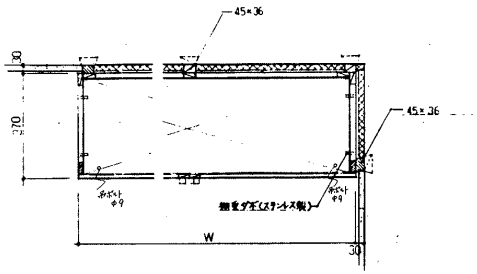
・シーリング材は 全て ウレタン系で施工

外部建具枠廻り		
1：5	D－7	



防水層廻り		
1：10	D－8	



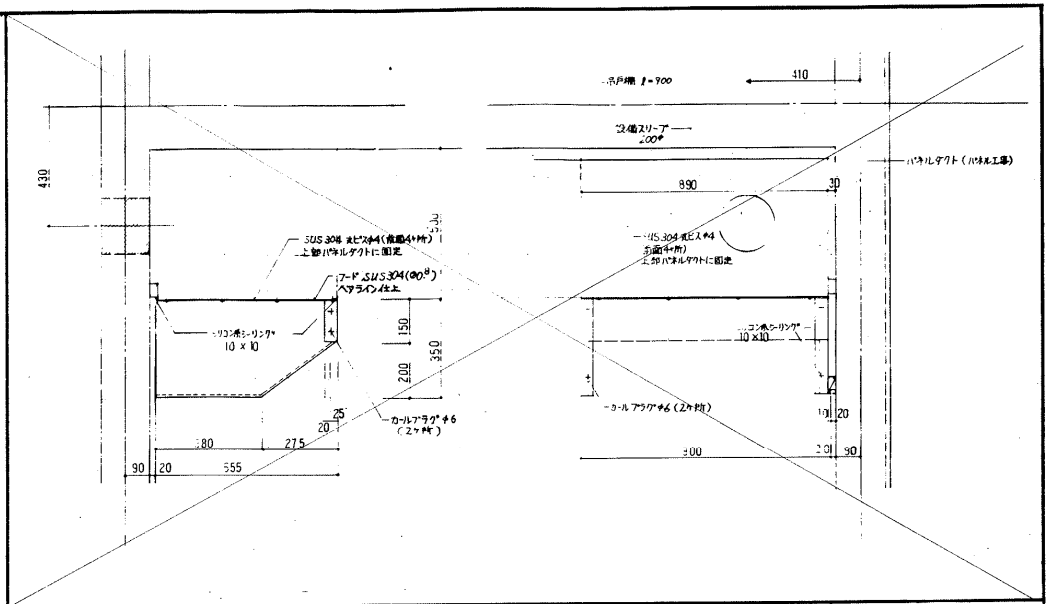


・吊戸棚の仕様はBLキッチンシステム吊戸棚 A に準ずる。
・吊戸棚取付用木材の見え掛り部は全て OP塗とする。

・ステンレスの種類
本体 SUS 430
バックガード 〃 304
水切カバー 〃 304

台所 流し廻り

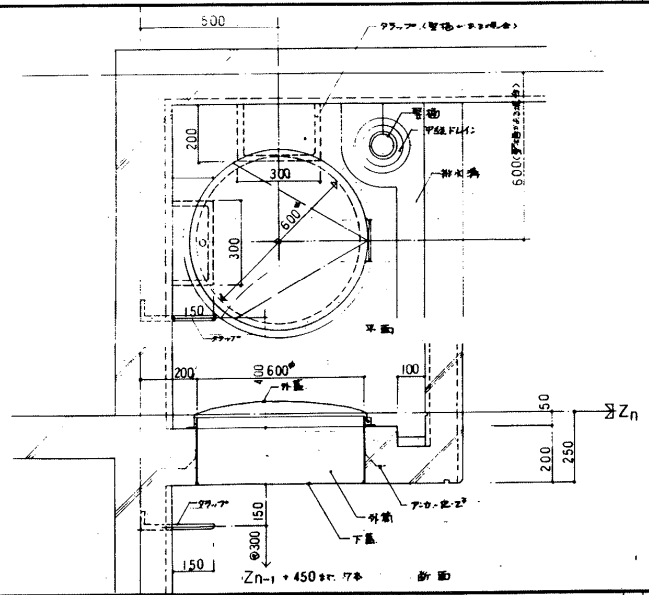
1 : 10 | D - 9

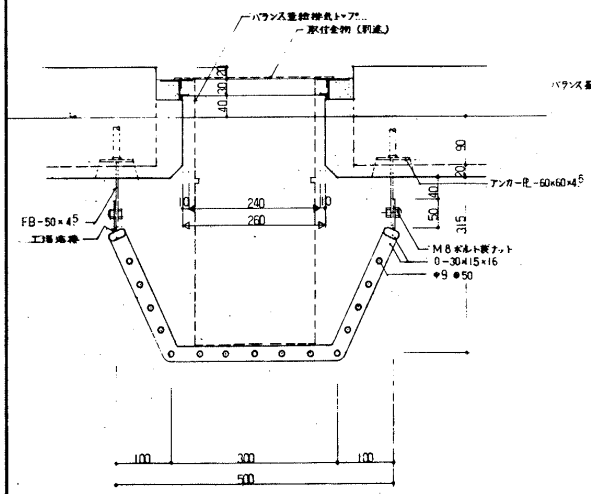


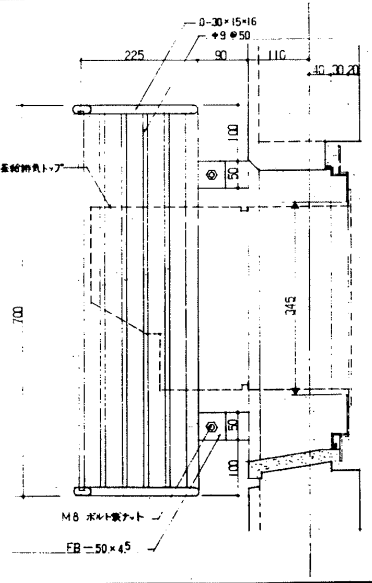
1. SUS 304 (t0.8) ヘアライン仕上とする。
2. 形状、取付等については、施工図作成の上 現場監督の承認を得ること

ステンレスフード

1 : 10 | D - 10







自由避難口：避難用マンホール 直径 600φ H=250 非常用開閉確保装置付
外筒：ステンレス(SUS304) @1.5 ヘアライン仕上げ
外筒：断熱材 ロックウール 吸音ボード等仕上げの上 O.P. 吉盛
下筒：合成樹脂 @3.0

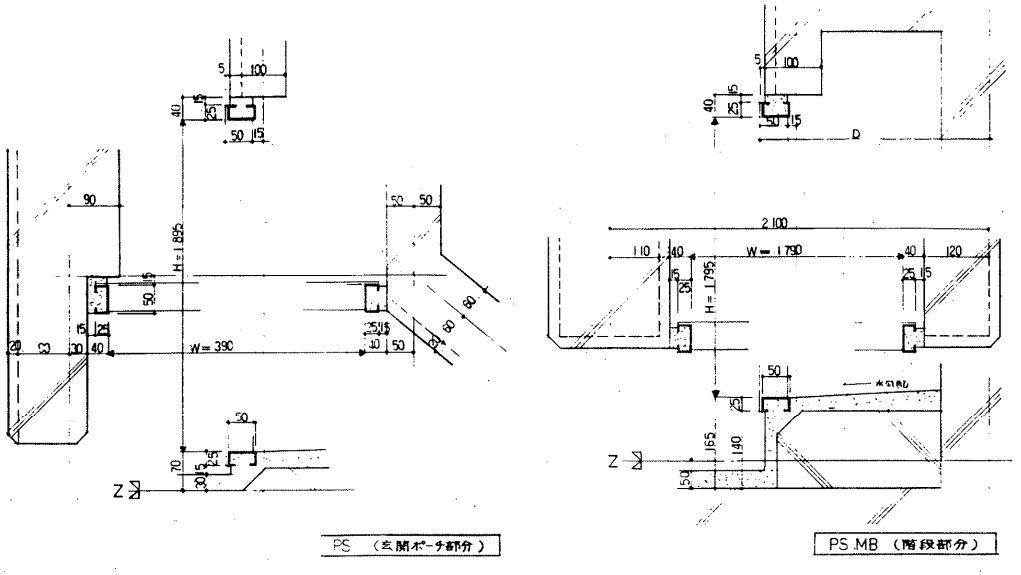
タラップ：ステンレス 19φ 表面エポキシ
(対滑ノンスリップ加工等耐水性と滑り止め)
昇降時のスリップ防止テープ

垂直避難口

1 : 10 | D-11

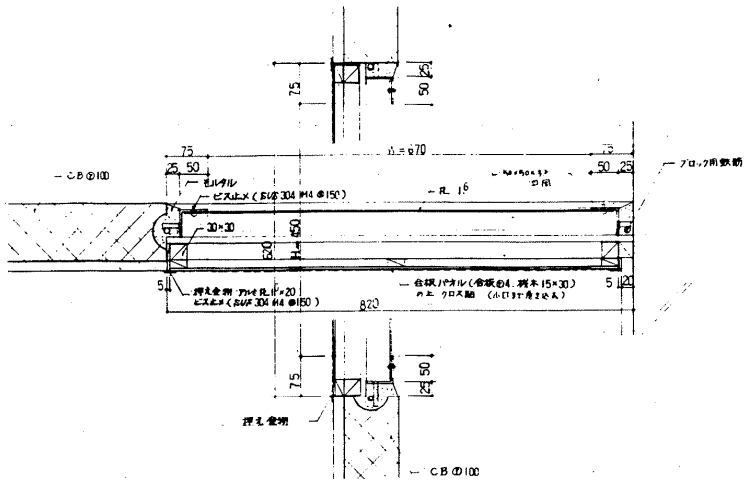
バランス釜トップカバー

1 : 5 | D-12



PS.MB 枠廻り

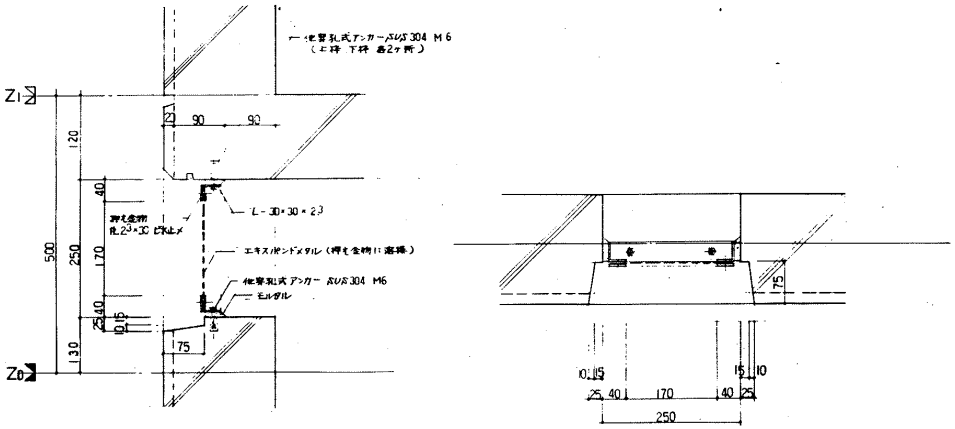
1 : 5 | D－13



鉄部は全て亜鉛メッキ処理とする。

MB 点検口

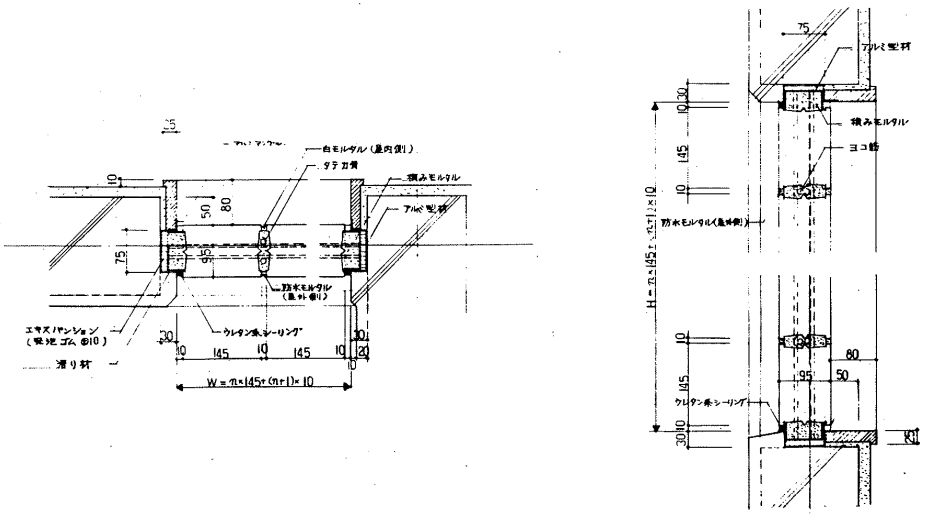
1 : 5 | D－14



エキスパンドメタルは SW－12 ， LW－30.5 ， T－1.6 ， W－2.0 とする。
鉄部は、全てドブ漬け亜鉛メッキ処理とする。

床下換気孔

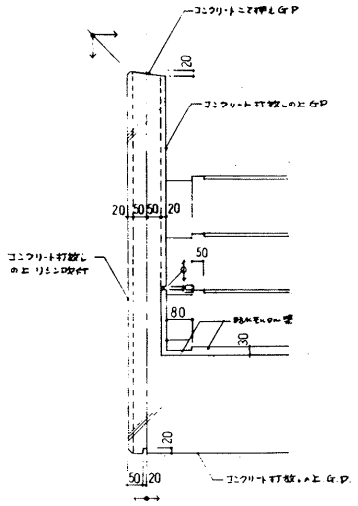
1 : 5 | D－15

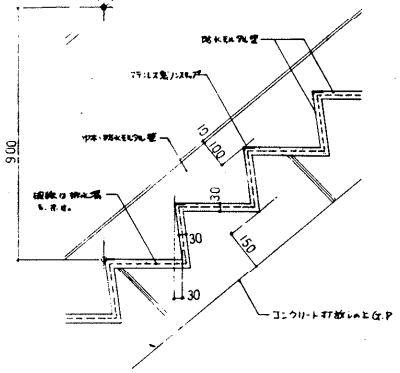


アルミ型材、エキスパンション、滑り材等はメーカー仕様による。
ガラスブロックはサイレーヌ書斎(網)クリヤ（145×145×95）2ヶ所同寸以上とする。

ガラスブロック廻り

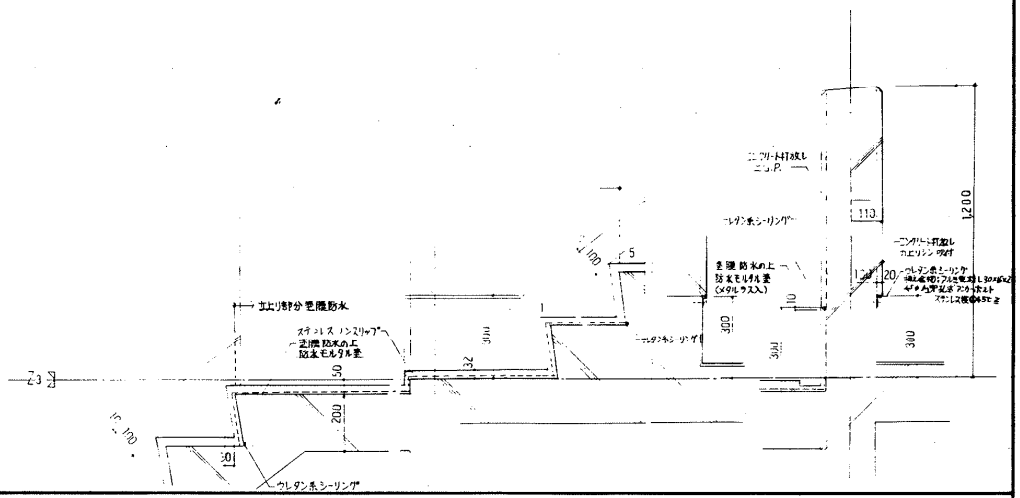
1 : 5 | D－16



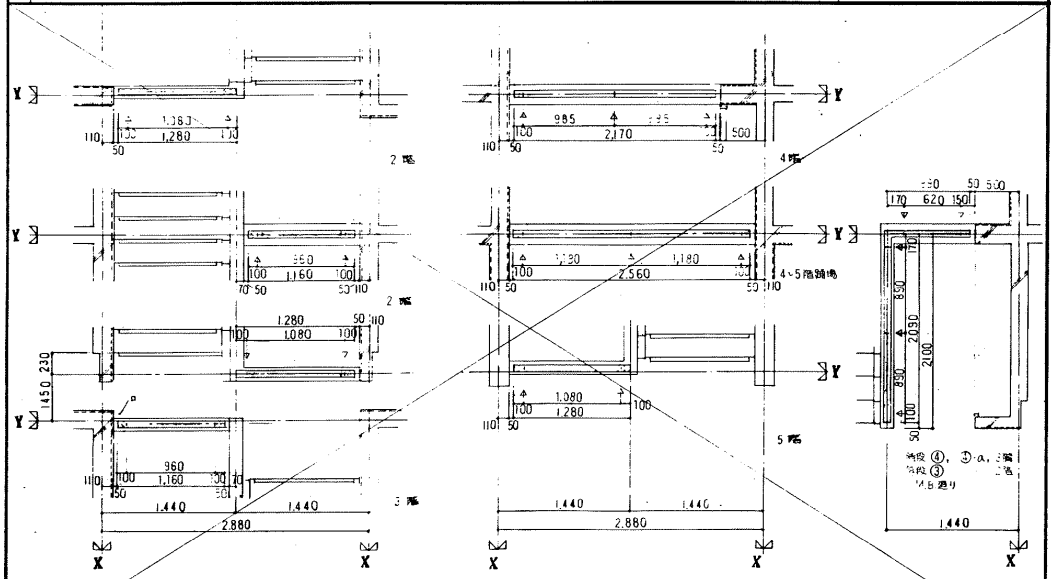


階段手摺り廻り－1

1:10 | D-17



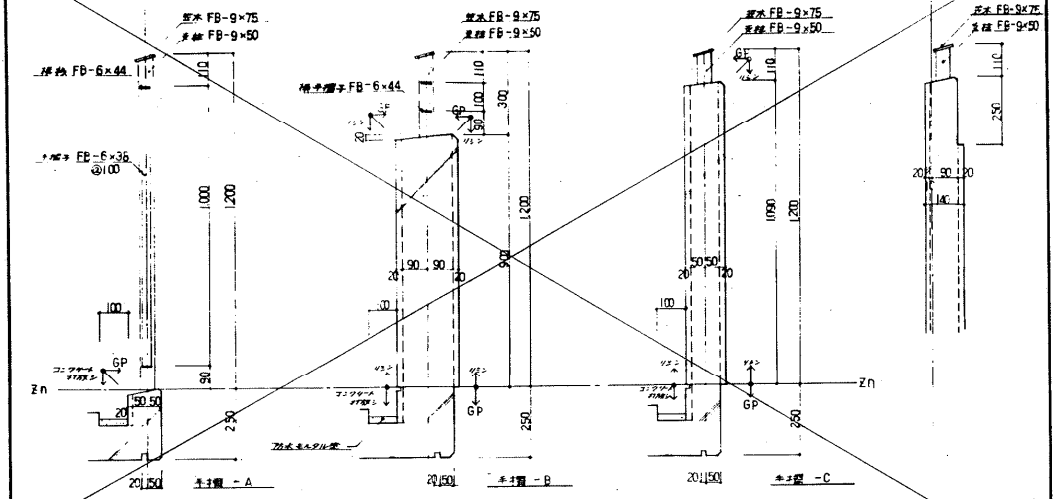
階段防水廻り



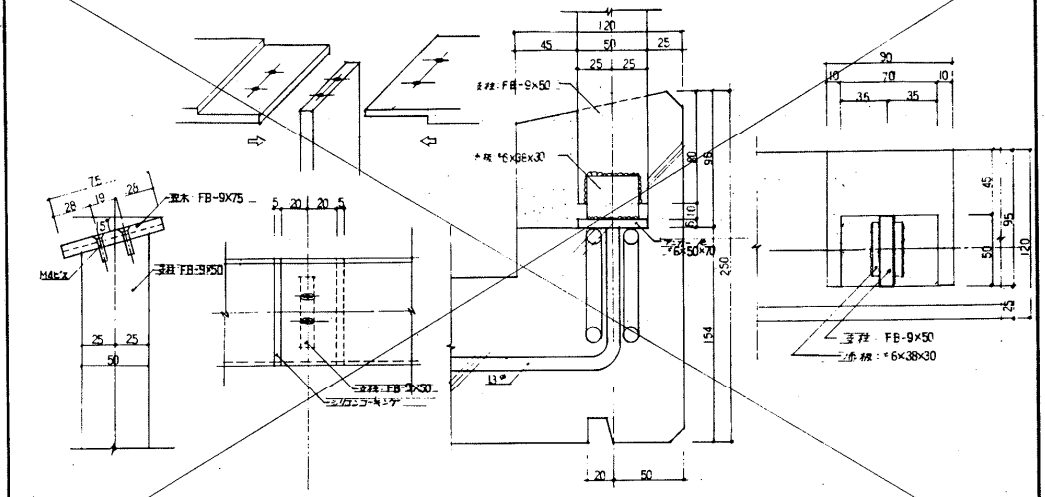
D：手摺取付位置
断面図は手摺り仕様Ⅱ．バルコニー手摺り D-20 － タイプCに倣う。

階段手摺り廻り－2

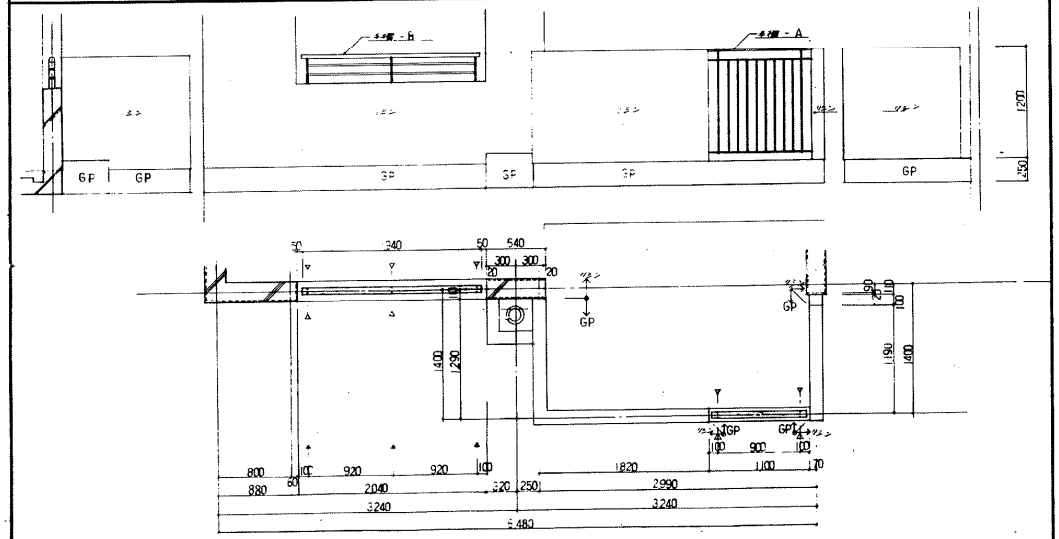
1:30 | D-18



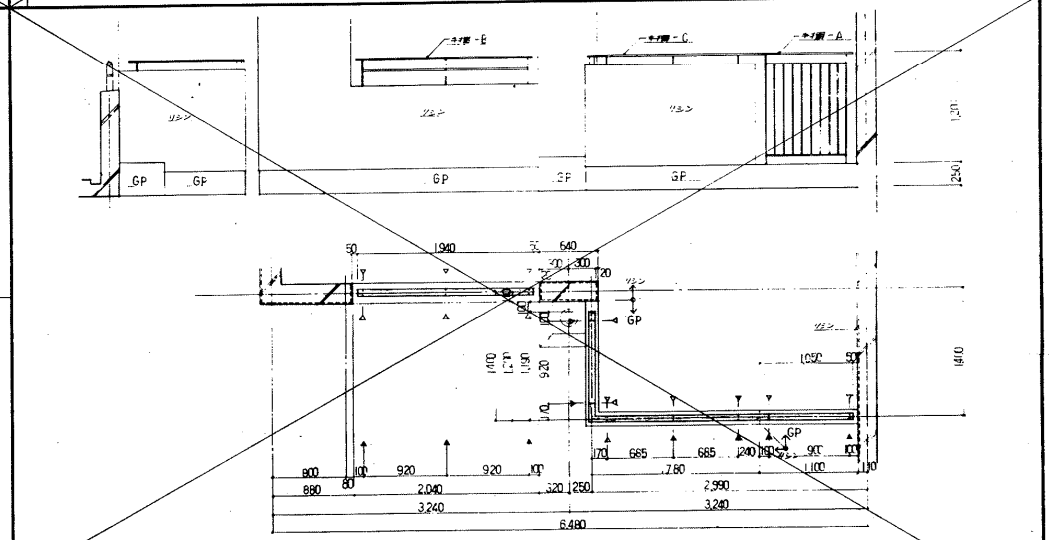
手摺 断面詳細図 | 1:10



手摺 笠木及びアンカー 詳細図 | 1:2



タイプ - A | 1:30

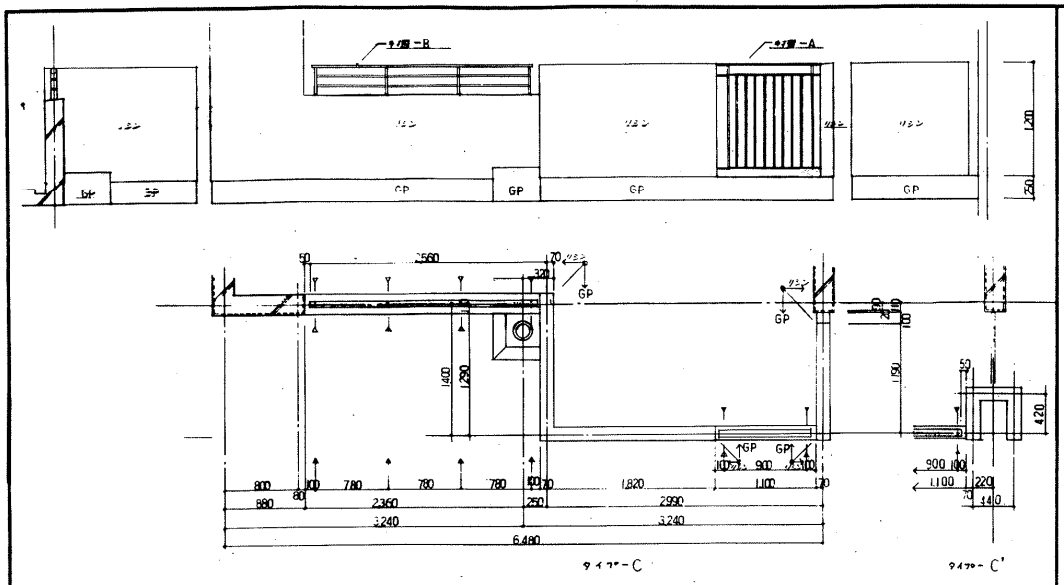


タイプ - B | 1:30

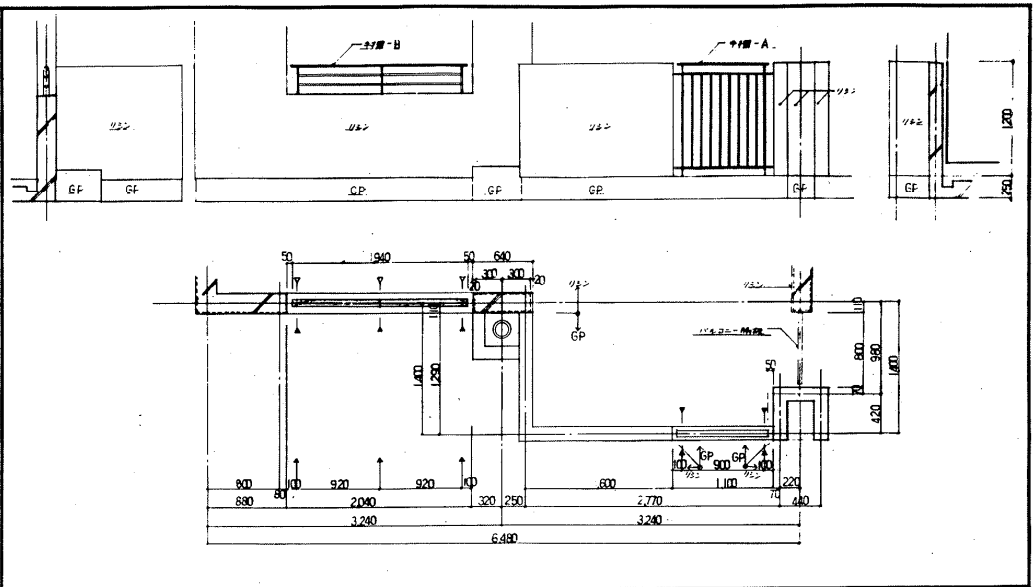
1. P：支柱取付位置
2. 手摺形状については、BL型手摺ユニットとする
3. その取付金具については、施工図作成の上、現場監督員の承認を得る事。

バルコニー 手摺 廻り

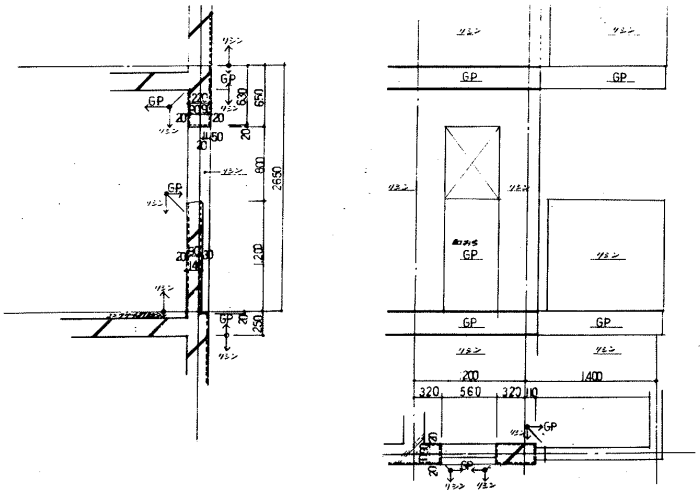
1:2,10,30 | D - 20 (1)



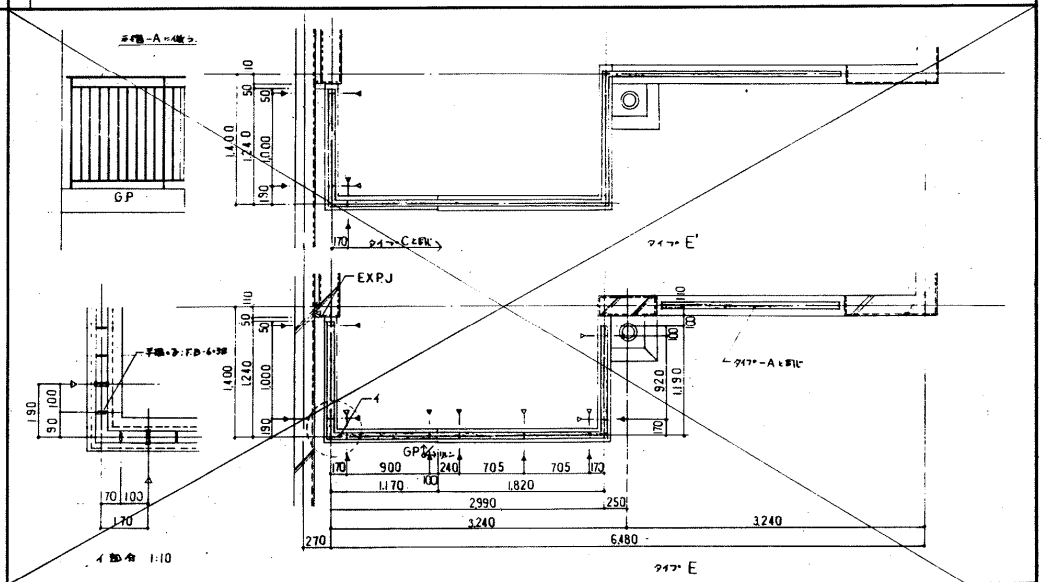
タイプ-C,C',C" | 1:30



タイプ-D | 1:30



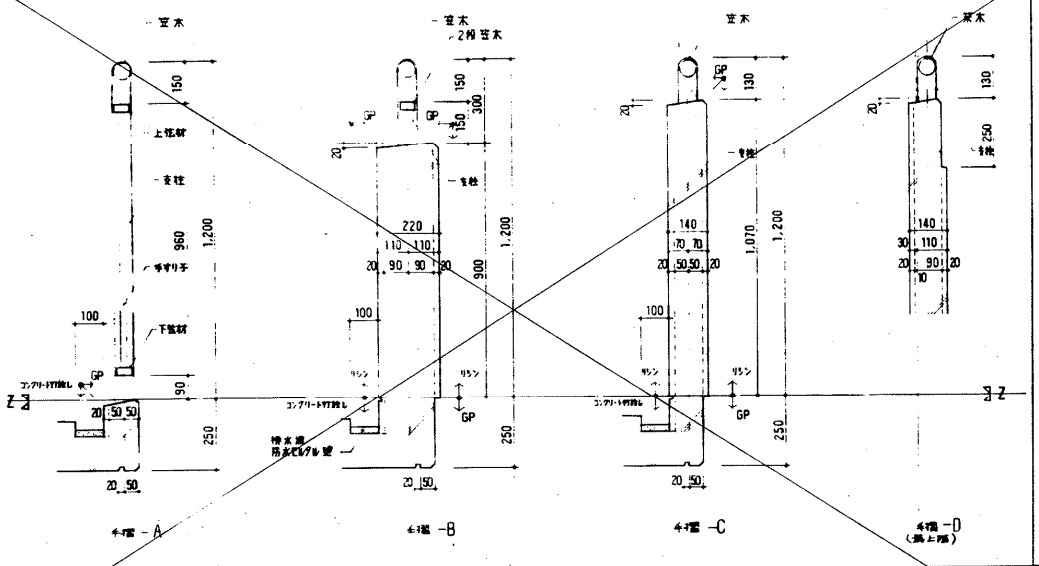
袖壁 廻り | 1:30



EXPJ 納め | タイプ E・E' | 1:10,30

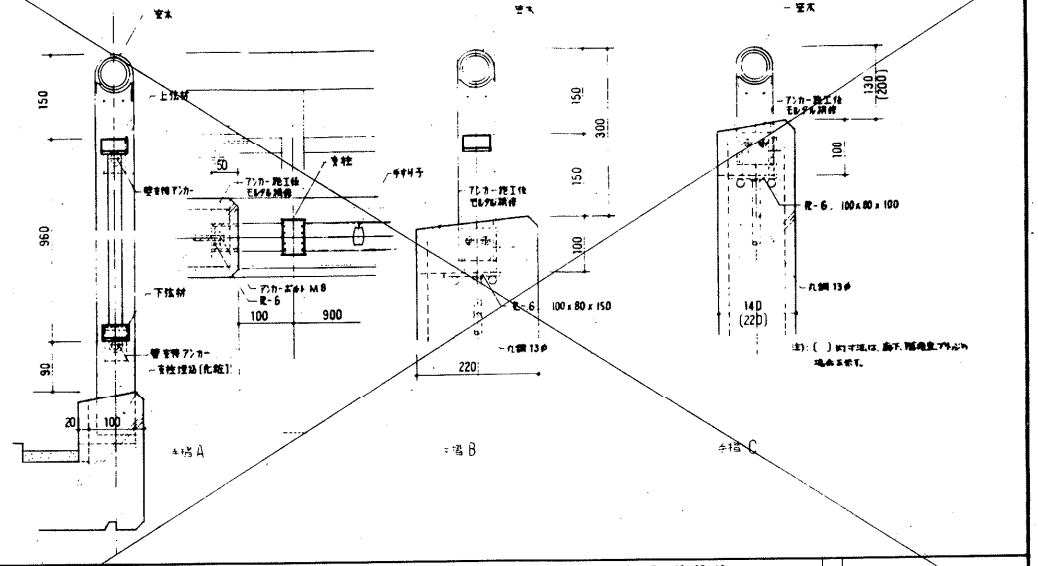
1. D:支柱取付位置
2. 手摺形状については、BL型手摺ユニットとする。
3. 形状取付等については、施工図作成の上現場監督員の承認を得る事。

バルコニー 手摺 廻り | 1:30,10 | D-20 (2)



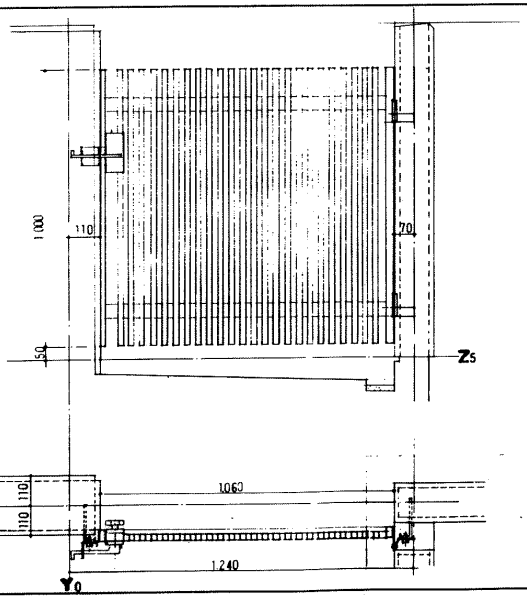
A部分は、BL型 手すりユニット、アルミ合金製、バルコニー用、2段笠木、手すり子ダイア、壁支持方式、
B・C・D部分の笠木は、A部分笠木と同材を使用する。
表面処理は ブロンズ色とし、自然発色 又は 陽極酸化被膜とする。

手すり断面	
1:10	D-20



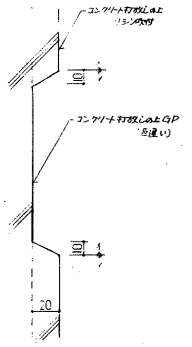
部材 鋼材寸法　笠木：50φ, t1.5　支柱：40x60x1.5　上性材(2段笠木)下性材：26x50x1.8　手すり子：20x30x1.5
ボルト類材質：ステンレス SUS-304

手すり及びアンカー	
1:5	D-20



・通行位置による開口の最小幅を75 (1000×1000 型)
・形状・寸法等の詳細については、施工図作成の上、現場監督員の承認を得ること。
・材料については、各メーカーの最高品質の ものを使用し、陽極酸化皮膜処理は AL-C 相当とする。
・色：ブロンズ色

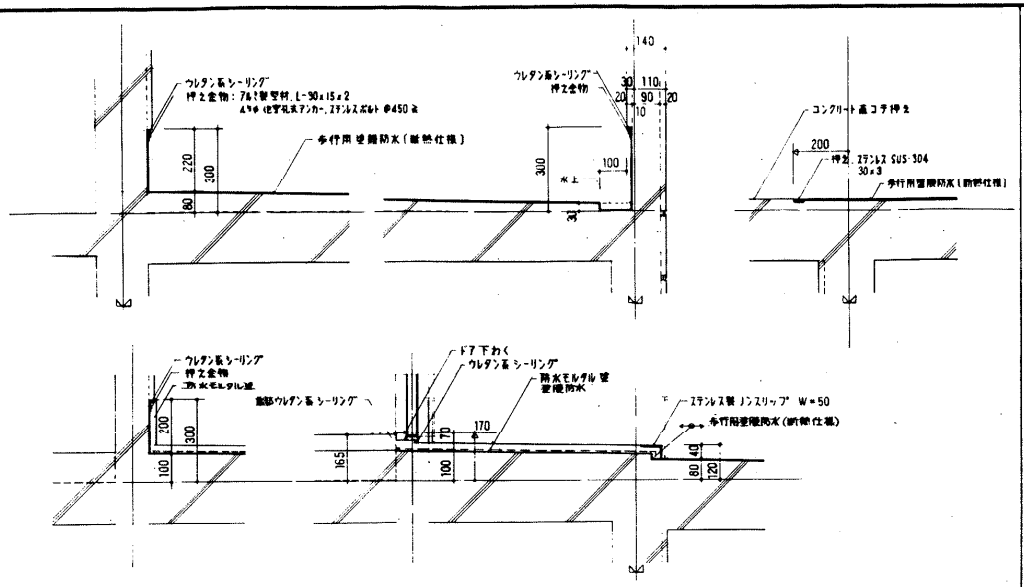
門扉 (室内側)	
1:10	D-34



61-ホ-7

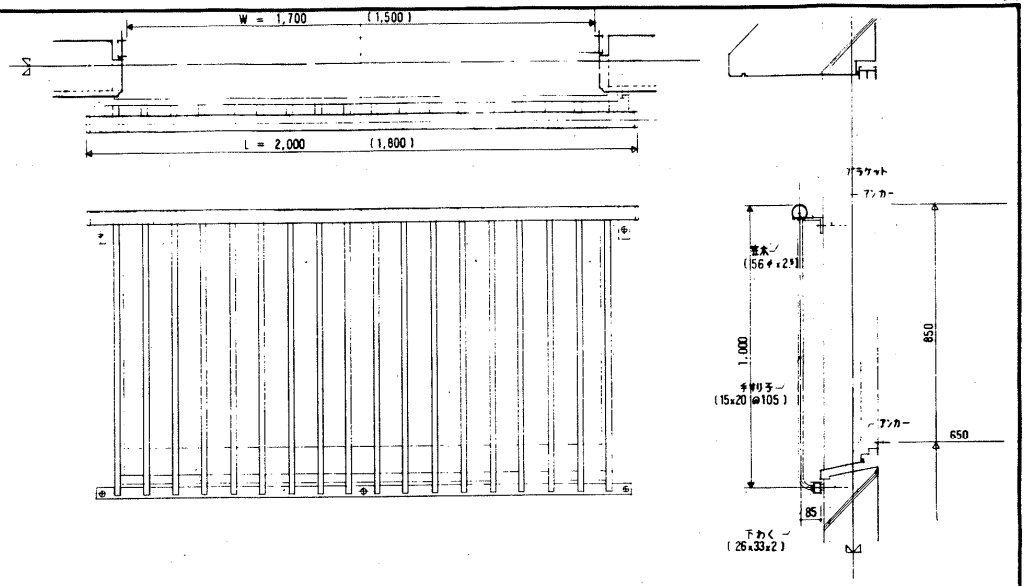
・詳細については各展開図とする

棟番号	
図示	D-26



廊下防水層廻り

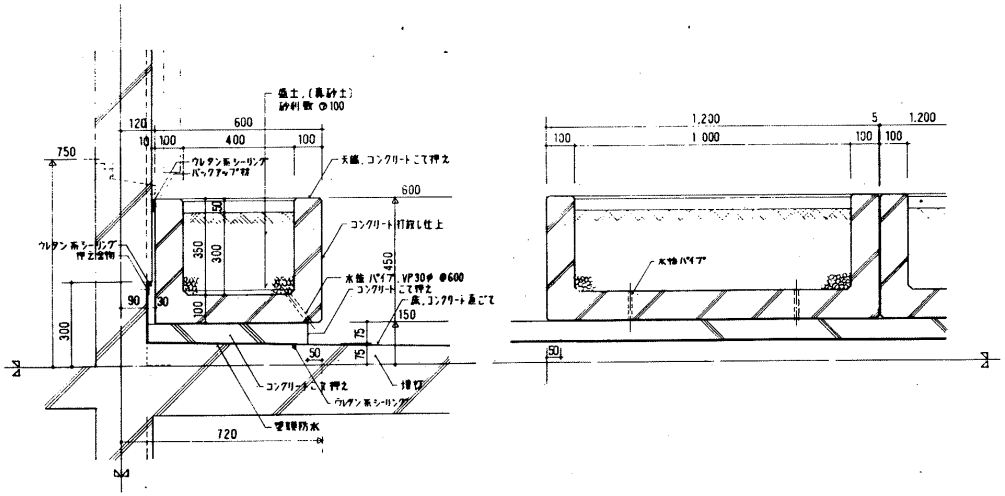
1:10 | D-30



BL型手すりユニット，アルミ合金製，室用（外部用）とする。
表面処理はブロンズ色とし，自然素色又は同等品の種類による。

窓手すり

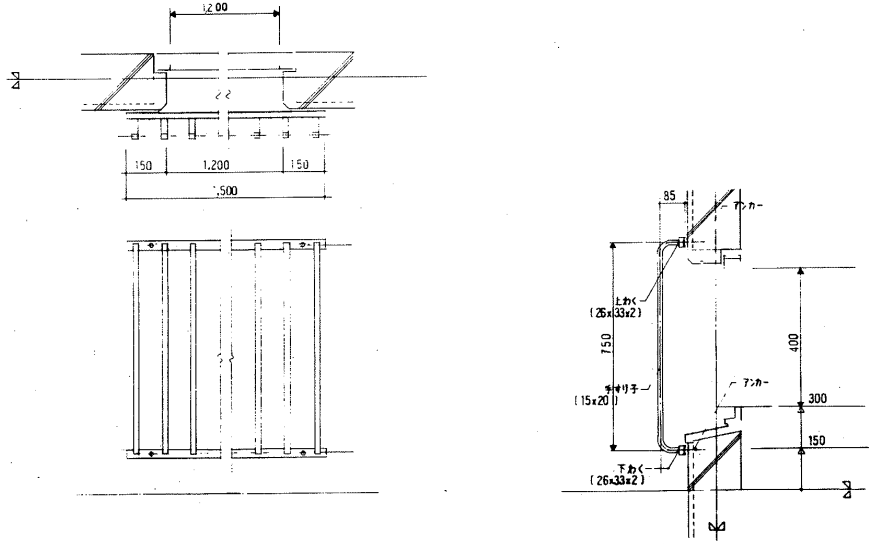
1:10 | D-32



アラントボックスは現場打PCとする。

廊下アラントボックス廻り

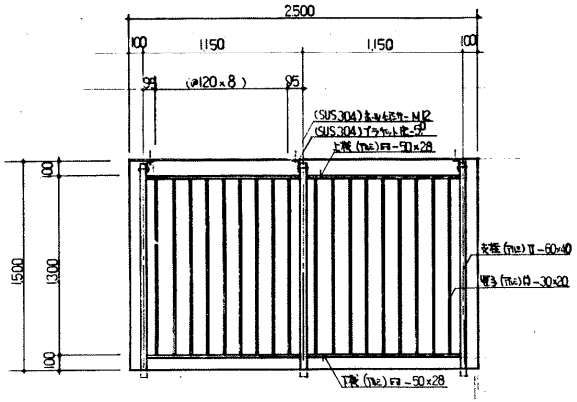
1:10 | D-31

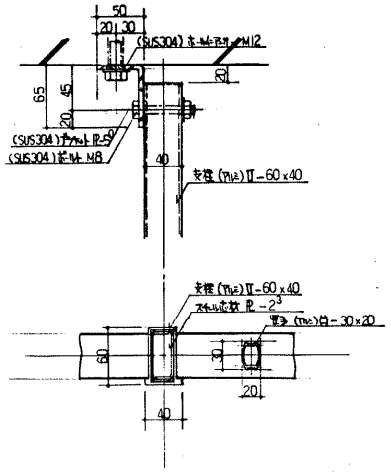


仕様は窓手すりに準ずる。

地窓面格子

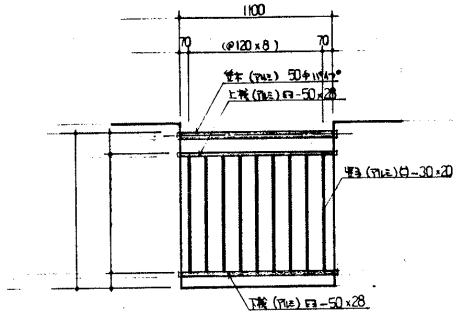
1:10 | D-33

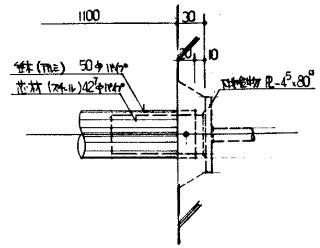




アルミ製面格子（落下防止柵）

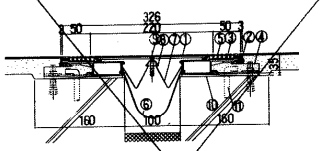
1:20 1:3 | D－40





アルミ製手摺

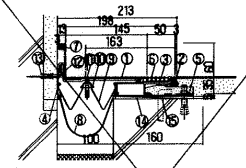
1:20，1:3 | D－41



●カバープレート
●化粧繰材
●繰材
●アンカー
●ガスケット(R)
●止水板(C)
●スプリングクリップ
●ローラーナット
●皿小ねじ6φ×35ℓ
●スチールライナー
●アンカーボルト(別途工事)

エキスパンションジョイント（床+床）

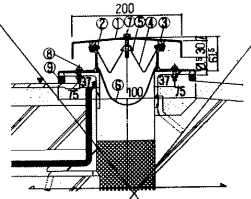
1：5 | D－42



●L字カバープレート
●化粧繰材
●繰材
●補助繰材
●アンカー
●ガスケット(R)
●ガスケット(K)
●止水板
●スプリングクリップ
●ローラーナット
●皿小ねじ6φ×35ℓ
●補助繰材取付
丸木ねじ4.1φ×30ℓ
●アンカープラグ6φ×30ℓ
●スチールライナー
●アンカーボルト(別途工事)

エキスパンションジョイント（床+壁）

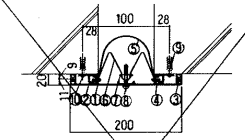
1：5 | D－43



●カバープレート
●繰 材
●ガスケット(C)
●スプリングクリップ
●ローラーナット
●止水板
●六角ボルト
6φ×35ℓ
(ラバーワッシャー
SUSワッシャー)
●丸小ねじ6φ×35ℓ
(ラバーワッシャー
SUSワッシャー)
●コーキング
(別途工事)

エキスパンションジョイント(壁根+壁根)

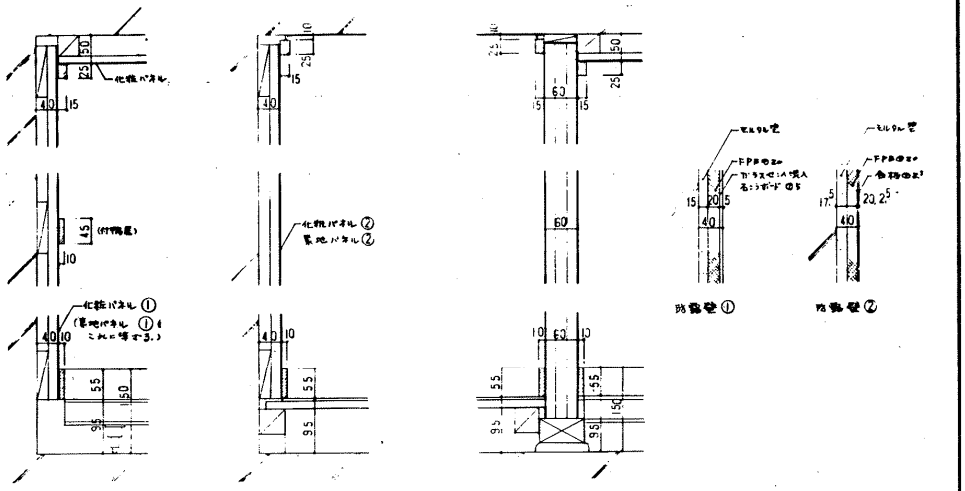
1：5 | D－44



●カバープレート
●繰 材
●ガスケット(J)
●ガスケット(H)
●止水板
●スプリングクリップ
●ローラーナット
●丸小ねじ6φ×35ℓ
(ラバーワッシャー
SUSワッシャー)
●アンカープラグ
6φ×30ℓ
●繰材取付用十字穴付
き丸木ねじ
4.1φ×30ℓ

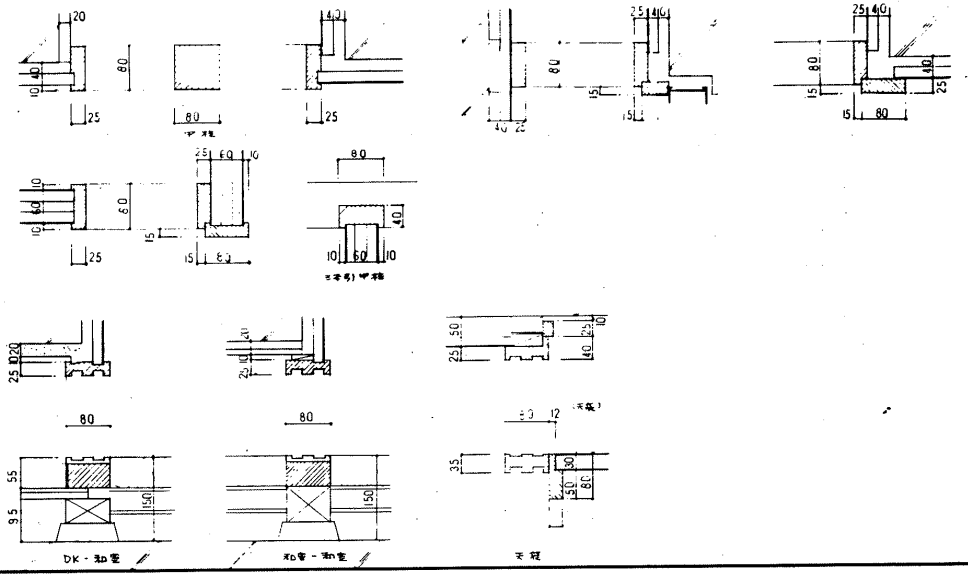
エキスパンションジョイント(外壁+外壁)

1：5 | D－45



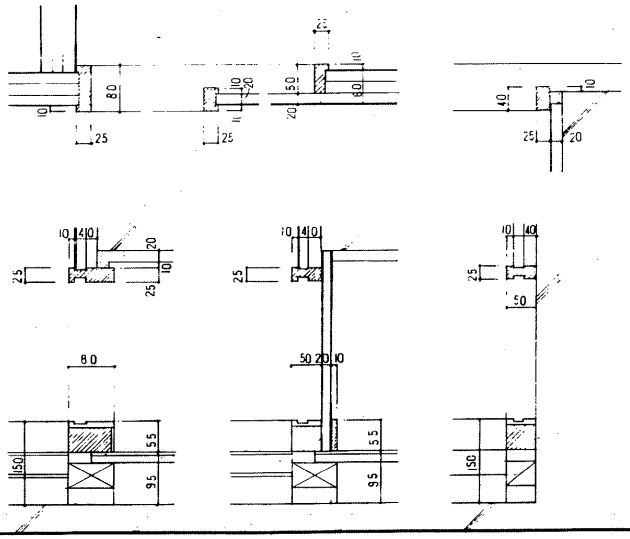
標準パネル廻り

1:5



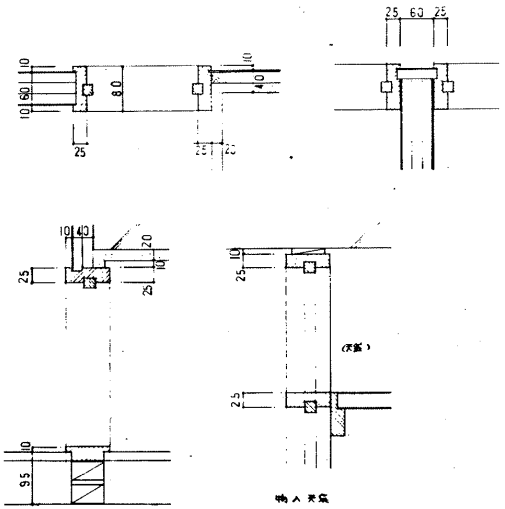
引違い戸三本引戸枠廻り

1:5



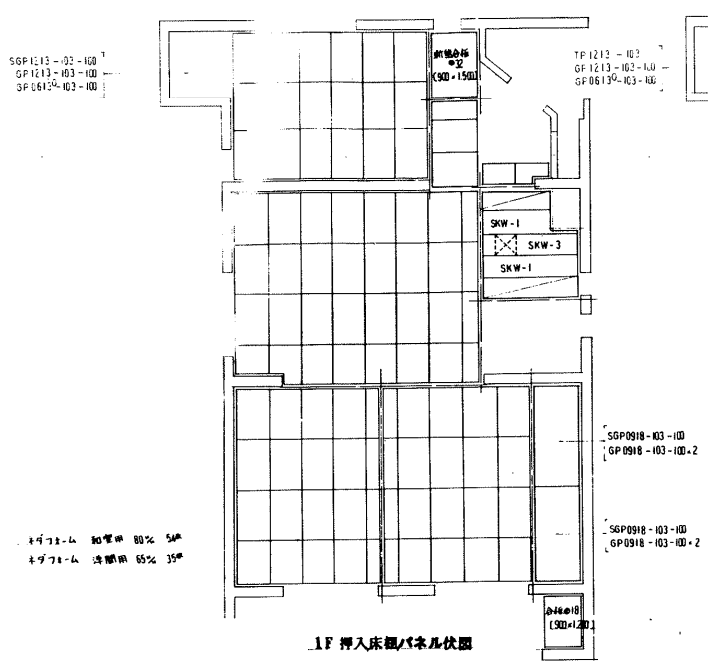
片引戸枠廻り

1:5

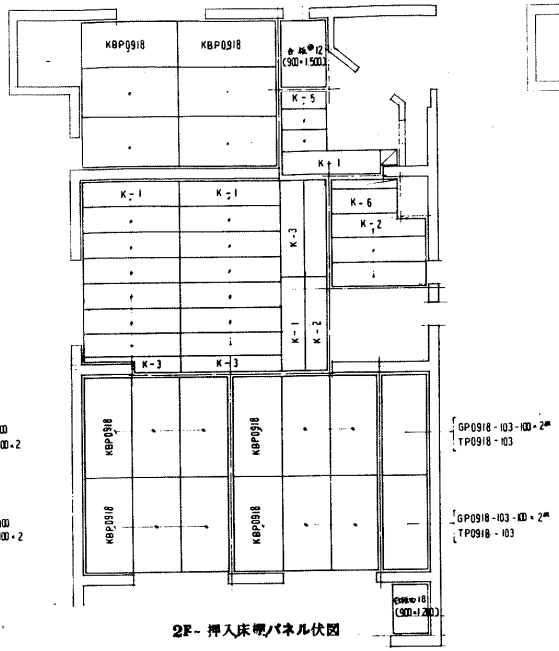


開き戸枠廻り

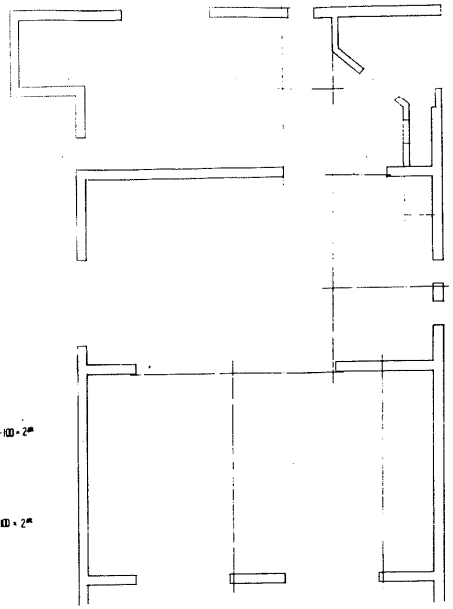
1:5



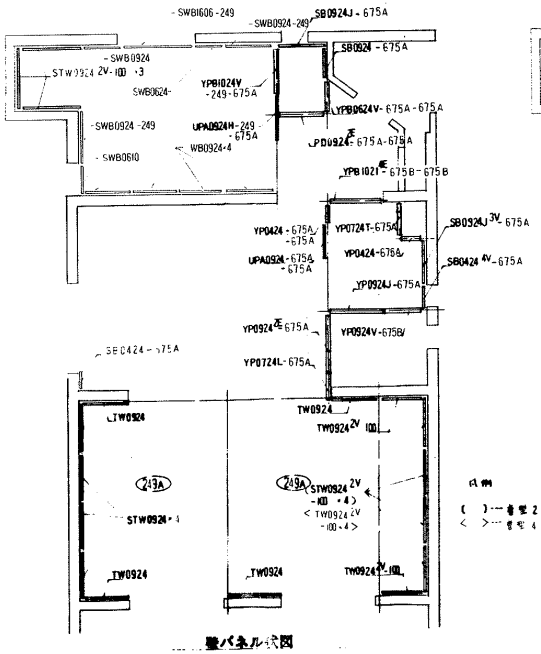
1F 押入床棚パネル伏図



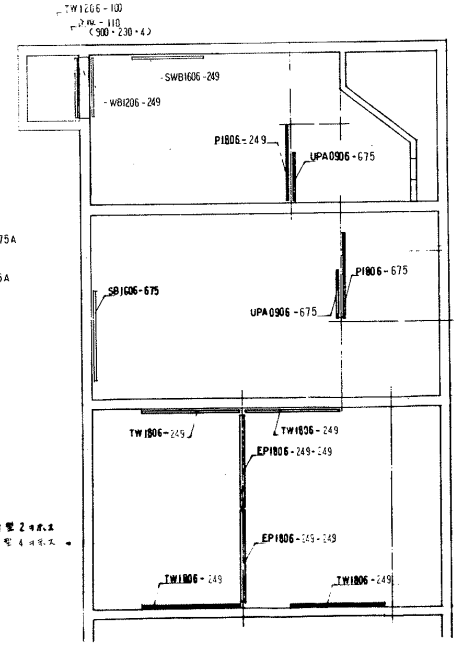
2F- 押入床棚パネル伏図



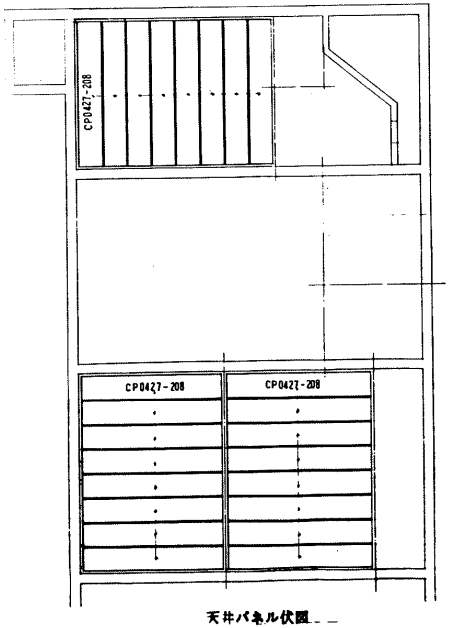
化粧突板合板伏図 45枚



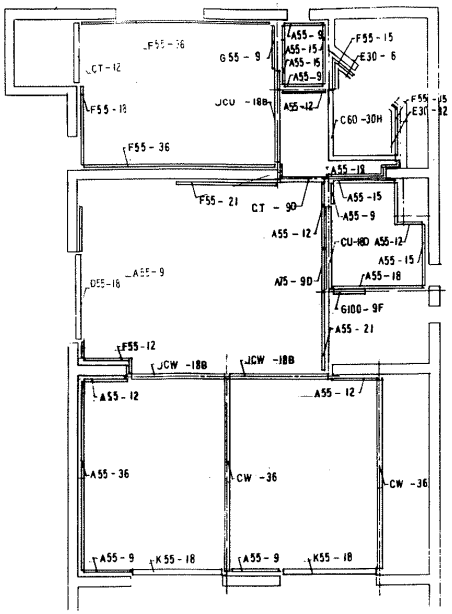
壁パネル伏図



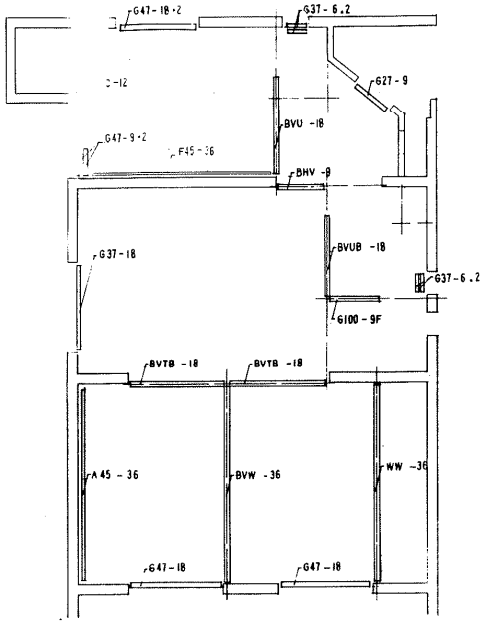
小壁パネル伏図



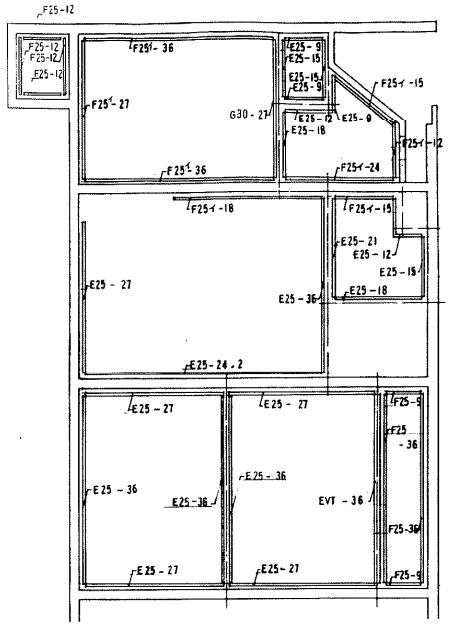
天井パネル伏図



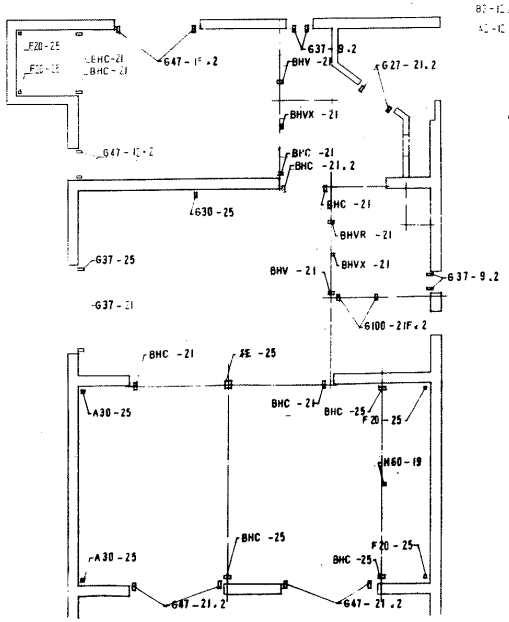
下部造作材伏図



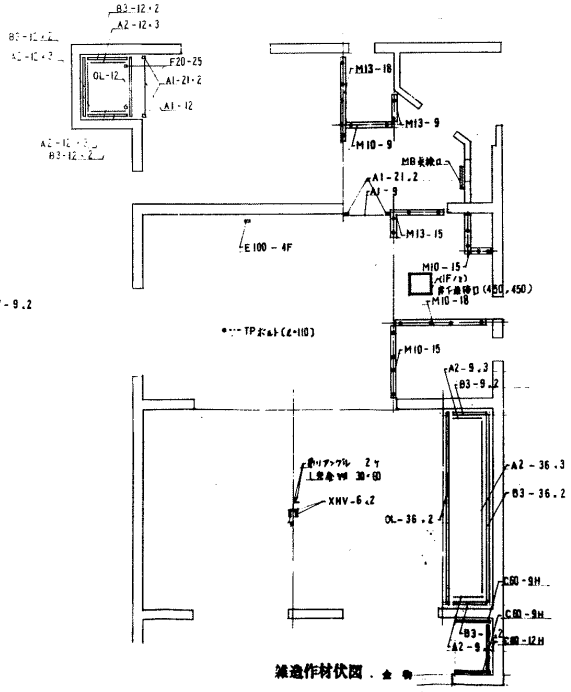
中部造作材伏図



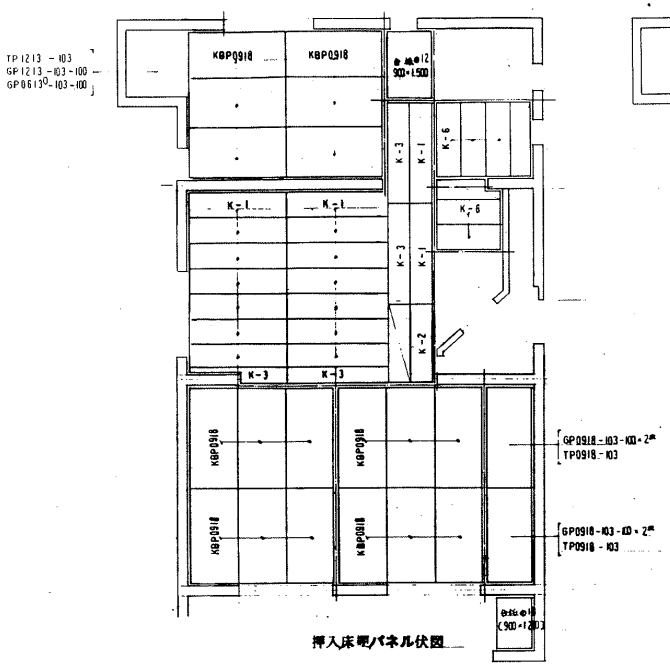
上部造作材伏図



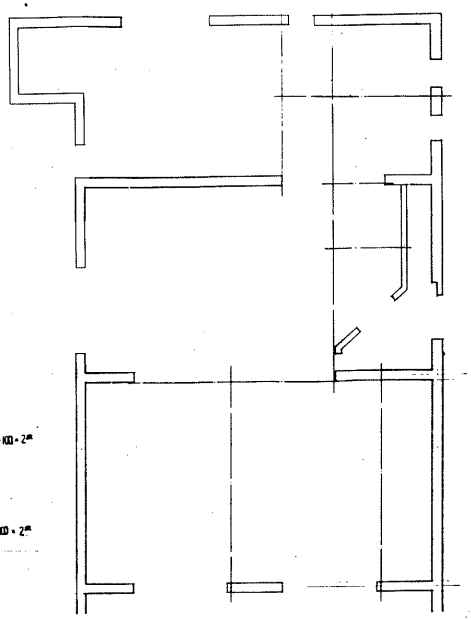
垂直材伏図



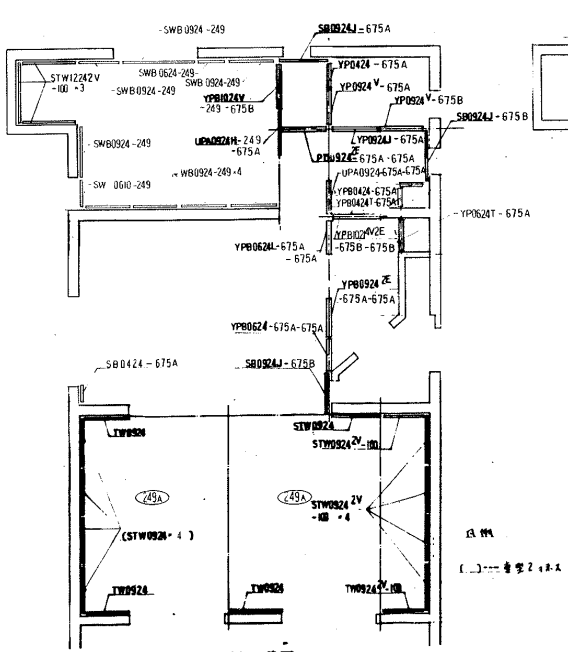
雑造作材伏図



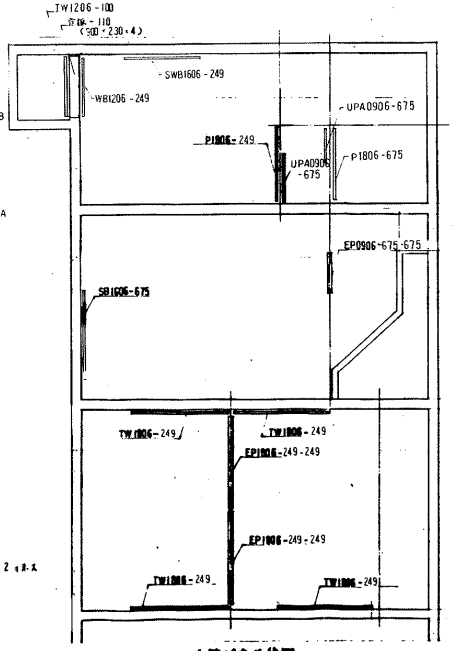
押入床戸パネル伏図



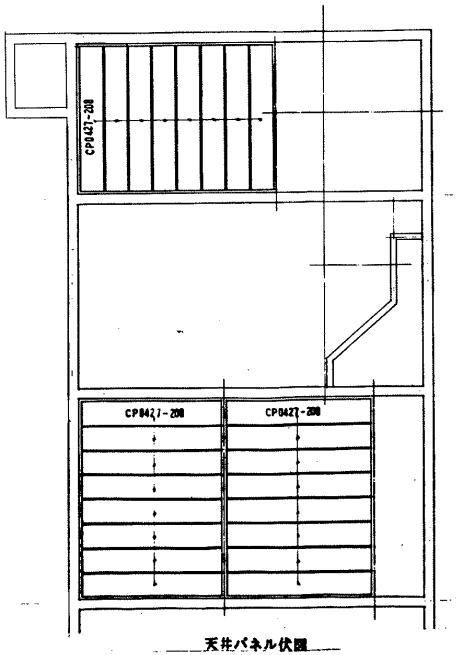
化粧突板合板伏図



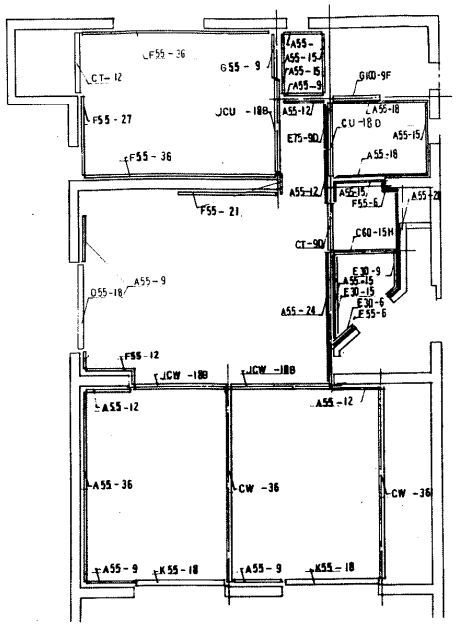
壁パネル伏図



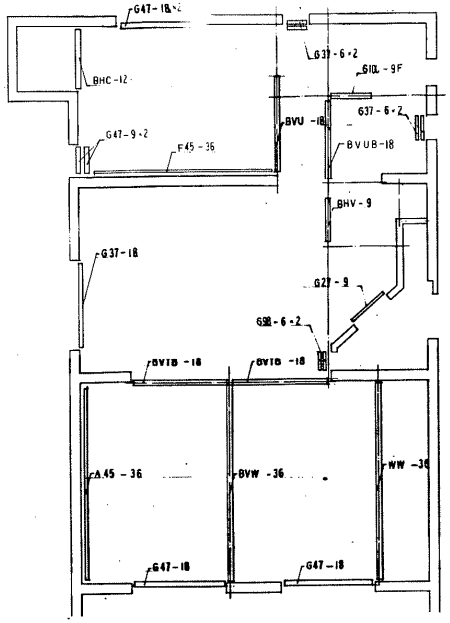
小壁パネル伏図



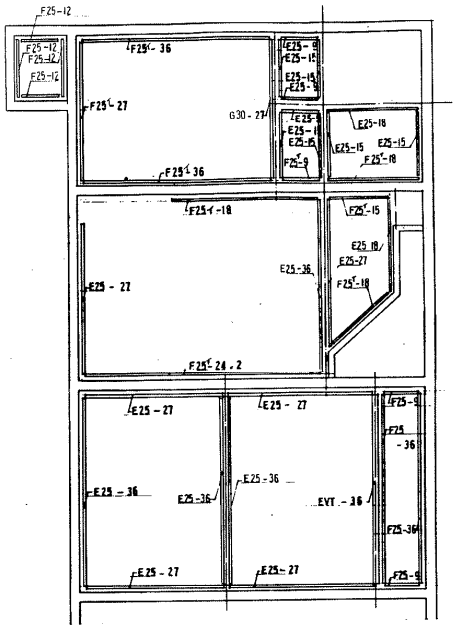
天井パネル伏図



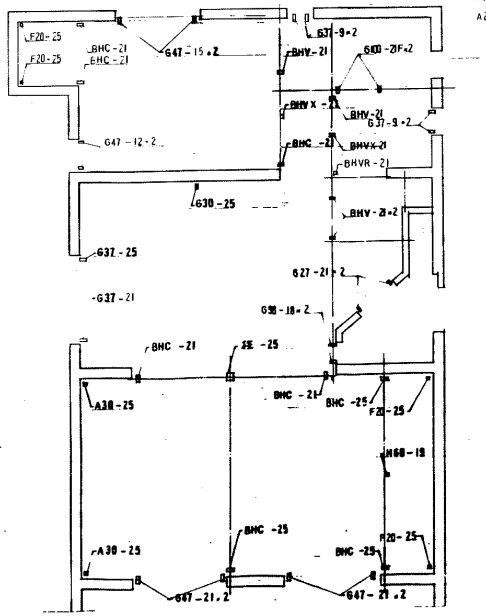
下部造作材伏図



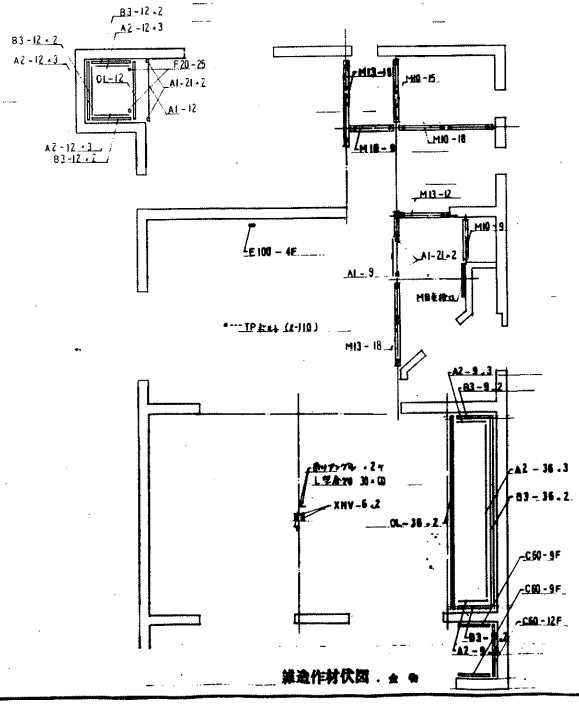
中部造作材伏図



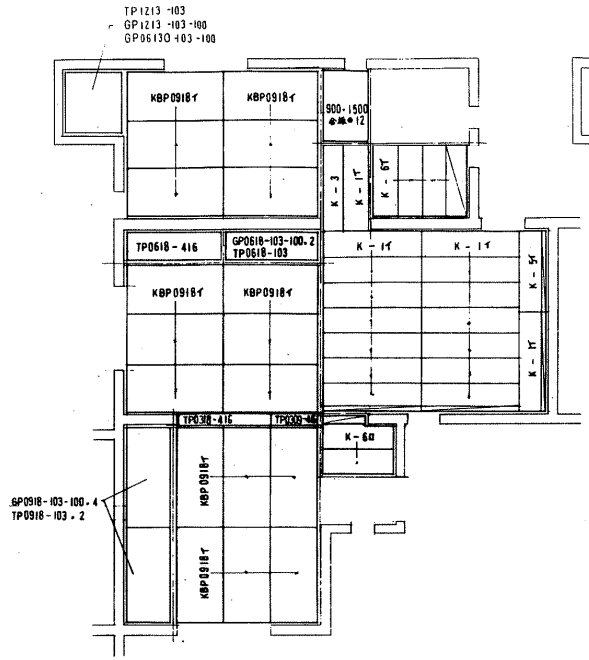
上部造作材伏図



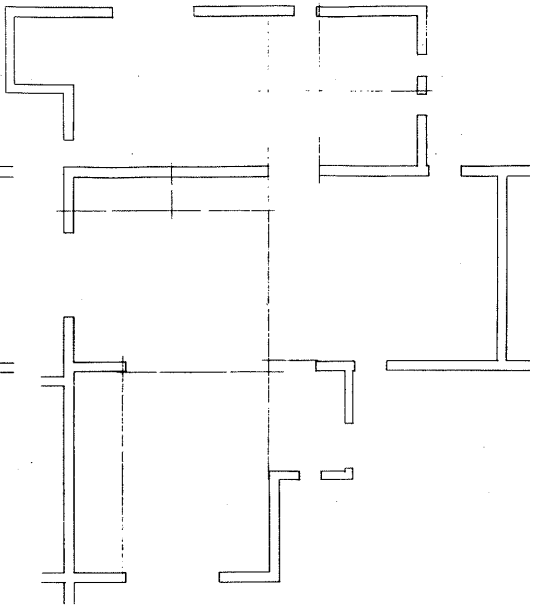
垂直材伏図



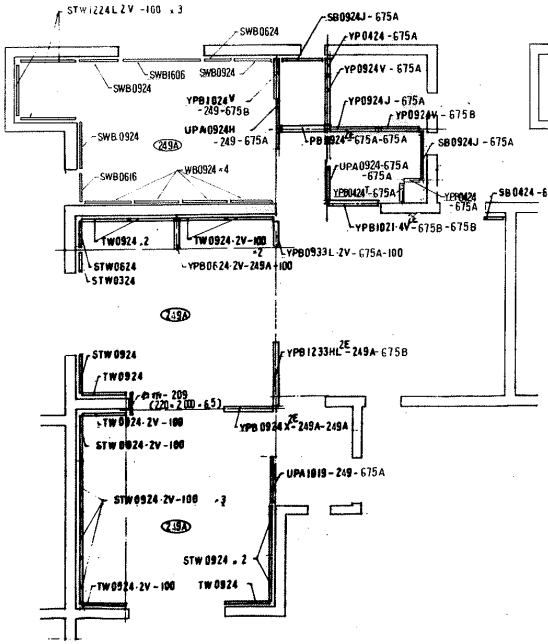
雑造作材伏図・金物



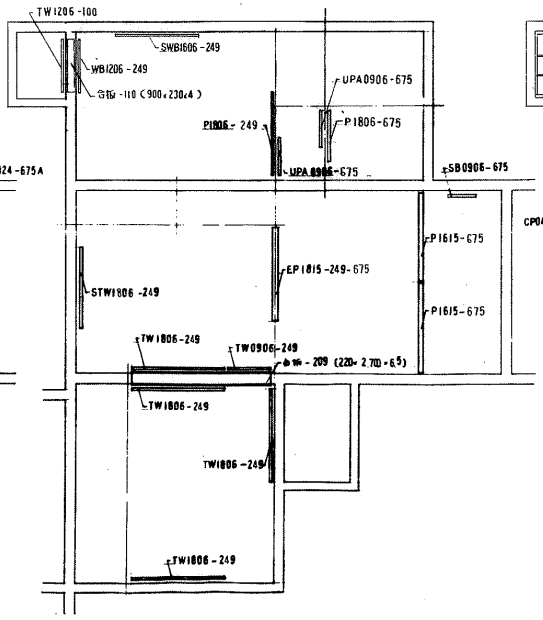
埋入床棚パネル伏図



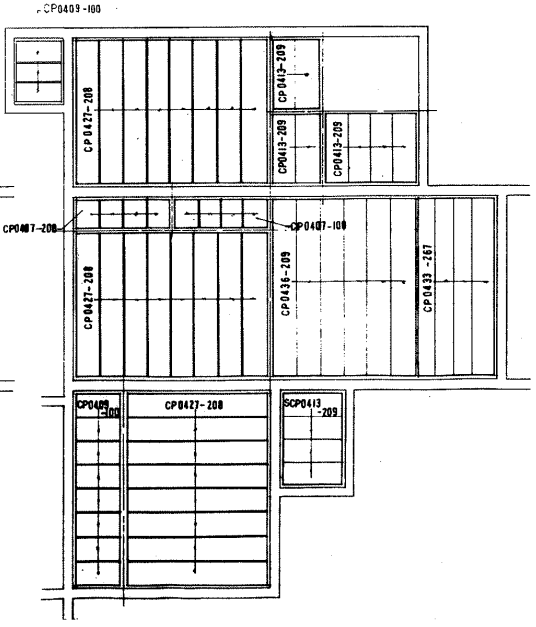
化粧突板合板伏図　40ﾏｲ



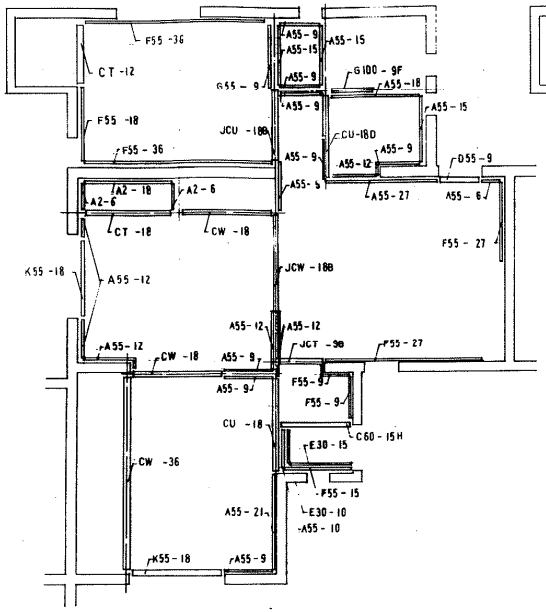
壁パネル伏図



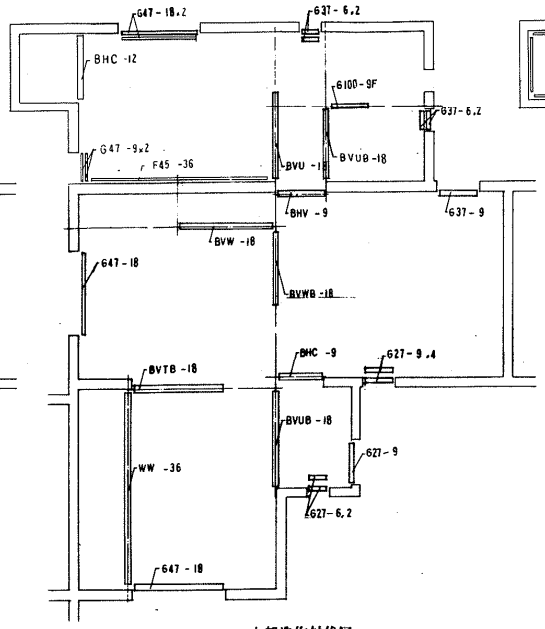
小壁パネル伏図



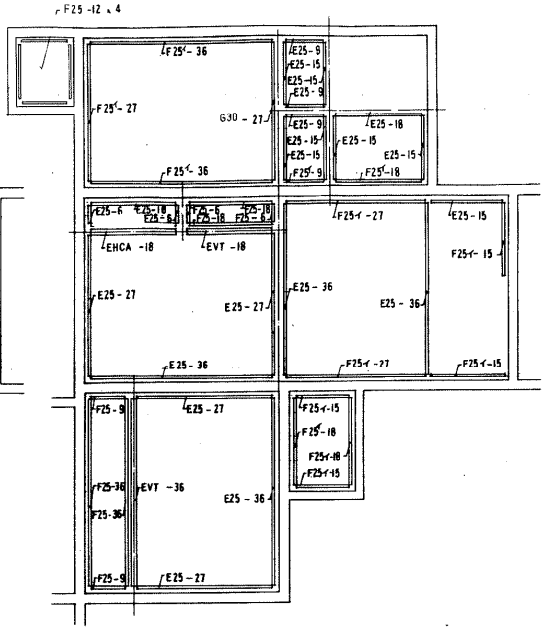
天井パネル伏図



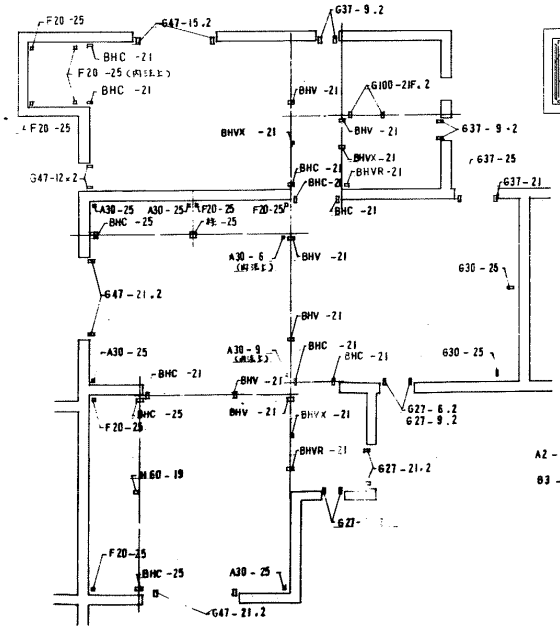
下部造作材伏図



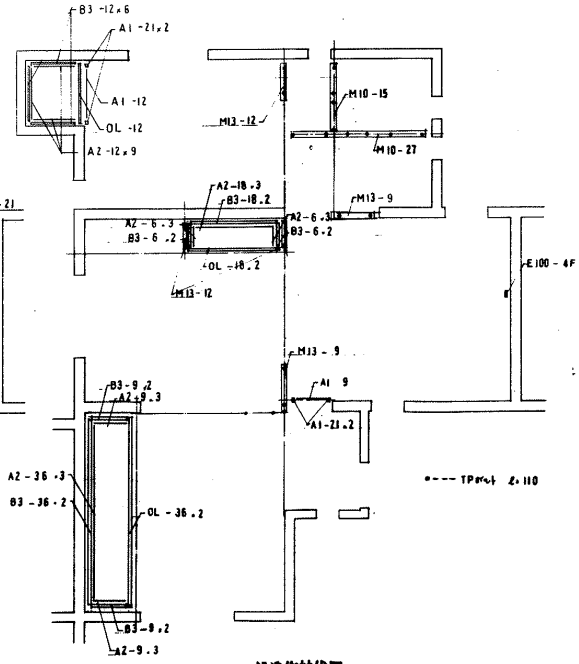
中部造作材伏図



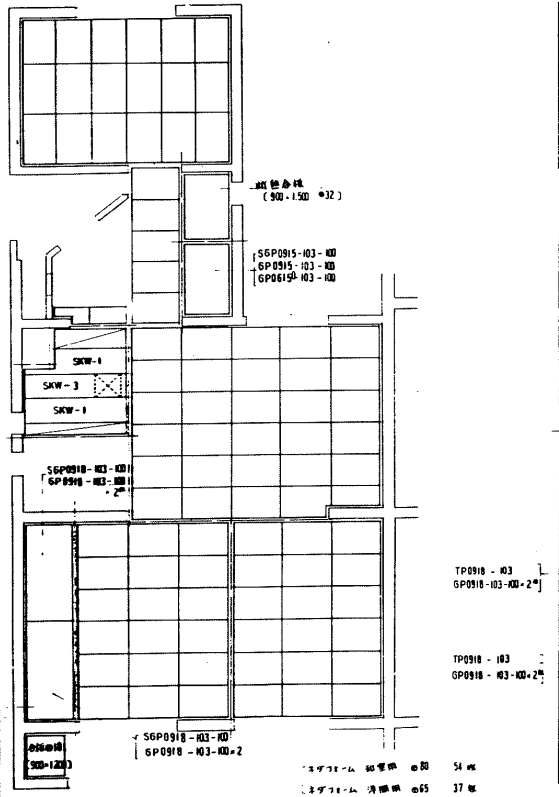
上部造作材伏図



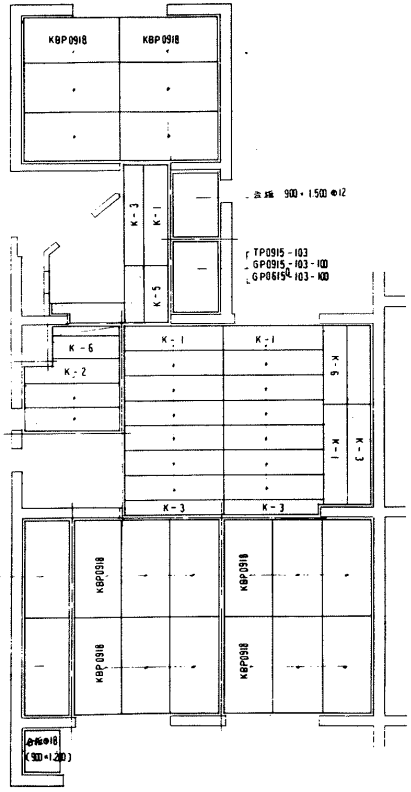
垂直材伏図



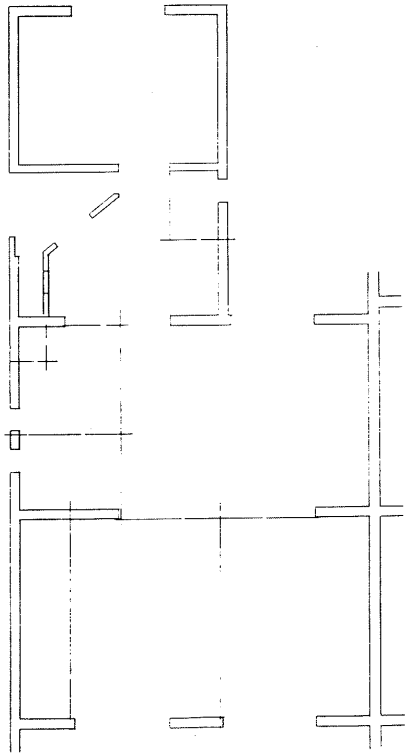
雑造作材伏図



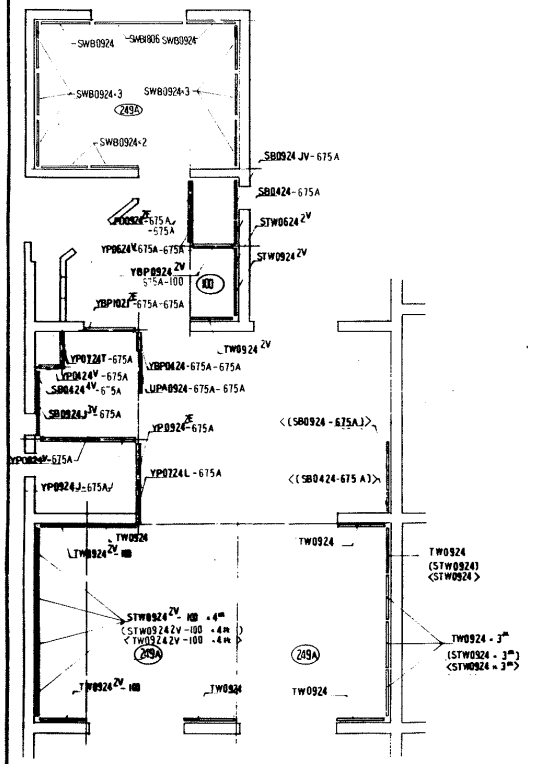
1F　押入床棚パネル伏図



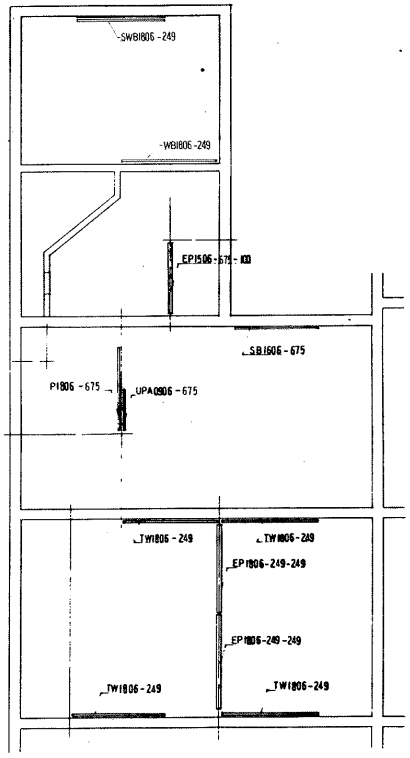
3F　押入床棚パネル伏図



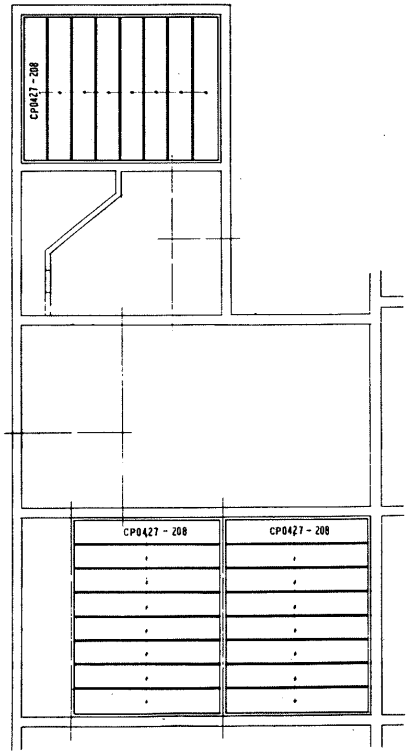
化粧突板合板伏図　51 ㎡



壁パネル伏図

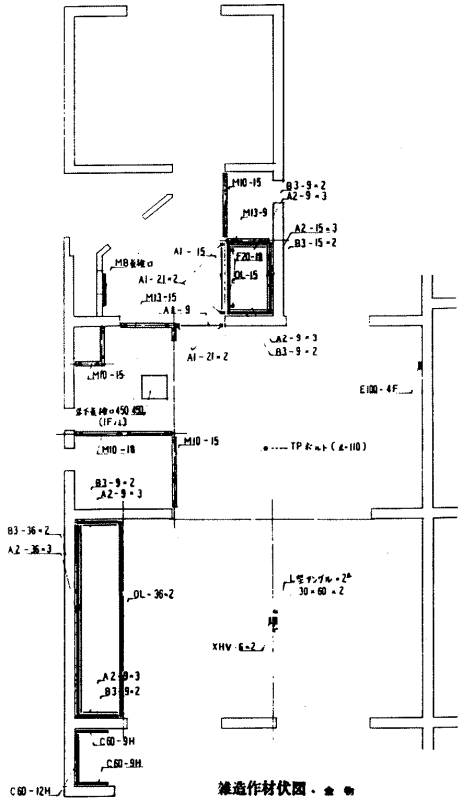


小壁パネル伏図

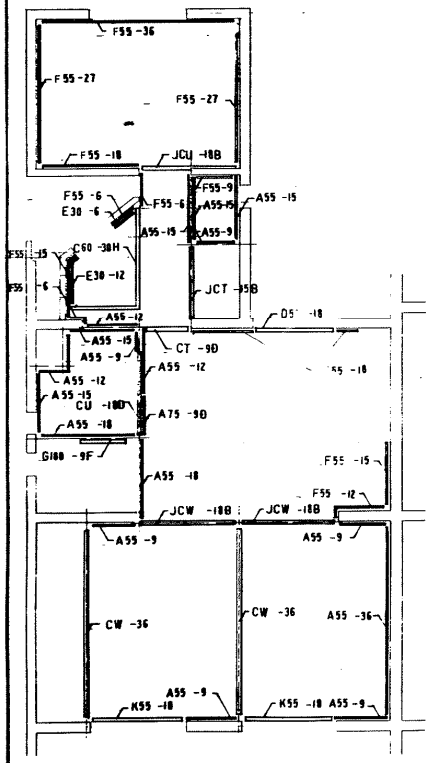


天井パネル伏図

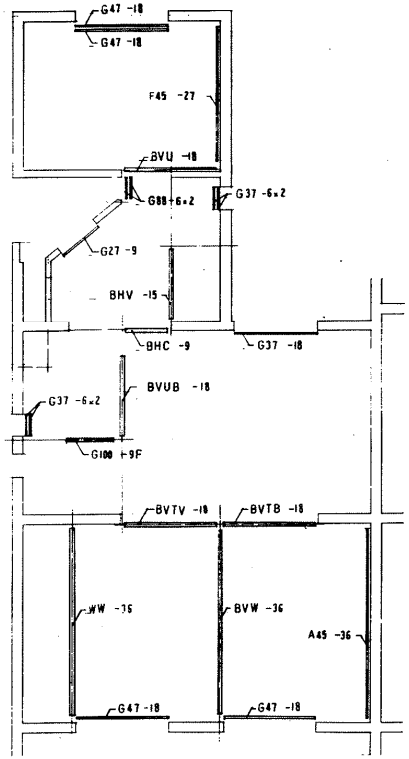
無印……中空ヨボス。
( )……着3空ヨボス
〈 〉……着4空ヨボス
注…上記符号タイプパネル使用ヨル。



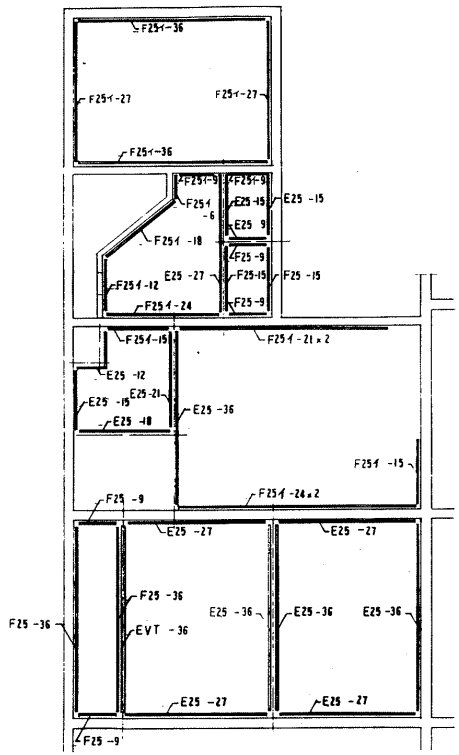
雑造作材伏図・金物



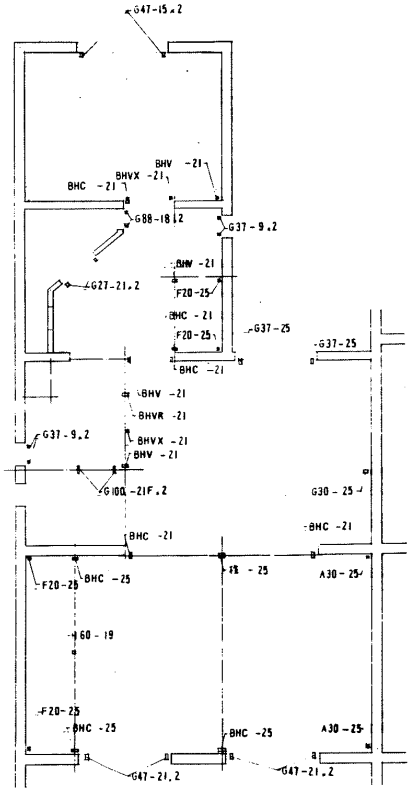
下部造作材伏図



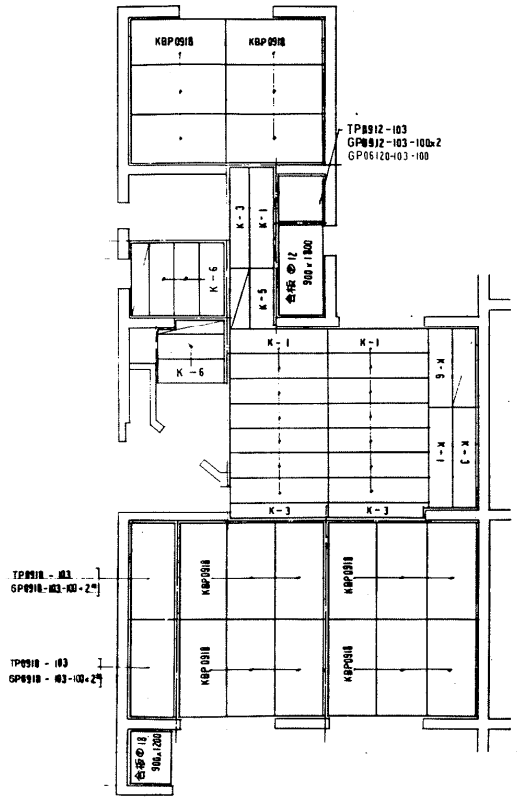
中部造作材伏図



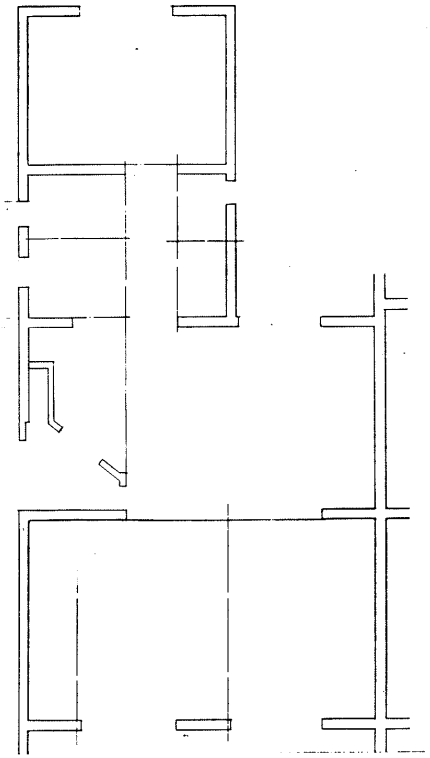
上部造作材伏図



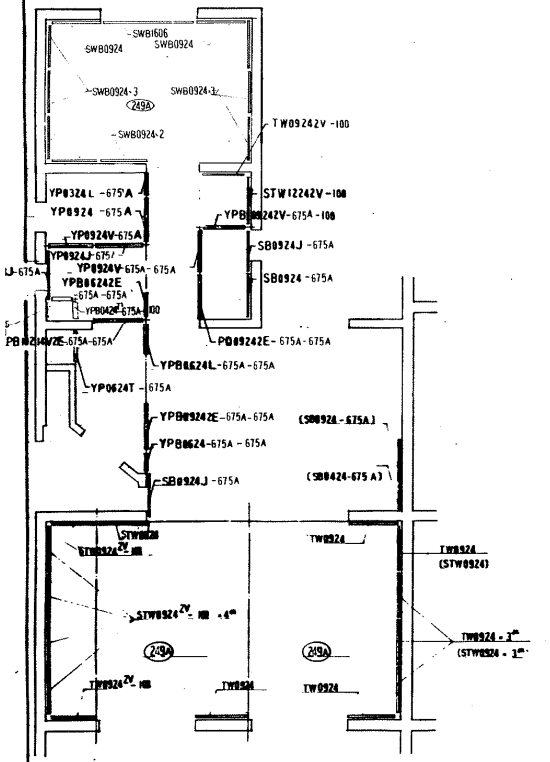
垂直材伏図



押入床棚パネル伏図

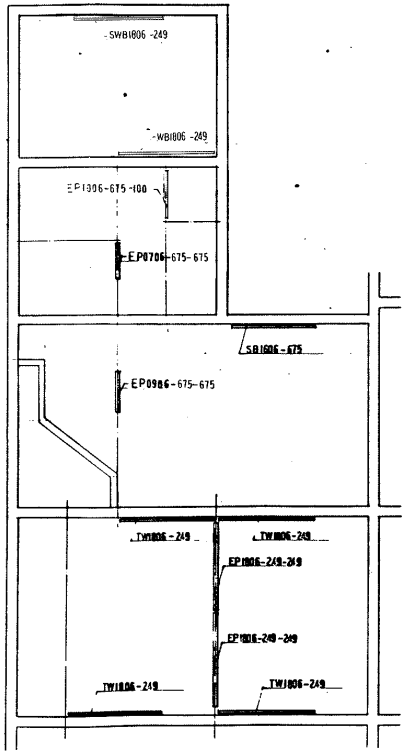


化粧突板合板伏図　50㎜

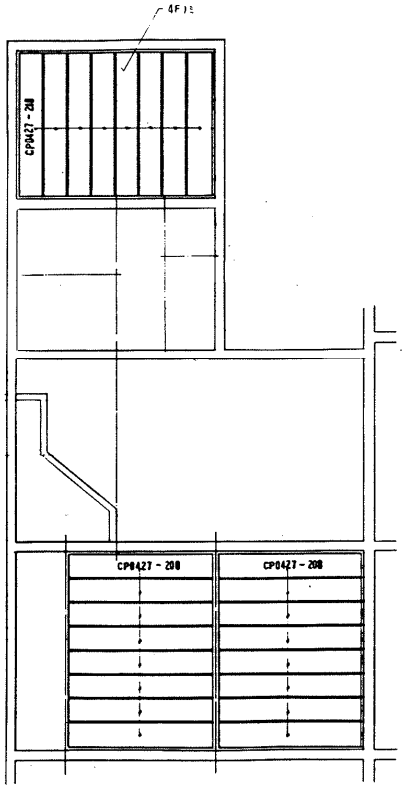


壁パネル伏図

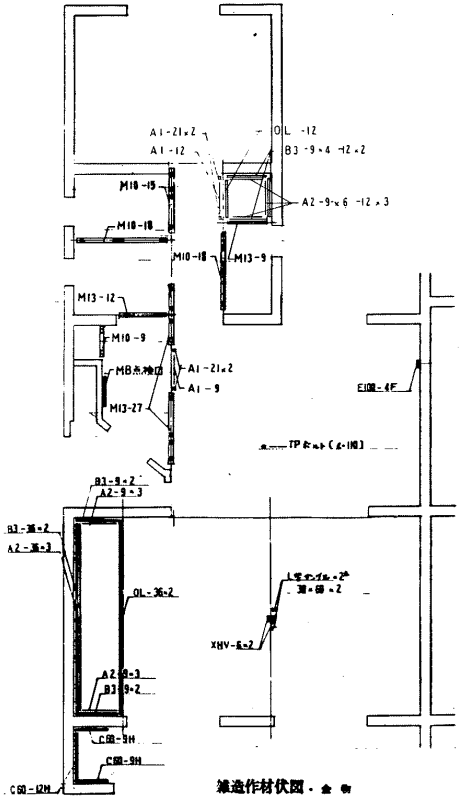
※印……中型ラボス。
（ ）……小型ラボス
注…上記斜線サイデは保護エル。



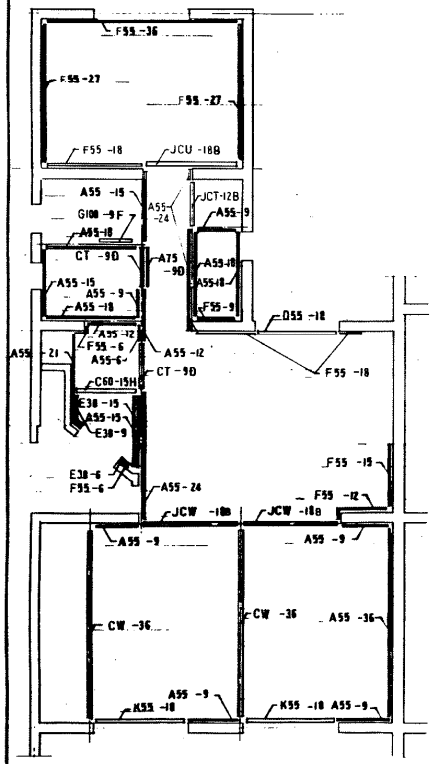
小壁パネル伏図



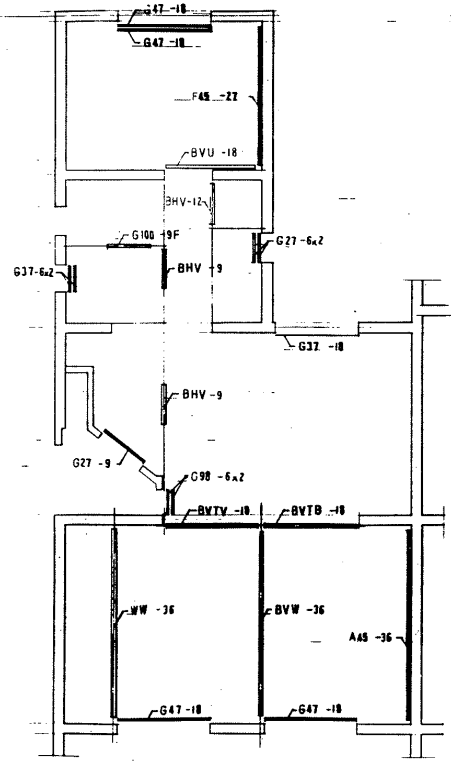
天井パネル伏図



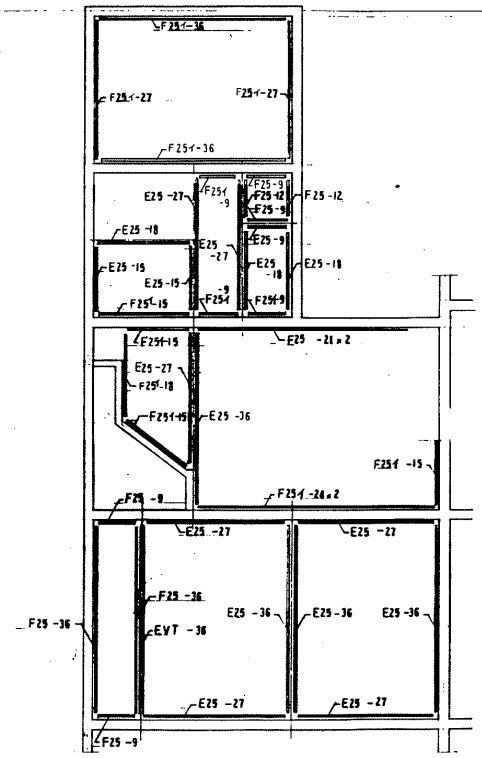
雑造作材伏図・金物



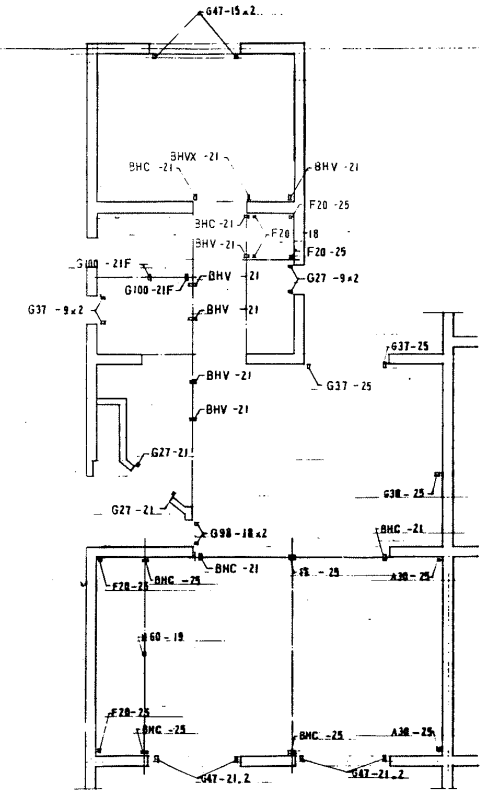
下部造作材伏図



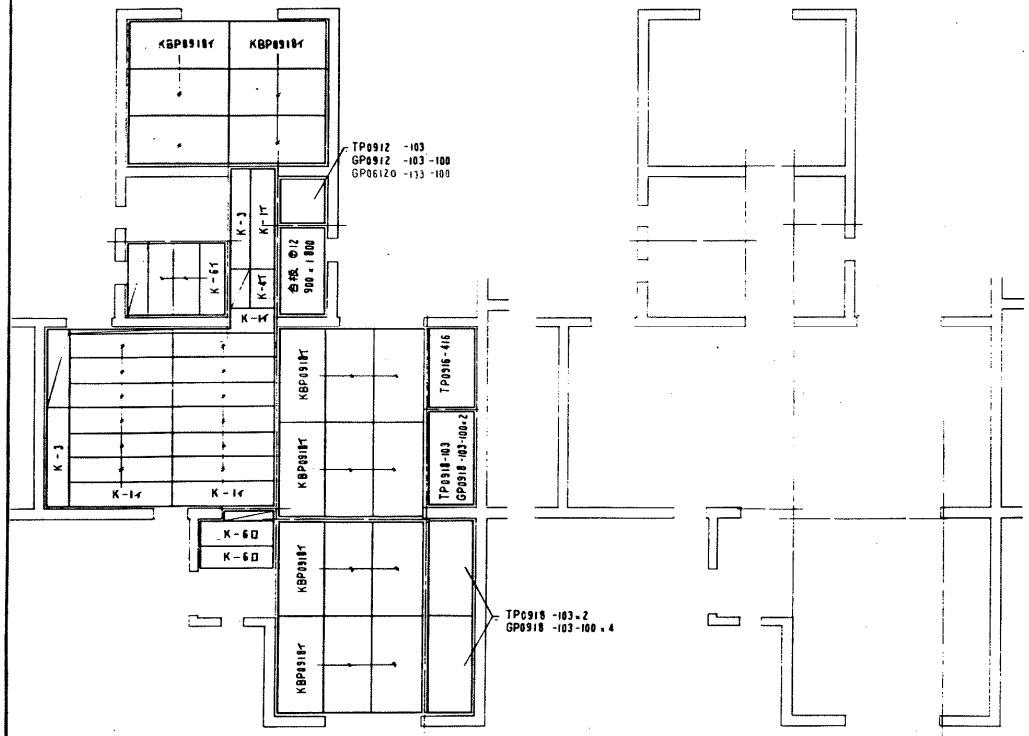
中部造作材伏図



上部造作材伏図

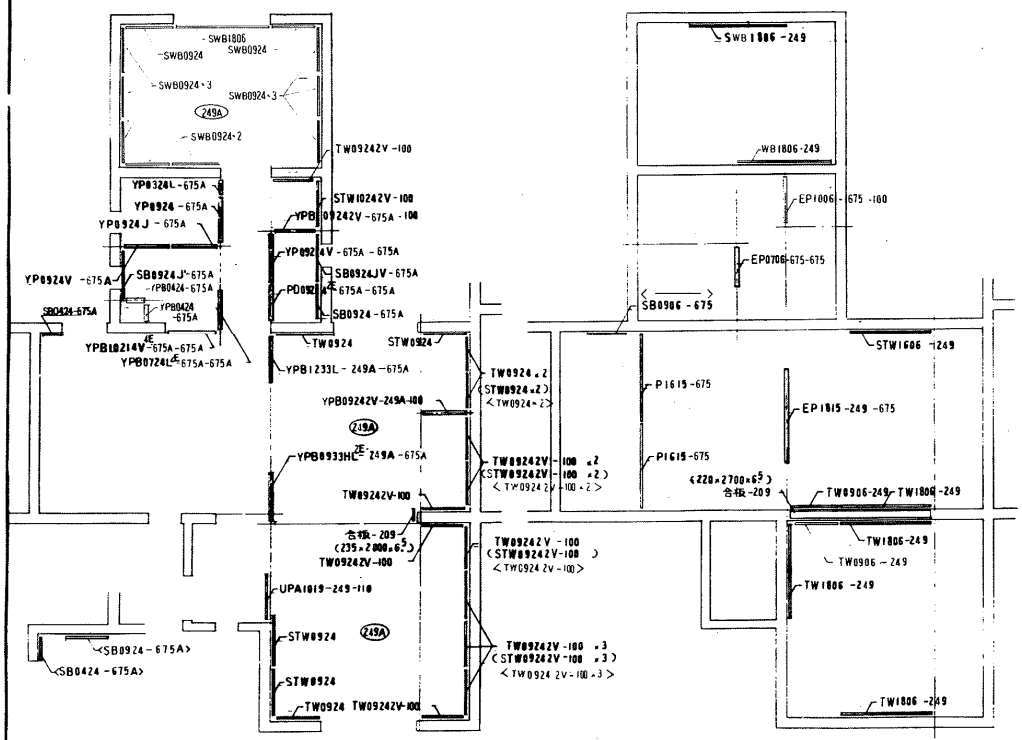


垂直材伏図



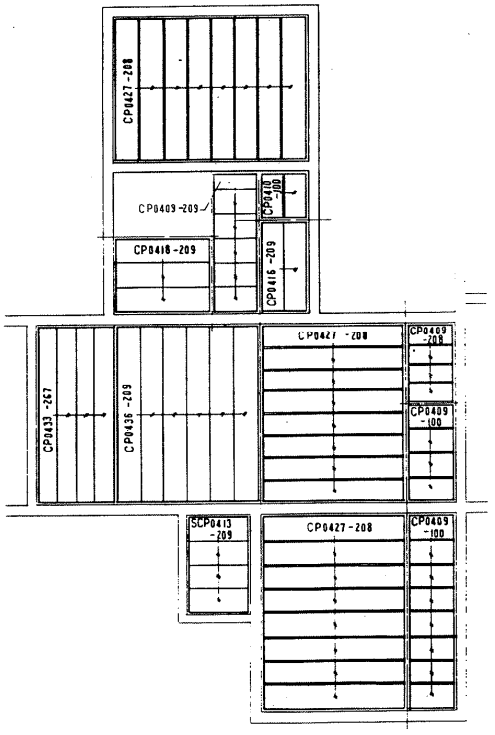
5F　押入床棚パネル伏図

化粧突板合板伏図 46 47

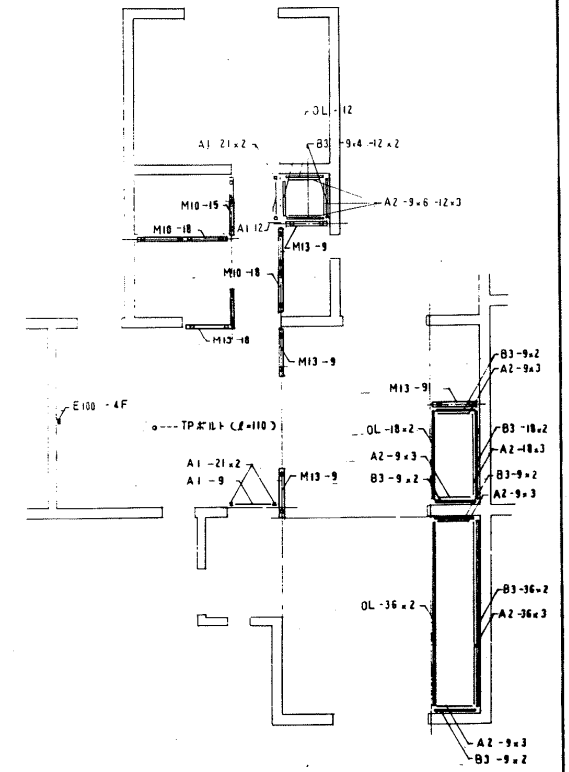


壁パネル伏図

小壁パネル伏図



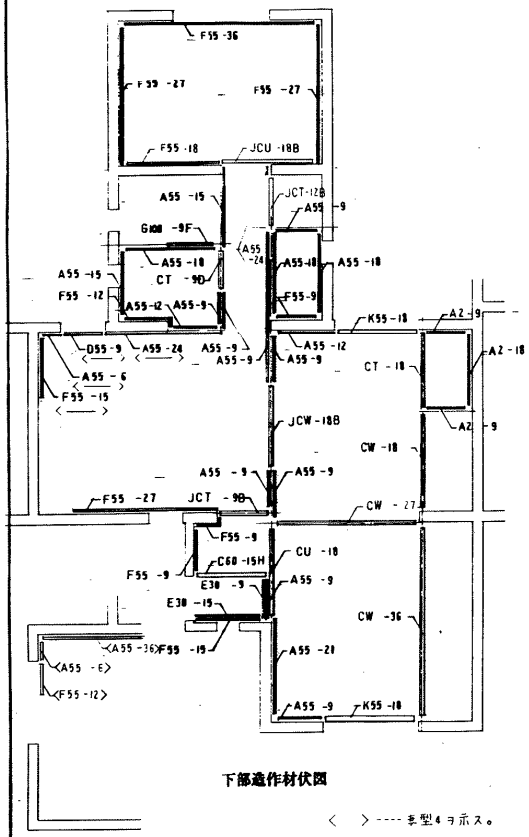
天井パネル伏図



雑造作材伏図・金物

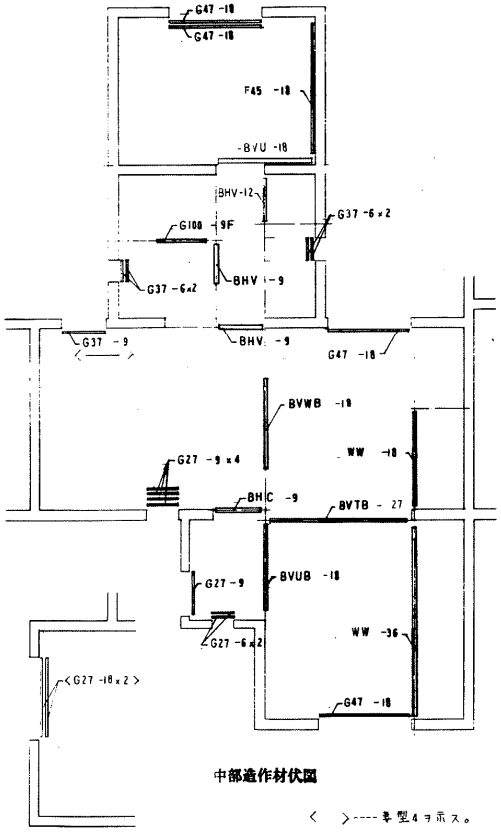
凡例 ---中型ヲ示ス。
〉---長型3ヲ示ス。
〈 〉---長型4ヲ示ス。

長型4



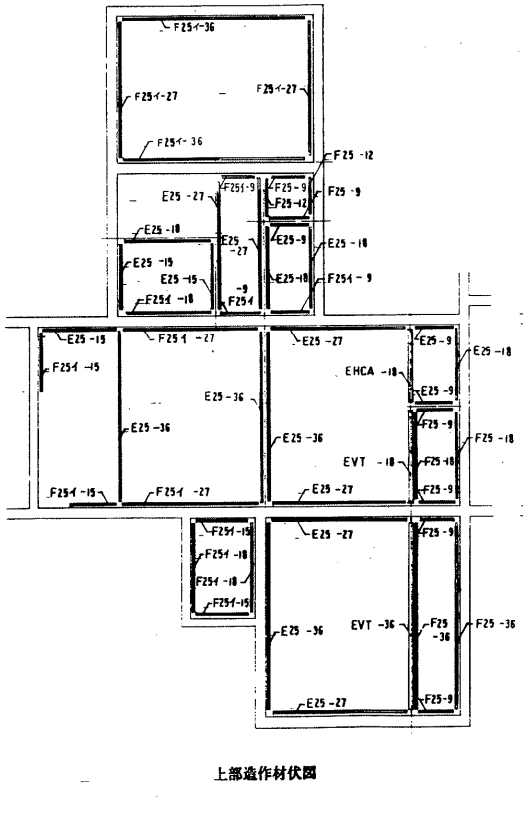
下部造作材伏図

< >---- 異型4ヲ示ス。

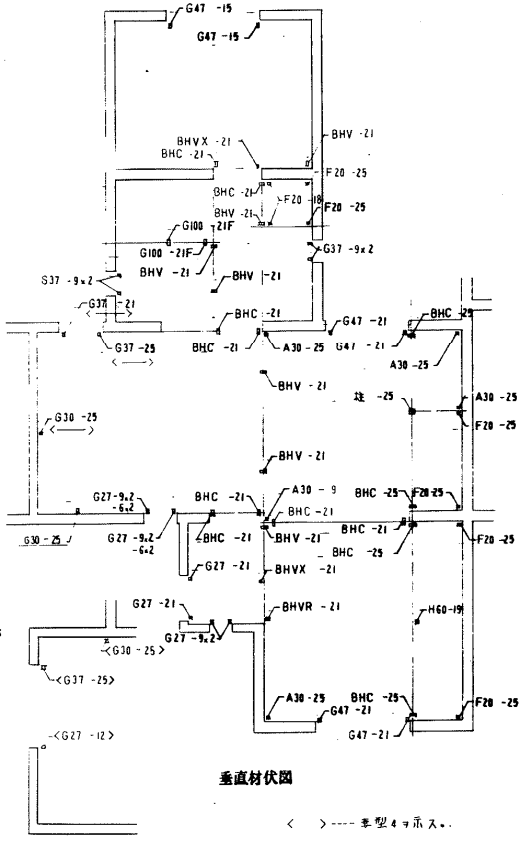


中部造作材伏図

< >---- 異型4ヲ示ス。

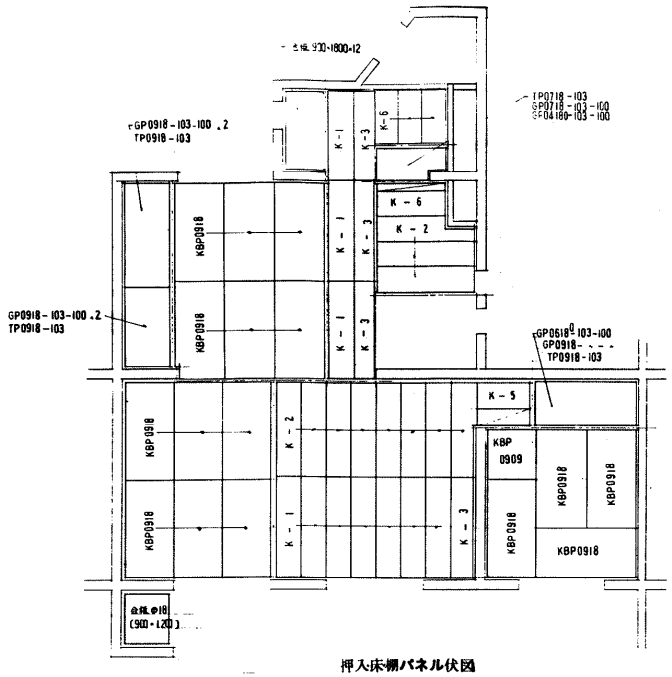


上部造作材伏図

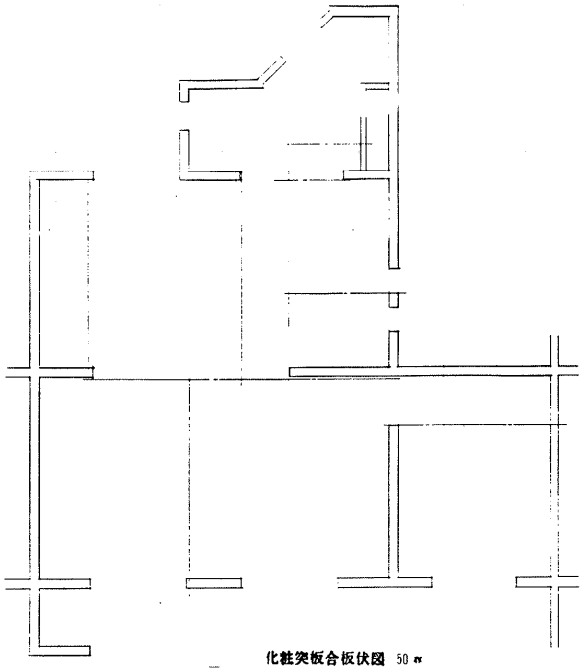


垂直材伏図

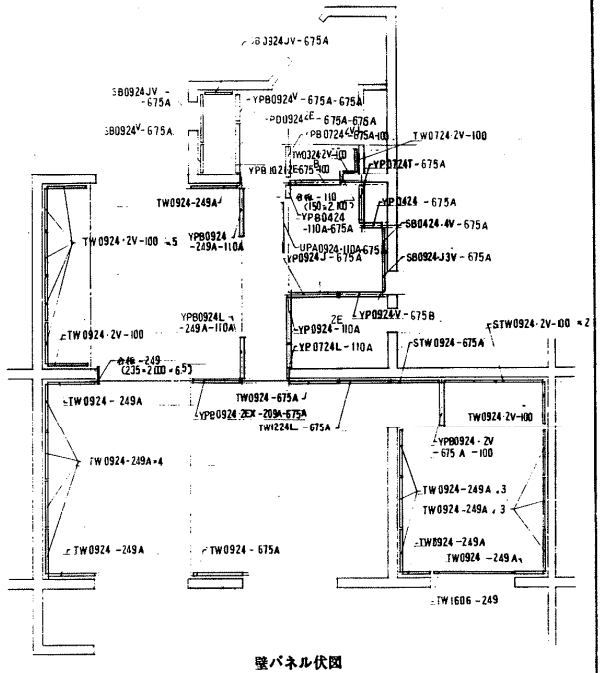
< >---- 異型4ヲ示ス。



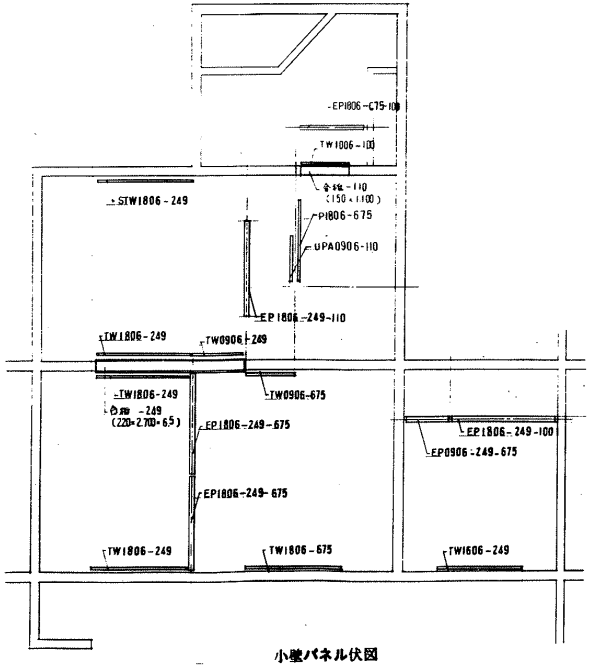
押入床棚パネル伏図



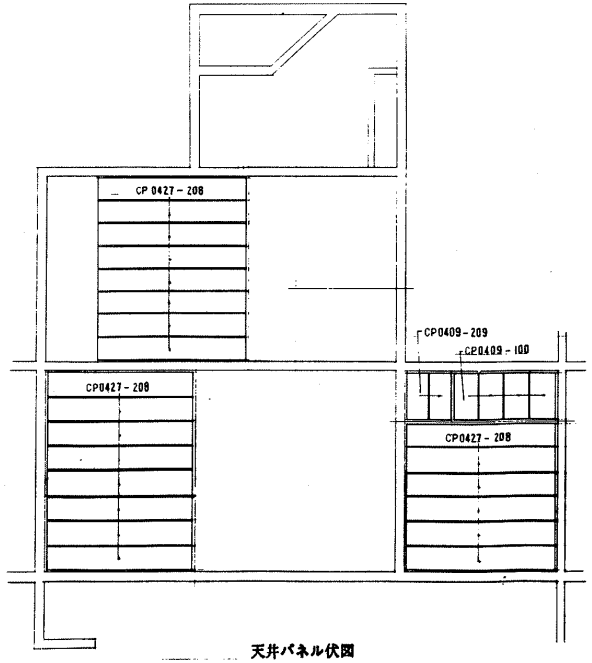
化粧突板合板伏図 50㎜



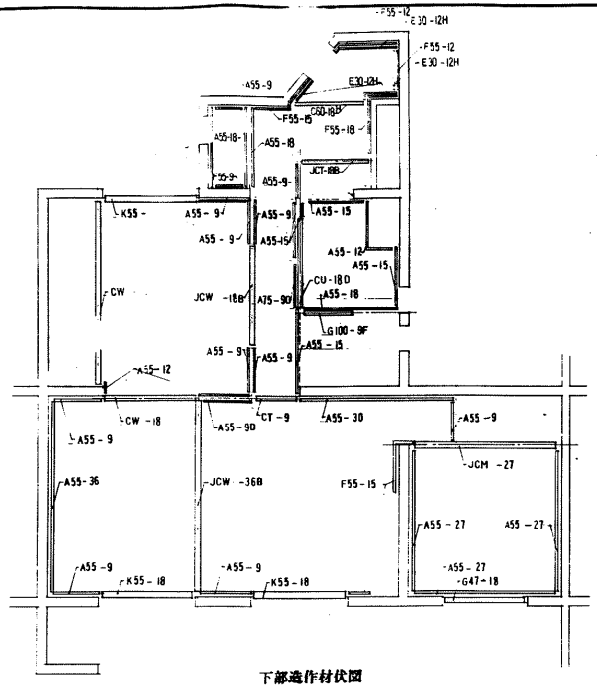
壁パネル伏図



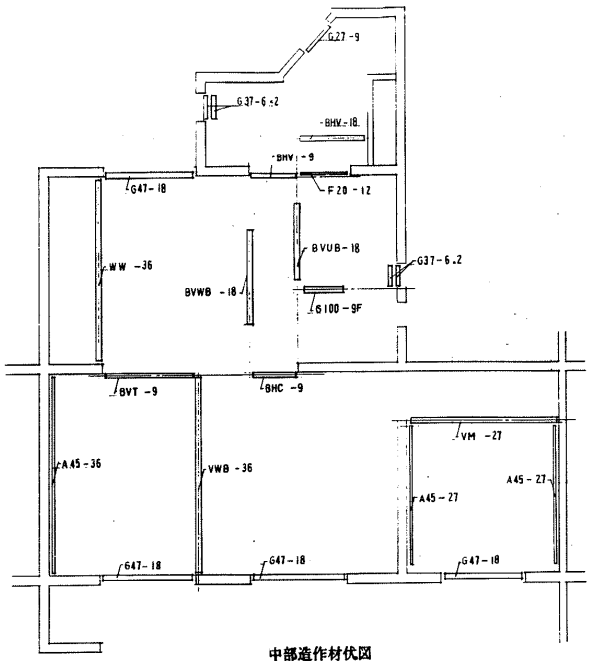
小壁パネル伏図



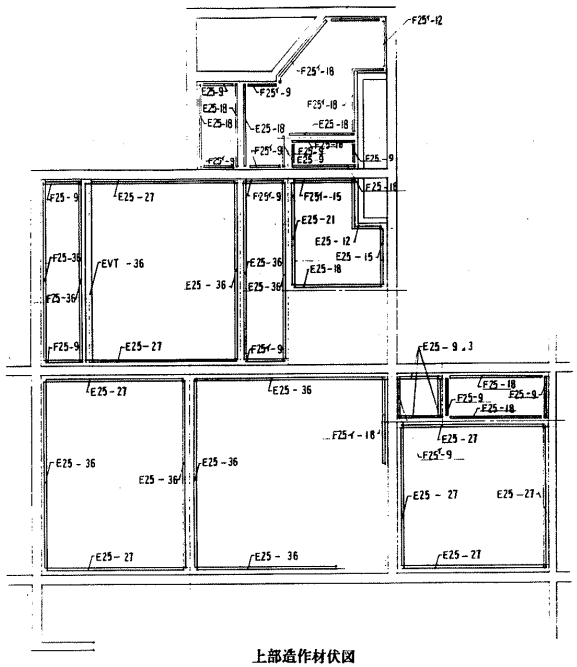
天井パネル伏図



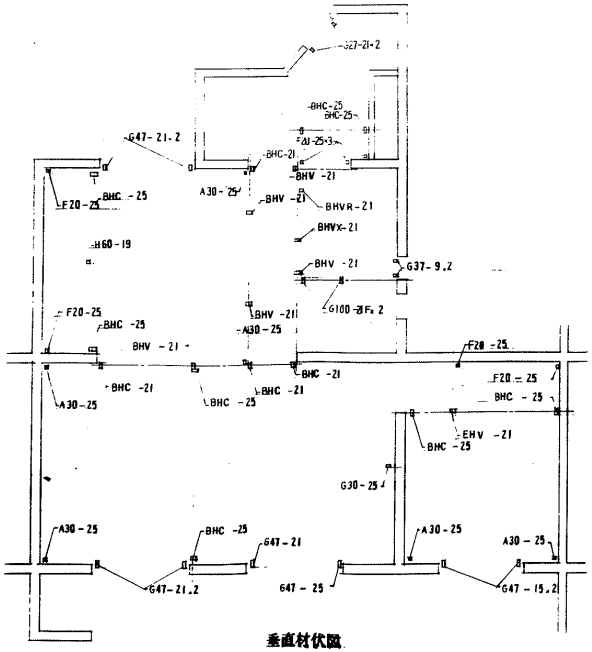
下部造作材伏図



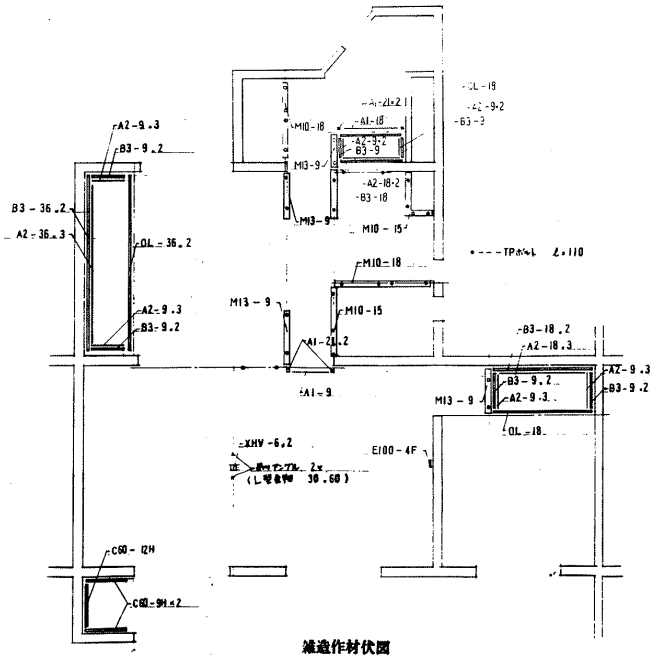
中部造作材伏図



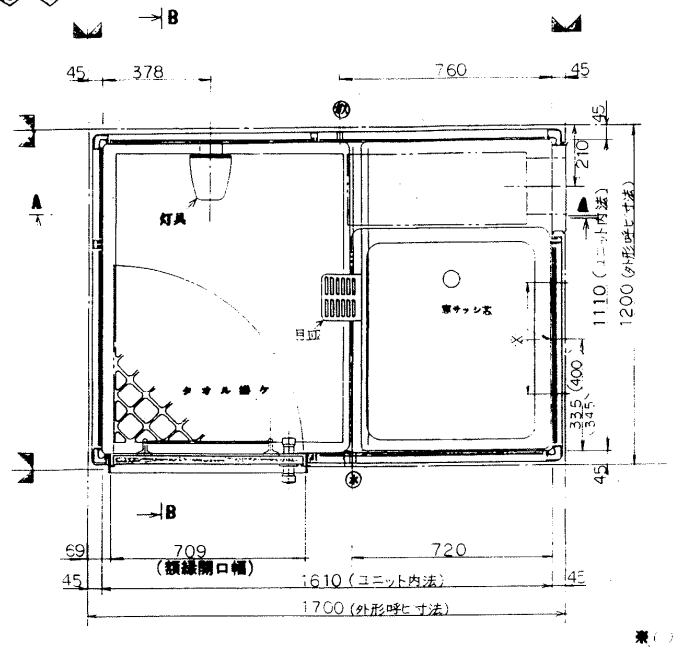
上部造作材伏図



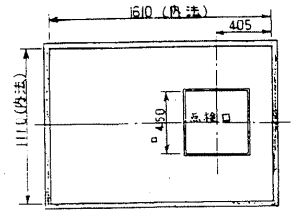
垂直材伏図

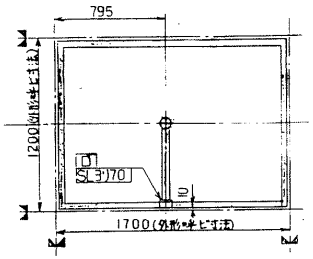


建造作材伏図

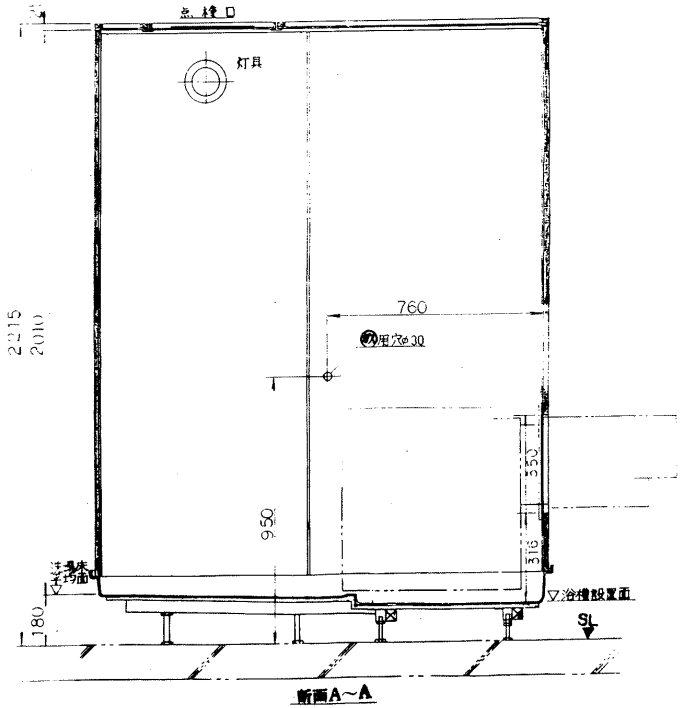


天井伏図(1/20)

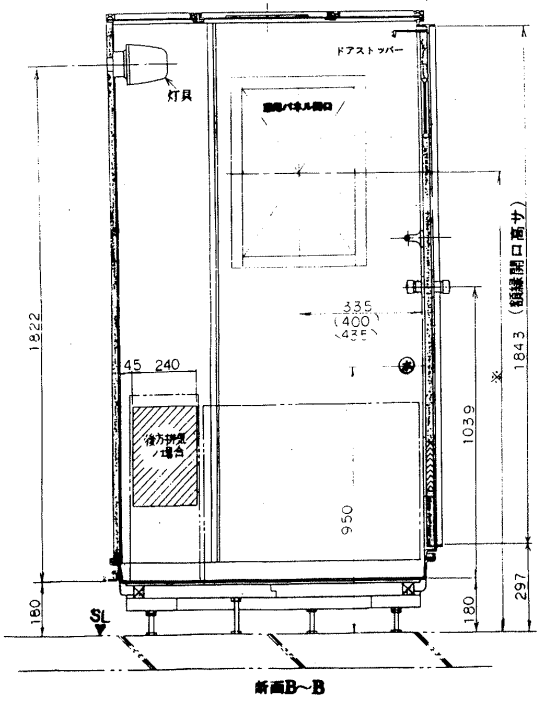




雑排水汚水管バリエーション
(寸法公差±10)



断面A~A



断面B~B

部位	No	品名	仕様		備考
一般事項	1	外形呼ビ寸法	1200W×1700L×2400H		
	2	ユニット内法寸法	1110W×1610L×2010H		室内容積：3.1m³
	3	総重量	200kg		
本体	4	床	FRP	色相：オフホワイト	洗い場面積：1.01m²
	5	壁パネル	塩ビ鋼板	色相：オフホワイト	
	6	ドア	アルミポリエチレン複合板(両面フラッシュ)	色相：アイボリー	
	7	ドア枠	アルミ押出品(アルマイト処理クリア塗装)		
	8	天井パネル	塩ビ鋼板	色相：オフホワイト	
	9				
器具部品	10	灯具	防湿形白熱灯(60W)		ポリカーボ製グローブ
	11	ドアロック	ABS(プッシュボタン式ロック)		
	12	ドアストッパー	ステンレス製		
	13	蝶番	アルミ		
	14	ドアガラリ	ABS		
	15	ドア小窓	型板ガラス入(㊦4)		
	16	タオル掛け	ステンレス		ℓ=455
	17	浴槽	700×800タイプ フロアタイプをキープ	色相：アイボリー	BL品
	18	ランス工事	ユニット工事外		
配管・ソノ他	19	雑排水トラップ	ABS積層		封水：50
	20	雑排水管	硬質塩ビ管(VP50)	ジョイント：VP50ソケット	
	21	電気配線	V-VF(1.6-3C) L=2000		㊀赤色、㊁白色、㊂アース緑色
	22	給水給湯管	青銅製異径アダプター(L型異径20×13)	ジョイント：20Aソケット	
	23	コーキング	シリコンシーラント	色相：オフホワイト	
	24				

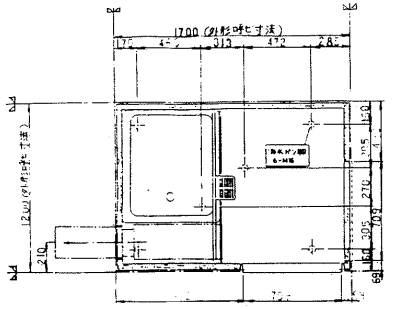
	No	項目	選択		事項
仕様打合事項	25	自在水栓(1)有	㊀無		
	26	換気口	(1)ABS丸形(グリル) φ100(色相：オフホワイト)		有効面積：37Cm²、ジョイント径：φ98
	27		(2)換気扇用開口ノミ φ270		㊀無
	28	雑排水方向	(1)㊀	(2)㊁	(3)㊂
	29	給水給湯管用穴	(1)給水給湯温用両方有 ㊀給水用ノミ有		(3)無
	30	梁切欠	(1)㊀無	(01)(02)—	(03)(04)長辺
	31	調整空間	(1)20mm	(2)80mm	㊀40mm
	32				
	33				
	34				

注記

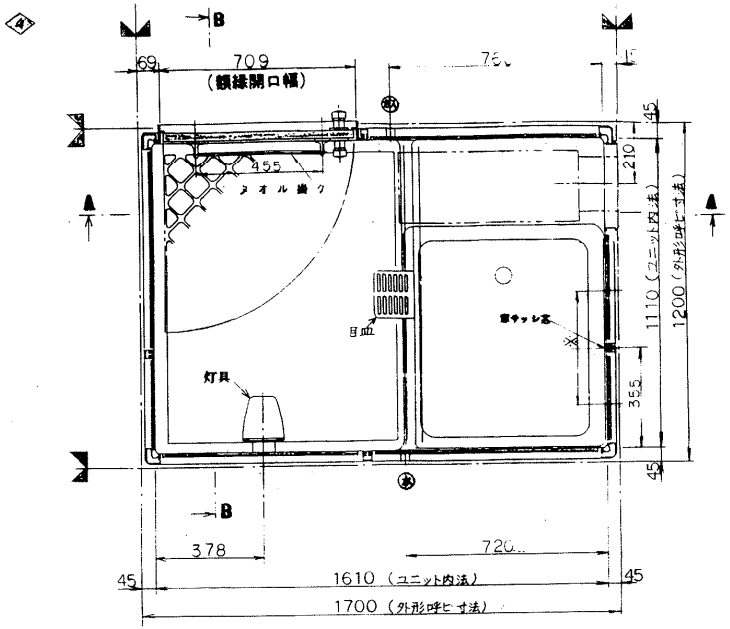
1. 本図ハ調整空間20mmデ作図シテアリマス。調整空間80mmノ場合ハ( )内寸法トナリマス。
2. 浴ソーハBL認定品ヲ御使用下サイ。
3. 窓枠サッシニハ浴室外給湯SPH1200用(公共住宅用規格部品)ヲ御使用下サイ。

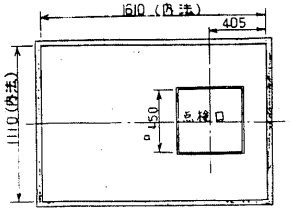
確認事項

1. 給水圧ハ0.8kg/cm²以上確保願イマス。
2. 割り確認(ユニット本体・換気口・点検口・)
3. 取合ノ確認(配管・排水管・換気口・ドア枠)

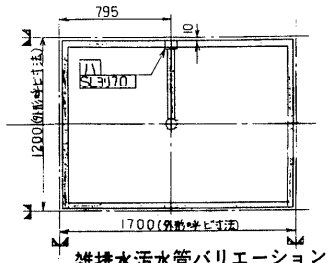


ユニット床下脚位置図(寸法公差±10)





天井伏図(1/20)



雑排水汚水管バリエーション
(寸法公差±10)

調査	No	名	仕	様	備	考
一般事項	1	外形呼ビ寸法	1200W×1700L×2400H			
	2	ユニット内法寸法	1110W×1610L×2010H		室内容積：3.1m³	
	3	給 重 量	200kg			
本体	4	床	FRP	色調：オフホワイト	洗い場面積：1.01m²	
	5	壁 パ ネ ル	塩ビ鋼板	色調：オフホワイト		
	6	ド ア	アルミポリエチレン複合板(面面フラッシュ)	色調：アイボリー		
	7	ド ア 枠	アルミ押出品(アルマイト処理クリア塗装)			
	8	天 井 パ ネ ル	塩ビ鋼板	色調：オフホワイト		
	9					
器具部品	10	灯 具	防湿形白熱灯(60W)		ポリカーボネイトグローブ	
	11	ド ア ロ ッ ク	ABS (プッシュボタン式ロック)			
	12	ドアストッパー	ステンレス製			
	13	鏡	アルミ			
	14	ド ア ガ ラ リ	ABS			
	15	ド ア 小 窓	型板ガラス (厚4)			
	16	タ オ ル 掛 け	ステンレス		ℓ=455	
	17	浴 槽	700×800 タイプ フロアプ(金セアダムシ)	色調：アイボリー	BL品	
	18	バランス釜	ユニットトイレ専			
配管・ソノ他	19	雑排水トラップ	ABS樹脂		封水：50	
	20	雑 排 水 管	硬質塩ビ管(VP50)	ジョイント：VP50ワンカ		
	21	電 気 配 線	V-V-F (1.6-3C)	L=2000	赤線、白線、緑色	
	22	給 水 配 管	青銅鋳物製アダプター(L型異径20×13)	ジョイント：20ネジ		
	23	コ ー キ ン グ 剤	シリコンシーラント	色調：オフホワイト		
	24					

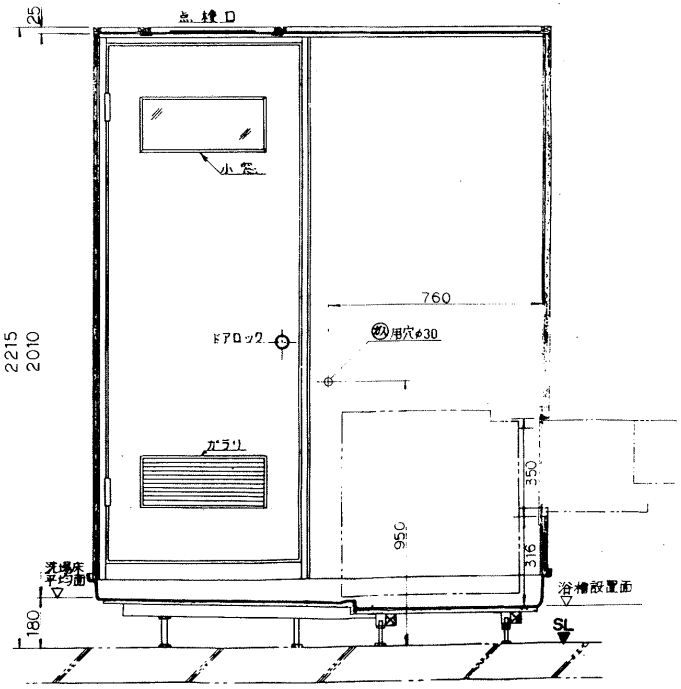
	No	項 目	選 択	事 項
仕様打合事項	25	自 在 水 栓	(1)有 (2)無	
	26	換 気 口	(1)ABS丸形ガラリ (2)100角(色調：オフホワイト)	有効面積：37cm²、ジョイント径：φ98
	27		(1)φ270 (2)□	(1)有 (2)無
	28	雑排水方向	(1)イ (2)ロ	(1)ハ
	29	給水給湯管用穴	(1)給水給湯用両方有 (2)給水用ノミ有	(1)無
	30	窓 切 欠	(1)無 (2)—	(1)X2 (2)— (3)X4 (4)長辺
	31	調 整 空 間	(1)20mm (2)80mm	(1)40mm
	32			
	33			
	34			

注記

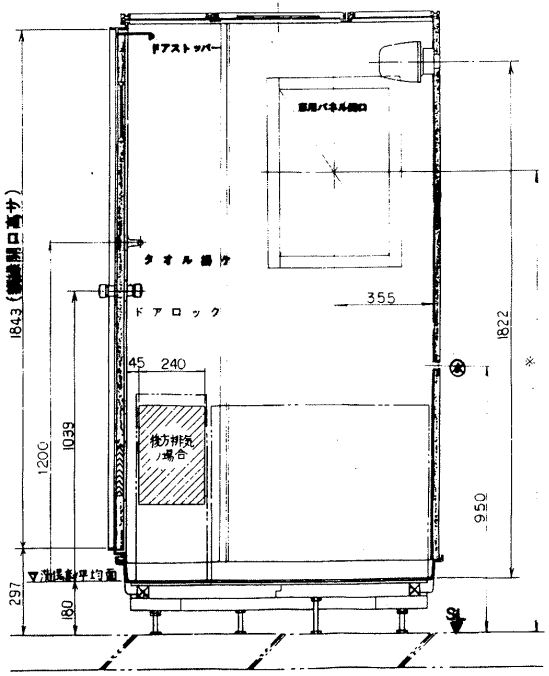
1. 本図ハ調整空間20mmデ作図シテアリマス。調整空間80mmノ場合ハ( )内寸法トナリマス。
2. 浴ソーハBL認定品ヲ御使用下サイ。
3. 屋外サッシニハ浴室外給湯SPH1200用(公共住宅用規格部品)ヲ御使用下サイ。

確認事項

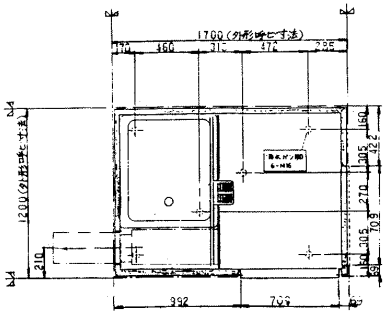
1. 給水圧ハ、0.8kg/cm²以上確保願イマス。
2. 据付確認(ユニット本体・換気口・点検口・)
3. 取合確認(配管・排水管・換気口・ドア枠)



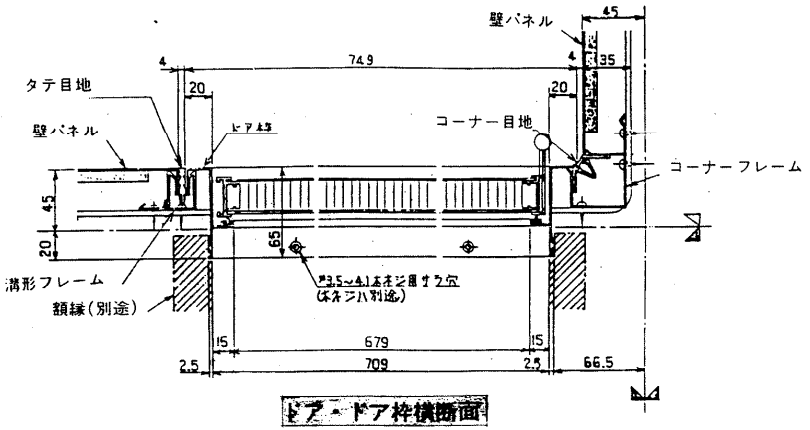
断面A～A



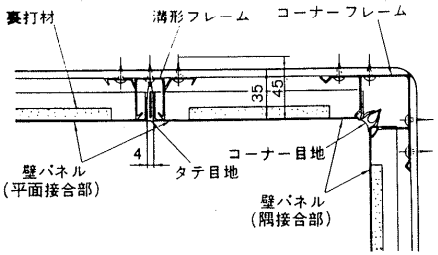
断面B～B



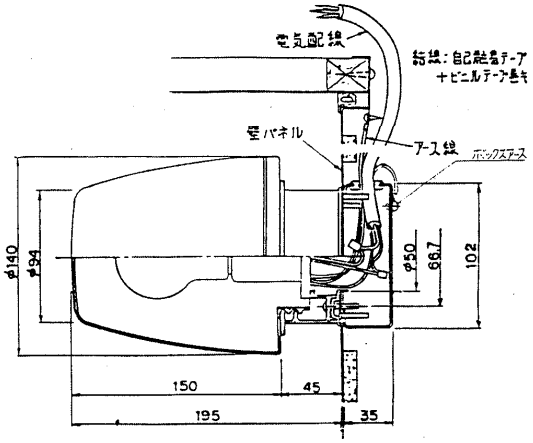
ユニット床下脚位置図(寸法公差±10)



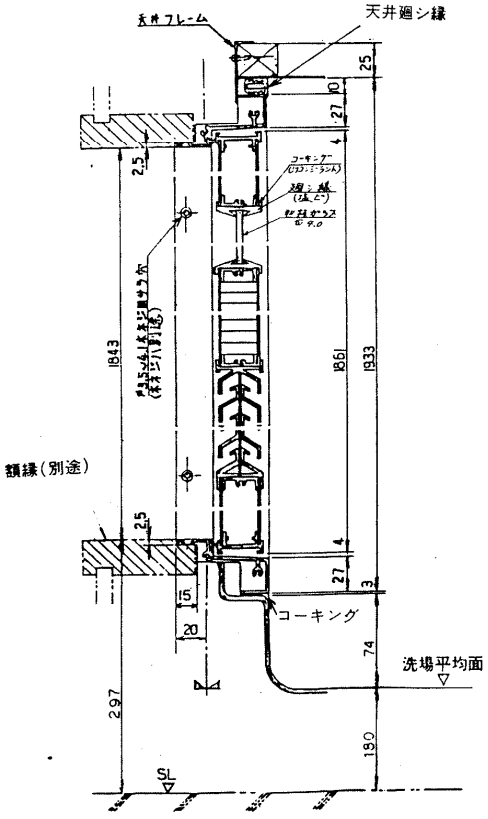
ドア・ドア枠横断面

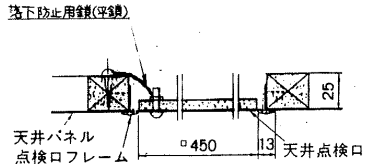


壁パネル横断面

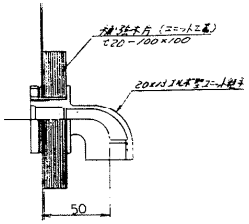


灯具取付け部

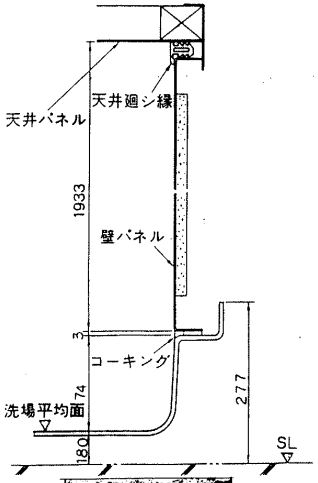




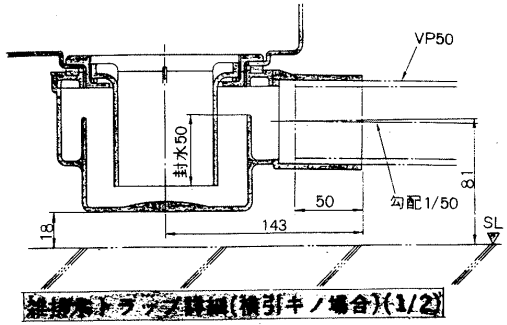
天井点検口



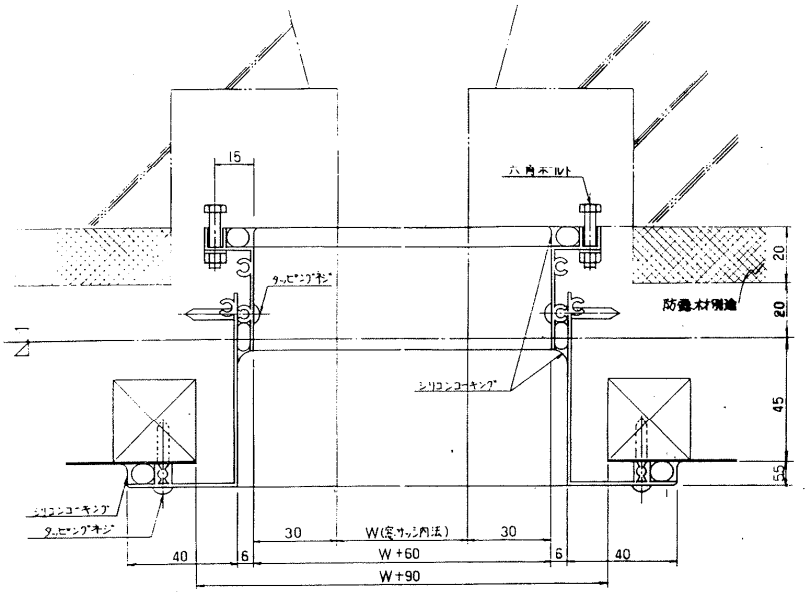
水栓ジョイント部



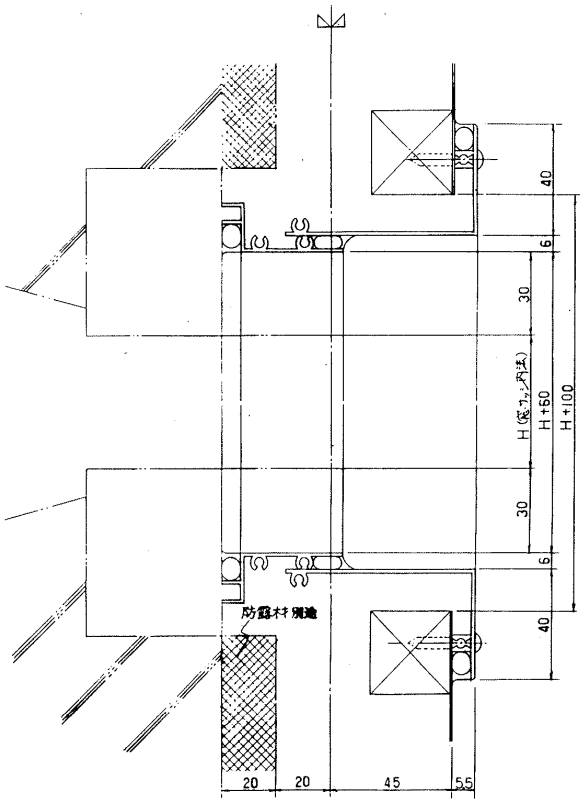
壁パネル縦断面



洗場床トラップ詳細(横引キノ場合)(1/2)



窓接続枠横断面 S:1/1

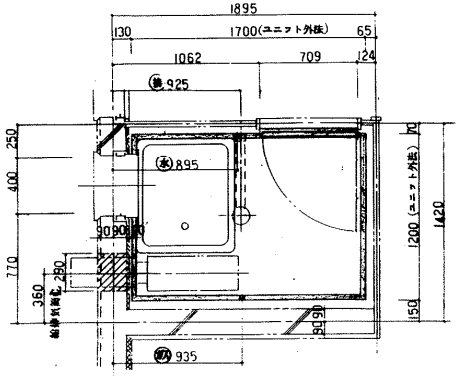


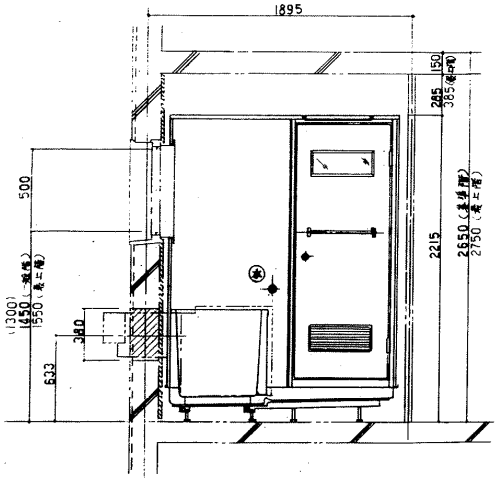
窓接続枠縦断面 S:1/1

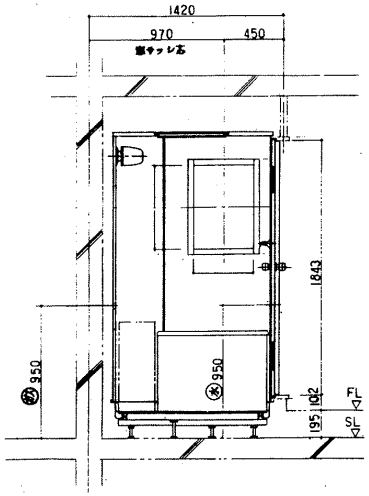
<1>

本図通り —— 2A, 4A, 3B, 3H, 3H'

本図と逆勝手 —— 2A, 3A, 4A, 3B, 3H, 3H'







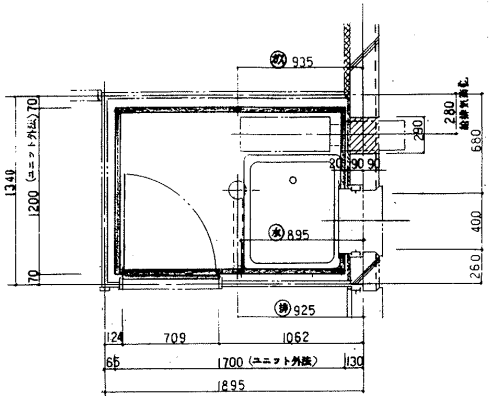
※( )内 市営千和団地3号棟3B, 4号棟3H'サイ

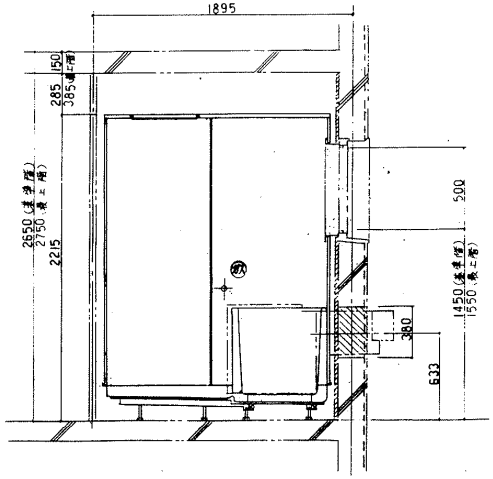
※ 給湯気開用スリーブ ユニット別施工事

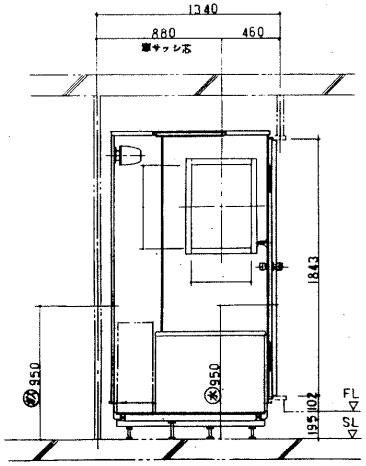
<2>

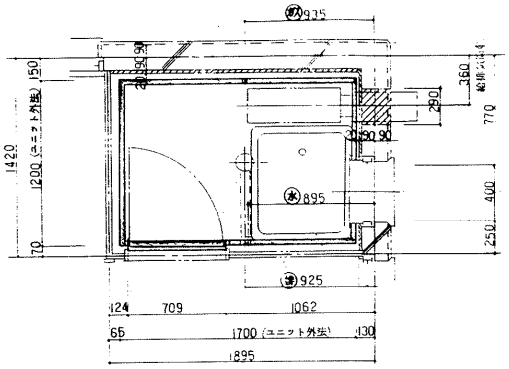
本図通り —— 1B, 4C, 3D, 3F

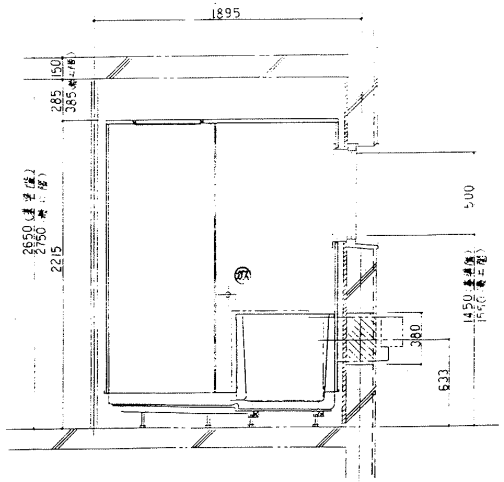
本図と逆勝手 —— 4B, 4C, 3D, 3F

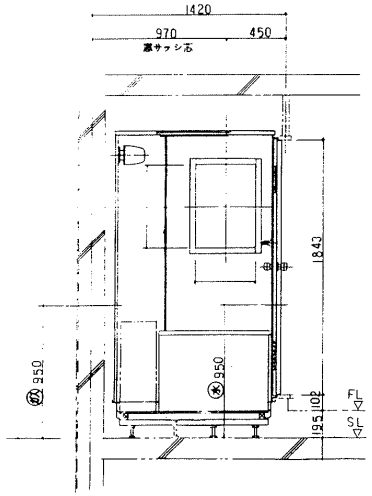




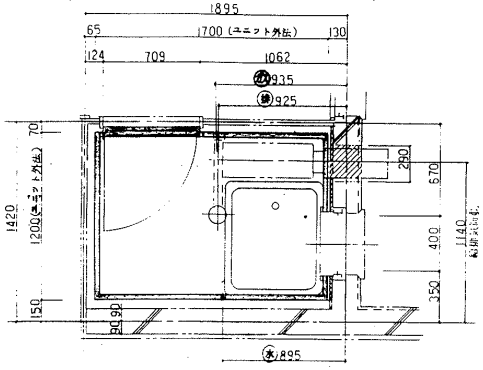


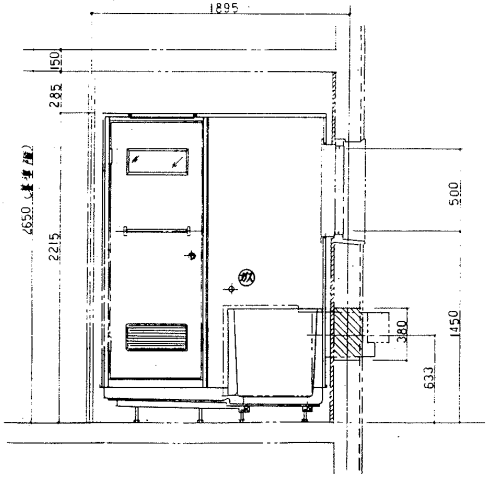


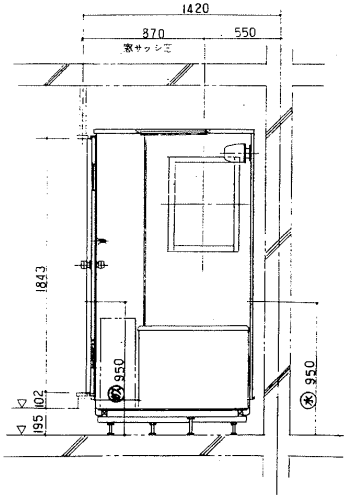




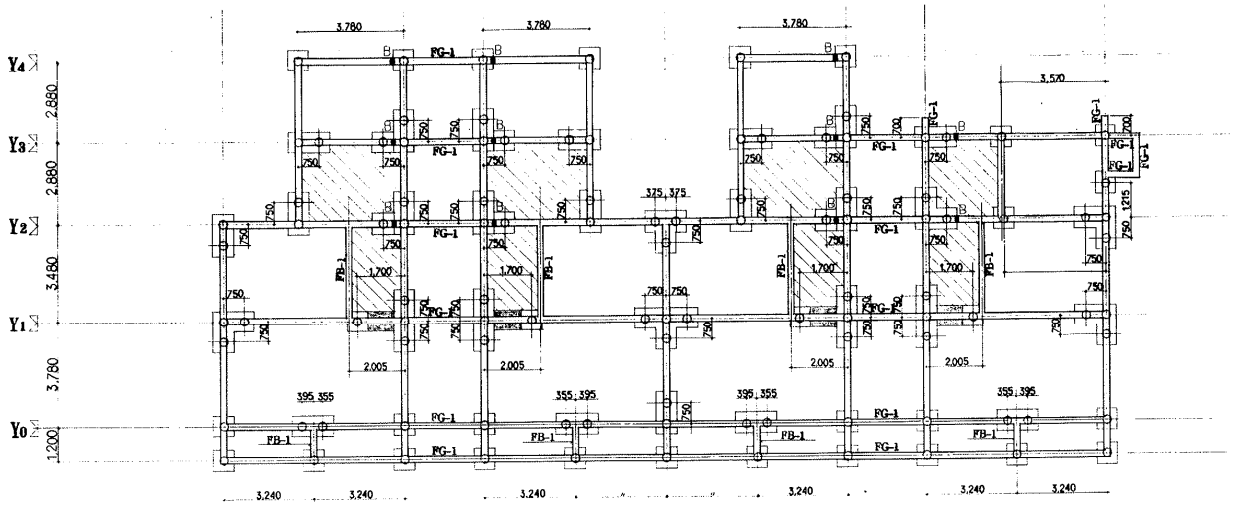
浴室 給排気個用スリーブ ユニット別途工事







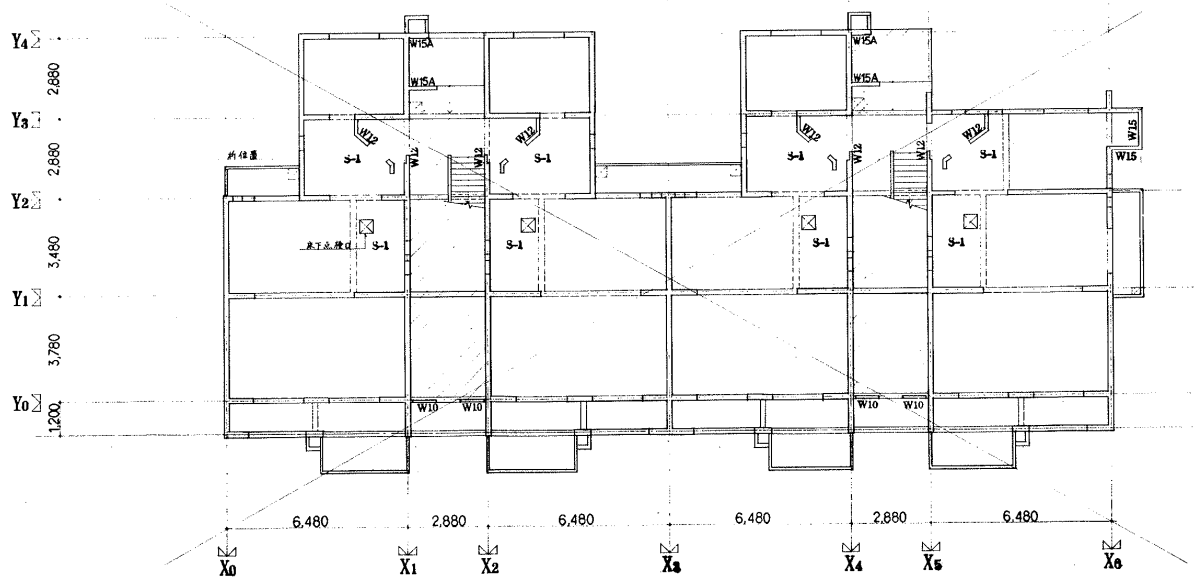
浴室 給排気個用スリーブ ユニット別途工事



杭・基礎伏図　1/100

特記を除き　▭ 部分はピットを示し下部砂利敷とする
▭ 部分は基礎の増打ちを示す。
杭本数　106本

●B スリーブ径 125φ



1 階床伏図　1/100

特記を除き 壁は W18 とする。
▨ 部分は土間コンクリートを示す。

1. 総則

本工事は下記を基準仕様書とする。

(i) 公共住宅建設工事共通仕様書（昭和○○年版）——（財）住宅部品開発センター

(ii) 建築工事共通仕様書（〃 60・）——官報協会

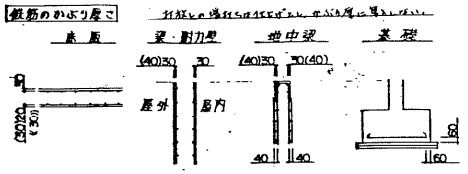
(iii) 公営住宅標準詳細設計図集（改訂版）——日本住宅協会化

本設計図書に記載ある場合は上記基準書による。又、上記仕様書に記載なき場合は係員との協議により決定する。

各工事に着手し、施工計画書、受領書、生コン工場、経歴書、等を係員に提出し、承認を受けること。

2. 鉄筋のかぶり厚さ，端部加工，定着長さ

鉄筋のかぶり厚さ



注 1. ( )内は屋外で仕上げをしないもの。

注 2. 仕上げとは屋内外に面する部分で、モルタル塗り、タイル張り、その他これに類する鉄筋耐力上有効な仕上げをいう。

注 3. 捨てコンクリートは、かぶり厚さに算入しない。

注 4. コンクリート細骨材の塩分が0.04%~0.10%の時は(　)内とする。

定着及び継手長さ

		定着及び継手長さ	
耐力壁	タテ	〃	35d
	ヨコ	〃	35d
非耐力壁	タテ・ヨコ	〃	35d
曲げ補強筋・壁梁主筋		〃	40d
床版	上	〃	35d
	下	〃	15d
	上・下	継手	35d

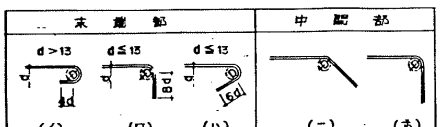
注 1. 継手はすべて重ね継手とする。

注 2. 重ね継手長さは細い方の径の1.4倍とする。

注 3. d：鉄筋径

注 4. 耐力壁縦筋の地中梁への定着長さは35dとする。

鉄筋端部加工



(イ) 梁・基礎の主筋　D−4d

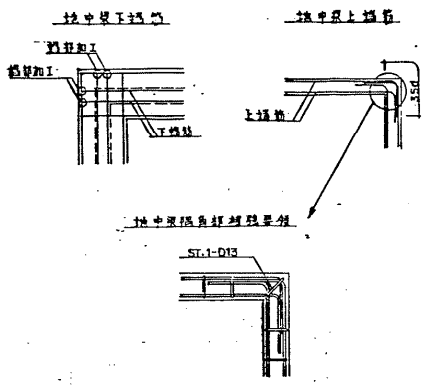
(ロ) スラブ・壁筋　D−5d

(ハ) あばら筋・帯筋　D−4d

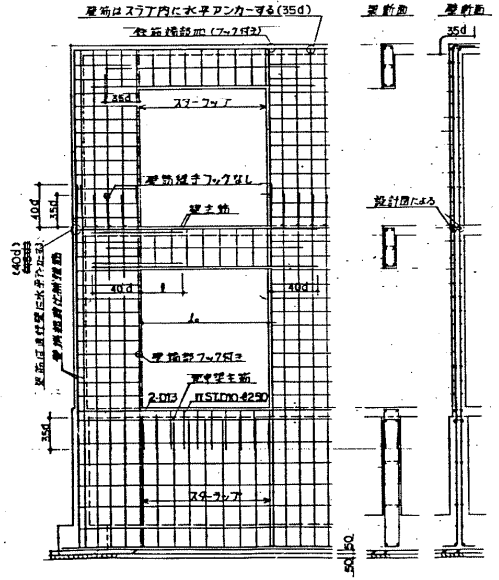
(ニ) 梁・折り曲げ筋　D−6d

(ホ) 壁主筋の定着　D−6d

3. 地中梁主筋配筋参考図



4 壁配筋標準詳細図

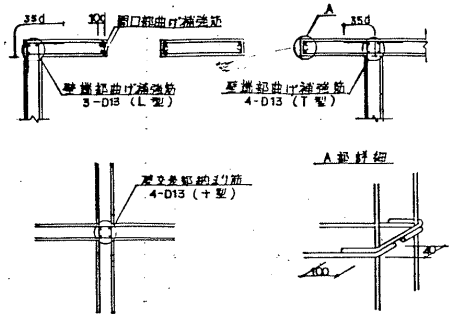


最主筋長さ：L		
	L≦1000 のとき	全開口部通し
	1000<L<3000 のとき	L/2
	L≧3000 のとき	L/4+15d

注) 梁主筋とスラブ主筋の継手位置はなるべく壁内で行ない、柱内で行なってはならない。

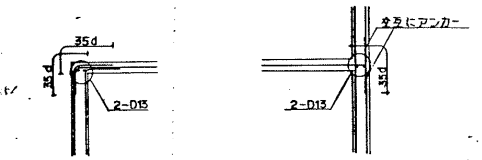
5. 壁の配筋要領図

ダブルとダブル

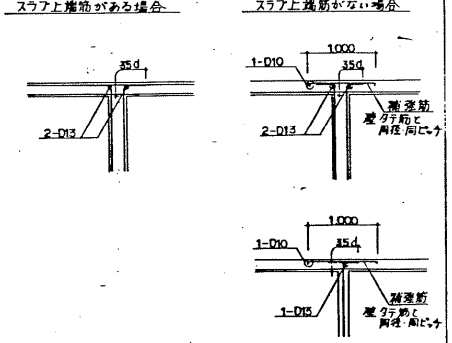


T型中止メ筋——縦筋と同径・同ピッチとする。
壁端部は全てこれに倣う。

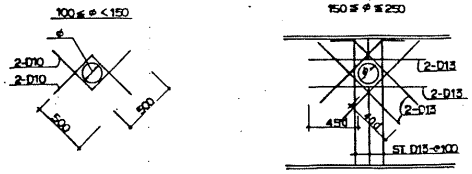
ダブルとシングル



壁とスラブの定着要領



スリーブ貫通孔補強要領



6 スペーサー筋

バルコニー・庇

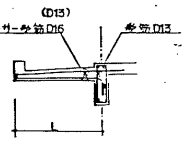
バルコニー・庇等片持スラブに用いるスペーサー筋は、次のとおりにする。

(i) 筋筋の鉄筋径は、次のとおりとする。

L＞600　D16

L≦600　D13

(ii) スペーサーは所定のかぶり厚さを確保する適正な高さの鉄製スペーサーとし、@600で配置し、スペーサー受筋に溶接する。



7 壁標準配筋図

配筋リスト　詳細図に記載されているものについては詳細図が優先する。

	W10	W12	W15
	100	120	150
縦筋	D10－@250	D10－@200	D10－@200
横筋	D10－@250	D10－@200	D10－@200
開口補強筋	1－D13	1－D13	1－D13
斜メ補強筋	—	—	—

8 一般共通事項

コンクリート

設計基準強度	最大水セメント比	スランプ	粗骨材最大寸法	空気量
210 (kg/cm²)	55 (%)	18 (cm)	20 (mm)	4 (%)

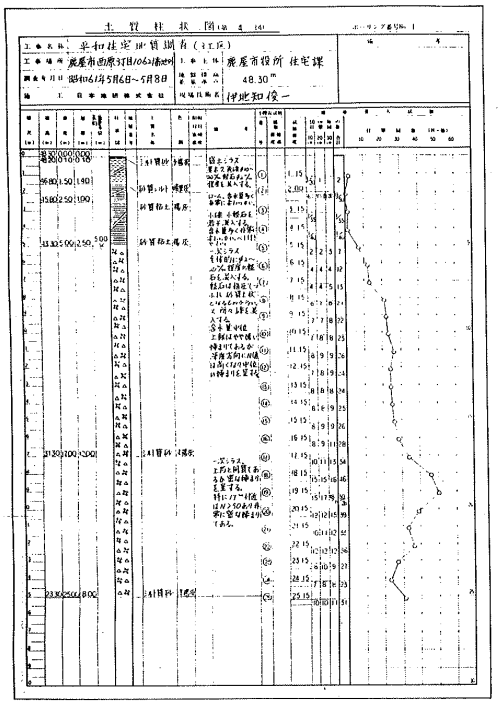
鉄筋

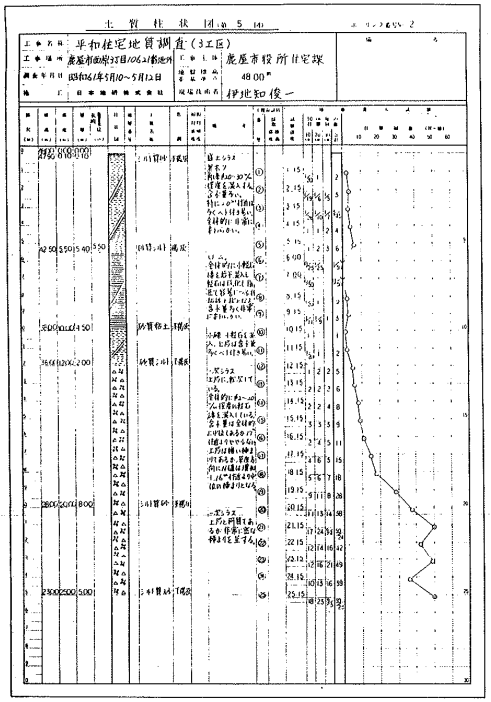
規格　SD30　JIS G3112　(D10～D19)

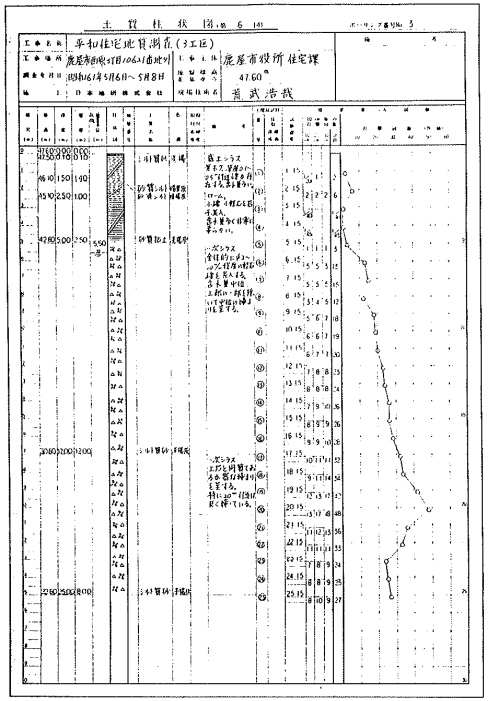
表示

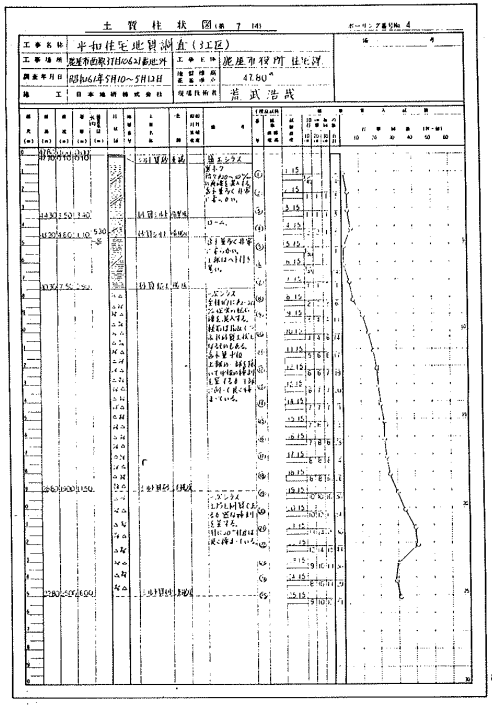
D10	D13	D16	D19
•	×	●	●

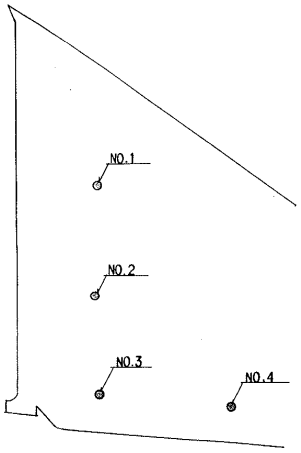
継手　重ね継手


土質柱状図
平和住宅地質調査(3工区)
鹿屋市役所住宅課
伊地知俊一

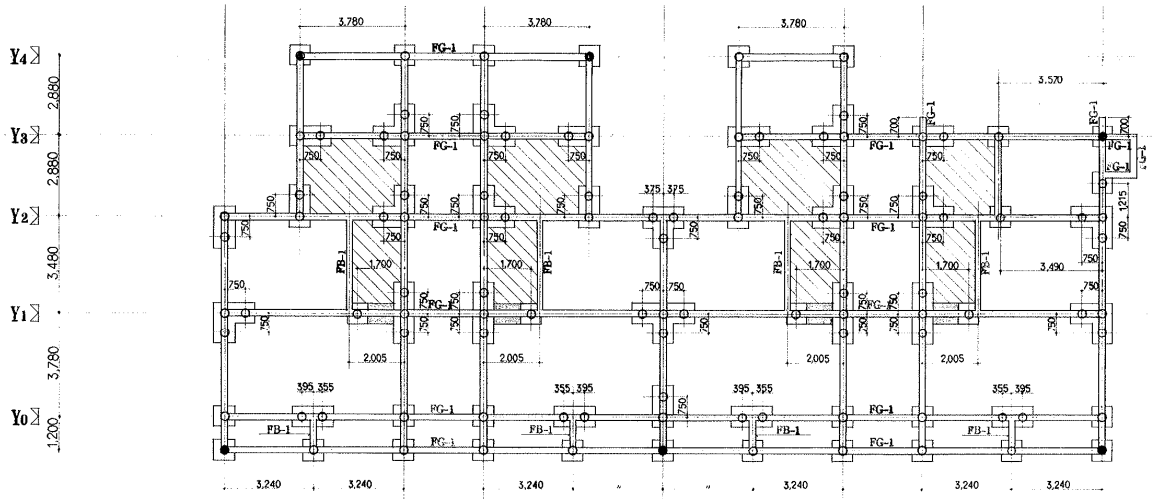

土質柱状図
平和住宅地質調査(3工区)
鹿屋市役所住宅課
伊地知俊一


土質柱状図
平和住宅地質調査(3工区)
鹿屋市役所住宅課
肱武浩哉


土質柱状図
平和住宅地質調査(3工区)
鹿屋市役所住宅課
肱武浩哉


NO.1
NO.2
NO.3
NO.4

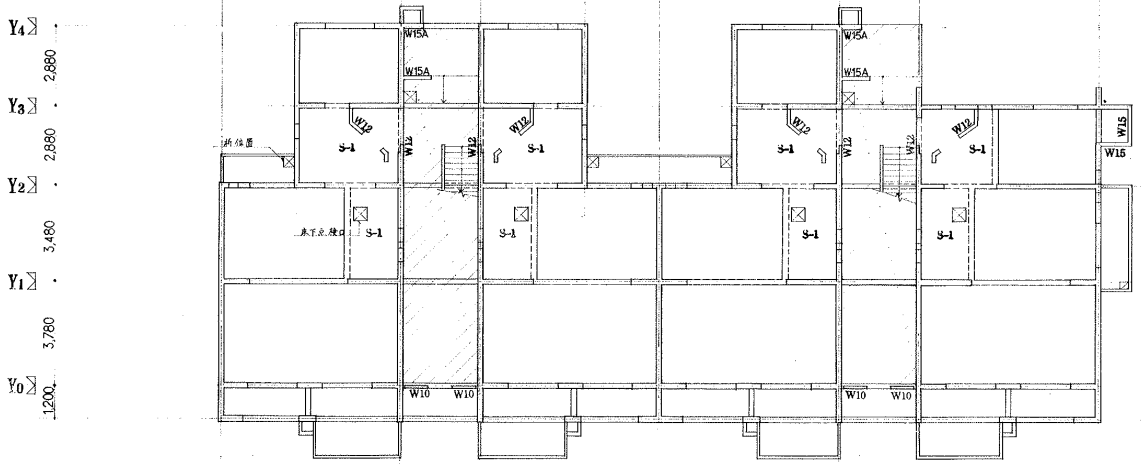
ボーリング配置図



杭・基礎伏図　1/100

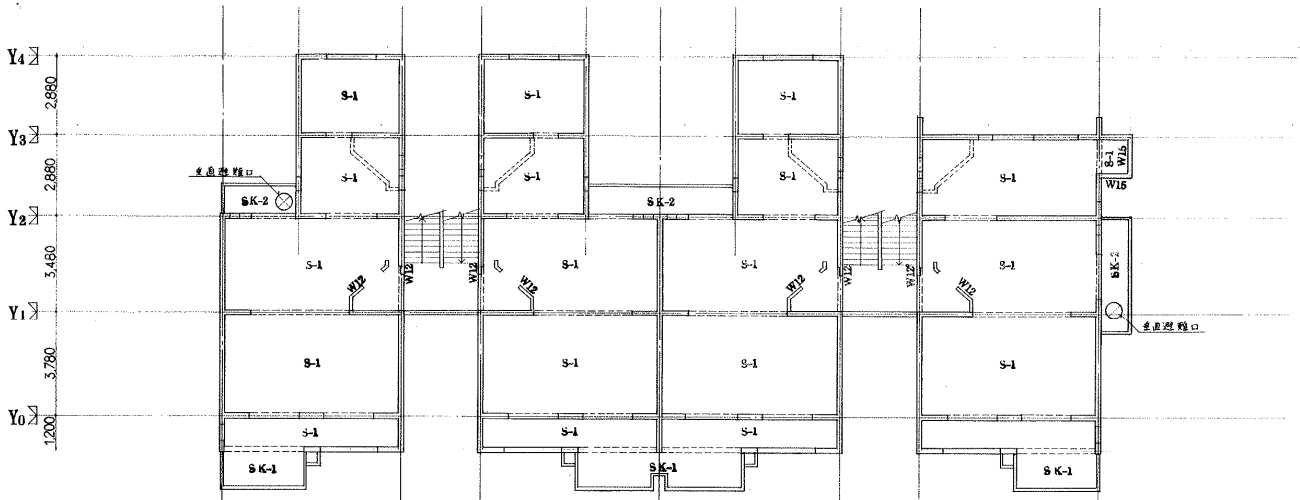
特記を除き　▨ 部分はピットを示し下端砂利敷とする
▩ 部分は基礎の増打ちを示す。
● 印は試験杭を示す。

杭リスト		
杭本数	100本	6本(試験杭)
杭長	18M	20M
上杭	9M	10M
下杭	9M	10M



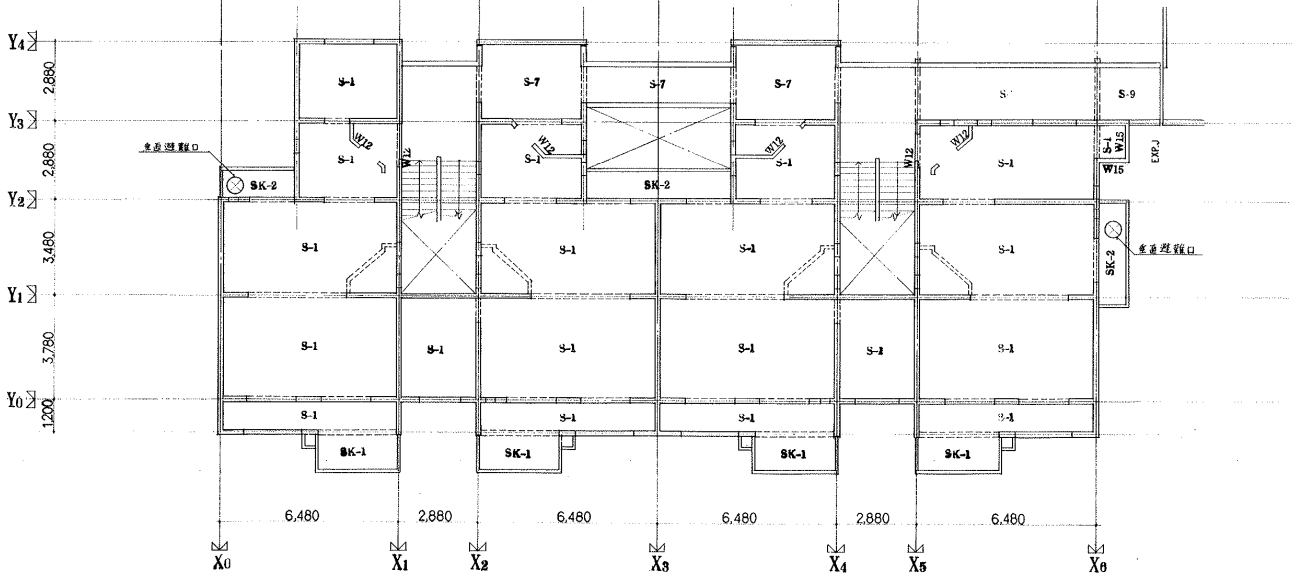
1 階床伏図　1/100

特記を除き　壁は W18 とする。
▨ 部分は土間コンクリートを示す。



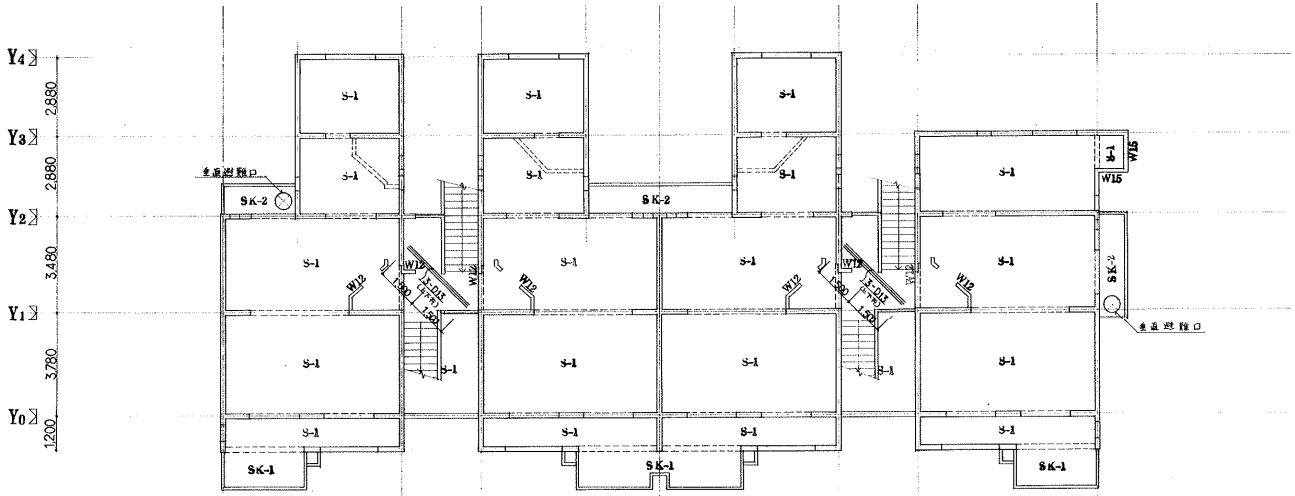
2 階床伏図　1/100

特記を除き 壁はW15とする。



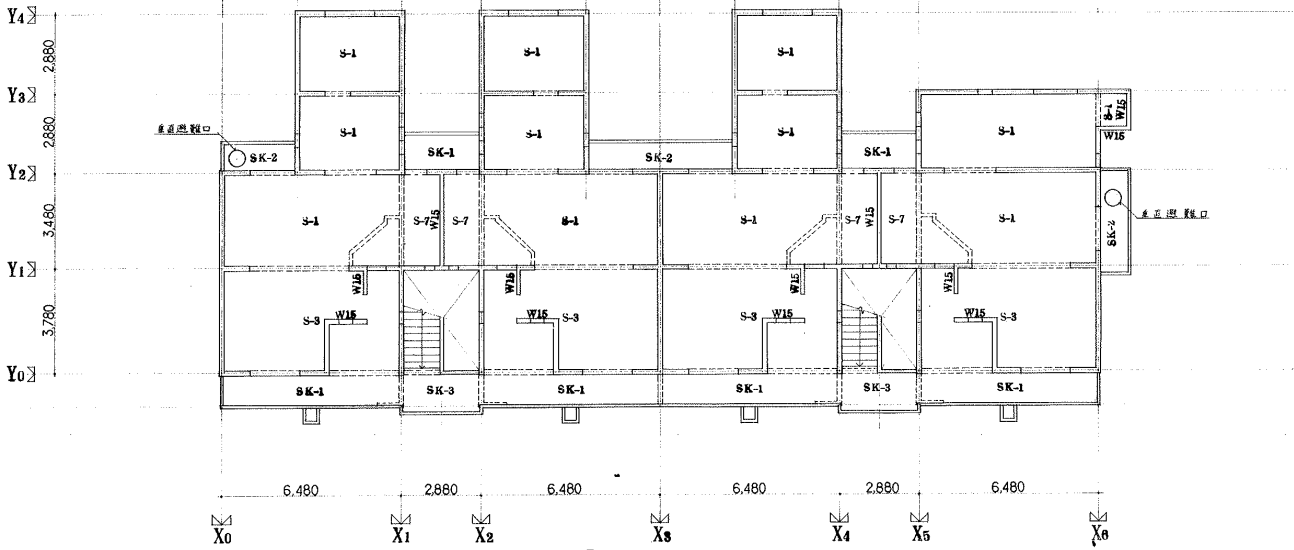
3 階床伏図　1/100

特記を除き 壁はW15とする。



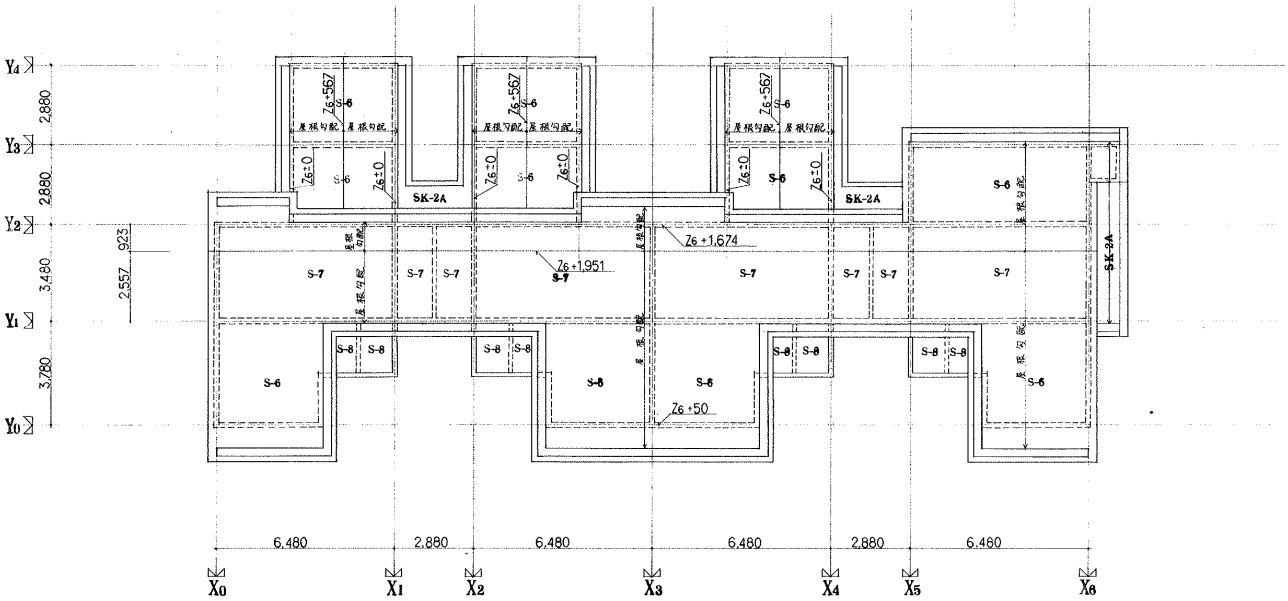
4 階床伏図　1/100

特記を除き 壁は W15 とする。



5 階床伏図　1/100

特記を除き 壁は W15 とする。


Y4
Y3
Y2
Y1
Y0
2,880
2,880
923
2,557
3,480
3,780
Z6+567
S-6
屋根勾配
Z6±0
SK-2A
Z6+1,951
Z6+1,674
Z6+50
S-7
S-8
6,480
2,880
6,480
6,480
2,880
6,460
X0
X1
X2
X3
X4
X5
X6

屋 根 伏 図　　1/100

既製杭 杭設工事共通事項

1. 総則

本工事は既製杭杭打設専門業者の責任施工とする。
工事に先立ち施工要領書及び計画書を提出し、監督員の承認を受けるものとする。

2. 工法

プレボーリング 直打工法

3. 材料

PHC パイル　φ=300.　設計杭耐力 R_a= 36 t/本

＊設計杭耐力は試験杭の結果により決定すること。

4. 施工

4-1 ・プレボーリング

オーガー径　D=300㎜

プレボーリング長　　杭長 −5.0 m

・杭打機

ディーゼルハンマー　ラム重量 2.2t

・プレボーリング長は、現場にて、係員の指示により最終決定する。

・杭頭レベルはヤットコ使用にて基礎下所定レベルにセットすること。杭頭カットは原則として認めない。

4-2 継手

継手は半自動溶接とする

溶接工は JIS Z 3801 SN-2V 有資格者

最近6ヶ月以内引張試験実績にある者

5. 施工記録及び報告書

施工記録は詳細に記録し、必要に応じて監督員に提示すること。
報告書は施工記録を添えて、監督員の指示に従い提出すること。

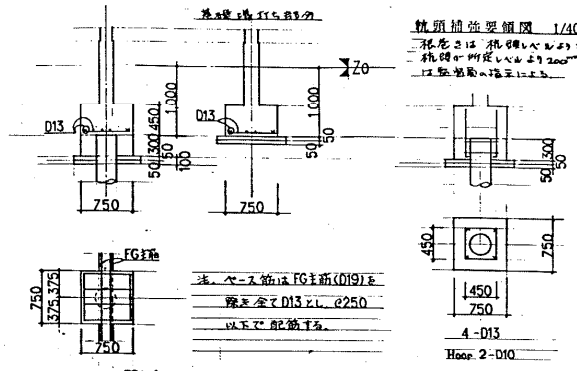
6. 安全と公害防止

工事は安全第一とする。土留壁、振動等
公害に注意し、問題のないよう施工すること。

7. 杭長

杭長は周辺によるが試験杭の結果により最終決定することとする。

基礎配筋図　1/40



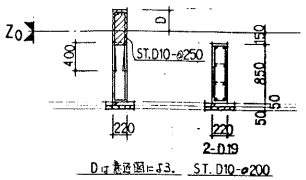
注、ベース筋はFG主筋(D19)を除き全てD13とし、@250以下で配筋する。

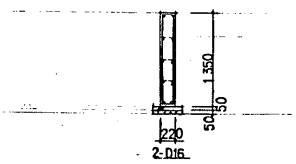
杭頭補強要領図　1/40

杭長さは「杭頭レベルより3,000㎜以上とする。
杭頭が所定レベルより200㎜以上下まで掘る場合は監督員の指示による。

地中梁断面表　1/40

補記を除き ST D10-@250，腹筋 D10，せん断筋 D10-@750



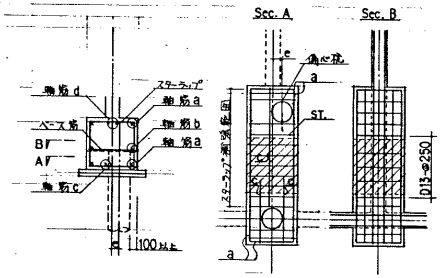


杭偏心時の補強リスト

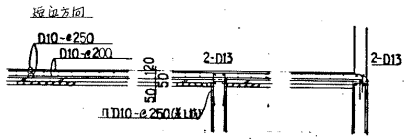
・偏心距離eの許容範囲は、60以下とする。60を越える場合は、
・監督員の指示により下図による。

偏心 距離	60 < e ≦ 125			125 < e ≦ 175			175 < e ≦ 200		
軸筋	a,b	c	d	a,b	c	d	a,b	c	d
	1-D13	—	2-D10	1-D13	1-D13	2-D13	1-D16	1-D13	2-D13
スターラップ	D10 − @200			D10 − @150			D13 − @250		

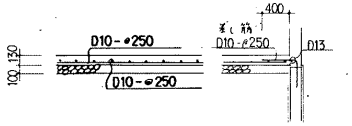
注1. e > 200 の場合は監督員と協議する。
注2. 杭偏心が地中梁内期待上で生じた場合は、補強の必要はない。(e≦200)

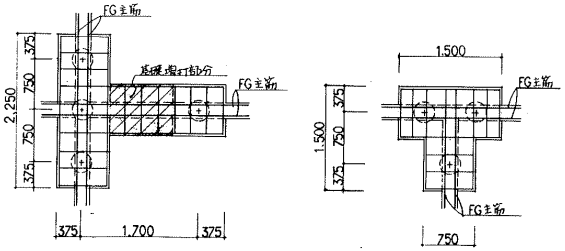


1F コンクリートスラブ配筋要領図：　1/40



土間コンクリート配筋図　1/40

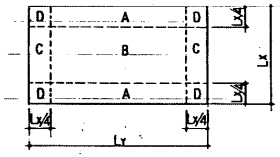




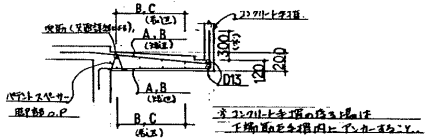
床版配筋リスト

符号	板厚	位置 (CM)	短辺方向 端部A	短辺方向 中央部B	短辺方向 両端部CD	長辺方向 端部C	長辺方向 中央部B	長辺方向 両端部AD
S-1	15	上端筋	D10-@200		D10-@200	D10-@200		D10-@200
		下端筋	D10-@200		D10-@200	D10-@200		D10-@200
S-2	18	上端筋	D10, D13-@200		D10 D13-@200	D10-@200		D10-@200
		下端筋	D10, D13-@200		D10 D13-@200	D10-@200		D10-@200
S-3	15	上端筋	D13-@100		D10, D13-@200	D10, D13-@200		D10, D13-@200
		下端筋	D13-@100		D10, D13-@200	D10, D13-@200		D10, D13-@200
S-4	15	上端筋	D13-@100		D13-@100	D10-@200		D10-@200
		下端筋	D10-@200		D10-@200	D10-@200		D10-@200
S-5	15	上端筋	D13-@200		D13-@200	D13-@200		D13-@200
		下端筋	D13-@200		D13-@200	D10-@200		D10-@200
S-6	15	上端筋	D10-@200		D10-@200	D10-@200		D10-@200
		下端筋	D10-@200		D10-@200	D10-@200		D10-@200
S-7	18	上端筋	D10, D13-@200		D10, D13-@200	D10, D13-@200		D10, D13-@200
		下端筋	D10, D13-@200		D10, D13-@200	D10, D13-@200		D10, D13-@200
S-9	18	上端筋	D13-@200		D13-@200	D13-@200		D13-@200
		下端筋	D13-@200		D13-@200	D13-@200		D13-@200
SK-1	20~12	上端筋	D13-@150			D10-@250		
		下端筋	D10-@300			D10-@250		
SK-2 2A	20~12 18~12	上端筋	D13-@200			D10-@250		
		下端筋	D10-@200			D10-@250		
SK-3	20~12	上端筋	D13-@100			D10-@250		
		下端筋	D10-@200			D10-@250		

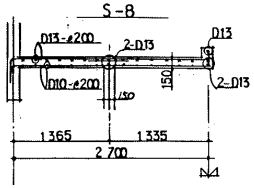
床版一般



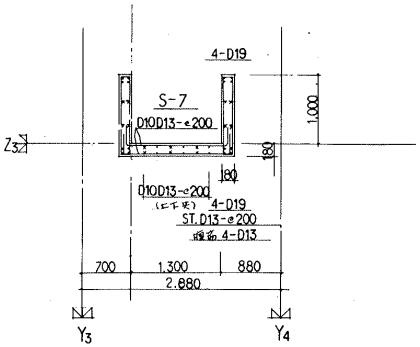
片持床版



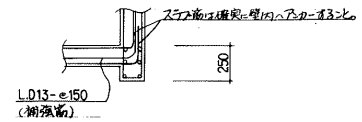
S-8



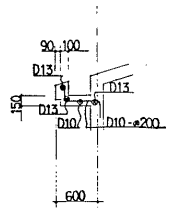
3F北側通路 配筋詳細 1/40

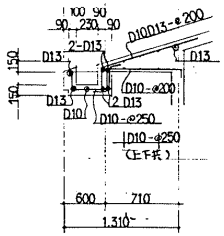


L型D13-@150 部分 配筋要領

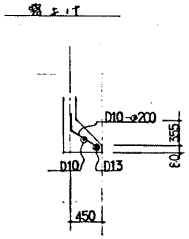


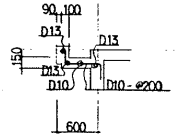
雑詳細図 1/40

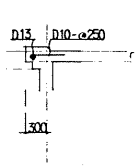


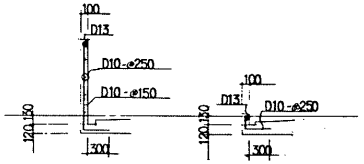


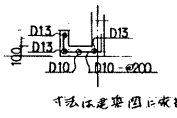
他の開口の床版補強もこれに準ずる。



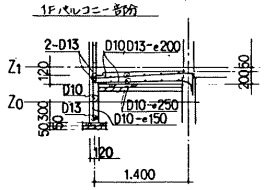


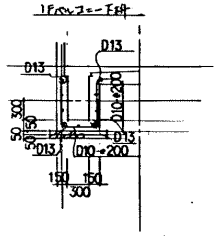


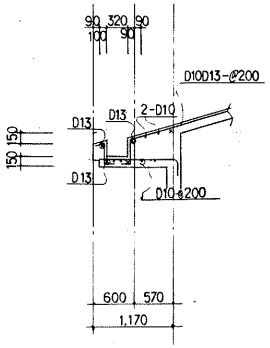




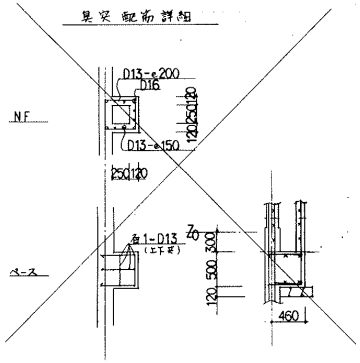
寸法は建築図に依る。



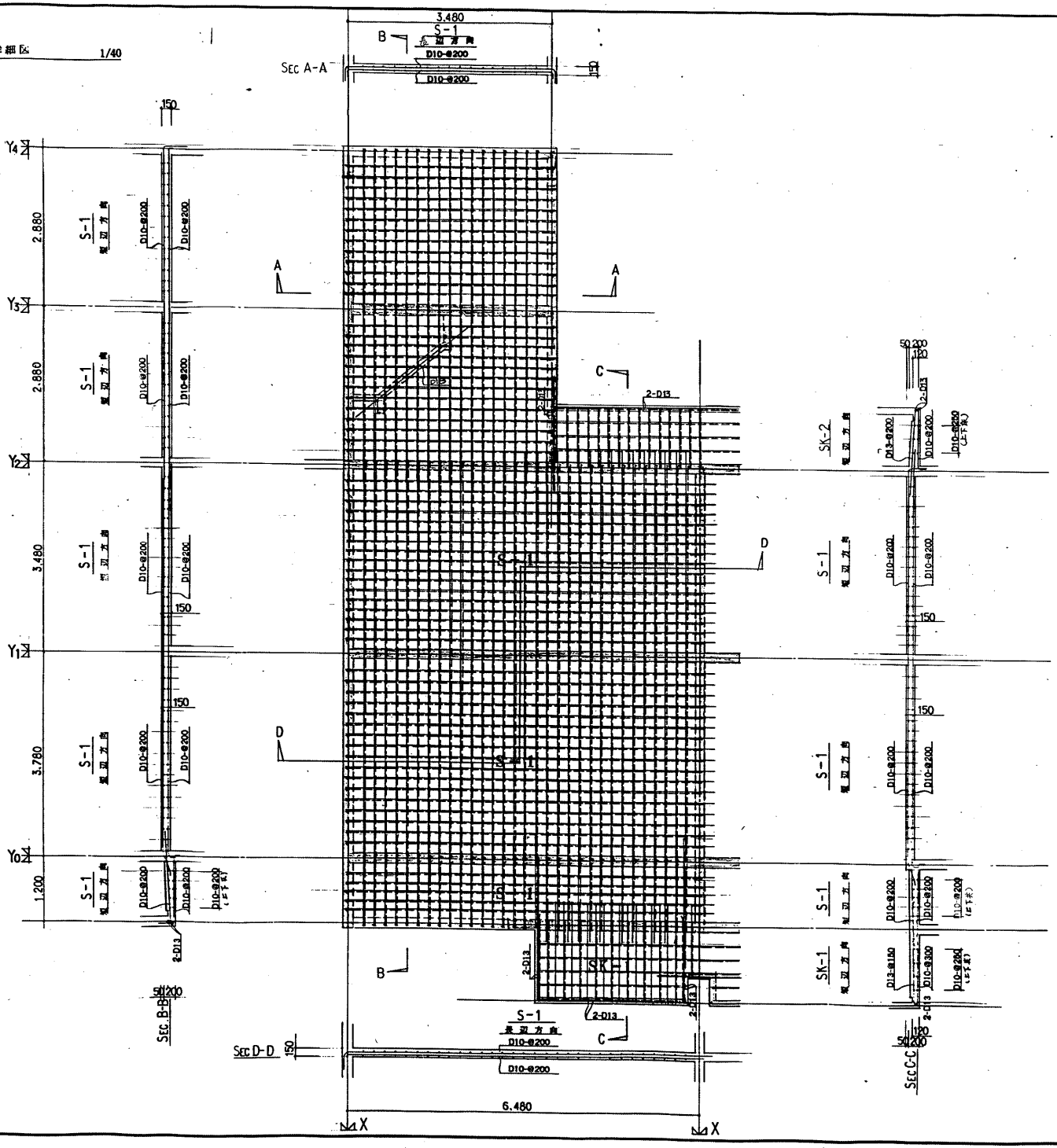


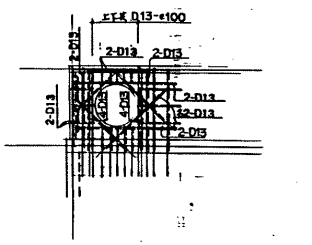


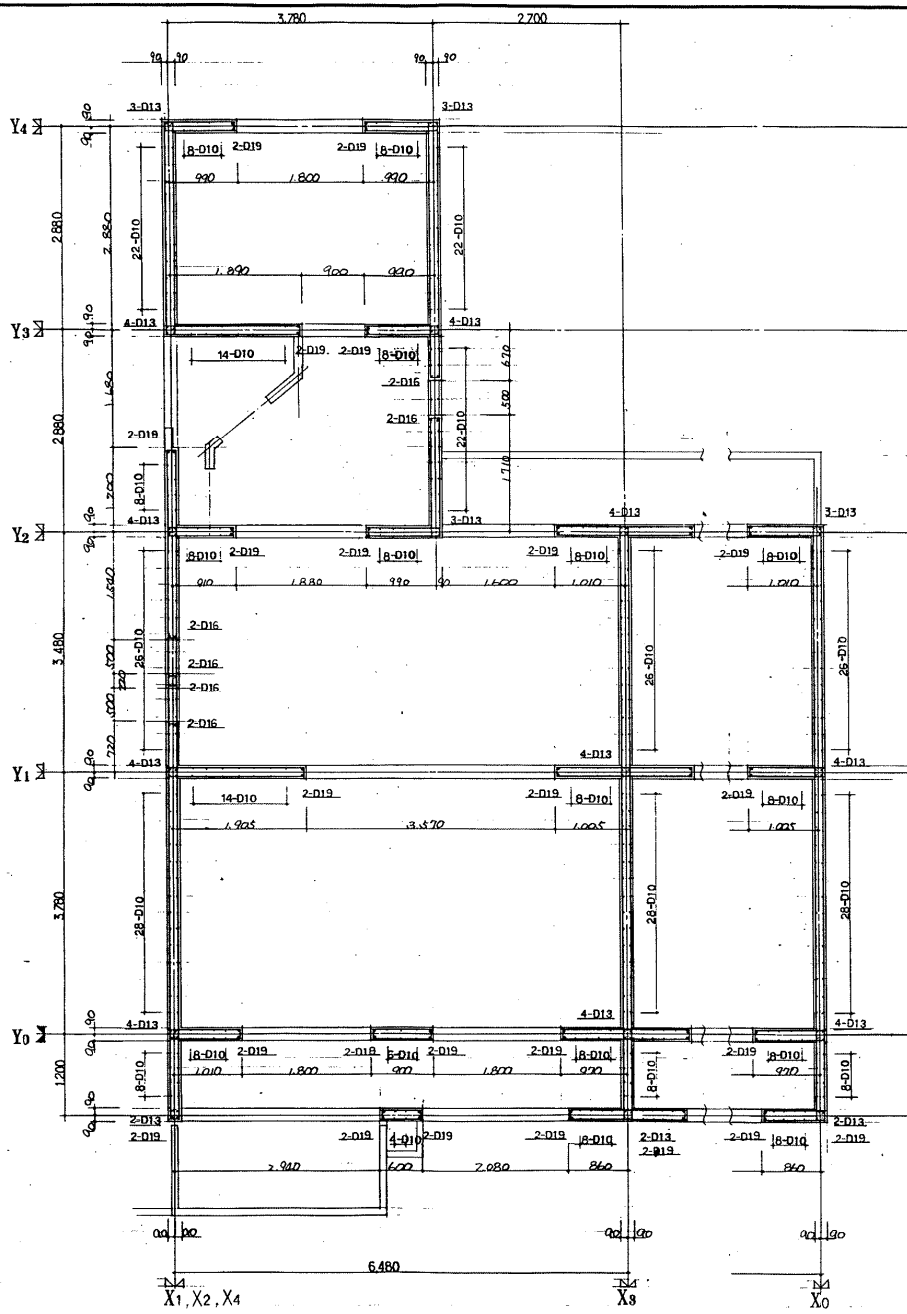
異形 配筋詳細



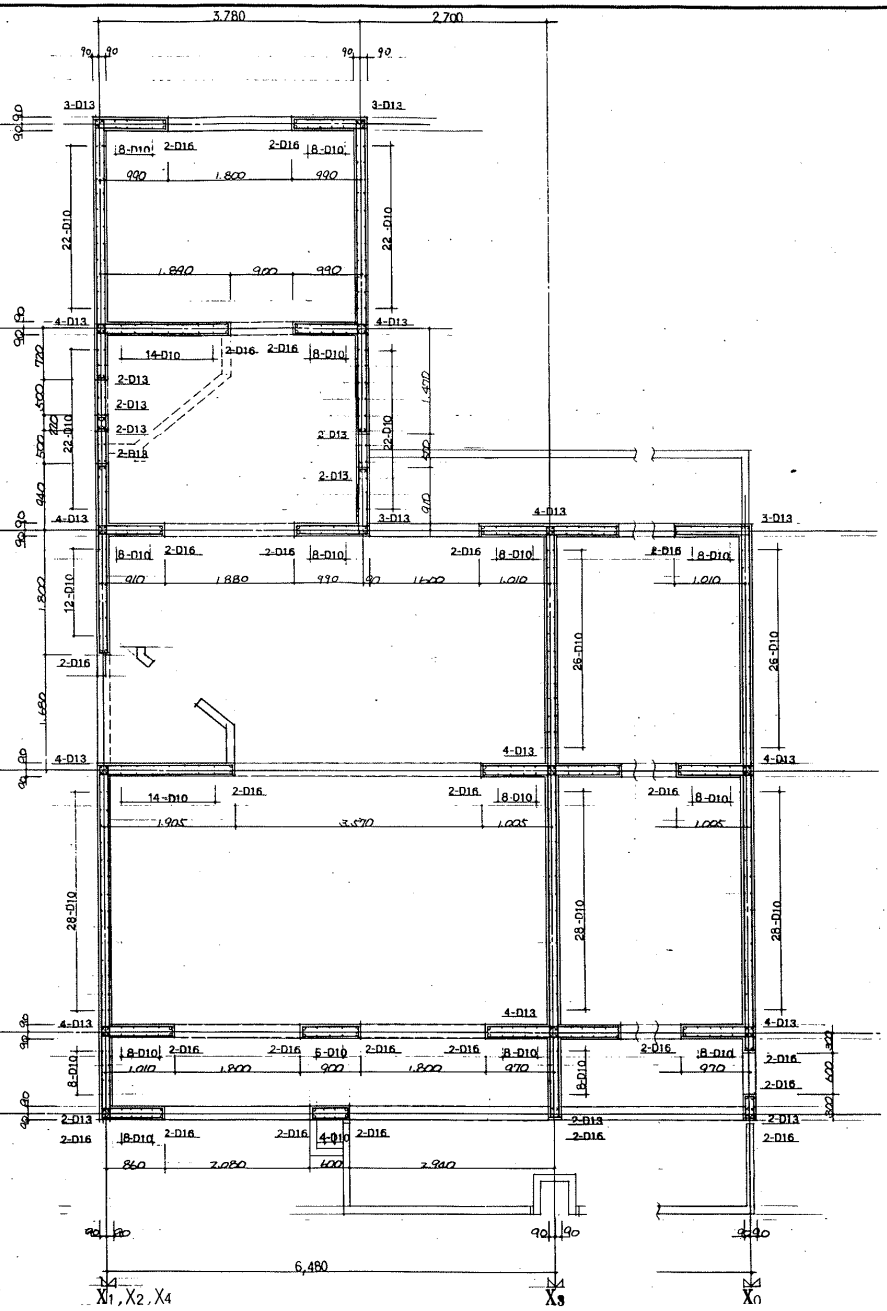
床版配筋詳細図 1/40


Sec A-A
Sec B-B
Sec C-C
Sec D-D
S-1
SK-1
SK-2
D10-@200
D13-@200
D13-@150
2-D13
3.480
2.880
2.880
3.480
3.780
1.200
6.480
150
X
Y4
Y3
Y2
Y1
Y0

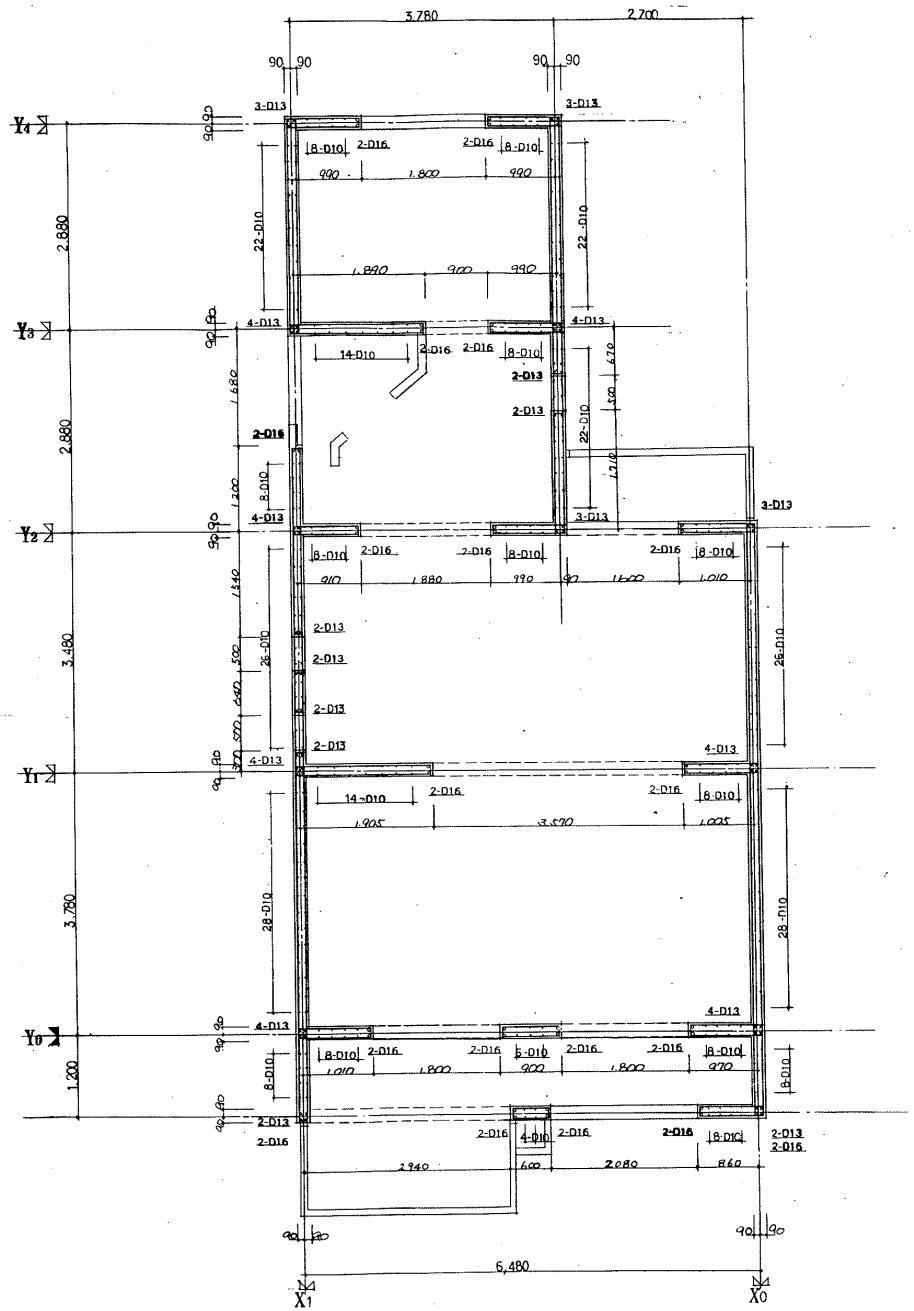

2-D13
2-D13
2-D13
2-D13
2-D13
2-D13
4-D13



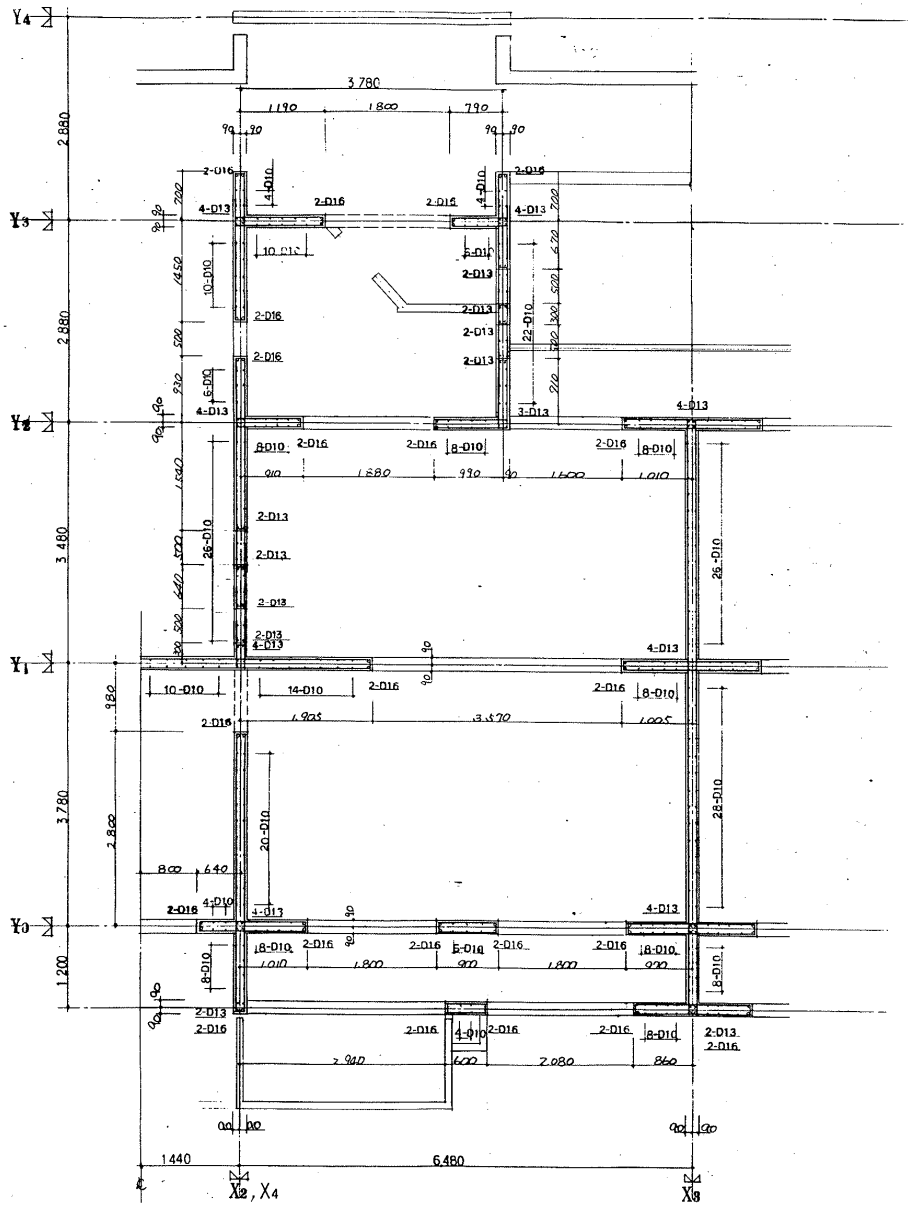
3DK-B' 1F 壁平面配筋図 1/40



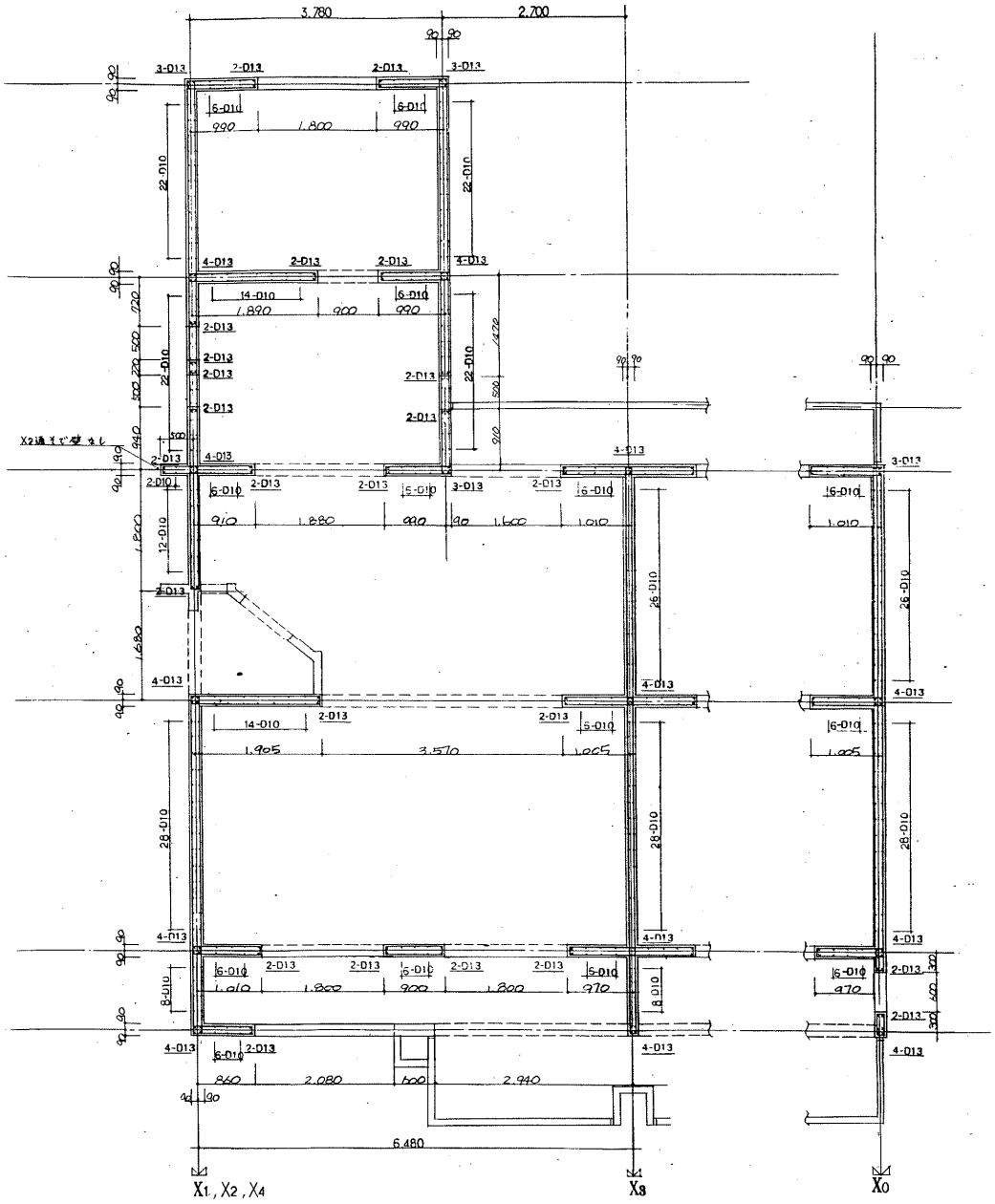
3DK'-D' 2F 壁平面配筋図 1/40



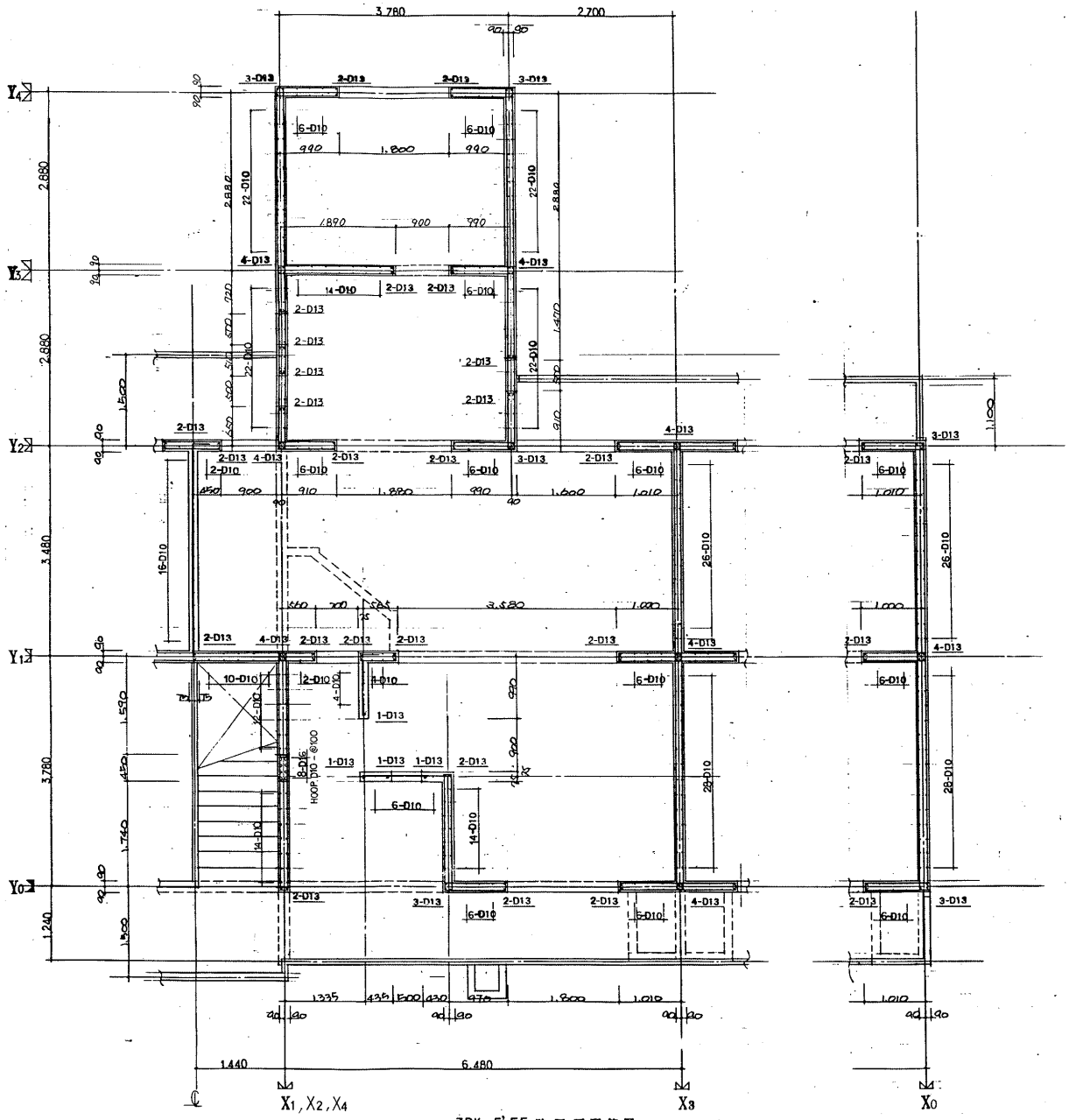
3DK-B'3F 壁 平 面 配 筋 図　　1/40



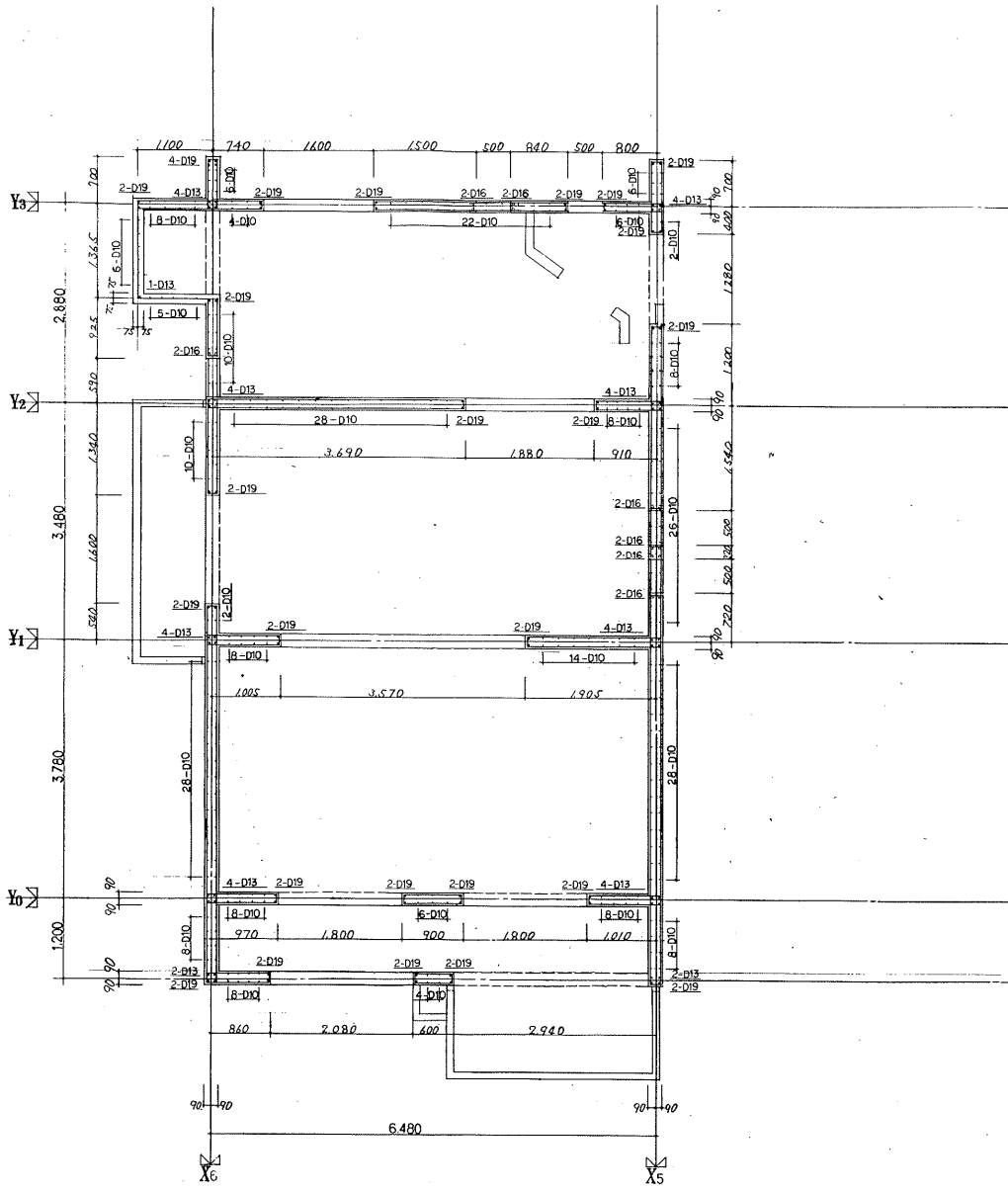
3DK-J 3F 壁平面配筋図 1/40



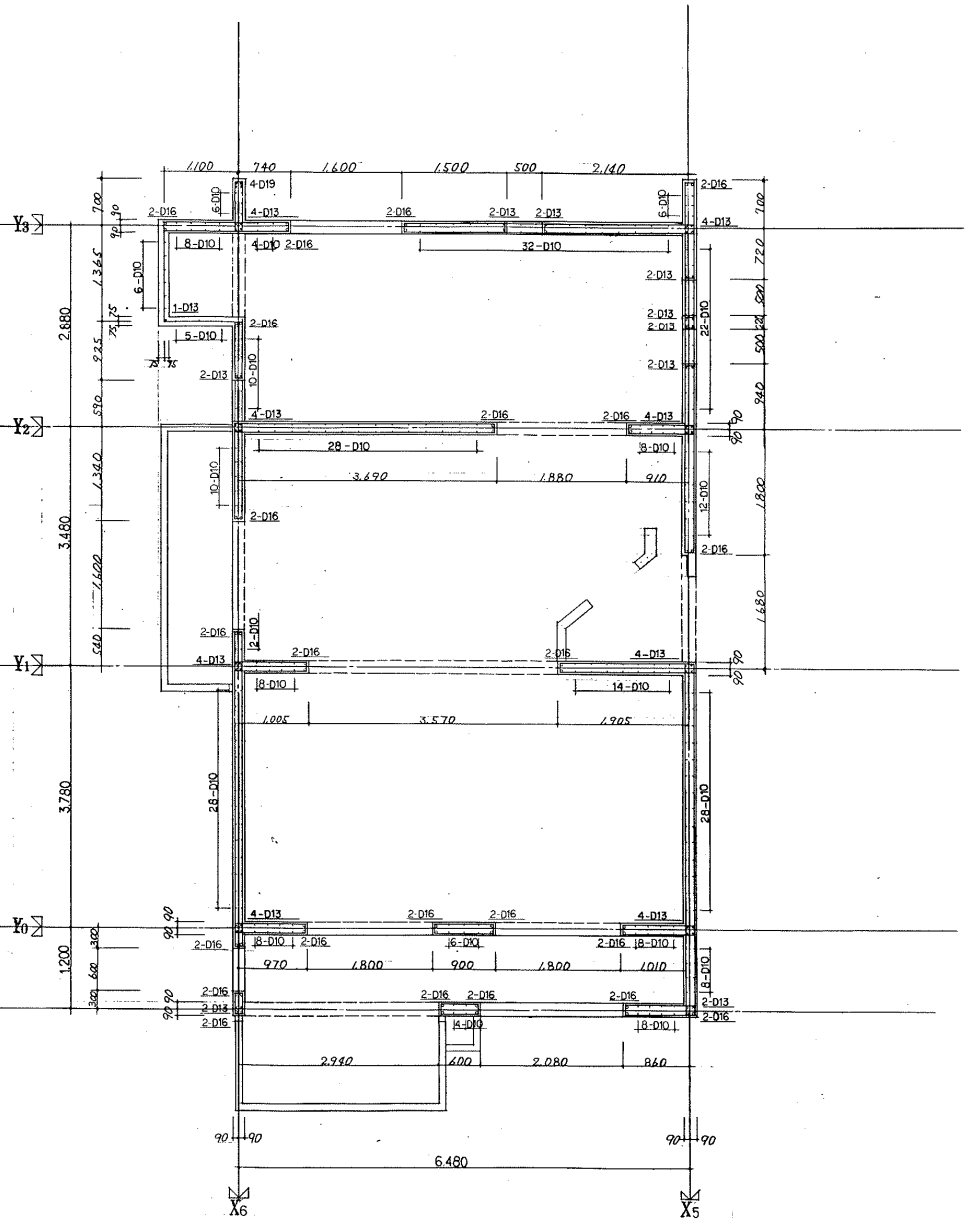
3DK-D' 4F 壁平面配筋図 1/40



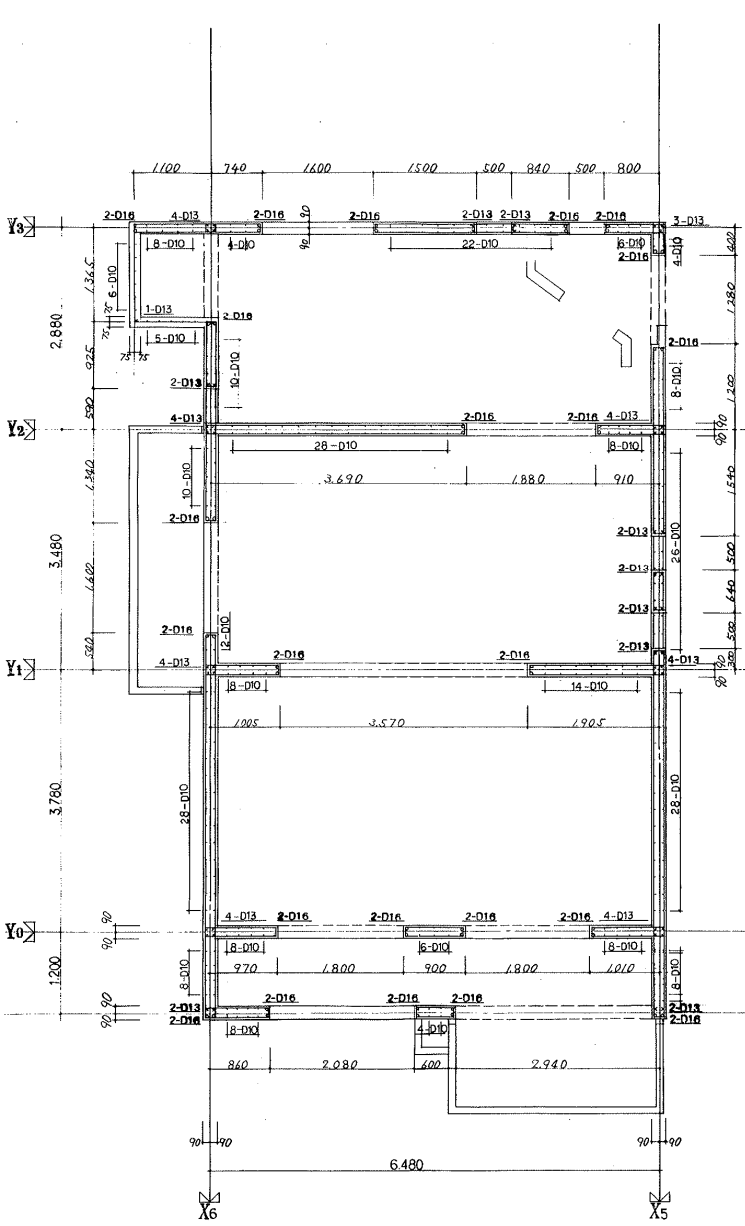
3DK-F'5F 壁平面配筋図 1/40



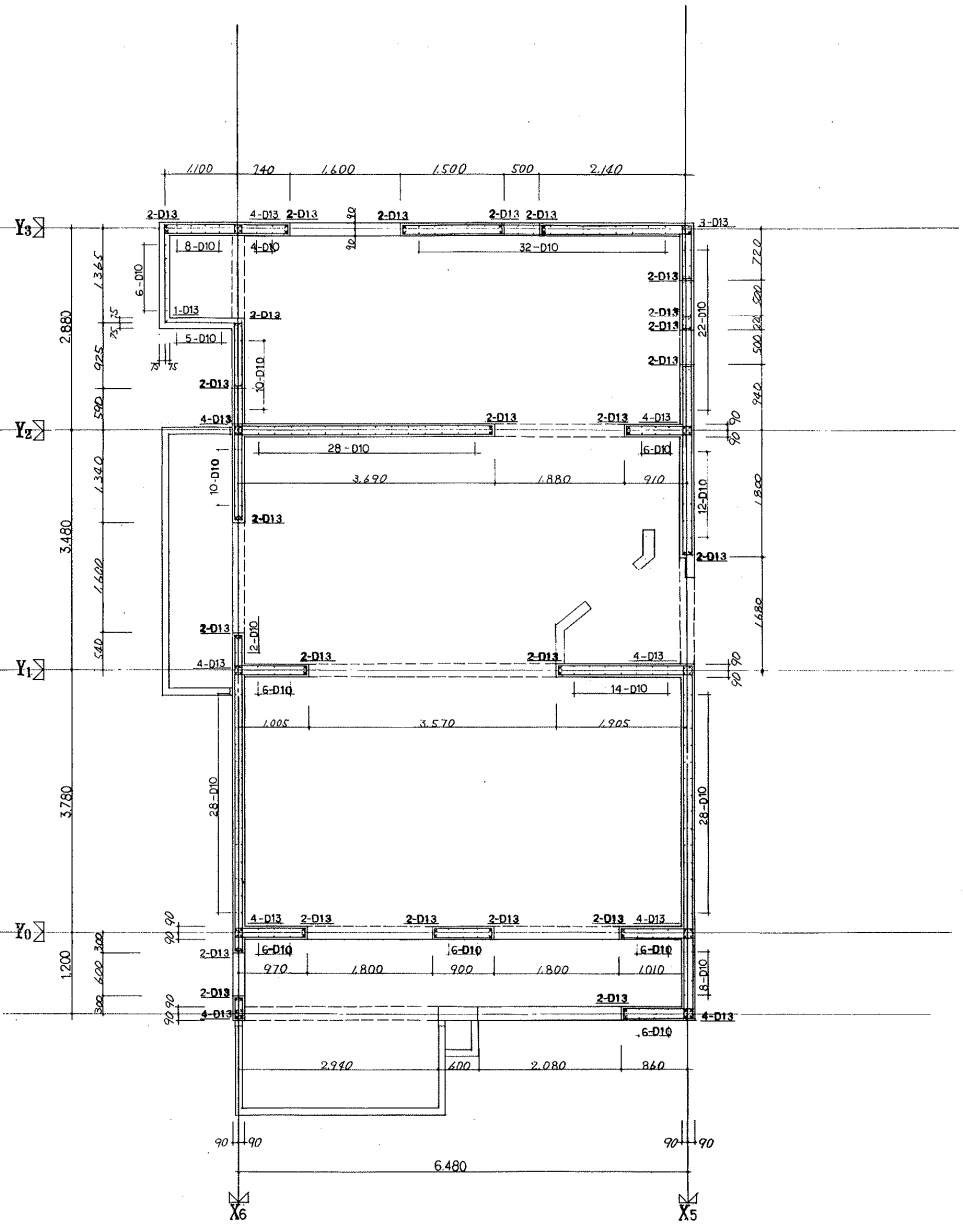
3DK-A' 1F 墩平面配筋图 1/40



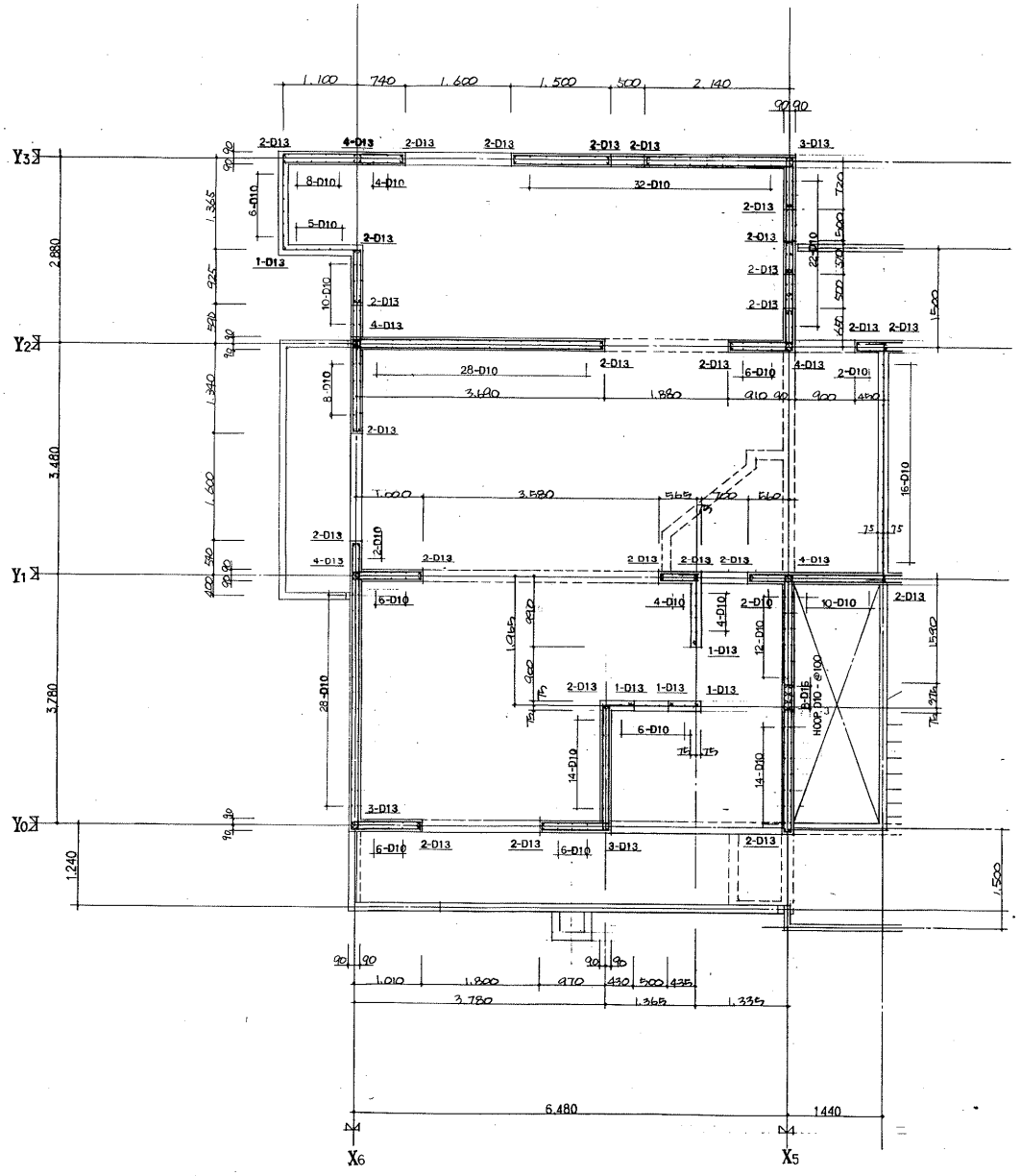
3DK-C' 2F 墩平面配筋图 1/40



3DK-A' 3F 壁平面配筋図 1/40

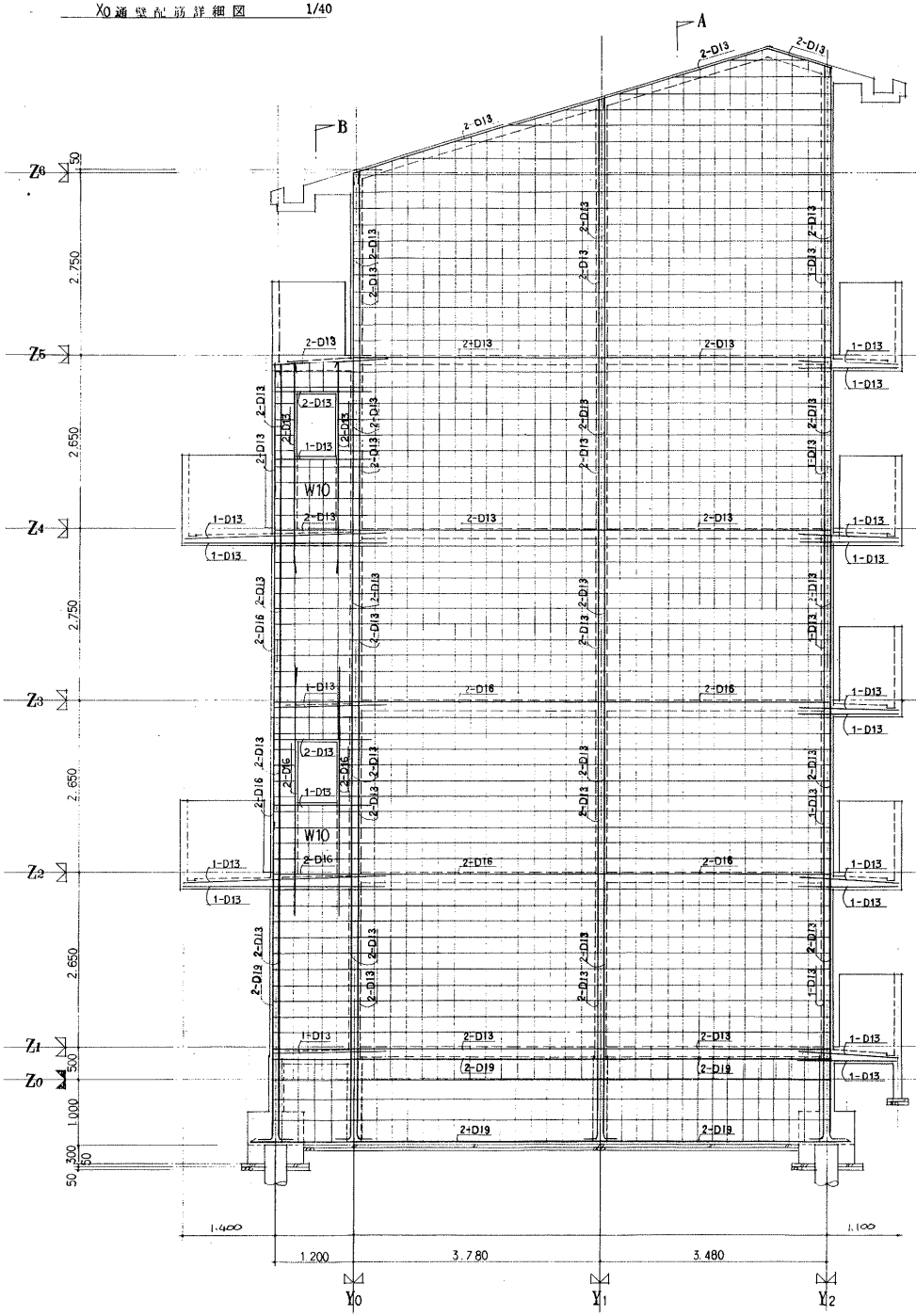


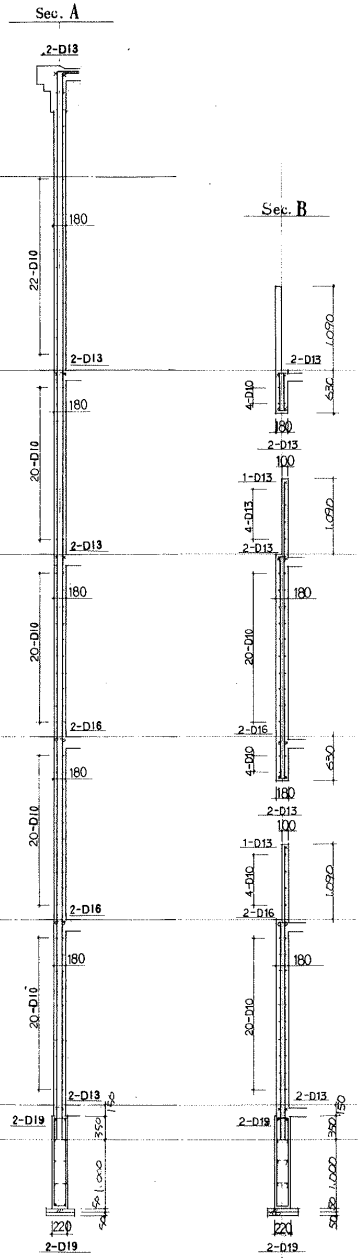
3DK-C' 4F 壁平面配筋図 1/40



3DK-E', 5F 壁 平 面 配 筋 図　1/40

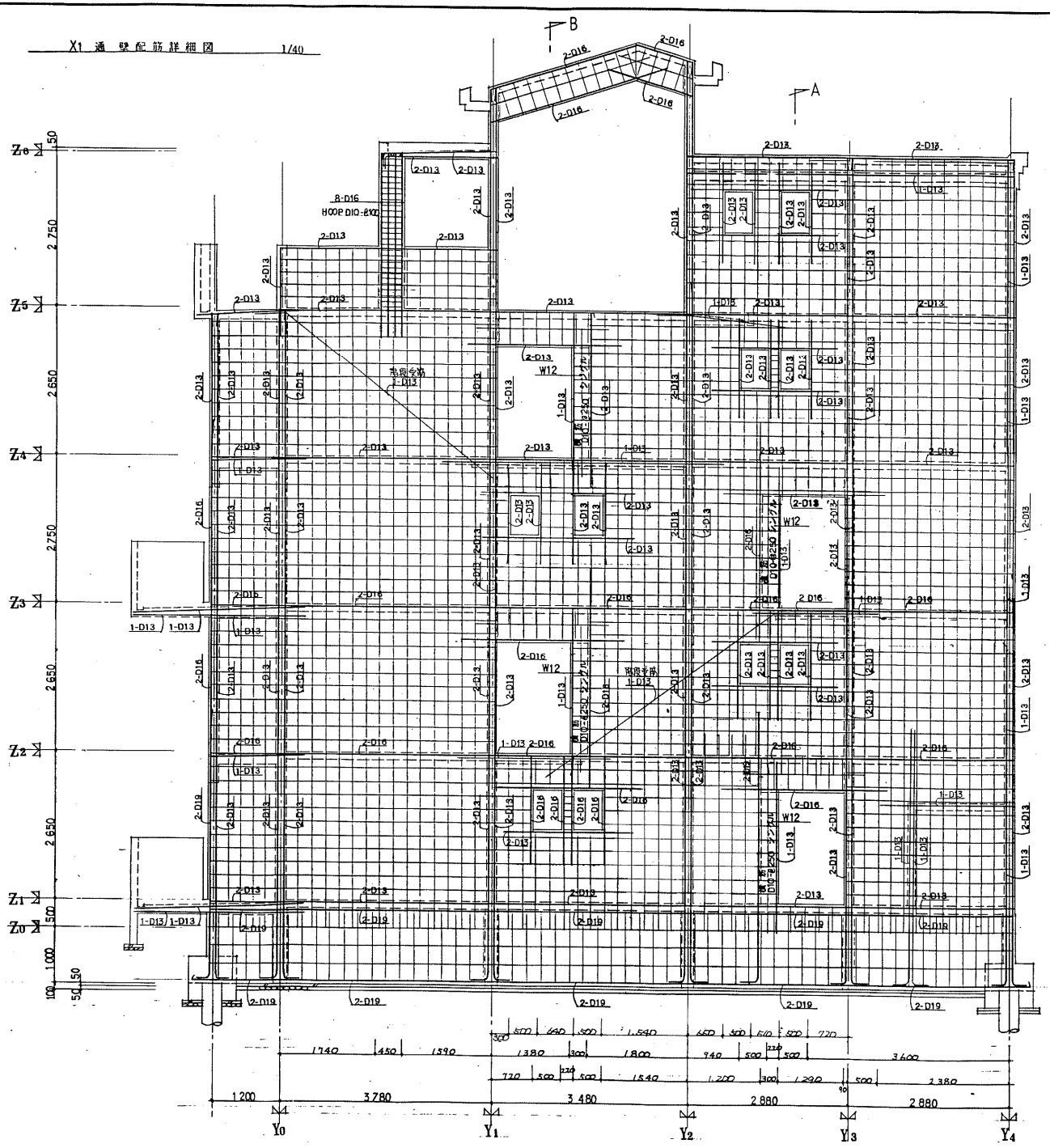
X0通壁配筋詳細図　1/40



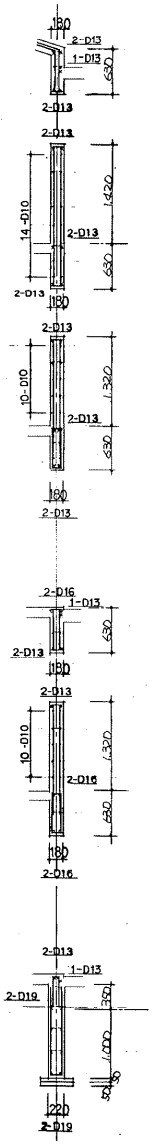


共通事項			
特記を除き	壁		W10
	壁筋	横筋	D10-@250(ダブル)
	スターラップ	壁梁	D10-@250
		地中梁	D10-@250
	腹筋		D10
	串止メ筋	壁	D10-1ヶ所
		壁梁	D10-@ST.3ヶ所
		地中梁	D10-@ST.3ヶ所

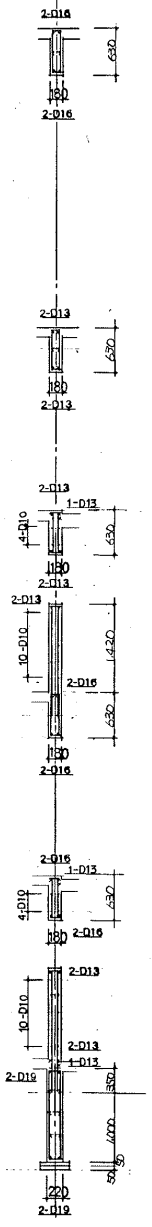
X1 通 壁配筋詳細図 1/40



Sec. A

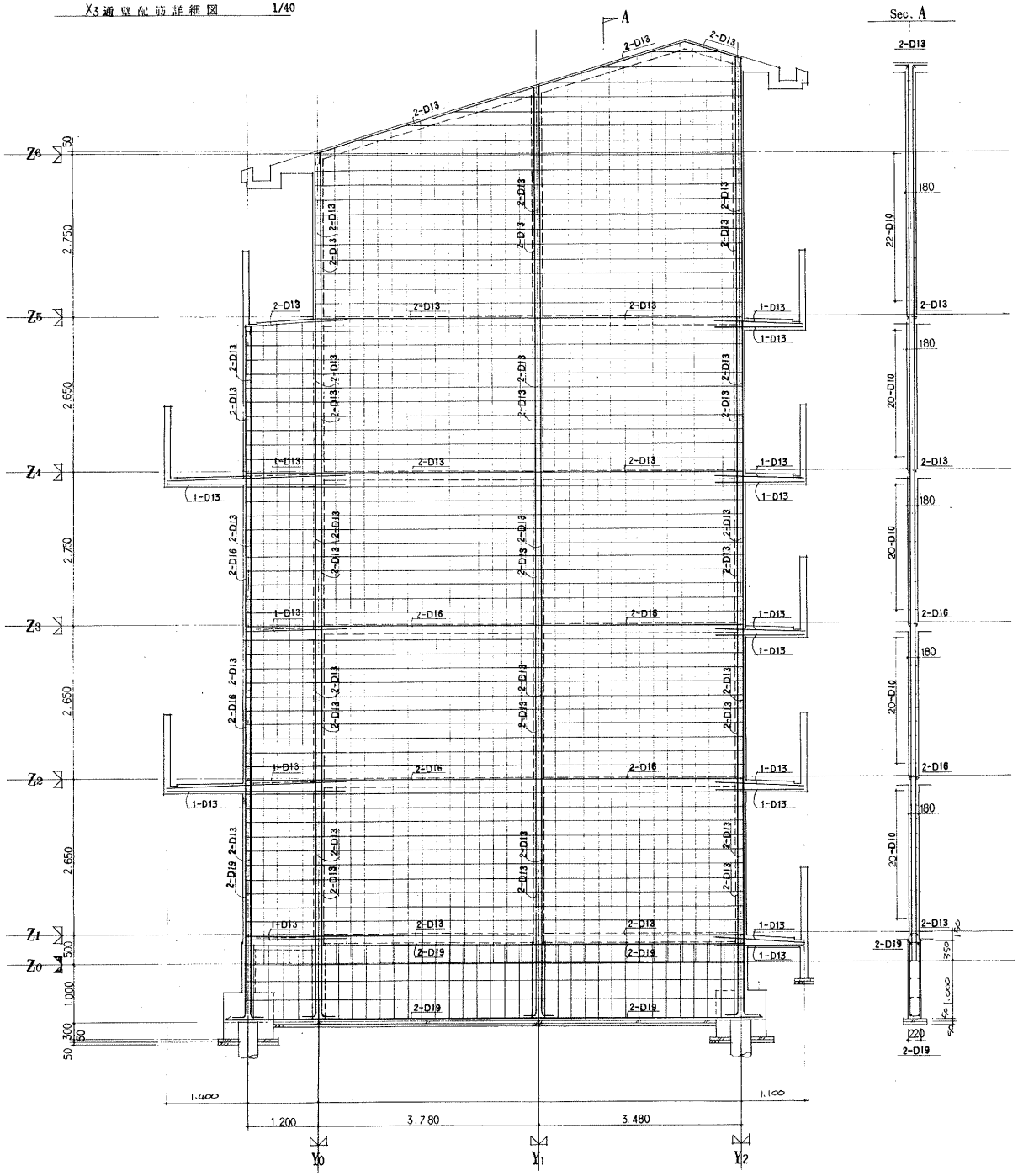


Sec. B



共通事項		
特記を除き	壁	W18
	壁筋 横筋	D10-@250(ダブル)
	スターラップ 壁梁	D10-@250
	地中梁	D10-@250
	腹筋	D10
	巾止メ筋 壁	D10- 1ヶ所
	壁梁	D10-@ST.3ヶ所
	地中梁	D10-@ST.3ヶ所

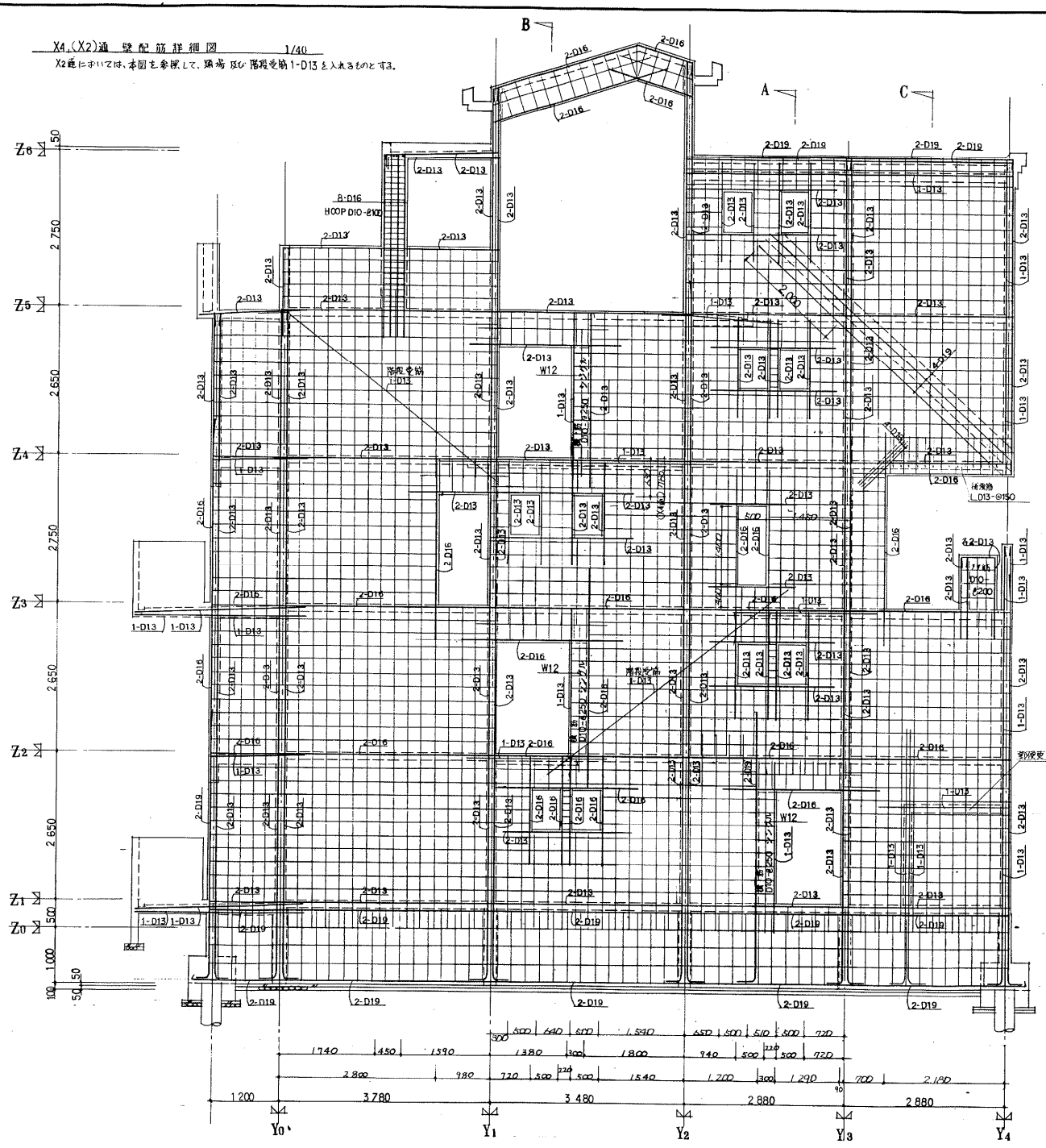
X3通壁配筋詳細図　1/40



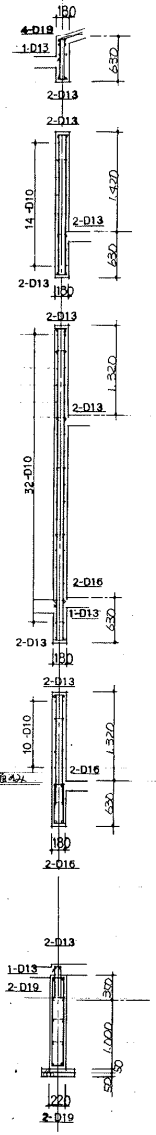
共通事項		
特記を除き	壁	W13
	壁筋	横筋　D13-@250(ダブル)
	スターラップ	壁筋　D10-@250
		地中梁　D10-@250
	腹筋	D10
	中止メ筋	壁　D10-1%or
		壁梁　D10-@ST.3本/組
		地中梁　D10-@ST.3本/組

X4,(X2)通 壁配筋詳細図 1/40

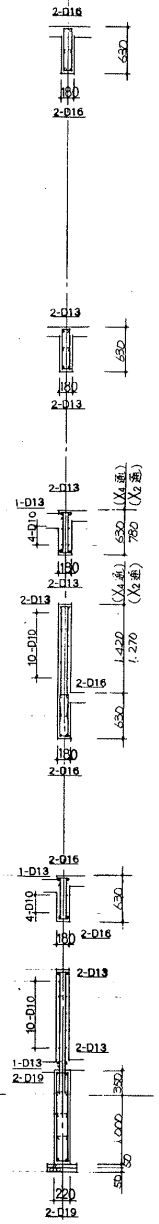
X2通においては、本図を参照して、頭場 及び 階段受筋1-D13 を入れるものとする。



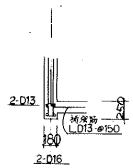
Sec. A



Sec. B

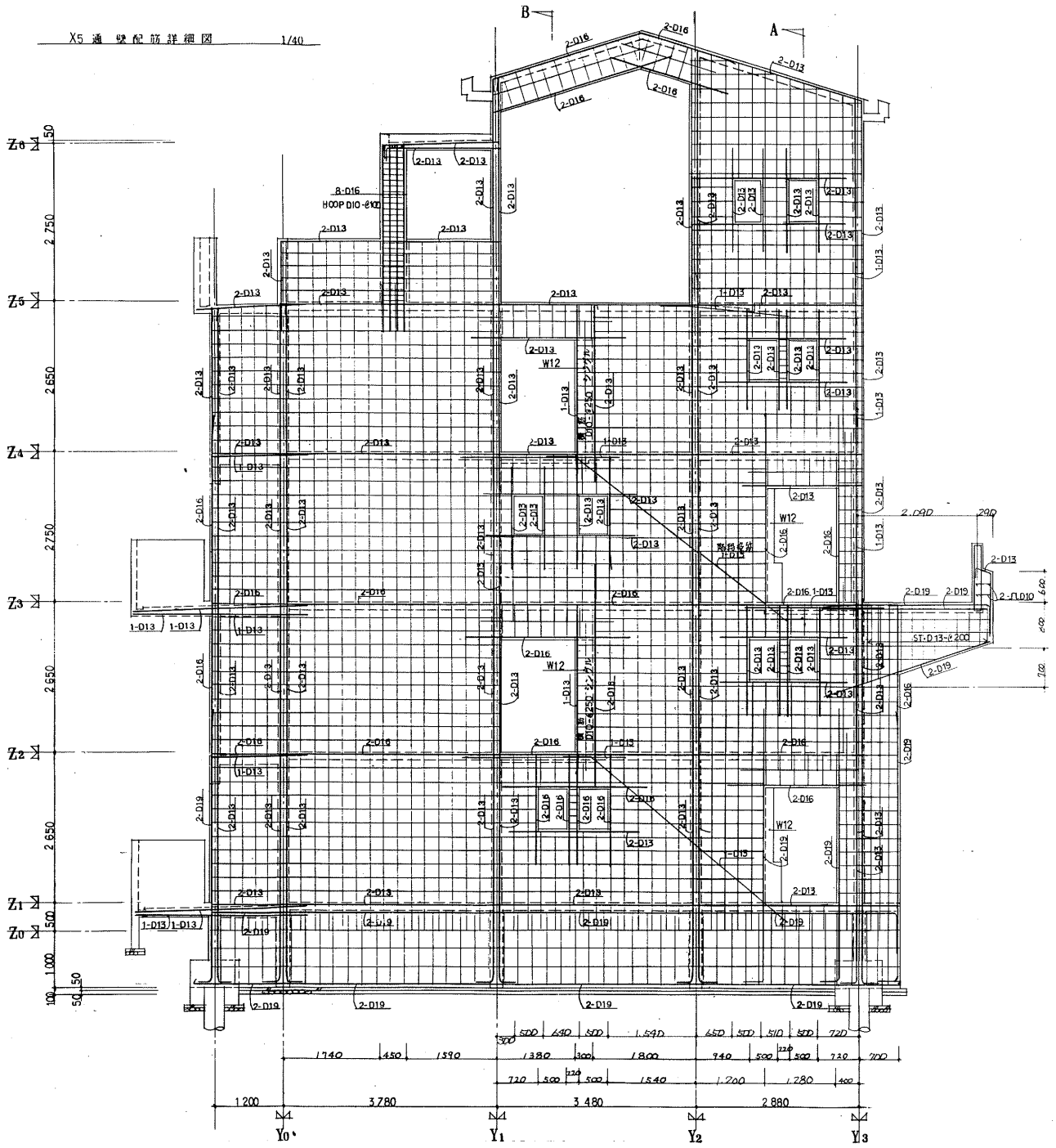


Sec. C

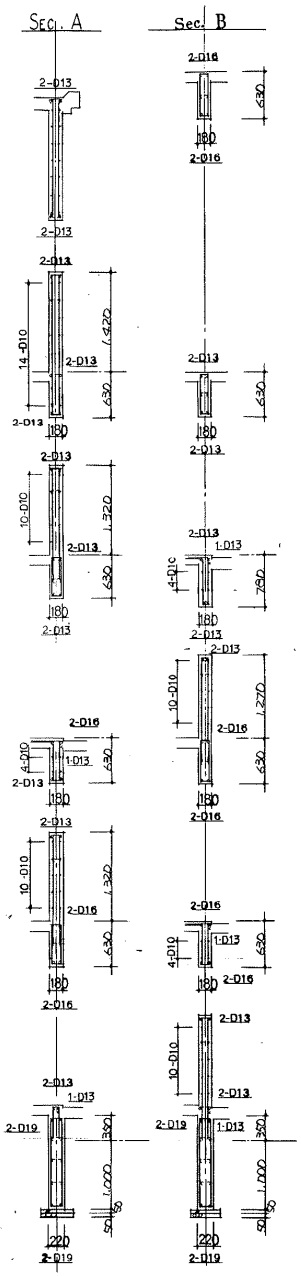


共通事項			
特記を除き	壁		W18
	壁筋	横筋	D10-@250(ダブル)
	スターラップ	外端	D10-@250
		端中間	D10-@250
	腹筋		D10
	巾止メ筋	壁	D10-1本/㎡
		壁端	D10-@ST.3本程
		端中端	D10-@ST.3本程

X5 通 壁配筋詳細図 1/40



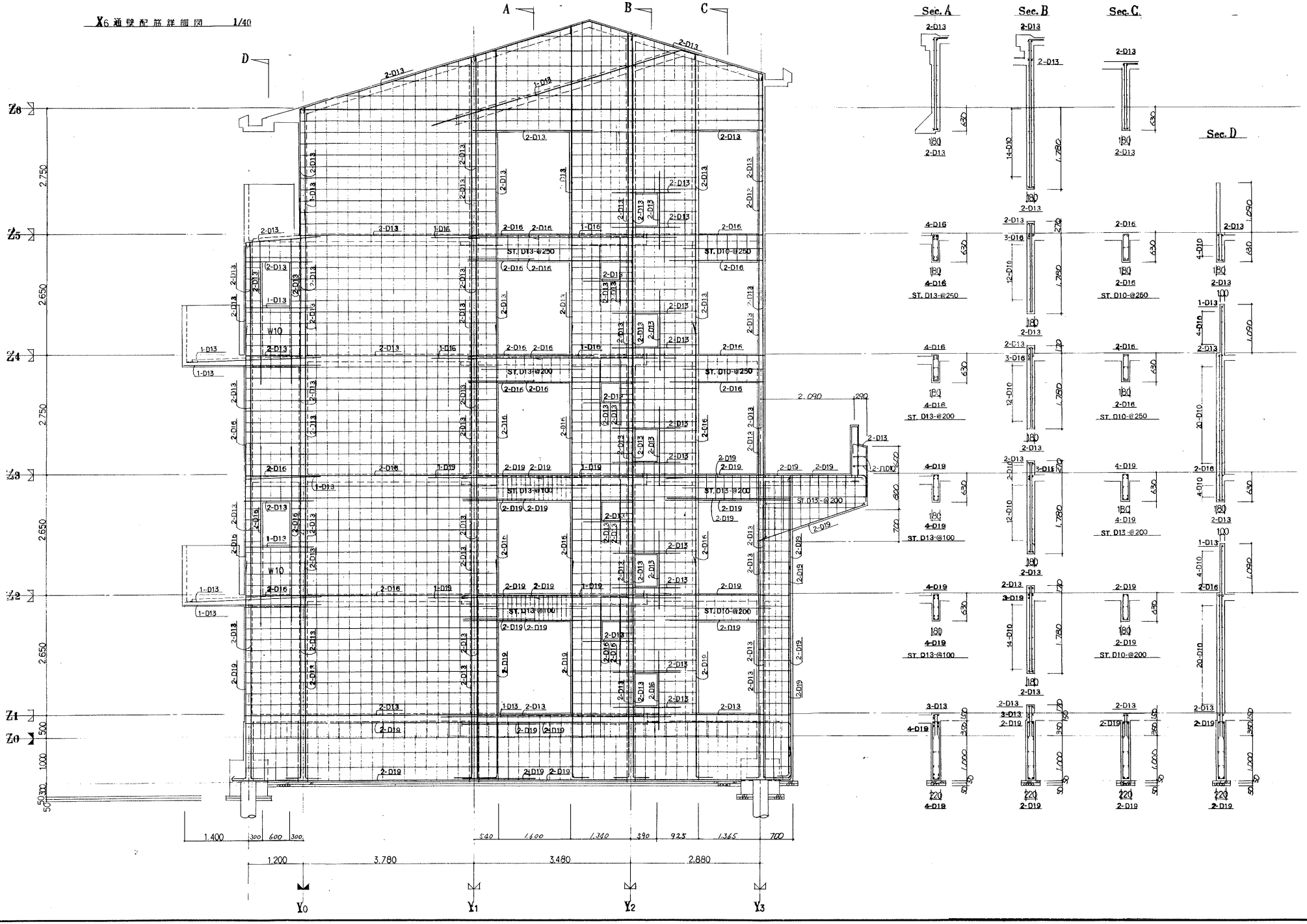
Sec. A



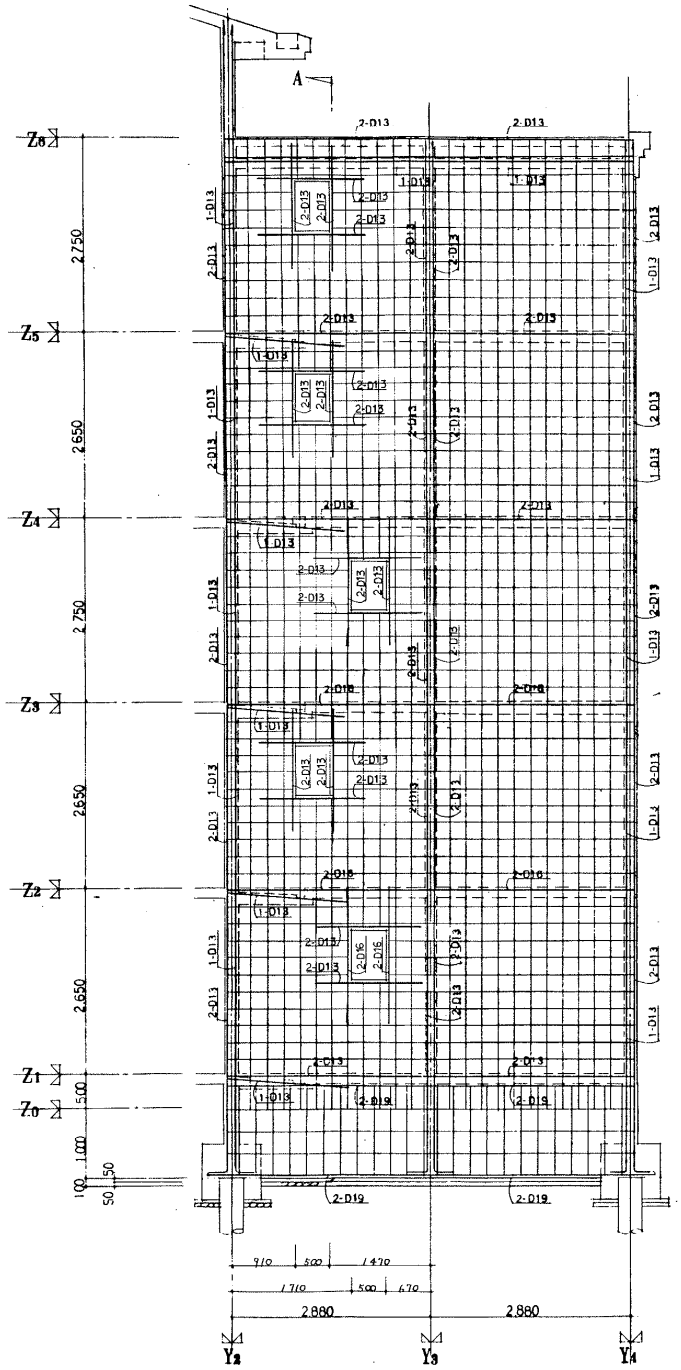
Sec. B

共通事項		
特記を除き	壁	W18
	壁筋 横筋	D10-@250(ダブル)
	スターラップ 壁梁	D10-@250
	地中梁	D10-@250
	腹筋	D10
	巾止メ筋 壁	D10- 1ヶ所
	壁梁	D10-@ST3ヶ所
	地中梁	D10-@ST3ヶ所

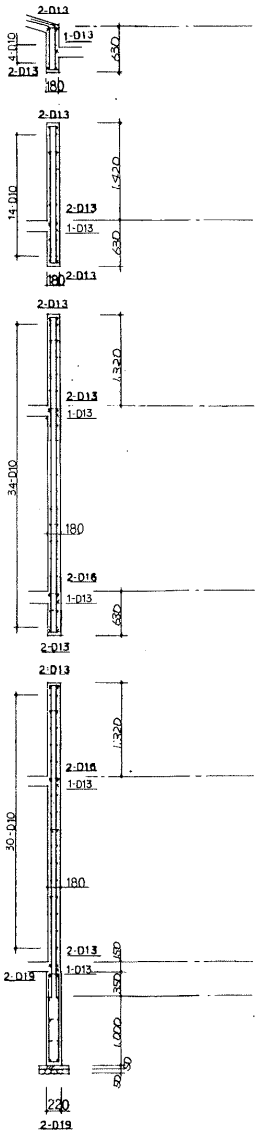
X6 通壁配筋詳細図 1/40



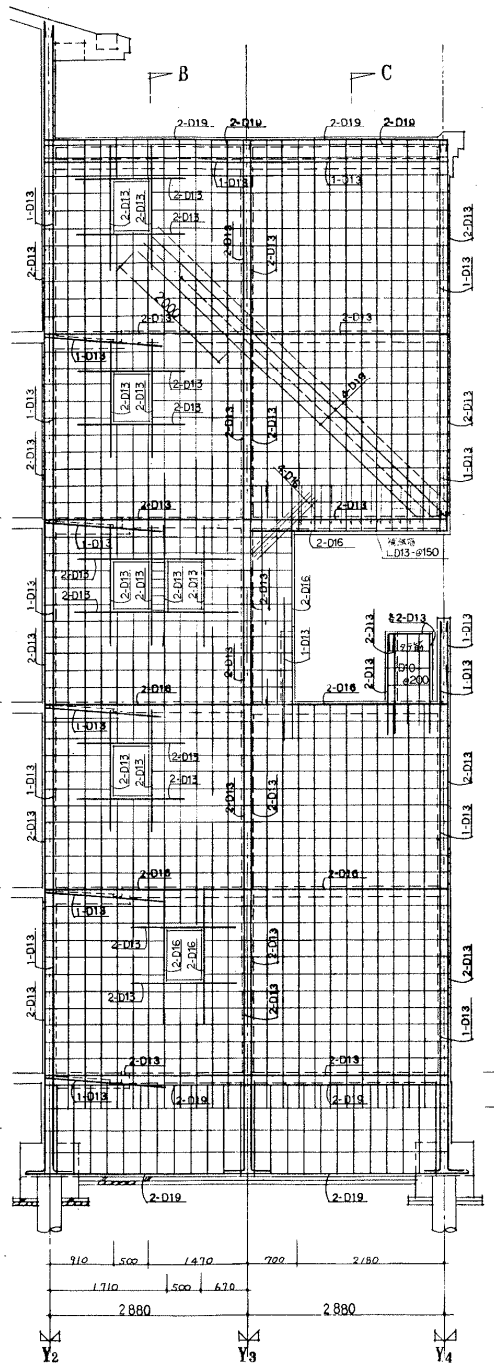
X1 -3,780 通壁配筋詳細図 1/40



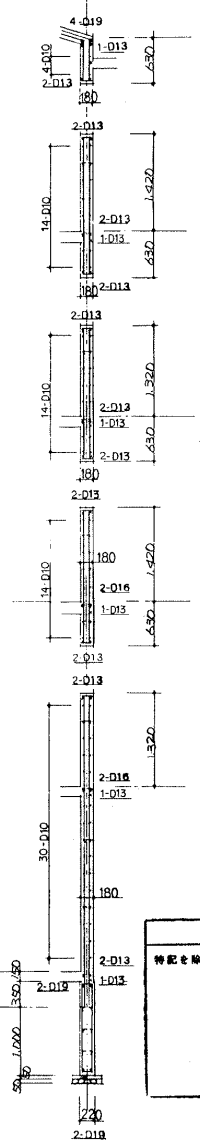
Sec. A



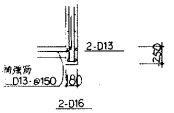
X3 ±2,700 通壁配筋詳細図 1/40



Sec. B

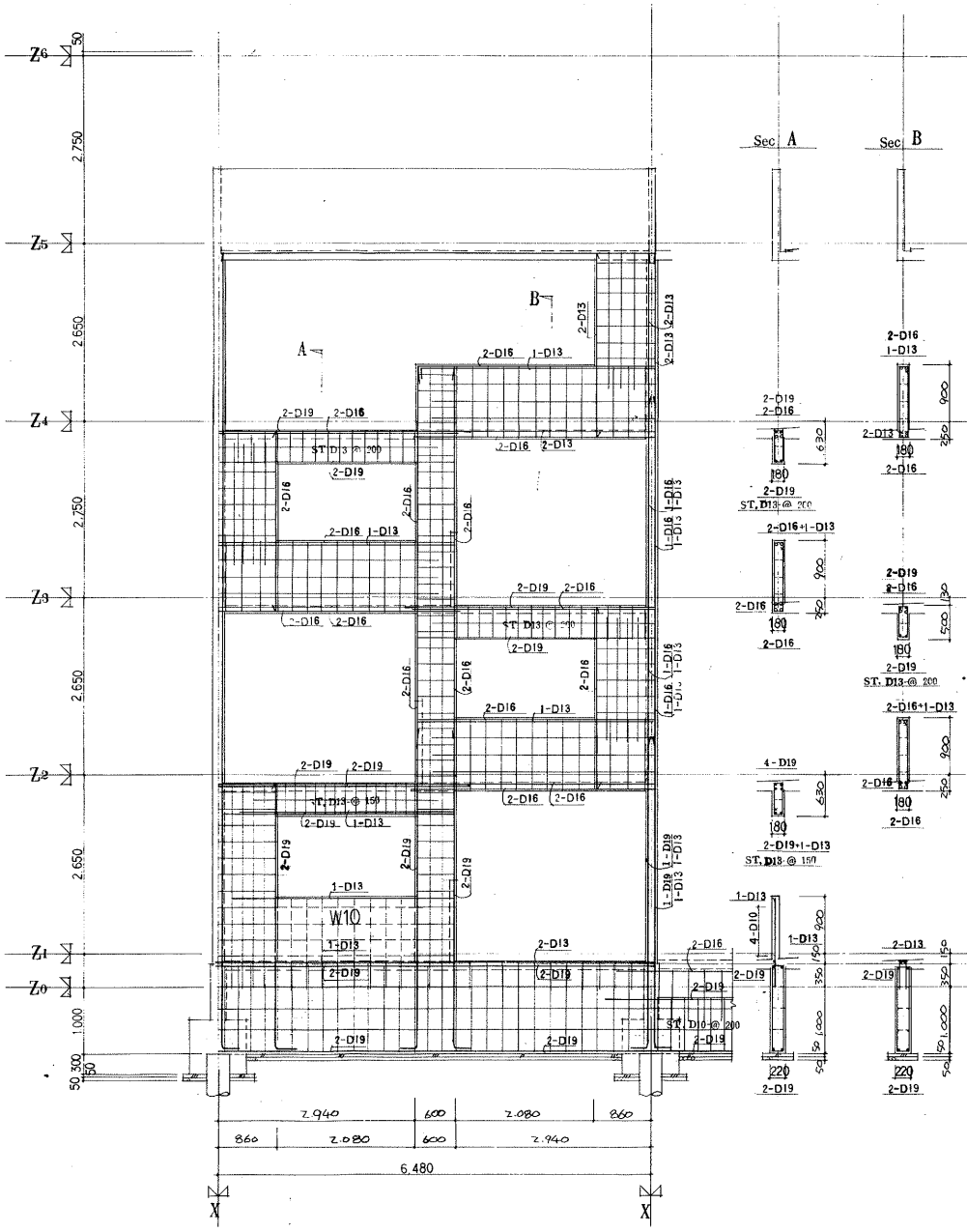


Sec. C

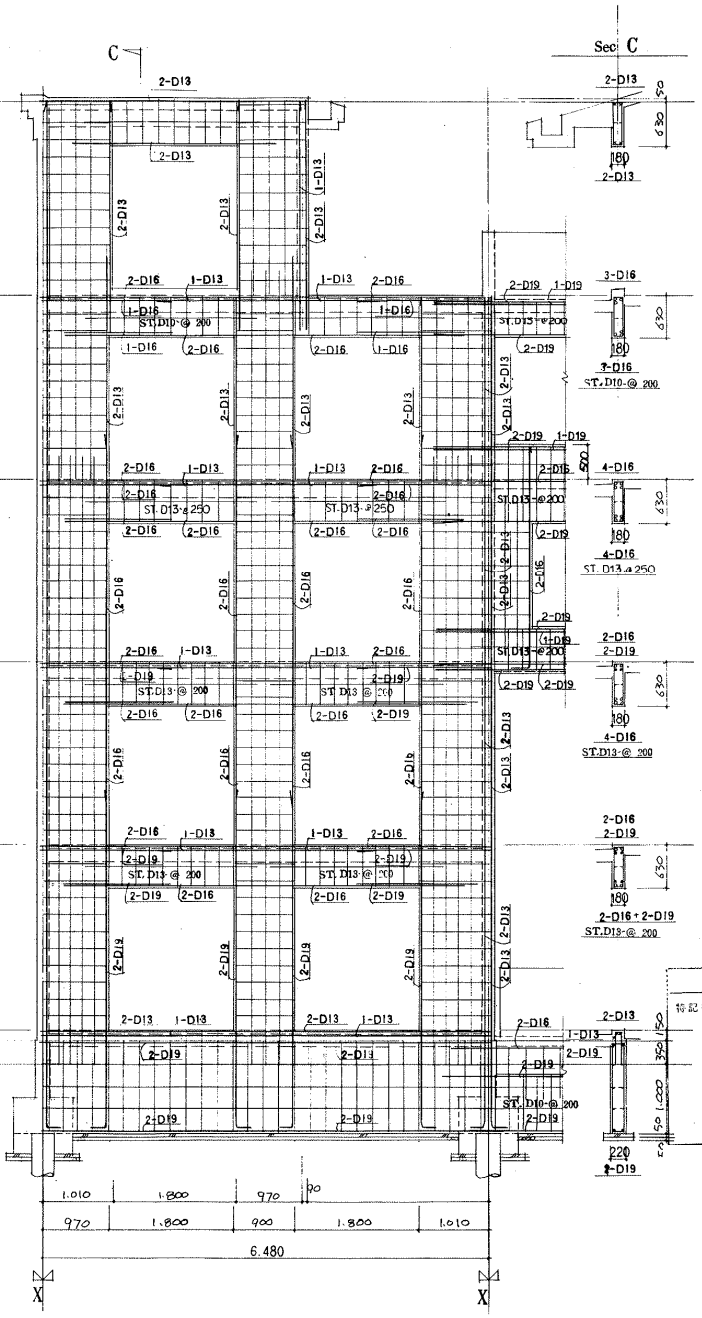


共通事項			
特記を除き	壁		W18
	壁筋	横筋	D10-@250(ダブル)
	スターラップ	壁梁	D10-@250
		地中梁	D10-@250
	腹筋		D10
	巾止メ筋	壁	D10- 1½
		壁梁	D10-@ST.3ヶ所
		地中梁	D10-@ST.3ヶ所

Y0~1.2通壁配筋詳細図　1/40



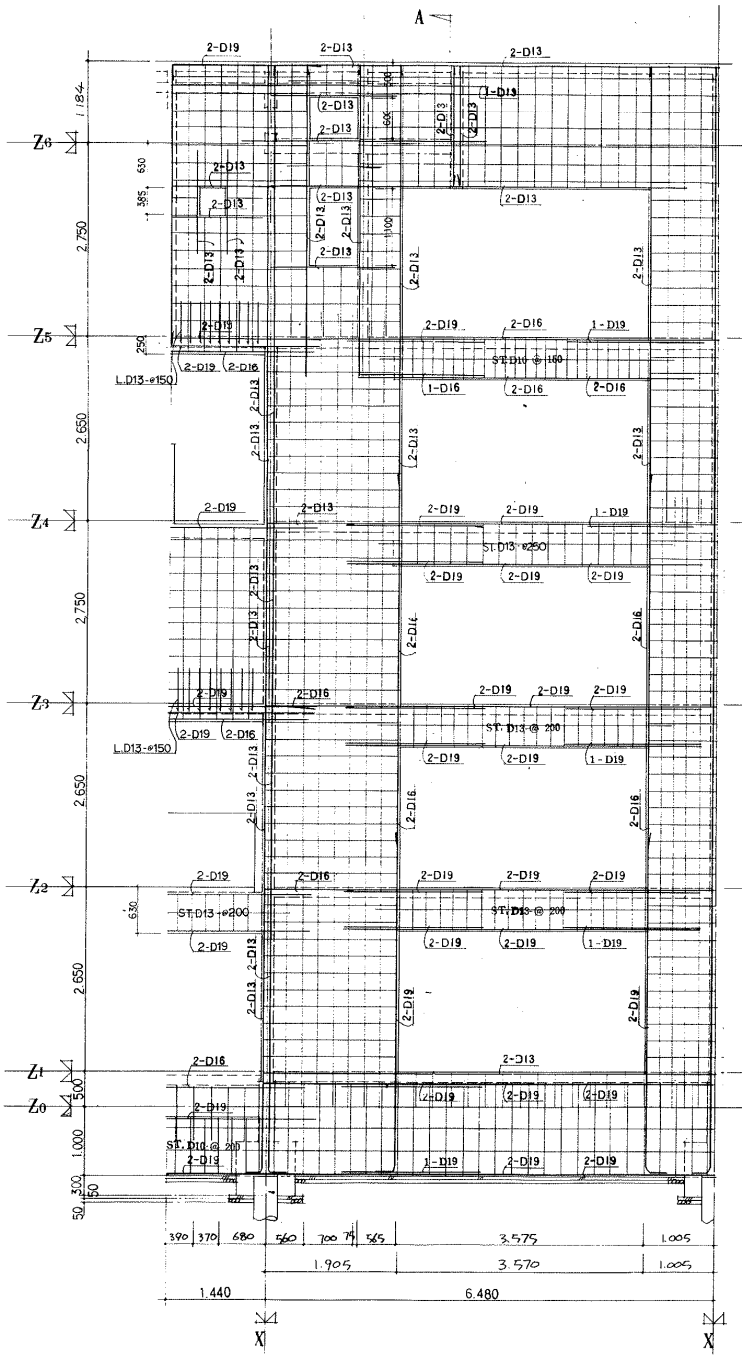
Y0 通壁配筋詳細図　1/40

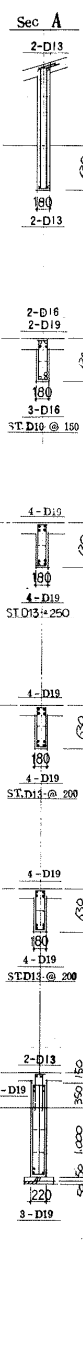


共通事項

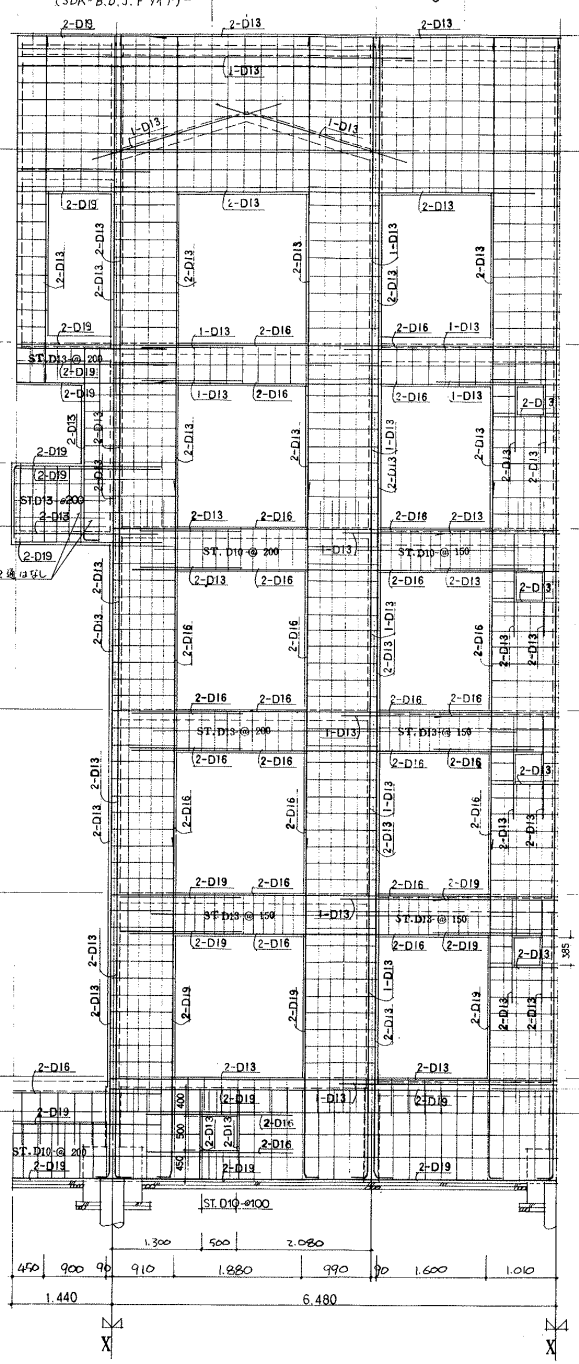
特記を除き	壁	W13
	壁筋	横筋 D10-@250(ダブル)
スターラップ	壁梁	D13-@250
	地中梁	D10-@250
腹筋		D10
中止メ筋	壁	D10- 1ヶ所
	壁梁	D10-@ST.3ヶ所
	地中梁	D10-@ST.3ヶ所

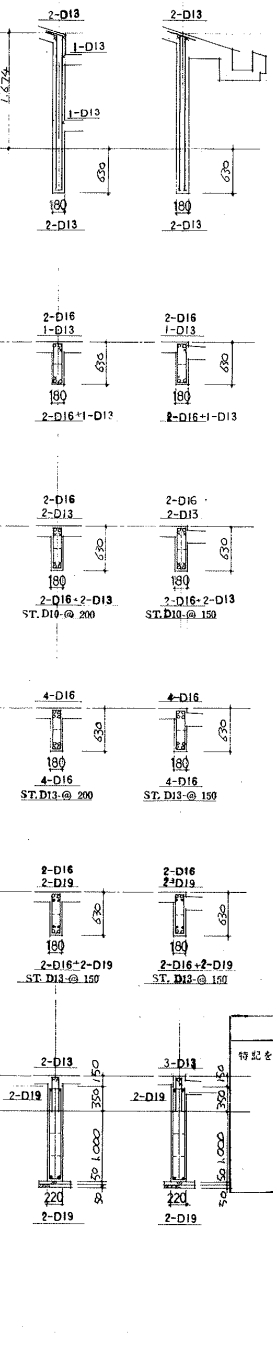
Y1 通壁配筋詳細図 1/40





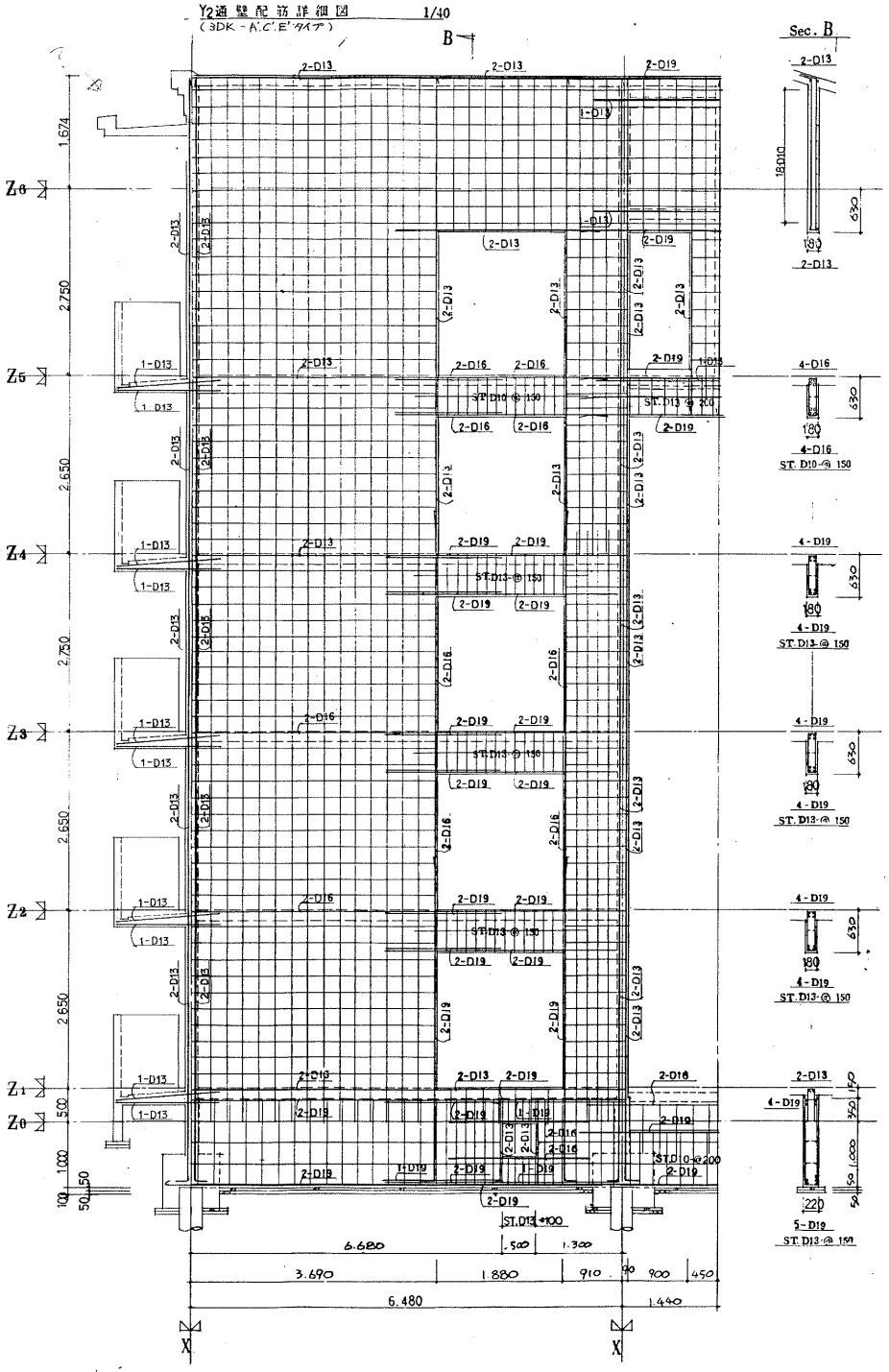
Y2 通壁配筋詳細図 1/40
(3DK-B;D,F タイプ)
(3DK-B;D,J,F タイプ)





共通事項		
特記を除き	壁	W13
	壁筋 横筋	D10-@250(ダブル)
	スターラップ 壁梁	D10-@250
	地中梁	D10-@250
	腹筋	D10
	巾止メ筋 壁	D10- 1ヶ所
	壁梁	D10-@ST.3ヶ所
	地中梁	D10-@ST.3ヶ所

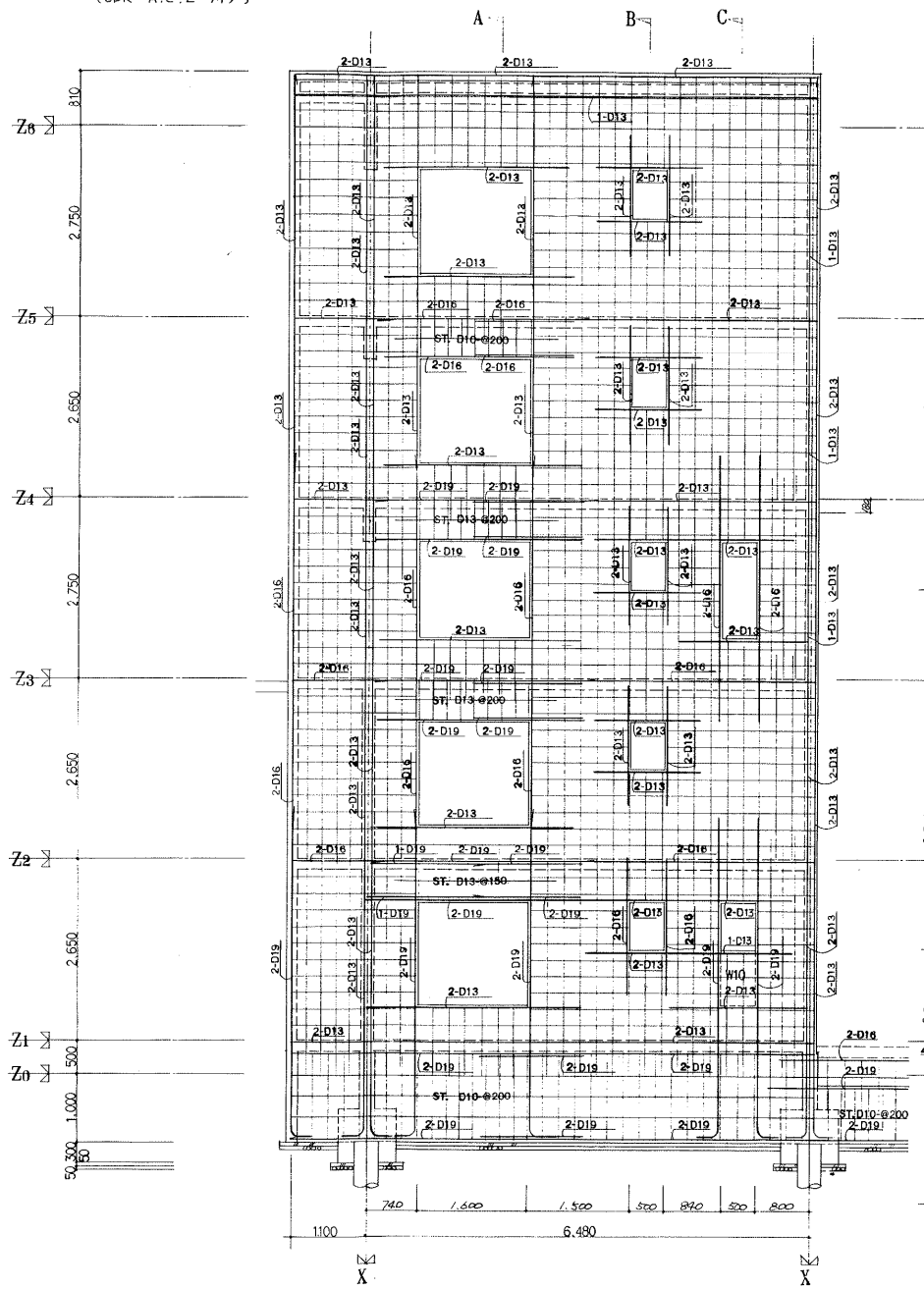
Y2通壁配筋詳細図　1/40
（3DK・A.C.E'タイプ）

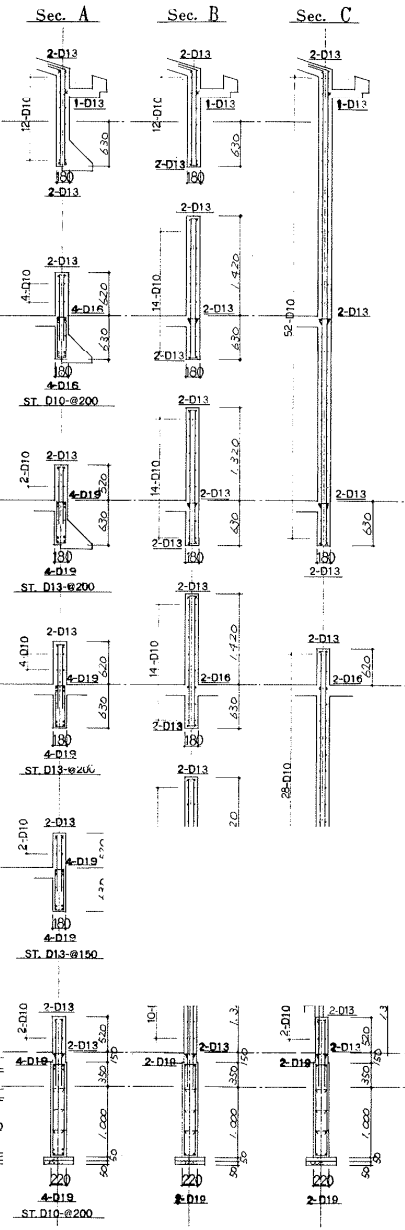


Sec. B

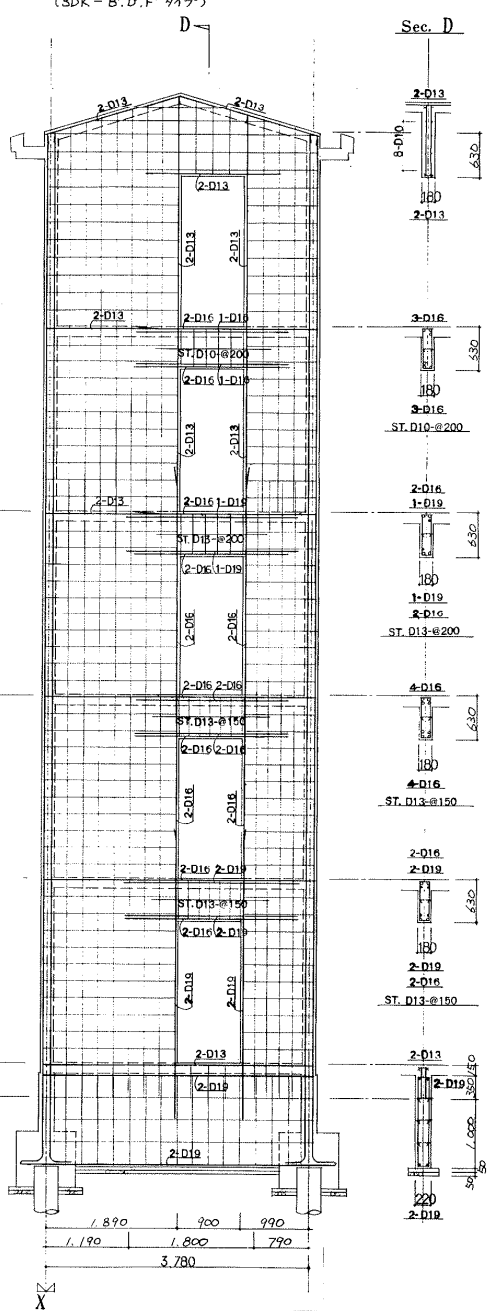
共通事項			
特記を除き	壁		W18
	壁筋	横筋	D10-@250(ダブル)
	スターラップ	壁横	D10-@250
		地中横	D10-@250
	腹筋		D10
	中止メ筋	壁	D10- 1½@
		壁横	D10-@ST.3本
		地中横	D10-@ST.3本

Y3 通 壁 配 筋 詳 細 図　1/40
(3DK - A', C', E' タイプ)

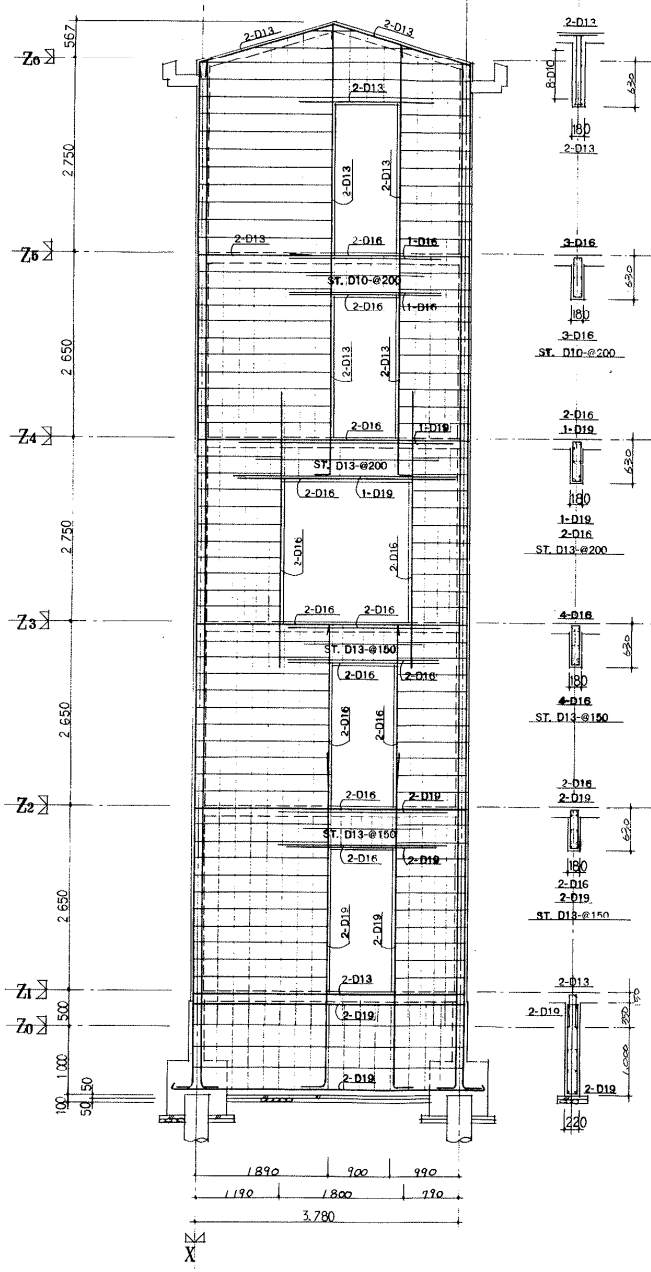




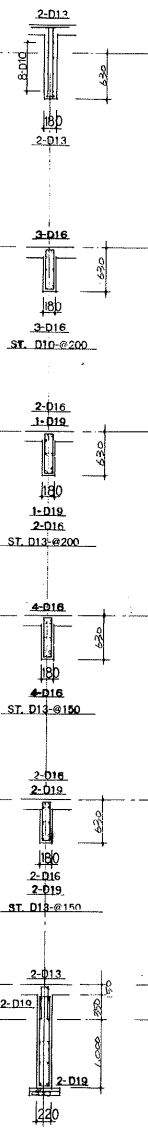
Y3 通 壁 配 筋 詳 細 図　1/40
(3DK - B', D', F' タイプ)



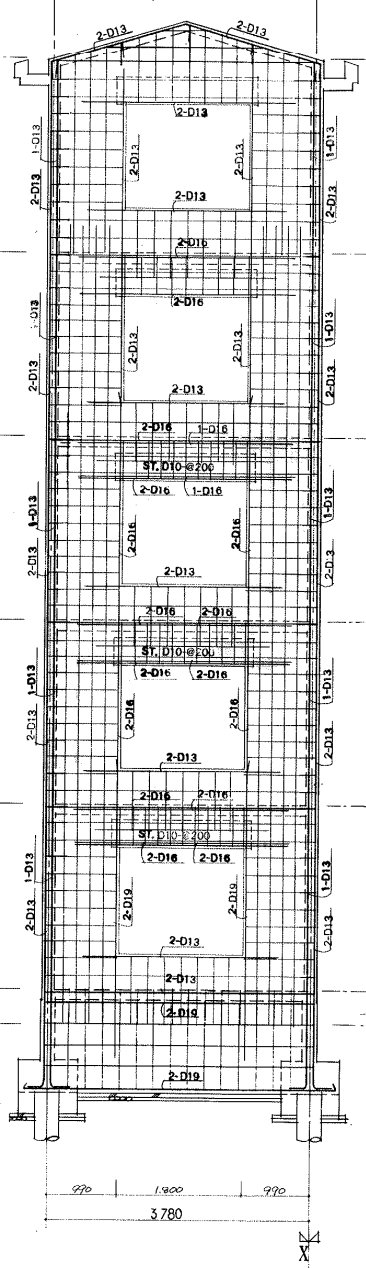
Y3 通壁配筋詳細図 1/40
(3pk - B,D,J,F タイプ)



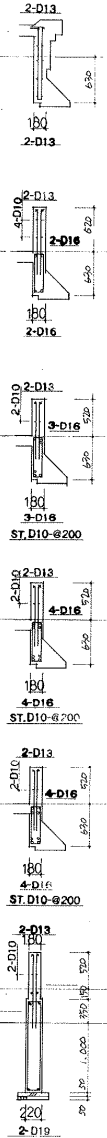
Sec. A



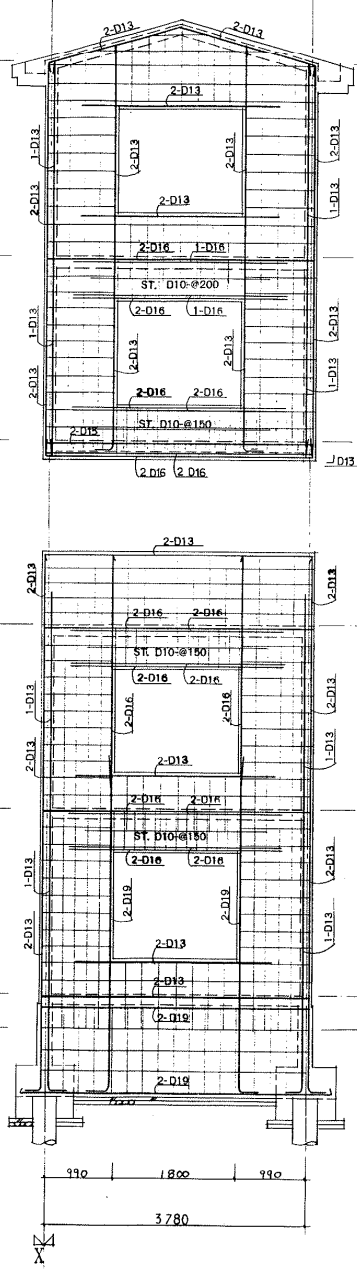
Y4 通壁配筋詳細図 1/40
(3pk - B,D,J,F タイプ)



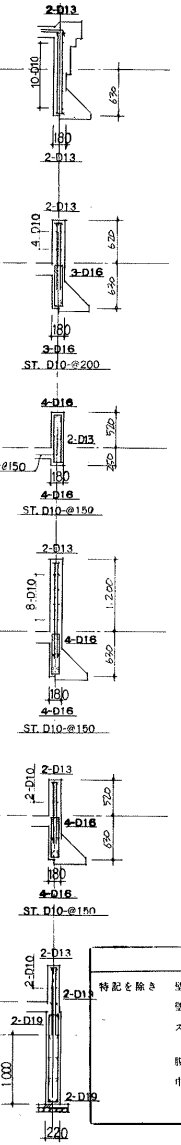
Sec. B



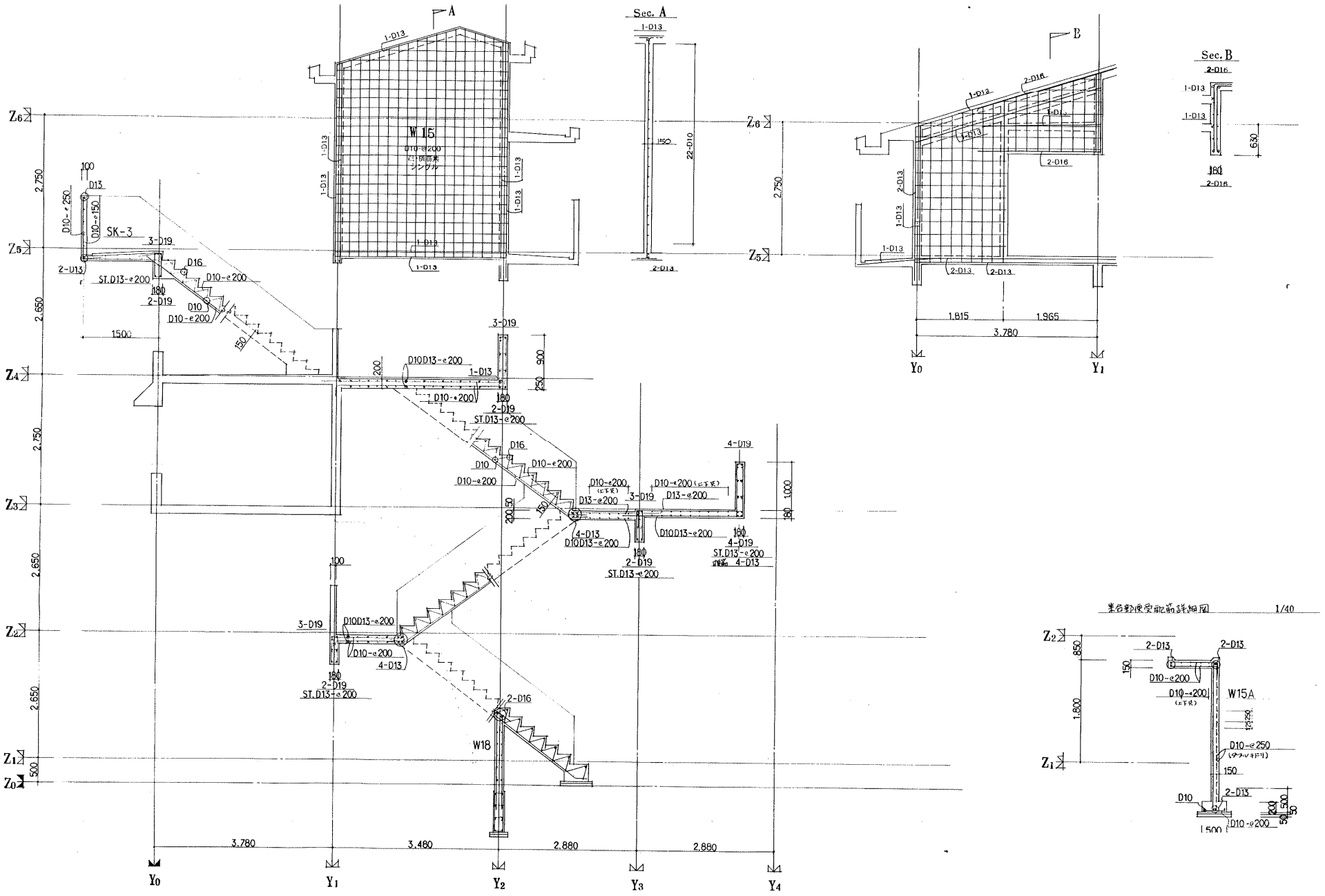
Y4 通壁配筋詳細図 1/40
(3pk - B,D,J,F タイプ)



Sec. C



共通事項		
特記を除き	壁	W18
壁筋	横筋	D10-@250(ダブル)
スターラップ	壁梁	D10-@250
	基中梁	D10-@250
腹筋		D10
巾止メ筋	壁	D10- 1ヶ所
	壁梁	D10-@ST.3本毎
	地中梁	D10-@ST.3本毎


A
Sec. A
B
Sec. B
W15
W15A
W18
SK-3
Z6
Z5
Z4
Z3
Z2
Z1
Z0
Y0
Y1
Y2
Y3
Y4
3.780
3.480
2.880
2.880
1.815
1.965
3.780
1500
階段配筋詳細図 1/40
特記を除き 腹筋は D10 とする。
集合動便受配筋詳細図 1/40

公営住宅１種中耐平和団地
８号棟 電気工事

図　面　目　録

図面番号	図　面　名　称	縮　尺
1	タイトル	
2	図面目録	
3	特記仕様書	
4	配置図・外観図・前面道路図	1：300
5	凡例表	
6	8号棟　系統図　1	
7	8号棟　系統図　2	
8	8号棟　1階・2階・3階・4階　幹線その他設備平面図	1：100
9	8号棟　5階　幹線その他設備平面図	1：100
10	8号棟　1階・2階・3階・4階　弱電設備平面図	1：100
11	8号棟　5階・塔上　弱電設備平面図	1：100
12	照明器具姿図・分電盤結線図	
13	住戸　平面詳細図　（3DK－A'）	1：30
14	住戸　平面詳細図　（3DK－B'）	1：30
15	住戸　平面詳細図　（3DK－C'）	1：30
16	住戸　平面詳細図　（3DK－D'）	1：30
17	住戸　平面詳細図　（3DK－E'）	1：30
18	住戸　平面詳細図　（3DK－F'）	1：30
19	住戸　平面詳細図　（3DK－J）	1：30
20	詳細図	

鹿屋市	設計年月日	昭和 61年 6月 日	図番号
工事名称	公営住宅等1種中新平和団地 8号棟		建築工事
科別	特記仕様書	記入	

検印	課長	係長	係	記入

特記仕様書

Ⅰ 一般事項

1. 本工事は、本特記仕様書によるほか、建設大臣官房官庁営繕部監修の電気設備工事共通仕様書（昭和60年版）建設省住宅局監修の公共住宅建設工事共通仕様書（昭和58年版）（以下共通仕様書という）による。
2. 本工事の使用資材の品質、規格、検討等は下記による。
   (1) 特記事項中に○印をつけたものを適用する。
   (2) ○印のないものは×印をつけたものを適用する。
   (3) ○印および×印が共にある場合は、○印のあるものを適用する。
3. 特記事項中に記載の（ ）内表示番号は、共通仕様書に記載の当該項目および当該表の番号を示す。
4. 施工計画書は、着工前に作り、別に定める様式により作成し、監督員に提出する。
5. 本工事の施工に必要な官公署等への手続に要する費用は、請負金額の範囲内とする。
6. 本工事の受取の日から完成引渡（手直し完了まで）の日までに発生した電気使用料および基本料は請負金額の範囲内とする。
7. 本工事で、特記事項に定める「立合検査を要する施工工程」に達するときは、事前に監督員に連絡して、立合検査をしくは指示に従うこと。
8. 設計図書に明記なくとも人間保存のトイレは機械式の換気システムのついては、原則として請負金額の範囲内で施工する。ただし、特殊なものに限るものとする。
9. 発生材の処置については、監督員の指示によること。

Ⅱ 特記事項

区分	項目	特記事項
共通事項	① 使用資材の製造所	設計図書等に記載されているもののについては特記による。
	② 特殊な材料と工法	共通仕様書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は監督員の承認を得ること。なお、特殊な材料による施工は当該製品の指定工法による。
	③ 機器工事との関係	壁面、天井面等に機器取付のため必要な開口部等を設ける場合の施工の範囲は、特に監督員の指示する場合以外は、建築工事仕様書による。
	④ 別契約の関係工事	別契約の関係工事については、当該工事関係者と協力し、工事の円滑な運ちょくを図るものとし、疑問が生じたら監督員の指示によること。
	⑤ 施工適従における調整	工事現場諸法令の適用における調整については、監督員と協議の上、左効率に行うこと。
	⑥ 工事写真	工事写真は、工程写真と完成写真とする。工程写真は、工事工程に応じ撮影し、出来高報告書と共に一部作成提出して監督員の確認を得た後、請負者にて保管する。 完成写真は、工事完成時に撮影し、一般作成して工程写真と共に提出する。 写真はカラー写真（E版）とすること。

分	配	所	容
工程写真	1. 土工	各施工段階所	
	2. 基礎	〃	
	3. 天井いんぺい	〃	
	4. 地中埋設	配管 各工程配管（スケール付）	
	5. 電気設備	ケーブルシート 各 工 程（〃 〃）	
	6. 電気設備	接地極 各 箇 所（〃 〃）	
	7. 内線工事	基 1 基ごと（〃 〃）	
	8. 外線工事	柱 1 基ごと	
		配管埋入面の状態	
	9. 機器据付	工事種別ごと	
		機器材料ごと	
完成写真		全工事および全主要機器	
その他監督員の指示した箇所			

	⑦ 製作物その他	下記機器については製作図を提出し監督員の承認を得ること。 (1) 各種照明器具、管球、変圧器、換気扇 (2) 受配電盤、分電盤、操作盤、キュービクル (3) ブロックマンホール (4) フロアダクト、ライニダクト、ケーブルラック、バスダクト (5) 変圧器、高圧避雷コンデンサ、リアクトル、アレスター (6) しゃ断器、高圧開閉器 (7) 電圧調整器、予備電源、発電装置 (8) 電気時計装置、拡声装置、非常放送装置 表示装置、インターホン装置、テレビ共聴受信装置 火災報知装置、自動閉鎖装置、非常警報装置、ガス漏れ警報装置 (9) 荷降機 (10) その他監督員の指示するもの
	⑧ 立合検査を要する施工工程	コンクリート埋込配管……RC打込前 いんぺい配管……配管完了後 地中埋設配管……配管完了後埋め戻し前 入線配線……入線配線施工時 機器材料……現場搬入後 機器取付……取付又は据付施工時 上記に示す各工程に達するときは、一般事項により事前に監督員と連絡すること。
	⑨ 工事報告	工事報告は、別に定める工事出来高報告書により毎月末の見込み出来高を当月25日までに監督員に提出する。（工程写真添付のこと）
	⑩ 完成図	設計図書を施工現場と一致するよう必要な訂正をなした後、監督員の承認を得て、青写真に被写しB－5版サイズに製本したもの（学校関係2部、庁舎・非鉄関係3部）二次折1部、マイラーベース（アセチート系）訂正した原図は、監督員に返却する。
	⑪ 試験成績書	下記事項の試験成績書は下請業者の時点までに監督員に提出すること。 (1) 絶縁抵抗測定結果表……3形 （電線絶縁抵抗及び電線と大地間） (2) 接地抵抗測定値表……3形 （接地箇所、接地種別ごと） (3) 高圧保護継電器性能試験結果表……3形 (4) 高圧機器ケーブル耐圧試験成績書……3形 上記(1)～(4)については、測定年月日、天候、測定者氏名および測定器製品番号種別を記入する。 (5) 消防法関係設備合格証明書……3形 (6) その他監督員の指示するもの……3形 上記について該当なき項目は不要とする。
	⑫ 申請書類	本工事の施工に必要な官公署等への申請書類はその写しを3部づつ作成し、完成図と一緒に提出する。
	⑬ 掲示施設内容	本工事の電気設備について保守管理上必要な案内表をタイプ書写にて3部作成し、完成図と一緒に提出する。
	⑭ 接地極示及びケーブル埋設標示	(1) 接地極示 ア 標示方法 ※標示板 標柱 イ 標示位置…標示板によるときは接地極直近の屋外の見やすい位置。 標柱によるときは接地極の真上の位置に設ける。 ウ 標示板および標柱の寸法等は下表の数値以上とする。

	標示板			標柱	
	材質	寸法		材質	寸法
第1種（建築材用）	樹脂板	15×140×90	コンクリート	90×90×600	
第1種（建築材以外）	〃	15×100×150	〃	〃	
第2種	〃	〃	〃	〃	
第3種	〃	〃	〃	〃	
特別3種	〃	〃	〃	〃	

別に定める「接地標示等基準」による。
(2) ケーブル埋設標示
ア 標示方法
原則として標示板、標柱およびケーブルシートによる。
イ 標示位置
ケーブルシートは、地表下30cmの深さでケーブルの直上に布設し、ケーブルの埋設幅以上の幅を有すること。
標示板は、ケーブルが地中へ出る位置で屋外の見やすい位置に設ける。
標柱は、地中線路の曲折箇所、道路横断箇所、直線部分ZE数け、直線部分で150m毎に、30mに満たないときは、その間に1箇設ける。
ウ 標示板および標柱の寸法等は下記の数値以上とする。

	材質	寸法（mm）
標示板	樹脂板	15×100×150
標柱	コンクリート	90×90×600

警告ポピー
別に定める「接地標示等基準」による。
⑮ マンホール (1) 規制すべきマンホールは、下記による。
ア 構造……鉄筋コンクリート造とする。
詳細は別記の数値以上とする。
イ 寸法……下記の数値以上とする。

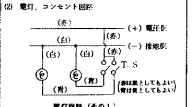
型名	仕上げ内法寸法mm 長	幅	深	蓋寸法
A型	1,100×1,100×1,500	100	600	
B－1型	900× 900×1,500	100	600	
B－2型	900× 900×1,200	100	600	
C型	850× 850× 900	100	500	
D型	700× 700× 700	100	450	

ウ 蓋の構造 ※鋳鉄製、鋼板製、ダクタイル製 完全防水 ※鋼製防水
エ 蓋の製作等
蓋の製作等は安全策を表示する。耐荷重試験は日ASS－209によるものを基準とし、安全荷重の4倍の荷重に耐えるものであること。なお、設置仕様に明記がないときは下記による。
歩荷重（0.5t） 車荷重（1.5t） ※重荷重（ 5t）
オ 蓋の表示
マンホール蓋には、下記により表示文字を鋳込みもしくは刻むこと。
(ア) 種別表示…中央部に「電」とする。
(イ) 所有者表示…周辺部に「鹿児島県」とする。
カ 防水および水抜
(ア) マンホールの防水については別に定めるマンホール基準の（注）1 および(2)による。
(イ) マンホール内のパイプ挿入箇所は完全な防水処置をする。
(ウ) 水抜は監督員の指示による。
(2) ブロックマンホールは、下記による。
ア 構造
鉄筋コンクリート製（設計強度210kg/cm²）とする。
イ 寸法
図面記入寸法により監督員の承認をうること。

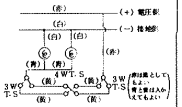
区分	項目	特記事項
共通事項		特記なく取り置の構造、耐荷重は、マンホール基準による。 ウ 蓋の表示 ブロックマンホール蓋には、マンホール基準に定める表示をする。 エ 防水及び水抜 監督員の指示による。 オ ケーブル支持金物 監督員の指示による。 カ その他 原則として、所定の裏通予定箇所以外の裏通は認めない。 ※ブロックマンホールの埋設にあたっては、止水材による防水処置を施して施行する。
	⑯ プレート	配線器具等のプレートは下記による。 （樹脂） 新金属 WB、※ステンレス
電力設備工事	① 電線の色別	ビニル電線の色別は下記による。ただし、接地線は緑色又は縞ノ緑とする。 なお、ビニル電線以外でも、準用できる場合は、この色別を準用する。 (1) 幹線及び分岐回路

電圧種別	配線方式	第1相	中性相	第2相	第3相
高圧	三相3線式	赤		白	青
				又は茶	
低圧	単相2線式	赤		（接地側）白又は黒	
	単相3線式	赤	白又は黒		
	三相3線式	赤		（接地側）白又は黒	青
	三相4線式	赤	白又は黒	茶	青
備考		赤（正極）		青（負極）	

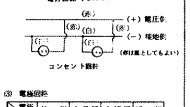
（備考）
1 低圧の三相回路又は単相3線式回路より分岐する単相2線式回路は、分岐前の色別による。
2 単相2線式の第1相は黒色としてよい。
3 電路の途中で電線の色を変えてはならない。
(2) 電灯、コンセント回路



電灯回路（その1）



電灯回路（その2）



コンセント回路

(3) 電線記号

電線方式	長	後（F1）	中長後（E2）	中短後（E3）	短	後（F2）
2線式	白		—	—	黒	
3線式	白		赤	—	黒	
4線式	白		赤	青	黒	

② 絶縁抵抗値 回路の絶縁抵抗値は下記以上の値であること。
（絶縁抵抗計の電圧は低圧回路500V、高圧回路1000V）
(1) 低圧の屋内、屋側電路
開閉器で区切ることのできる電路ごとに、瞬間、対地共5MΩ以上とする。
(2) 低圧の架空及び地中電路
線間及び対地間絶縁抵抗値は、使用電圧に対する漏えい電流が最大値最高値の1/2000分の1を超えない値であること。
ただし、新設後分については(2)共に20MΩ以上とする。
(3) 高圧の電路
瞬間、対地間及び高圧と低圧間は30MΩ以上とする。
③ 照明器具の取付 (1) 吊ボルト（9mm径棒鋼）により堅固に支持すべき器具は下記のものとする。
けい光灯……露出型で重量5kg以上の器具（けい光灯については40W×2灯以上）、埋込型器具および半埋込型器具。
水銀灯……図面特記または製作承認図による。
その他の器具……監督員の指示による。
(2) 吊ボルトは垂直に器具を吊るものとし、インサート位置の心出し誤差は5cm以内とする。5mを超える誤差を生じたときはインサートと関整金具等により吊ボルト位置の調整をする。

区分	項目	特記事項
電力設備工事		(3) 監督員の指示のあるとき、「取付詳細図を提出し承認を得ること。」
	④ 電線管の長さ	別に定める「電線管の長さの設定基準」による。
	⑤ 電線および電線管	図面に電線サイズおよび電線管サイズの記入または特記ないときは下記による。 電灯回路……ビニル電線1V 1.6mm 2本と無調電線管19ø コンセント回路…ビニル電線1V 2.0mm 2本と無調電線管19ø
	⑥ 配線器具	図面に特記ないかぎり大角露用埋込型とする。
	⑦ 位置ボックスおよびジョイントボックスなど	図面に特記ないかぎり位置ボックスなどは下記による。 (1) 埋込またはいんぺい配管

取付位置	配管状況	ボックスの種類
天井スラブ	22または25以下	4角1灯 中形四角C、B54
壁	25以下	4角1灯
ボックス	31以下	5角1灯
	38または51以下	6角1灯 大形四角C、B54
スイッチ・コンセント用の位置ボックス	通常スイッチ1ヶ以下	1連用スイッチボックス（又は中形四角O、B44）
	通常スイッチ2ヶ以下	2連用スイッチボックス（又は中形四角O、B44）
	通常スイッチ3ヶ以下	3連用スイッチボックス
露出ボックスなど（注）C参照	22または25以下	4角1灯 中形四角O、B54（樹・鋼ボス付け）
	25以下	5角1灯
	38または51以下	6角1灯 大形四角O、B54

注）C、B……コンクリートボックス
O、B……アウトレットボックス
(2) 露出配管（2.2.2表）

取付位置	配管状況	ボックスの種別
電灯位置ボックス	22または25以下	4角1灯 丸形露出ボックス（取締器）
ジョイントボックス	28または31以下	4角1灯 丸形露出ボックス（直径100）
スイッチボックス	通用型3ヶ以下	露出1個用 スイッチボックス
コンセント用の位置ボックス	通用型6ヶ以下	露出2個用 スイッチボックス
	通用型9ヶ以下	露出3個用 スイッチボックス

(3) アウトレットボックスを用いるプルボックス、ジョイントボックスの指プレートは、原則として丸プレートとする。
(4) プルボックス、ジョイントボックスは、そのプレート表面に用途を示す文字を別に定めるプレート等の設計基準により表示する。
(5) 天井又は壁埋込の場合、ボックスを埋込みすぎないようにし、塗りしろカバーと仕上がり面とが約10mm程度以上埋込みする場合は補ぎわくを使用すること。
⑧ 機器の取付高さ (1) 各機器の取付高さは、原則として下記による。

品名	中心高さ（mm）
分電盤、操作盤等	床上1,500ヶ所は、壁上端1,900以下
タンブラスイッチ、押釦	床上 1,300
手元開閉器、マグネット押釦	〃 1,500
弘法開閉器	地上 2,000
屋外側壁灯	〃 3,500
自動点滅器	〃 4,000
コンセント 一般室（事務室等）	床上 300
コンセント 工場作業室、共用室等	〃 750
コンセント 壁付台、作業台上	台上 200
コンセント 倒等の脇取	床上 650
コンセント 和室内	〃タタミ 200

(2) 上記高さに取付困難な場合は監督員の承認を得ること。
⑨ 分電盤制御盤 (1) 分電盤、制御盤は共通仕様書による。
制御盤は、原則として露出型とする。
(2) 主幹用配線用しゃ断器（漏電しゃ断器の場合も含む）のしゃ断電流は、特記のない場合は5000A以上とする。なお、漏電しゃ断器はJISマーク表示品とする。
(3) 自立形の場合の鋳床 ※要 不要
⑩ ヒューズ等の予備数 制御盤、配電盤などの表示灯用ランプ、ヒューズ類の予備品は、キュビクルごとに使用数の20%とし、種別ごとに最低1個を具備する。
ただし、電力ヒューズについては1個を1組と読み替えるものとする。
⑪ 電柱および鋼柱材料 図面仕様に明記ないときは、共通仕様書によるほか下記による。
(1) 電柱
木柱（仕入柱） ※コンクリート柱
(2) 鋼柱材料
腕金……鋼板製金
支線……適給ノッキ鋼線線で次のサイズのもの
22mm²、 ※38mm²、 55mm²
根開材料……下記による。
木柱用……根開九寸
※1.2m、 1.5m、 1.8m
コン柱用……コン根倉
※1.0m、 1.5m
(3) 支線
支線カバーを取りつけること。

区分	項目	特記事項
電力設備工事	⑫ 照明器具	けい光灯器具は、高調波規制型の「けい光灯器具基準」による。 白熱灯器具、水銀灯器具およびその他の器具は、凡例および製作図による。
	⑬ ボックスの絶縁塗装	各種位置ボックス、プルボックスおよびジョイントボックスの内面に施す絶縁塗装は下記による。なお絶縁塗装は必ず予入線前に行なうこと。ただし、樹付塗装済のボックスはこの限りでない。（ VV-2C ）
	⑭ 避雷針避雷導線避雷接地線	図面に特記あるときを除き下記による。 (1) 避雷突針： クロムメッキ JIS大、 ※JIS中、 JIS小 日本住宅公団型 (2) 避雷導線： 銅より線 30mm² ※38mm² 40mm² (3) 導線保護管 黄銅管、 ※硬質ビニル管 (4) 新定端子函 黄銅製函 ※合成樹脂函 (5) 接地極（接地抵抗値はおおねね5Ω以下とする） ア 主 極…銅板 15×1,000×1,000 以上のもの1枚 イ 補助極…銅棒（ø16ヶ×1,200ヶ～1,500ヶ）
	⑮ 接地工事および接地極	図面に特記あるときを除き下記による。 (1) 接地のサイズ 第1種接地工事（2・14・1） 接地抵抗値及び避雷器…1.4mΩ以上 その他の場合……5.5mΩ以上 第2種接地工事（2・14・1表） 5.5mΩ以上 第3種、特別第3種接地工事 （2・14・2表） 2.0mΩ以上 (2) 接地極は銅棒引込とする。（ø16ヶ×1,500ヶ～1,800ヶ） (3) 接地極抵抗値については、おおむね1種5Ω、3種50Ωを目標とする。 (4) 共通仕様書の（2・14・5～2・14・7）による接地工事の簡略等を適用する場合は、必らず監督員の承認を得ること。
	⑯ 金属管配線	(1) アースボンド線の太さは共通仕様書（2.2.3表）およびJ（2.2.4表）による。 ただし、ディカウエルド形によるときは、直径2.0mm以上とあるのは2.6mm以上と読み替えるものとする。 (2) アースボンドは原則としてアイカウエルド形による。ただし、監督員の指示によるときは他の工法によることができる。 (3) ボックス、ジョイントボックスは、そのプレート表面に用途を示す文字を別に定めるプレート等の設計基準により表示する。 (4) プルボックス、ジョイントボックスは、そのプレート表面に用途を示す文字を別に定めるプレート等の設計基準により表示する。 (5) 天井又は壁埋込の場合、ボックスを埋込みすぎないようにし、塗りしろカバーと仕上がり面とが約10mm程度以上埋込みする場合は補ぎわくを使用すること。
受変電設備工事	1. 構の色別	高圧母線は、ベンキもしくはカラーチューブにより色別する。色別の色は、本特記仕様書電力設備工事の1項のIHCによる。
	2. 高圧母線のサイズ	図面に明記ないときは下記による。 CE 8m² 14m² ※22m²
	3. 受配電盤	鋼板自立開放型を原則とする。
	4. 開閉配電盤	(1) 鋼板製扉付とし充分なる換気口を有し、内部扉切付とする。 (2) 共通仕様書によるほか、屋外形にあっては横面が浸入し難い構造とする。
	5. 柱上変電設備	図面仕様によるほか、九州電力外線工事委員及び共通仕様書（架空配線）による。
	6. 接地工事および接地極	本特記仕様書電力設備工事の15項による。
	7. 機器据付及びの関隔など	(1) 機器相互の関隔及び機相縁とこれを支持する造営材との離関距離の標準及び最小値は、共通仕様書（2.2.1表）による。 (2) 関前配電盤及び半関前配電盤の裏圧配線離関距離は共通仕様書（1.1.2表）による。接地極は、本特記仕様書電力設備工事の15項2)による。
	8. ヒューズ等の予備数	ヒューズ等の予備数は電力設備工事の10項による。
	9. 絶縁抵抗値	本特記仕様書電力設備工事の2項による。
自家発電設備工事	1. 発電装置	図面仕様によるほか下記による。 (1) 発 電 機 通風方式 ※自己通風式、強制通冷式 (2) ディーゼル機関、タービン機関 共通台床式で防振装置付とする。 始動方式 ※電気式 圧縮空気式 (3) 充填装置 充填器は自動定圧装置および通常電防止装置付とする。
	2. 電線の色別	本特記仕様書電力設備工事の1項による。
	3. 防災用発電機	消防法等による非常電源としての発電機は、自家発電設備認定委員会の認定証票が貼付されものとする。
通信設備工事	1. 電線	原則として600Vビニル電線を使用する。 ただし、通信ケーブル等の使用をさまたげない。
	2. 電線の色別	ビニル電線の色別は下表による。

配線種別	マイナスまたは共通	電圧	制
電気時計	赤又は黒		黄
拡声	白		黒、黄またはボ
火災報知設備	白	火災報知	赤（表示 線）
			黄（電話 線）
			青（ベル 線）
			黄（構図ランプ）
接地線	緑又は緑ノ黄		

区分	項目	特記事項
通信設備工事	③ 機器の取付高さ	(1) 各機器の高さは、原則として下表による。

品名	中心高さmm
電話用位置ボックス	床上300またはタタミ上150
親時計	床上1,800
子時計	床上2,300
スピーカー	床上2,300
音量調整器	床上1,300
表示器・電灯	床上2,300
全上操作スイッチ等	床上1,200
インターホン	床上1,500
テレビアンテナ端子	床上300またはタタミ上150
端子盤	床上750または1,500
P形発信機	床上1,400
標識灯（単独）	床上1,800
電鈴（単独）	床上2,300
分岐盤結露（単独）	床上1,800
総合盤	床上1,400
受信機操作部	床上800～1,500
副受信機	床上800～1,500

(2) 上記高さに取付困難な場合は監督員の承認を得ること。

区分	項目	特記事項
通信設備工事	⑧ 端子盤	図面仕様に明記ないかぎり壁面タイプの据込型鋼付を原則とする。
	⑨ 電気時計装置	図面仕様に明記ないときは下記による。 親時計 ※壁掛型 据置型 親モニタ ※九形 角形 副時計 ※壁 ※不整 始時電波子 ※形 子型 時刻修正機構 ※要 不要
	⑩ 拡声装置	図面仕様に明記ないときは、共通仕様書による。
	⑪ 非常放送装置	図面仕様に明記ないときは、共通仕様書による。 下記については非常用放送設備委員会の合格ラベルが貼付されものを使用すること。 ア 増幅器及び操作装置 イ 遠隔操作盤 ウ 非常用電話機構・子機
	⑫ 表示装置	図面仕様に明記ないときは、共通仕様書による。
	⑬ インターホン設備	図面仕様に明記ないときは、共通仕様書による。
	⑭ テレビ共聴受信装置	図面仕様に明記ないときは、共通仕様書による。
	⑮ 火災報知設備	図面仕様に明記ないときは、共通仕様書による。 下記については、日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されものを使用すること。 ア 受信機 イ 発信機 ウ 感知器
	⑪ 自動閉鎖装置	図面仕様に明記ないときは、共通仕様書による。 下記については、(財)日本建築センターの防火性能評定マークが貼付されものを使用すること。 ア 連動制御部 イ 自動閉鎖装置
	⑫ 非常警報装置	図面仕様に明記ないときは、共通仕様書による。 下記については、非常警報設備認定業務委員会の認定証票が貼付されものを使用すること。 ア 非常ベル イ 表示灯 ウ 起動装置 エ 操作装置（電源部） オ 一体形及び複合装置
	⑬ ガス漏れ警報装置	図面仕様に明記ないときは、共通仕様書による。 使用機器は下記合格証票が貼付されものを使用すること。 ア 受信機、中継器～日本消防検定協会 高圧ガス保安協会（検化石油ガス形） イ 検知器～（財）日本ガス機器検定協会 高圧ガス保安協会（検化石油ガス用）
構内交換設備工事		図面仕様に明記ないときは、共通仕様書による。
中央監視制御設備工事		図面仕様に明記ないときは、共通仕様書による。
その他	1. 機器類の指定	下記資材については、本項において製造所の指定あるときは本項特記による。

品名	製造所の名称

	⑭ 電柱および支柱材料	図面仕様に明記ないときは下記による。 下記による。
	⑮ 機器の取付高さ	(1) 各種機器の高さは、原則として下表による。

品名	中心高さmm
電話用位置ボックス	床上300またはタタミ上150
親時計	床上1,800
子時計	床上2,300
スピーカー	床上2,300
音量調整器	床上1,300
表示器・電灯	床上2,300
全上操作スイッチ等	床上1,200
インターホン	床上1,500
テレビアンテナ端子	床上300またはタタミ上150
端子盤	床上750または1,500
P形発信機	床上1,400
標識灯（単独）	床上1,800
電鈴（単独）	床上2,300
分岐盤結露（単独）	床上1,800
総合盤	床上1,400
受信機操作部	床上800～1,500
副受信機	床上800～1,500

(2) 上記高さに取付困難な場合は監督員の承認を得ること。

区分	項目	特記事項
通信設備工事	⑯ 位置ボックスおよびジョイントボックス	図面に明記ないかぎり位置ボックスは下記による。 (1) 埋込またはいんぺい配管

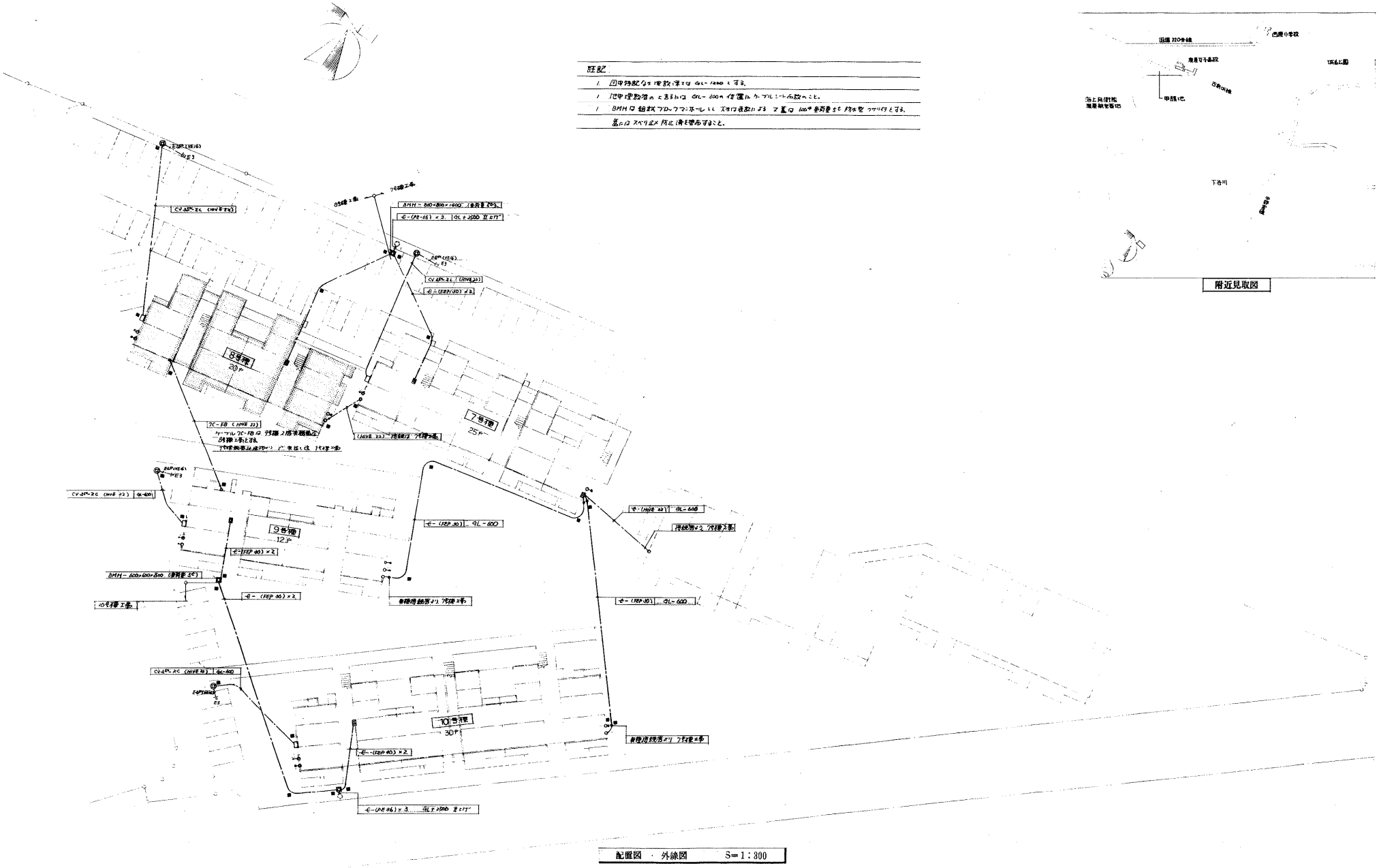
取付位置	配管状況	ボックスの種別
天井スラブ	22または25以下	4角1灯 中形四角C、B54
壁	25以下	4角1灯
ボックス	31以下	5角1灯
	38または51以下	6角1灯 大形四角C、B54
増幅器操作盤および増設ブザー	22または25以下	4角1灯 中形四角O、B54
	25以下	4角1灯
	38または51以下	6角1灯 大形四角O、B54
押ボタンスイッチ、アッチ	スイッチ1個（遠隔型3ヶ以下）	1個用 スイッチボックス（又は中形四角O、B44）
	スイッチ2個（遠隔型6ヶ以下）	2個用 スイッチボックス（又は中形四角O、B44）
オートおよびスポット照射	スイッチ2個（遠隔型6ヶ以下）	2個用 スイッチボックス（又は中形四角O、B44）
知覚用試験器	アッチユータクト（試験型5ヶ以下）	
上記以外の位置ボックス、ジョイントボックス	22または25以下	4角1灯 中形四角O、B54
	25以下	5角1灯
	38または51以下	6角1灯 大形四角O、B54

注）C、B……コンクリートボックス
O、B……アウトレットボックス
(2) 露出配管

取付位置	配管状況	ボックスの種別
位置ボックス、ジョイントボックス	22または25以下	4角1灯 丸形露出ボックス（取締器）
	28または31以下	4角1灯 〃 上 〃（直径100）
押ボタンスイッチ、アッチ	スイッチ1個（遠隔型3ヶ以下）	露出1個用 スイッチボックス
	スイッチ2個（遠隔型6ヶ以下）	露出2個用 スイッチボックス
オートおよびスポット照射	アッチユータクト（試験型5ヶ以下）	
知覚用試験器	試験型5ヶ以下	
	上記以外	スイッチなどの取付ある場合 露出3個用 スイッチボックス

(3) 本特記仕様書電力設備工事の7項3)(4)(5)による。
⑰ 絶縁抵抗値 (1) 屋内、屋側電路（250Vのメガー使用）1回線又は1系統当たり、絶縁対地間共5MΩ以上とする。
(2) 架空、地中電路（250Vのメガー使用）1回線又は1系統当たり、絶縁、対地間共5MΩ／4kΩ以上とする。
(3) 機器取付後の絶縁抵抗値は、上記(2)1)／5)に準じ上とする。

	⑱ 接地極および接地線	(1) 接地極 ア 接地極は、銅板（1.5mm×900mm×900mm）又は銅棒（ø16mm×1,500mm）とする。 イ 接地極は、地下75cm以上の深さに埋設する。 ウ 接地極は、原則として建物の外周より1m以上離して埋設する。 エ 接地極は、地下水位の高い場所に埋設する。 オ 接地極は、地下水位の高い場所に埋設する。 (2) 接地線 ア 接地線は、原則として緑ノ黄色とする。 イ 接地線は、原則として露出配管とする。 ウ 接地線は、原則として露出配管とする。 エ 接地線は、原則として露出配管とする。 オ 接地線は、原則として露出配管とする。 (3) 接地線の太さ ア 接地線の太さは、原則として露出配管とする。 イ 接地線の太さは、原則として露出配管とする。 ウ 接地線の太さは、原則として露出配管とする。 エ 接地線の太さは、原則として露出配管とする。 オ 接地線の太さは、原則として露出配管とする。
	⑲ 接地工事	(1) 接地工事 ア 接地工事は、原則として露出配管とする。 イ 接地工事は、原則として露出配管とする。 ウ 接地工事は、原則として露出配管とする。 エ 接地工事は、原則として露出配管とする。 オ 接地工事は、原則として露出配管とする。
	⑳ 接地工事	(1) 接地工事 ア 接地工事は、原則として露出配管とする。 イ 接地工事は、原則として露出配管とする。 ウ 接地工事は、原則として露出配管とする。 エ 接地工事は、原則として露出配管とする。 オ 接地工事は、原則として露出配管とする。
	㉑ 接地工事	(1) 接地工事 ア 接地工事は、原則として露出配管とする。 イ 接地工事は、原則として露出配管とする。 ウ 接地工事は、原則として露出配管とする。 エ 接地工事は、原則として露出配管とする。 オ 接地工事は、原則として露出配管とする。
	㉒ 接地工事	(1) 接地工事 ア 接地工事は、原則として露出配管とする。 イ 接地工事は、原則として露出配管とする。 ウ 接地工事は、原則として露出配管とする。 エ 接地工事は、原則として露出配管とする。 オ 接地工事は、原則として露出配管とする。
	㉓ 接地工事	(1) 接地工事 ア 接地工事は、原則として露出配管とする。 イ 接地工事は、原則として露出配管とする。 ウ 接地工事は、原則として露出配管とする。 エ 接地工事は、原則として露出配管とする。 オ 接地工事は、原則として露出配管とする。
	㉔ 接地工事	(1) 接地工事 ア 接地工事は、原則として露出配管とする。 イ 接地工事は、原則として露出配管とする。 ウ 接地工事は、原則として露出配管とする。 エ 接地工事は、原則として露出配管とする。 オ 接地工事は、原則として露出配管とする。
	㉕ 接地工事	(1) 接地工事 ア 接地工事は、原則として露出配管とする。 イ 接地工事は、原則として露出配管とする。 ウ 接地工事は、原則として露出配管とする。 エ 接地工事は、原則として露出配管とする。 オ 接地工事は、原則として露出配管とする。
	㉖ 接地工事	(1) 接地工事 ア 接地工事は、原則として露出配管とする。 イ 接地工事は、原則として露出配管とする。 ウ 接地工事は、原則として露出配管とする。 エ 接地工事は、原則として露出配管とする。 オ 接地工事は、原則として露出配管とする。
	㉗ 接地工事	(1) 接地工事 ア 接地工事は、原則として露出配管とする。 イ 接地工事は、原則として露出配管とする。 ウ 接地工事は、原則として露出配管とする。 エ 接地工事は、原則として露出配管とする。 オ 接地工事は、原則として露出配管とする。
	㉘ 接地工事	(1) 接地工事 ア 接地工事は、原則として露出配管とする。 イ 接地工事は、原則として露出配管とする。 ウ 接地工事は、原則として露出配管とする。 エ 接地工事は、原則として露出配管とする。 オ 接地工事は、原則として露出配管とする。
	㉙ 接地工事	(1) 接地工事 ア 接地工事は、原則として露出配管とする。 イ 接地工事は、原則として露出配管とする。 ウ 接地工事は、原則として露出配管とする。 エ 接地工事は、原則として露出配管とする。 オ 接地工事は、原則として露出配管とする。
	㉚ 接地工事	(1) 接地工事 ア 接地工事は、原則として露出配管とする。 イ 接地工事は、原則として露出配管とする。 ウ 接地工事は、原則として露出配管とする。 エ 接地工事は、原則として露出配管とする。 オ 接地工事は、原則として露出配管とする。
	㉛ 接地工事	(1) 接地工事 ア 接地工事は、原則として露出配管とする。 イ 接地工事は、原則として露出配管とする。 ウ 接地工事は、原則として露出配管とする。 エ 接地工事は、原則として露出配管とする。 オ 接地工事は、原則として露出配管とする。
	㉜ 接地工事	(1) 接地工事 ア 接地工事は、原則として露出配管とする。 イ 接地工事は、原則として露出配管とする。 ウ 接地工事は、原則として露出配管とする。 エ 接地工事は、原則として露出配管とする。 オ 接地工事は、原則として露出配管とする。
	㉝ 接


8号棟
20F
7号棟
25F
9号棟
12F
10号棟
30F
BMH - 800×800×1600 (蓄熱量 ?GJ)
E-(PE-46) × 3, GL + 3200 以上
E-(PE-46) × 3, GL + 3200 以上
E-(PEP 40) × 2
E-(PEP 40) × 2
E-(PEP 40) GL-600
E-(PEP 40) GL-600
E-(PEP 40) GL-600
E-(PEP 40) × 2
E-(PEP 40) × 2
E-(PE-46) × 3, GL + 3200 以上
CV 325-2C (INVE 22) GL-600
CV 325-2C (INVE 22) GL-600
CV 325-2C (INVE 22) GL-600
CV 325-2C (INVE 22) GL-600
7C-FB (INVE 22)
ケーブル 7C-FB は 外構 2 階末端部で
外構 1 号とまる
7C-FB (INVE 22) 外構1号 7号棟へ
外構1号より 7号棟へ
外構1号より 7号棟へ
外構1号より 7号棟へ
外構1号より 7号棟へ
BMH - 600×600×800 (蓄熱量 ?GJ)
10号棟 1号
EMPTY(VE4)
EMPTY(VE4)
EMPTY(VE4)

凡　例　表

記号	名称	備考
S	引込開閉器盤	別紙結線図参照
	分岐開閉器盤	〃
図	電力量計取付板	1φ 3W用 樹脂プレート取付
	各戸分電盤	別紙結線図参照
	蛍光灯照明器具	別紙姿図参照
	〃	〃
	外灯	〃
●	文角連用スイッチ 1P 15A x 1	ステンレスプレート（WP）は防水型
$●_3$	〃 3W 15A x 1	〃 〃
$●_4$	〃 4W 15A x 1	〃 〃
$●_{AS}$	自動点滅器 100V 3A	アウトライン
TO	保安器収納箱	別紙姿図参照
	端子盤	〃
◉	管話用アウトレット	角型ノズルプレート 別印付
◉	〃	丸型ノズルプレート 別印付
	テレビアンテナ	受配仕様参照
	テレビ機器収納箱	別紙姿図参照
⊖	直列ユニット	JV - SU - 37 - 7
$⊖_R$	〃	JV - SU - 37 - R
⊘	角型引掛シーリング	
○	白熱灯照明器具	別紙姿図参照
	蛍光灯照明器具	〃
$⊘_A$	コンセント付引掛ローゼット	
●	文角連用スイッチ 1P 15A x 1	樹脂プレート
$●_P$	〃 1P 15A x 1	〃 位置表示灯付
$●_L$	〃 1P 4A x 1	〃 確認表示灯付
$⊖_2$	文角連用コンセント 2P 15A x 2	〃
$⊖_E$	〃 2P 15A x 1 ETH付	〃
$⊖_{2E}$	〃 2P 15A x 2 ETH付	〃
■	玄関チャイム用押釦スイッチ	10A 300V 防水型
図	玄関チャイム	100V 2段打 音響調整付
⊠	換気扇 25cm	金属製・電動式シャッター付、樹脂製ウェザーカバー付
◇	回路番号	
○	ボックス番号	ボックス番号表参照
⊠	プルボックス	受配仕様参照
ロ ⊗	ジョイントボックス	08天端C付、 WPは防水パッキン付
■	埋設標柱	コンクリート製
——	天井いんぺい配線	配管・配線
——	床いんぺい配線	〃
----	地中埋設配線	〃
----	ケーブルとうがし配線	〃
	立ヒロガ・乗通し・立下ガ	
$⏚_{E3}$	接地工事	第3種
図	ハンドホール	受配参照

ボックス番号表

ボックス記号	名称	備考
①	コンクリートボックス	8角 内寸mm （塗代カバー13）
②	アウトレットボックス	4角中深 44mm （ 〃 ）
③	〃	〃 中深 54 〃 （ 〃 ）
④	〃	〃 大浅 44 〃 （ 〃 ）
⑤	〃	〃 大深 54 〃 （ 〃 ）
⑥	スイッチボックス	1ヶ用 44 〃 （ 〃 ）
⑦	〃	5ヶ用 54 〃 （ 〃 ）
$◯^{-1}$	8ボックス ＋ 樹脂プレート	角型
$◯^{-2}$	〃 ＋ ノズルプレート	角型
$◯^{-3}$	〃 ＋ 盲プレート	丸型 （但しスピーカー用は角型）

註　記

1 住戸内配線器具用プレートは文角プレート（樹脂製）とする。文非用部分のジョイントボックス用盲プレートはステンレス製とし、雨線外取付部分に使用してはゴムパッキン付とする。

2 空配管には呼線を挿入し、行先表示を行なうこと。

屋内　1.2mm　ビニール被覆鉄線
屋外　1.6mm　IV線（黒色）

3 防露壁に取付ける配線器具については詳細図参照のこと。

4 特記なき配線サイズは下記の通りとする。

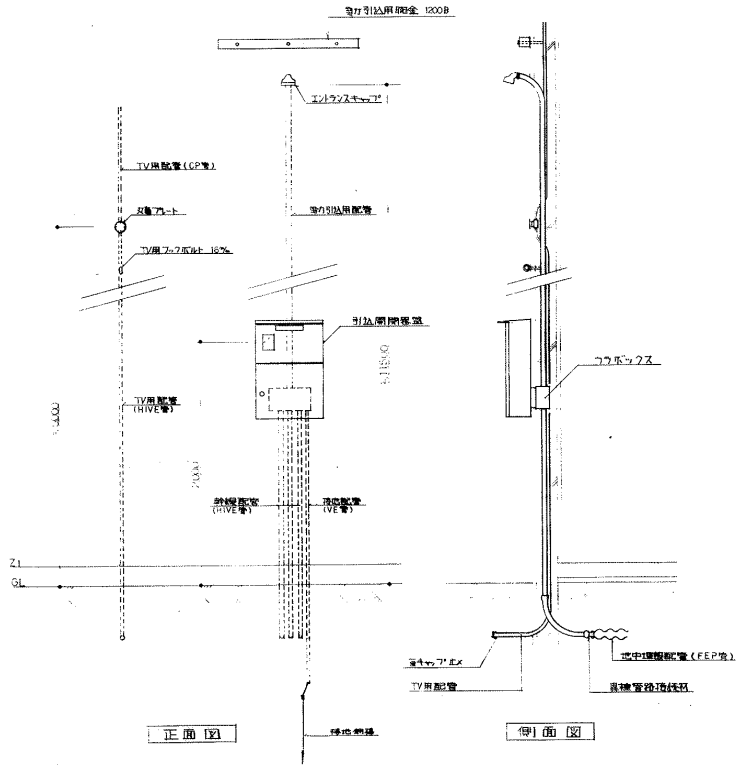
1.6 x 2（19）　—— VVF 1.6 - 2C
1.6 x 3（19）　—— VVF 1.6 - 3C
1.6 x 4（25）

備考 ）内配管は別途パネル工事とする。

5 器具取付高さは和室に於ては 2タタミ上、その他は床上より 機ボックス中心までを示す。特記なきは仕様書による。　コンセント＝200、スイッチ＝1300

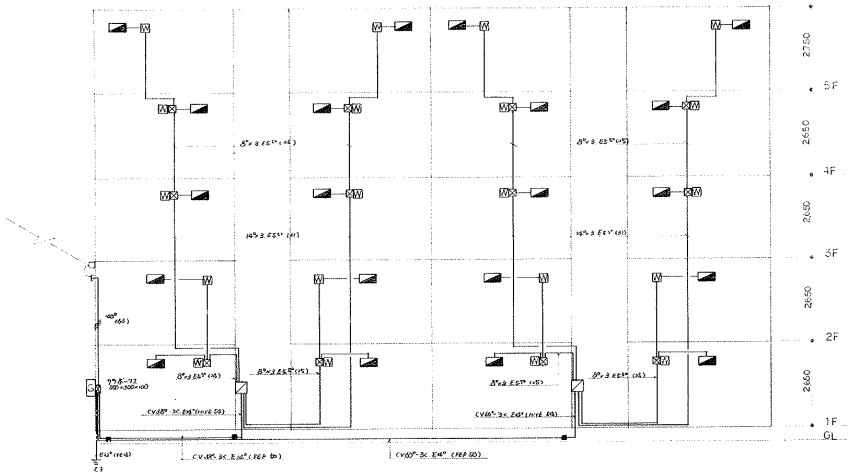
6 図中 ※ 印は部分詳細図参照のこと。

7 ——3—— 受ち出し box 立ち受け出し配管　(19)φ(25)とする。



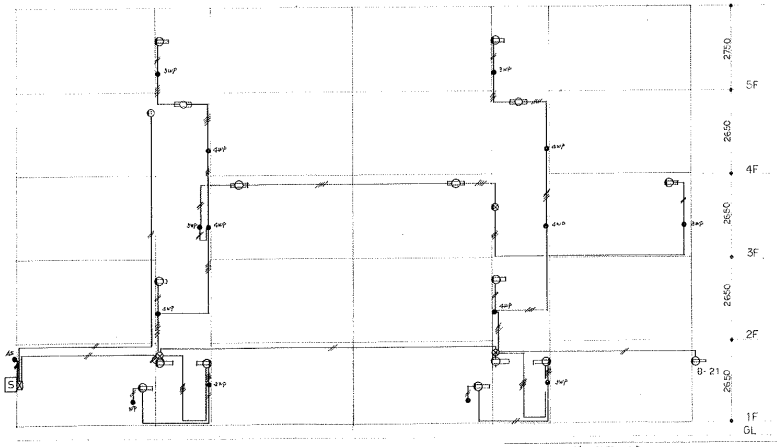
電力引込詳細図

図面番号
5
20



幹線設備系統図

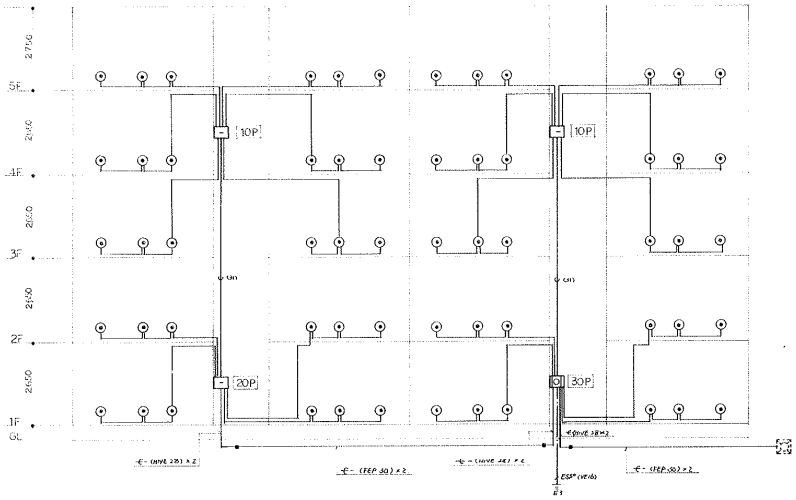
- 特記なき配線は 3Φ×3.5mm²-E×D (×5) とする。
- ■印部分は集合電線管内に収容すること。
- 特記なき プルボックス は 300×300×100 とする。



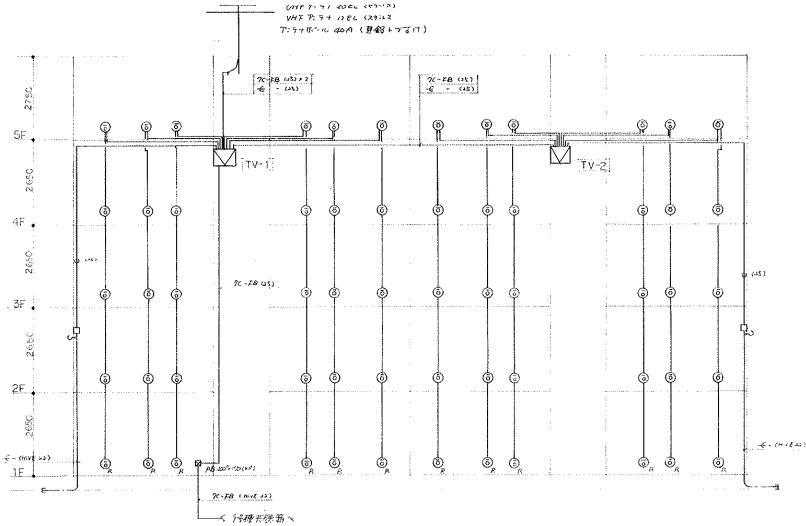
共用灯設備系統図

- 特記なき配線は下記による。
  - 2×2 (19)
  - 2×3 (19)
  - 2×4 (25)
  - 2×5 (25)
- 特記なき盤名称は B-11 とする。

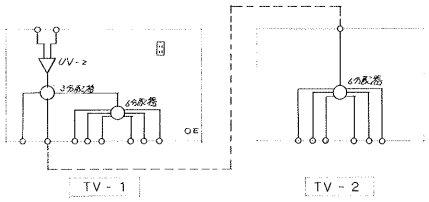
		図面番号 6 / 20



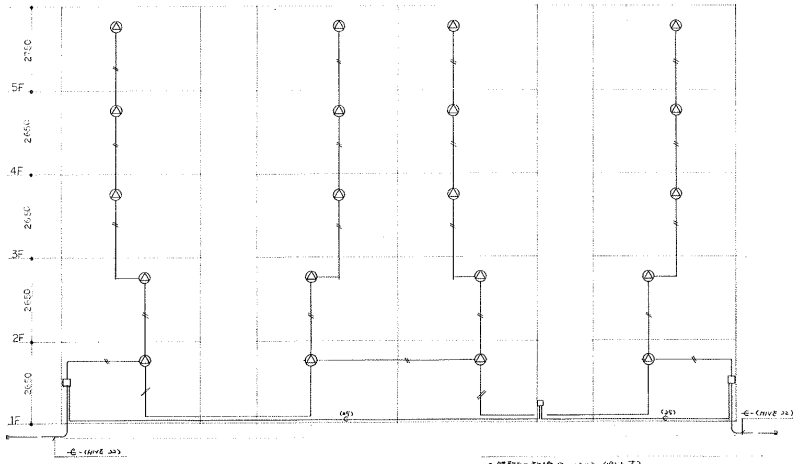
電話配管設備系統図



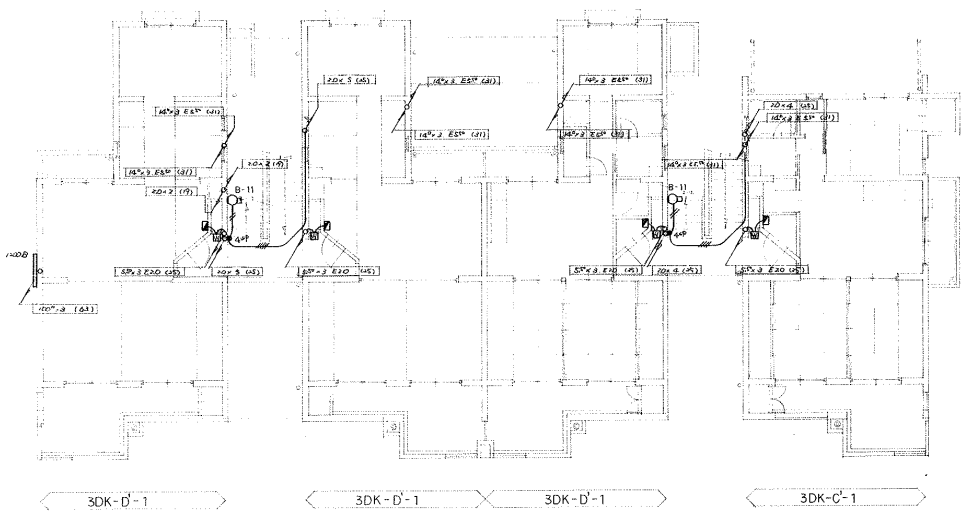
テレビ共聴設備系統図



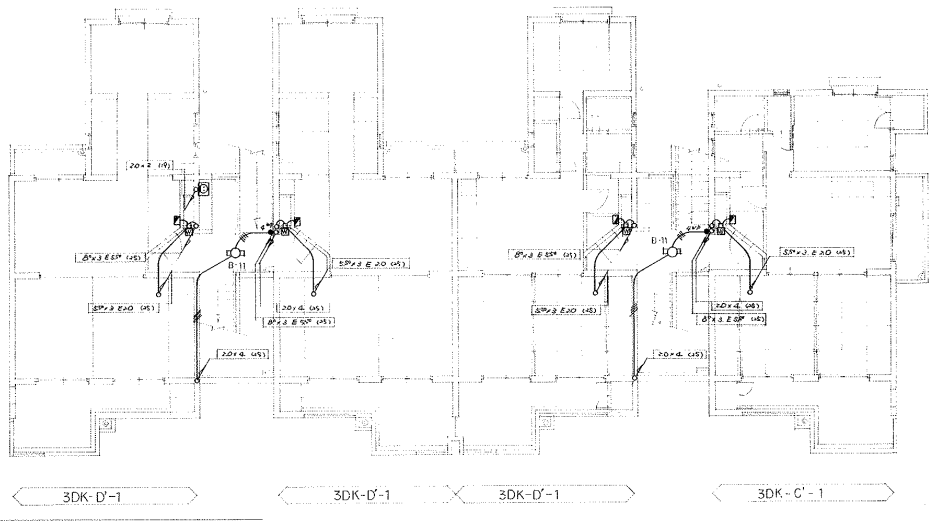
残置収納箱詳細図



有線放送設備系統図



2 階平面図

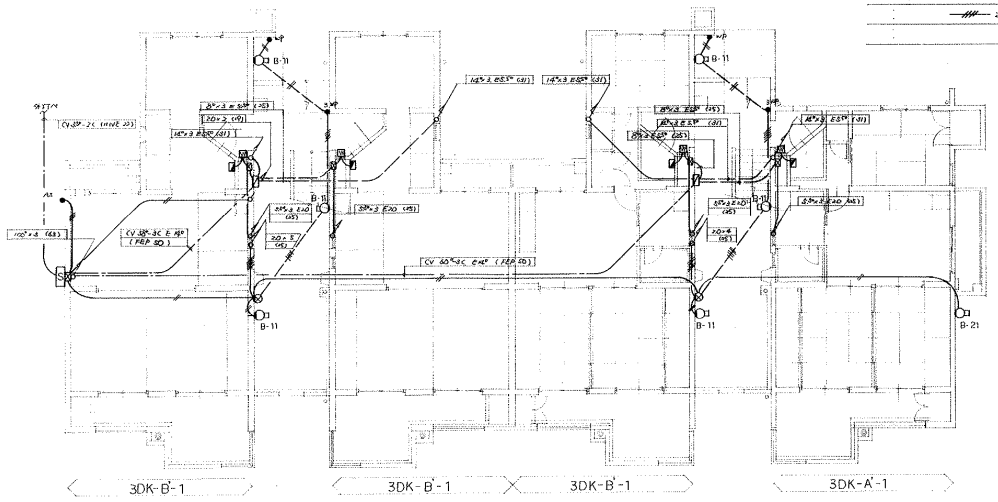


4 階平面図

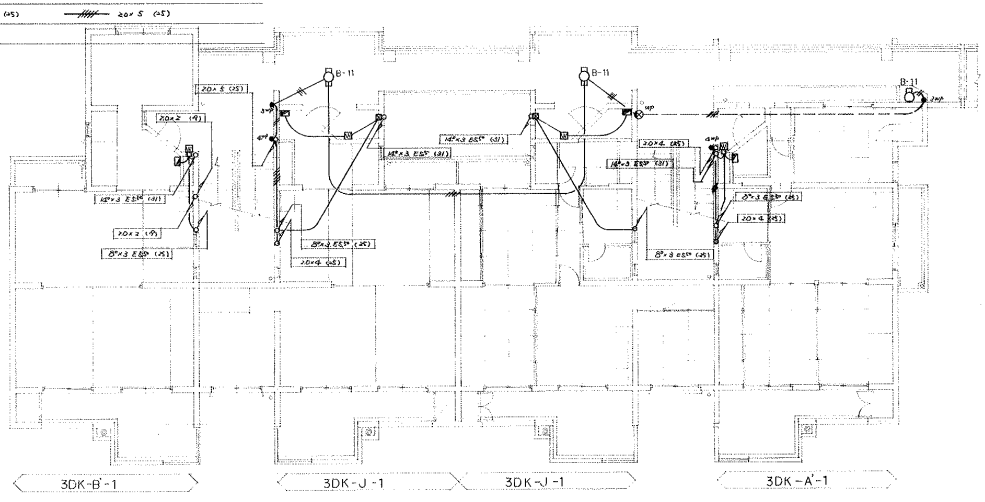
註記

1. 図中特記なき配管 配線は次の通りとする。

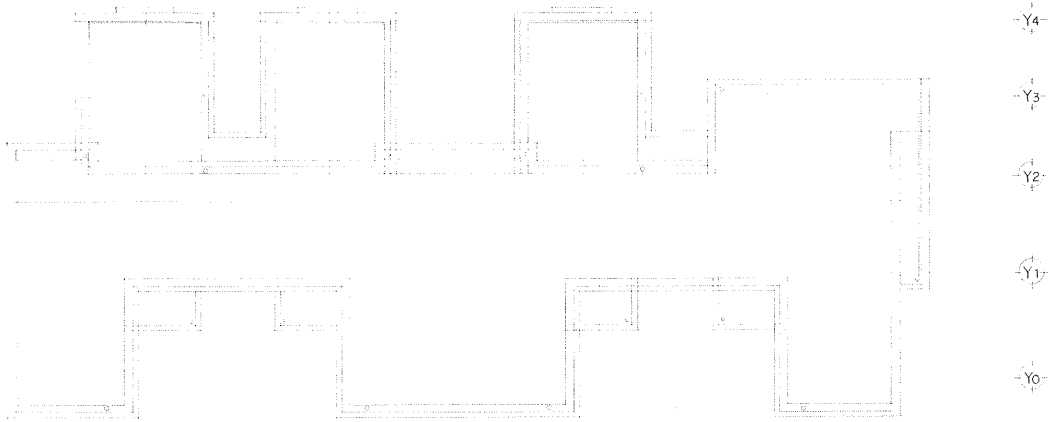
幹線	5D×3 E20 (45)
共用灯	2D×2 (19) / 2D×3 (19) / 2D×4 (45) / 2D×5 (45)

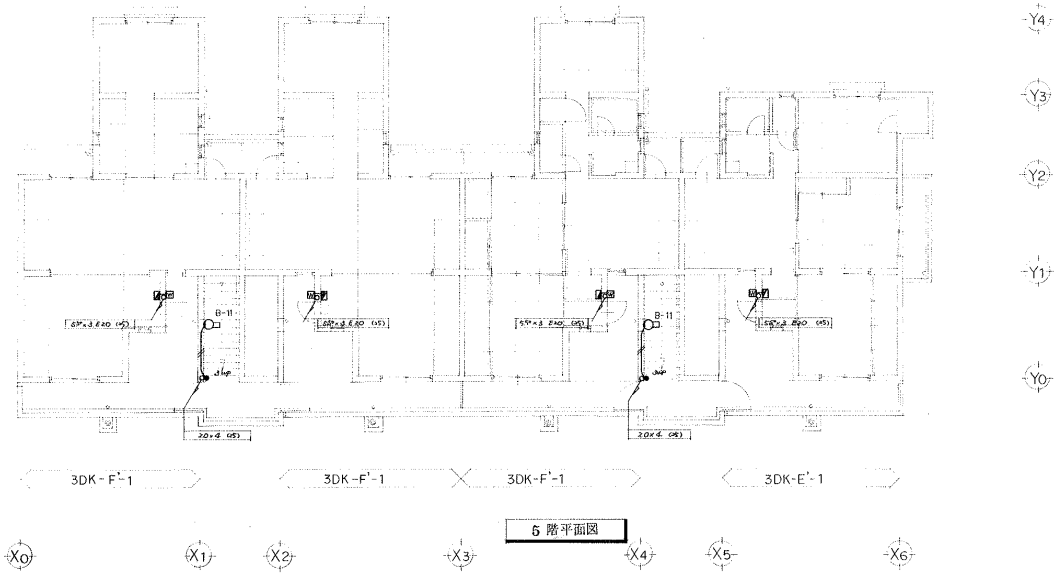


1 階平面図



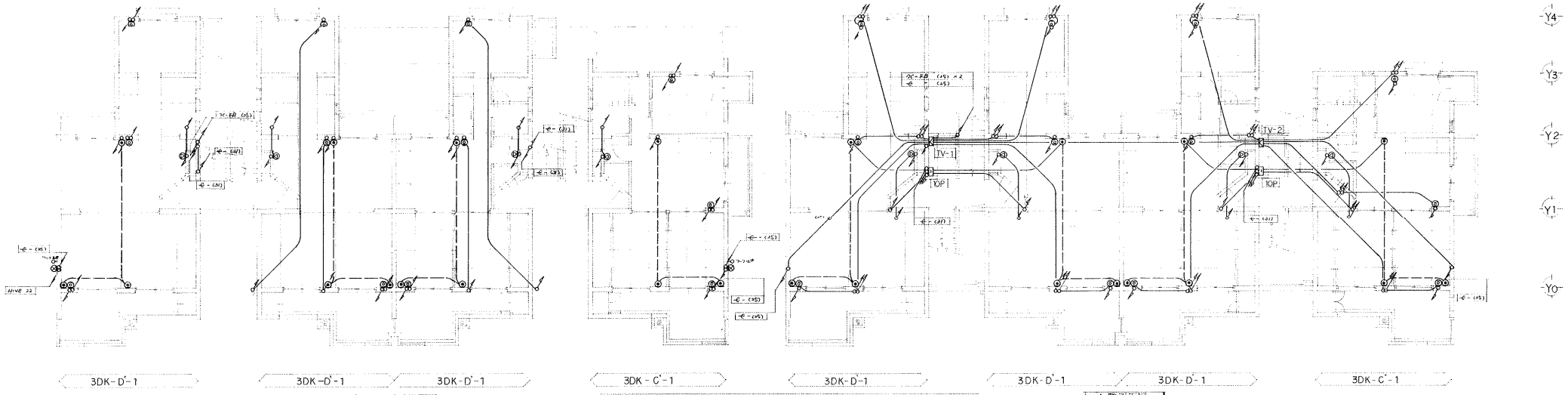
3 階平面図





5 階平面図

図面番号
9
20



2 階平面図

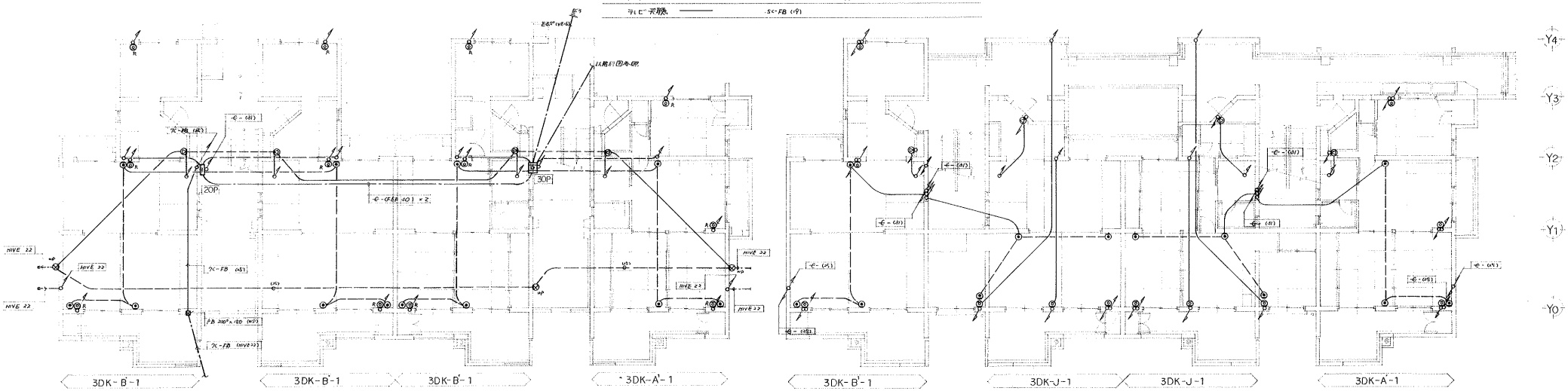
4 階平面図

註記

1 図中特記なき配管・配線は下記の通りとする。

階段 ——— ——— 壁 (内)　　吊線切込 ——— 125×2 (内)

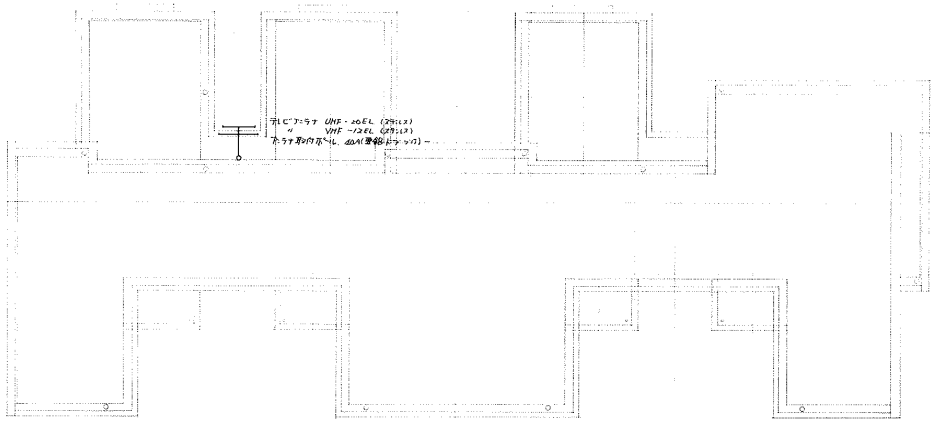
ﾃﾚﾋﾞ・衛星 ———　　50×FB (内)



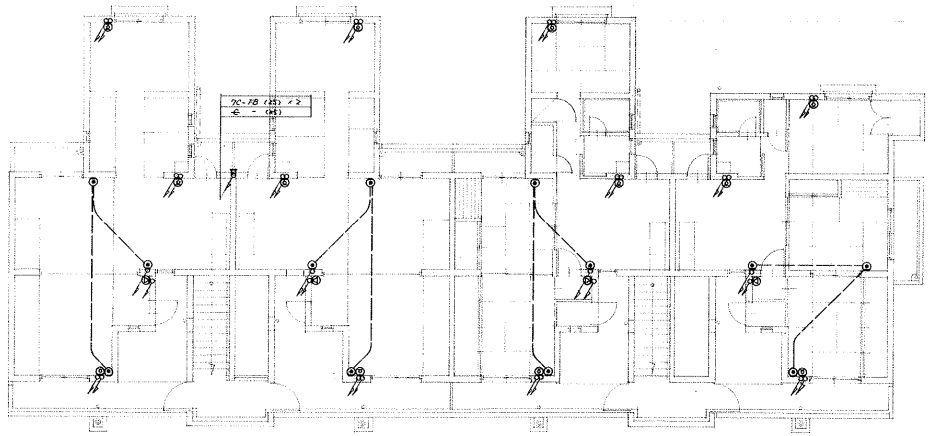
1 階平面図

3 階平面図

図面番号
10/20

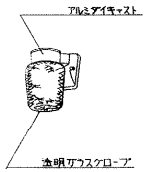


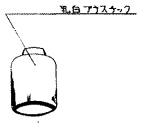
屋上平面図



5階平面図

		図面番号
		11
		20

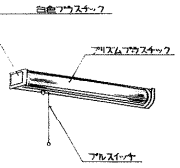




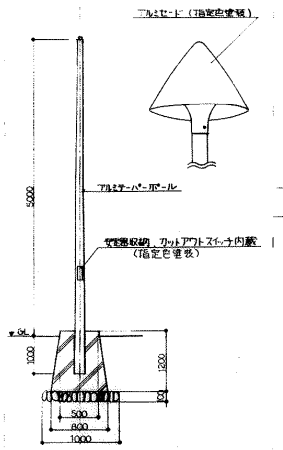
		a	IL 60W x 1 （防水型）	d IL 40W x 1

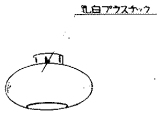


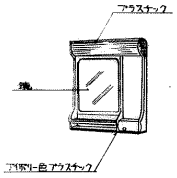




B-11	FL 10W x 1（防水型）FBC1RP-101			
B-21	FL 20W x 1（防水型）FBC1RP-201	a'	IL 60W x 1 （防水型）	e FL 15W x 1

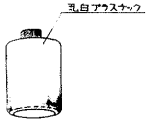






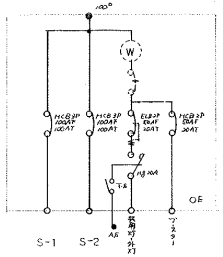
メディシングキャビネット

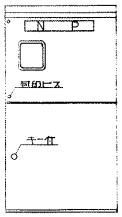
	b	IL 60W x 1	f FL 10W x 1 （スイッチ・コンセント付）

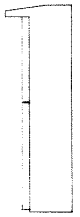


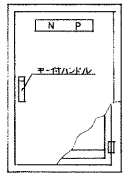
- 台所天井 は コンセント付引掛ローゼットとする。（ ②A の記号 ）
- 和室天井灯は角型引掛シーリング（アダプター共）ハンガー付とする。

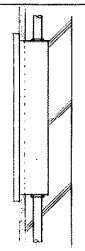
外 灯	NF 180W x 1 （高調波対策）	C	IL 40W x 1	







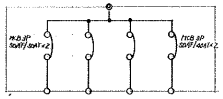


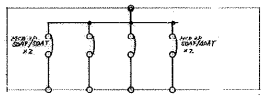


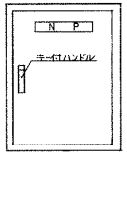
引込開閉器盤 姿図及び結線図 （屋外・防水型）

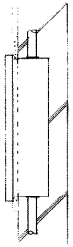
略名	盤名称	灯数	盤寸法
B	保守用盤	30P	600 × 800 × 140
	端子盤	20P	300 × 500 × 140
	〃	10P	300 × 400 × 120

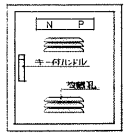
電話用保守器収納箱・端子盤 姿図 （屋外・防水型）



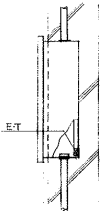


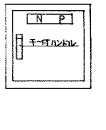


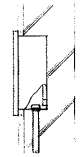




TV-1





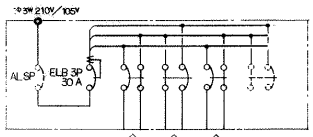


TV-2

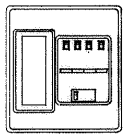
盤名称	収納機器	盤寸法
TV-1	UVフースター（BL）＋2分岐＋6分配器	500 × 700 × 150
TV-2	6分配器	300 × 300 × 120

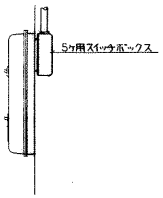
分岐開閉器盤 姿図及び結線図 （屋外・防水型）

テレビ機器収納箱 姿図

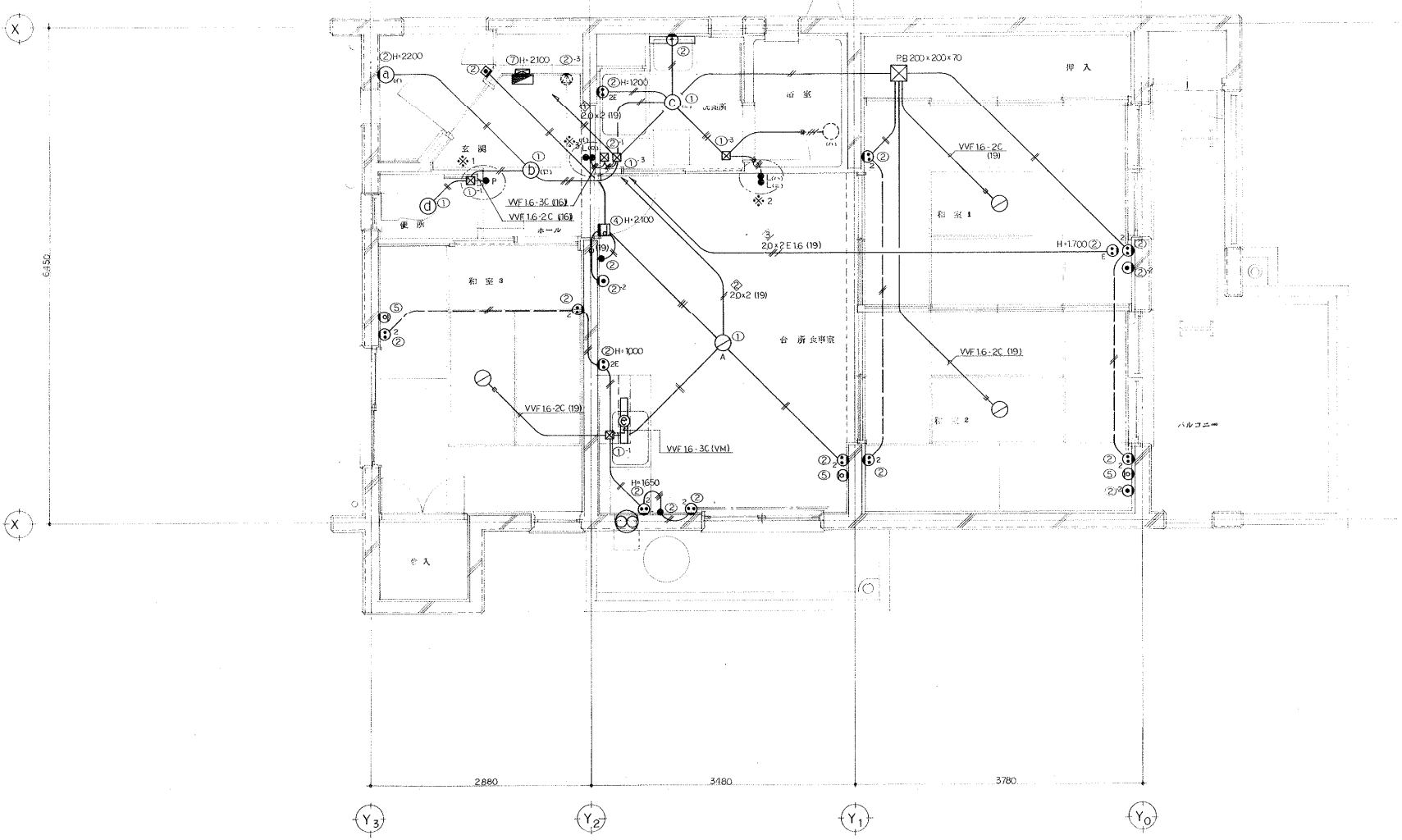


SB（甲全ブレーカー）2P1E 20A×3（200V切替可能1回路）

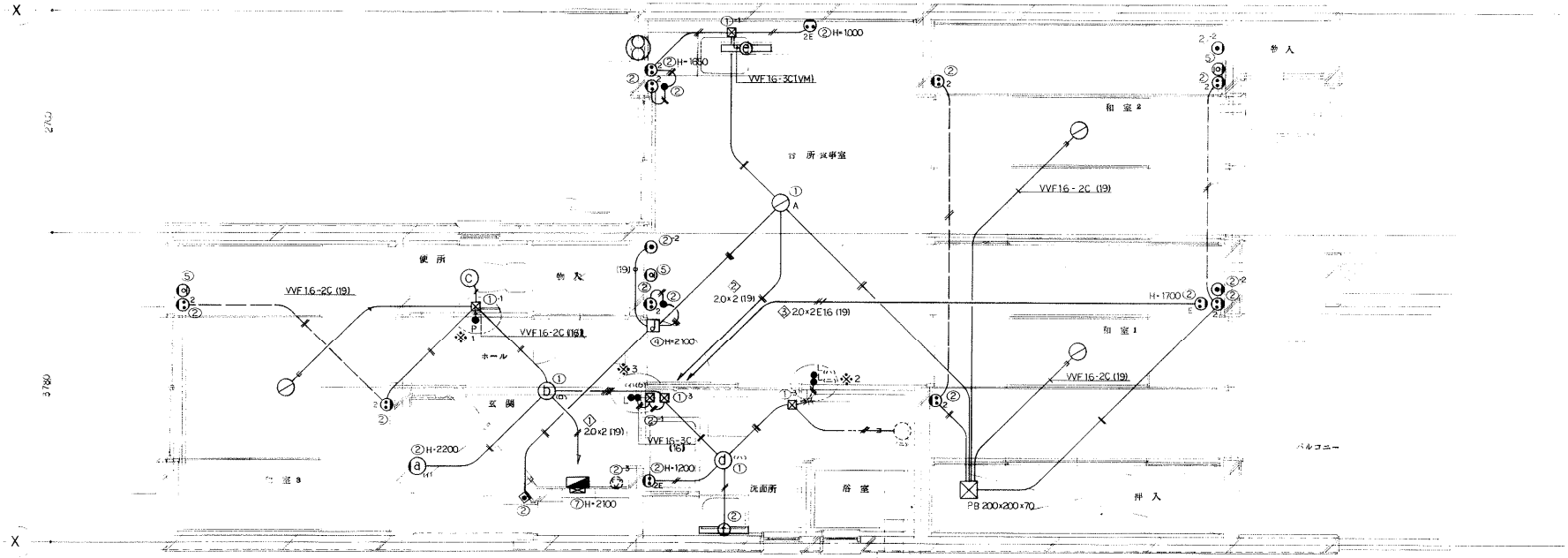




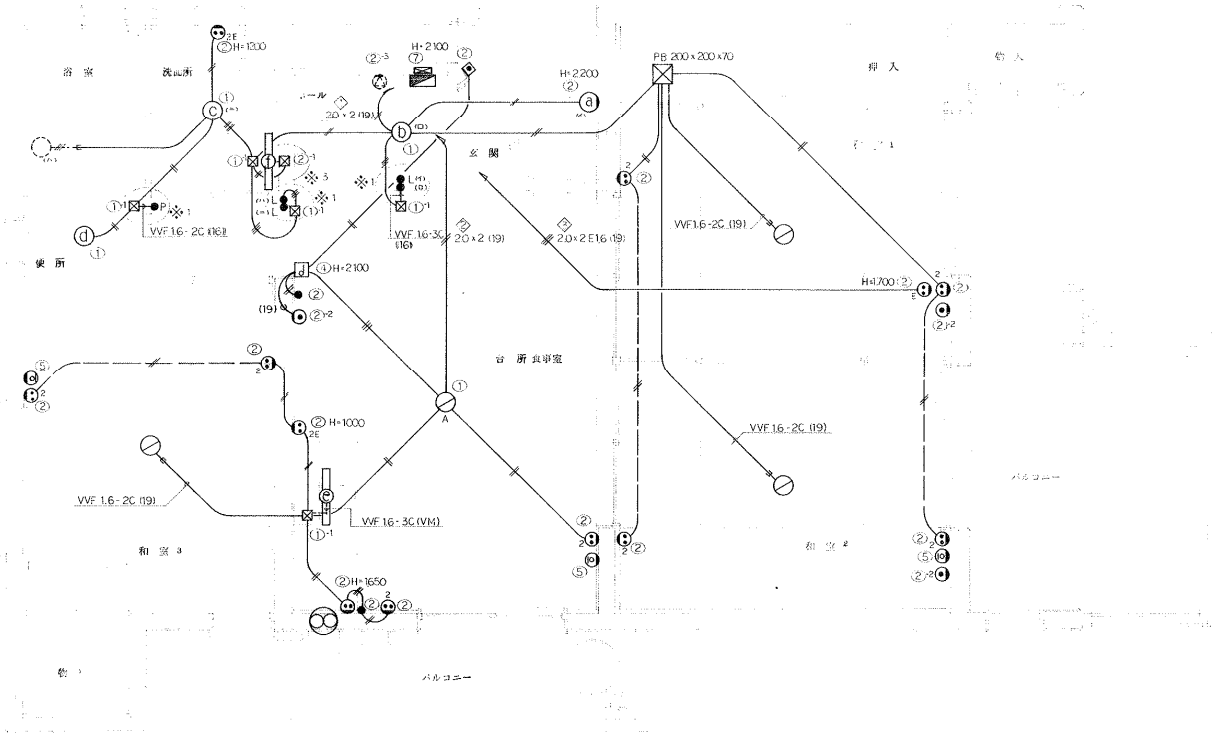
住戸分電盤 姿図及び結線図 （キャビネットは合成樹脂製（自消性）とする。）


X
X
6450
玄関
便所
ホール
和室3
和室1
和室2
台所兼居室
押入
バルコニー
PB 200×200×70
VVF 1.6-3C (16)
VVF 1.6-2C (16)
VVF 1.6-2C (19)
VVF 1.6-3C (VM)
20×2 (19)
20×2 E 1.6 (19)
H=2200
H=2100
H=1200
H=1000
H=1700
H=1650
2880
3480
3780
Y3
Y2
Y1
Y0

		図面番号 13/20


X
X
便所
物入
ホール
玄関
洋室3
浴室
洗面所
和室2
和室1
押入
バルコニー
VVF1.6-3C(VM)
VVF1.6-2C (19)
VVF1.6-2C (16)
2.0×2 (19)
2.0×2E16 (19)
PB 200×200×70
H=1650
H=1000
H=2100
H=2200
H=1200
H=2100
H=1700
2880
2880
3480
3780
3780
Y4
Y3
Y2
Y1
Y0

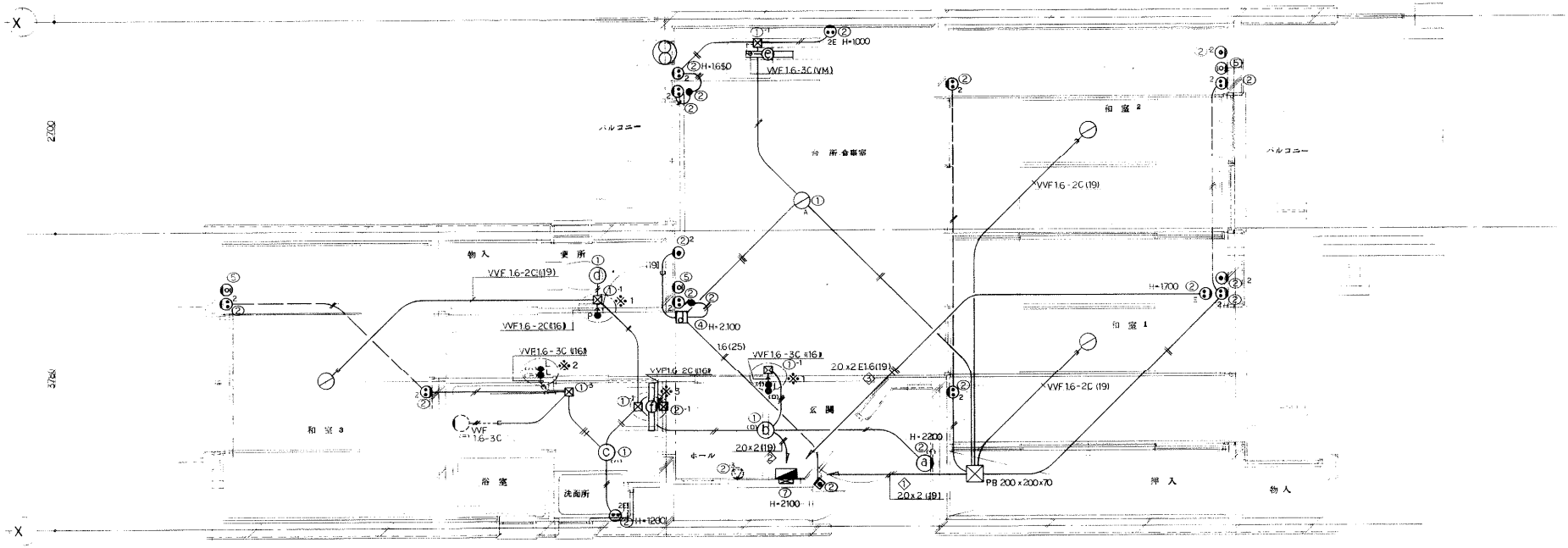
図面番号
14
20



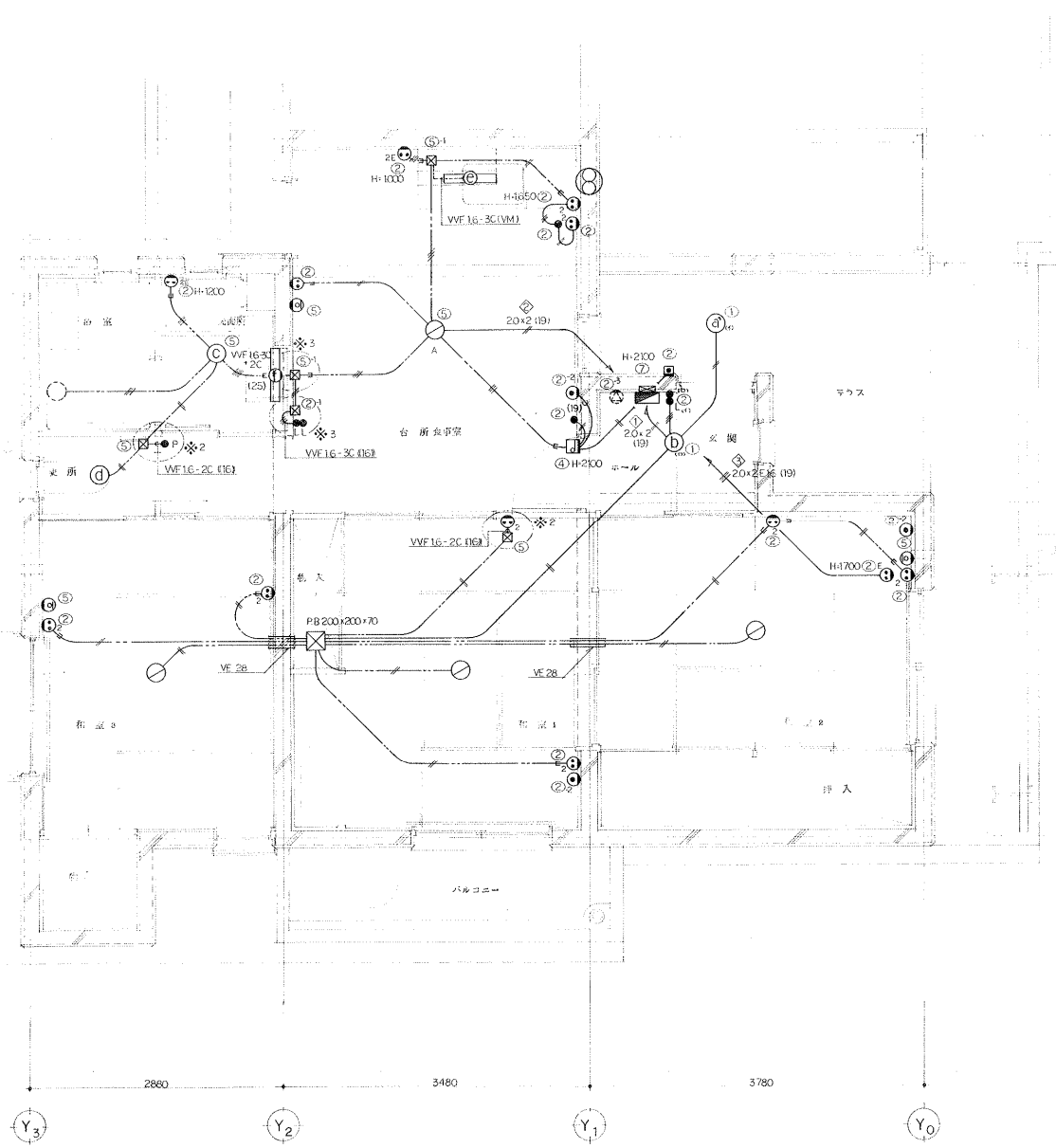
2880 3480 3780

Y3 Y2 Y1 Y0

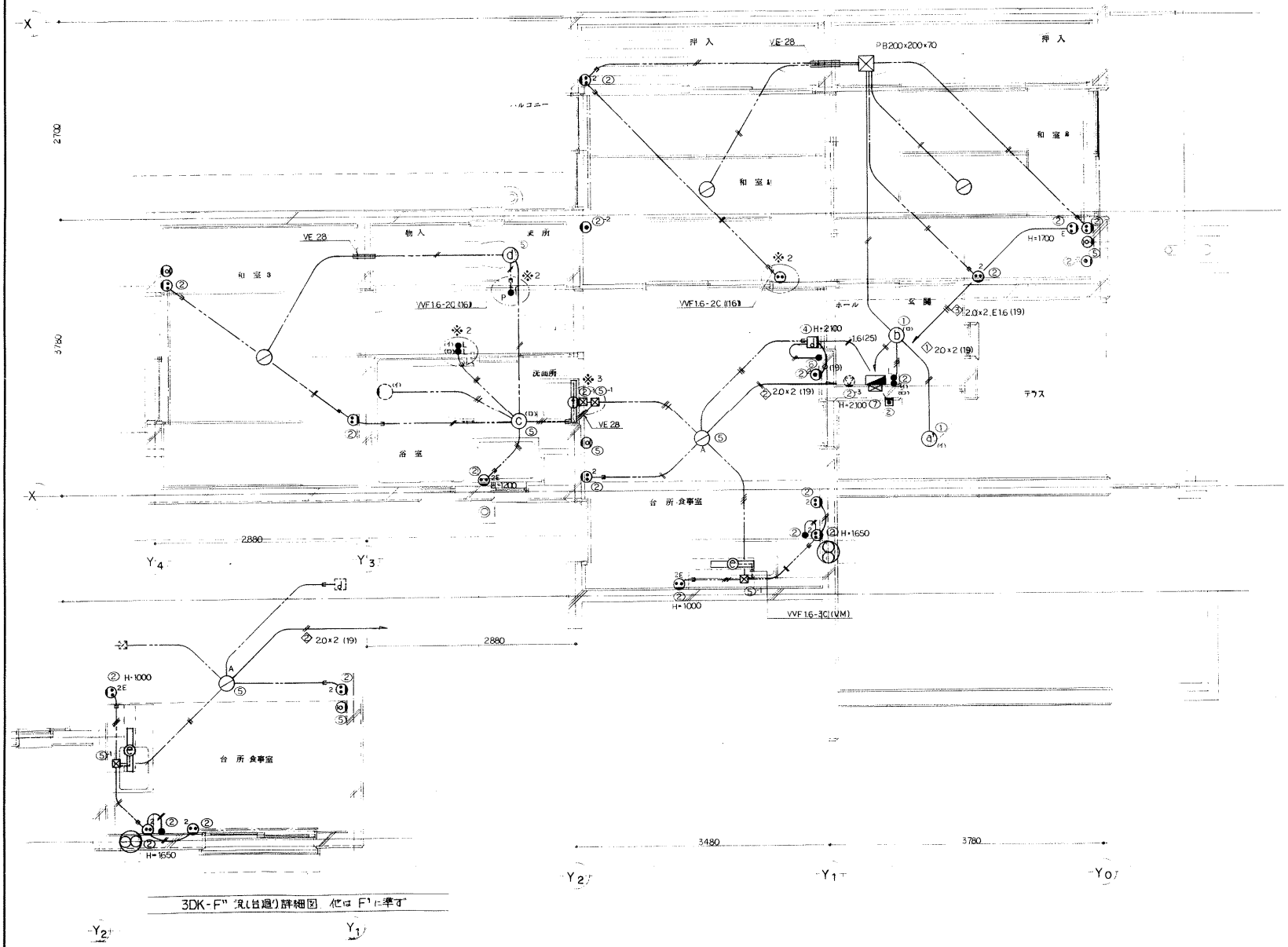
	図面番号 15/20


X
X
2700
3760
2E H+1000
H+1650
VVF 1.6-3C (VM)
バルコニー
浴 所 洗面室
和 室 2
バルコニー
VVF 1.6-2C (19)
物 入
便 所
VVF 1.6-2C (19)
H+1700
VVF 1.6-2C (16)
H+2100
1.6(25)
VVF 1.6-3C (16)
20×2 E1.6(19)
和 室 1
VVF 1.6-2C (19)
VVF 1.6-3C (16)
VVF 1.6-2C (16)
玄 関
和 室 3
VVF 1.6-3C
H+2200
20×2 (19)
ホール
浴 室
洗面所
PB 200×200×70
押 入
物 入
H+2100
2EH
H+1200
20×2 (19)
2880
2880
3480
3,780
Y4
Y3
Y2
Y1
Y0

図面番号
16
20

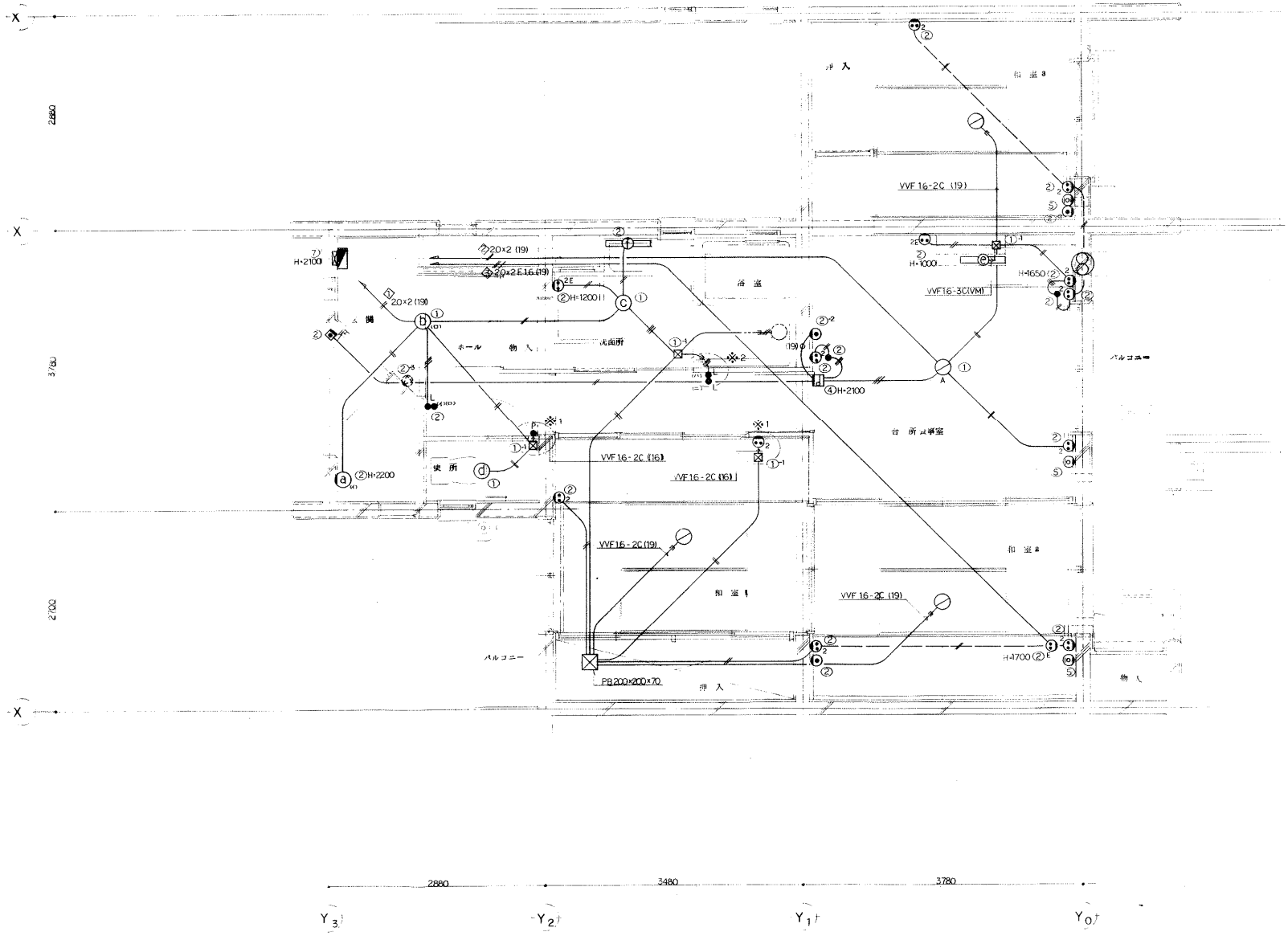

VVF 1.6 - 3C (VM)
H=1650
H=1000
H=1200
VVF 1.6-3C +2C
(25)
VVF 1.6 - 3C (16)
VVF 1.6 - 2C (16)
2.0×2 (19)
H=2100
2.0×2E (19)
H=1700
PB 200×200×70
VE 28
2880
3480
3780
Y3
Y2
Y1
Y0
X
玄関
ホール
台所食事室
洋室
収入
テラス
バルコニー

図面番号
17
20

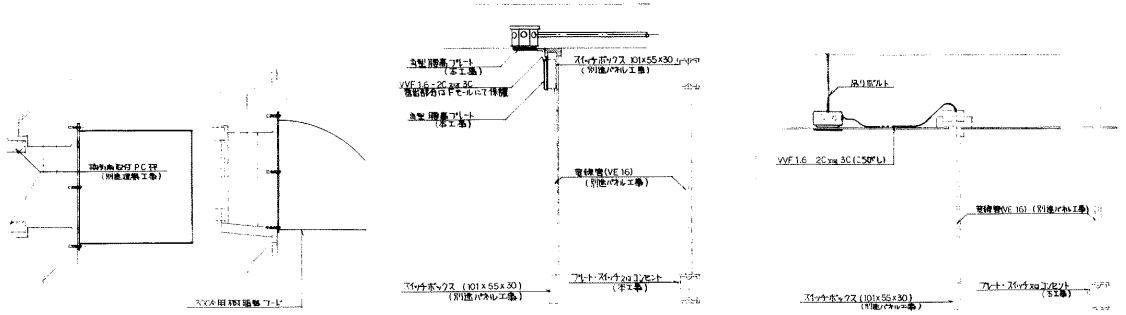


3DK-F" 汲(出退)詳細図 他は F' に準ず"

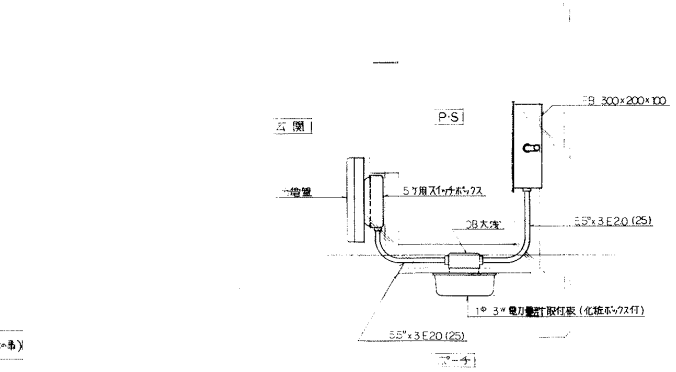
		図面番号
		18
		20


X
X
X
2880
3780
2700
2880
3480
3780
Y3
Y2
Y1
Y0
押 入
和 室3
VVF 1.6-2C (19)
H+1000
H+1650 (2)
VVF 1.6-3C(VM)
20×2 (19)
20×2 E 1.6 (19)
H+2100
(2)H+1200
浴 室
ホール
物 入
洗面所
(19)
④H+2100
バルコニー
台 所
食事室
VVF 1.6-2C (16)
VVF 1.6-2C (16)
便 所
(2)H+2200
VVF 1.6-2C (19)
和 室2
和 室1
VVF 1.6-2C (19)
バルコニー
PB 200×200×70
押 入
H+700 (2)
物 入

図面番号
19
20



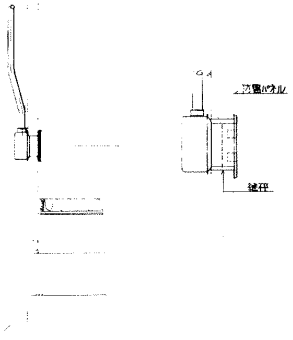
換気扇用フード 取付詳細図

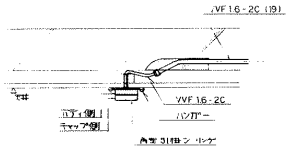


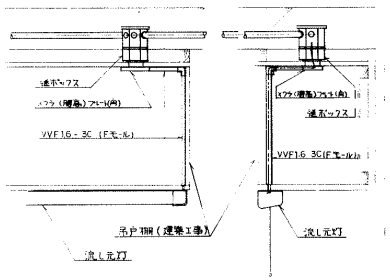
※1 パネル部分納り詳細図 (施工に際しては建築と十分打ち合せの事)

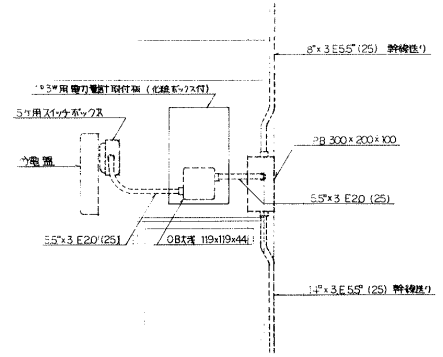
※2 パネル部分納り詳細図 (施工に際しては建築と十分打ち合せの事)

平面図







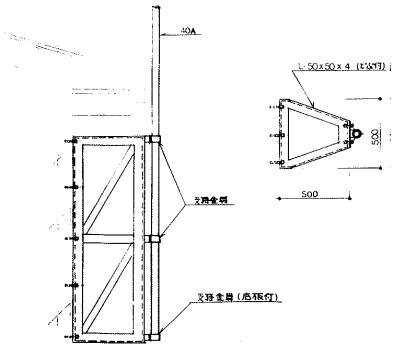


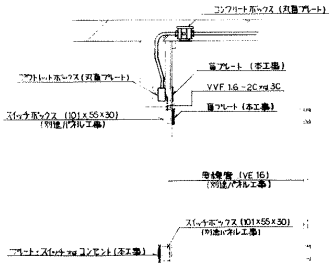
防雷壁部分配線器具納り詳細図

和室引掛シーリング納り詳細図

台所 流し元灯廻り詳細図

立面図





アンテナマスト 取付架台詳細図

※3 パネル部分納り詳細図

メーター廻り詳細図 1:10

図面番号
20
20

公営住宅１種中耐平和団地
８号棟 給排水衛生工事

図　面　目　録

図面番号	図　面　名　称	縮　尺
1	タイトル	
2	図面目録	
3	特記仕様書	
4	全体配置図．凡例	1：500
5	配置図．例リスト	1：300
6	系統図．器具表	
7	1～4階平面図	1：100
8	5．R階平面図	1：100
9	住戸　平面詳細図　3DK－B′－1	1：30
10	住戸　平面詳細図　3DK－A′－1	1：30
11	住戸　平面詳細図　3DK－D′－1	1：30
12	住戸　平面詳細図　3DK－J－1	1：30
13	住戸　平面詳細図　3DK－C′－1	1：30
14	住戸　平面詳細図　3DK－E′－1	1：30
15	住戸　平面詳細図　3DK－F′－1	1：30
16	便所廻り断面詳細図	1：10
17	洗面所廻り断面詳細図	1：10
18	浴室廻り断面詳細図	1：10
19	流し廻り断面詳細図	1：10
20	メーターボックス詳細図（1）	1：10
21	メーターボックス詳細図（2）	1：10
22	メーターボックス詳細図（3）	

図面番号	3

製図年月日	昭和 61 年 6 月 日
工事名称	公営住宅第 種中耐平和団地8号棟 給排水衛生工事
種別	特記仕様書
検印	課長 / 補佐 / 係長 / 設計

特記仕様書

給排水衛生工事	空気調和工事
◎ 衛生器具工事	○ 空気調和工事
◎ 給水工事	○ ボイラー及び付属機器
◎ ◎ 屋内給水	○ ◎ 冷凍機
◎ ◎ 屋外給水	○ ◎ 空気調和機器
◎ 排水工事（含通気）	○ ◎ 延 通
◎ ◎ 屋内排水	○ ◎ 配 管
◎ ◎ 屋外排水	○ ◎ 自動制御
○ 給湯工事	○ ◎ 総合調整
○ 消火工事	○ 換気工事
○ ○ 屋内消火	○ ○ 機 器
○ ○ 屋外消火	○ ○ 屋 通
◎ ガス工事	○ ◎ 排煙工事
◎ ◎ 屋内ガス	○ ◎ 機 器
◎ ◎ 屋外ガス	○ ◎ 延 通
○ 浄化槽工事	○
○ 厨房器具工事	● 運搬費
○	● 仮設費
○	● 諸経費

① 一般事項

1. 本工事は、本特記仕様書によるほか、建設大臣官房庁営繕部監修の機械設備工事共通仕様書（昭和60年版）又は、建設省住宅局監修の公共住宅建設工事共通仕様書（昭和57年版）（以下共通仕様書という）による。
2. 本工事の使用資材の品質、規格、規則等は本特記による。
3. 本工事に必要な工事申告、水及び諸手続等の費用はすべて請負業者の負担とする。
4. 施工計画書は、着工に先だち、当に定める様式により作成し、監督員に提出する。
5. 本工事に下記の当該職種別技能士を適用させる。（但し◎印のみ）{P－7　1.5.2}
（共仕・標図の参考表）
・配管技能士　・ダクト板金技能士
・熱絶縁施工技能士　・冷凍、空気調和機器施工技能士
6. 本工事で、特記事項に定める「官公庁検査を要する施工工程」に達するときは、事前に監督員に連絡して立会検査をしくは指示に従うこと。{P－7　1.5.4}
7. 設計図書に明記なくとも関連作り主または機器の機能上当然必要となるものについては、原則として請負金の範囲内で施工する。
8. 発生材の処置については、監督員の指示によること。
9. 本工事の施工に付う設置材の搬指搬出は従来にない強性する。

② 特記事項

区分	項目	特記事項
共通	1. 特殊な材料と工法	共通仕様書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は監督員の承認を得ること。 なお、特殊な材料による施工は当該製品の指定工法による。
	2. 建設工事との取合	壁面、天井面等に機器取付のため必要な開口部等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に明記のない場合は監督員の指示によること。
	3. 別契約の関係工事	別契約の関係工事については、当該工事関係者と協力し、工事の円滑な進ちょくを図るものとし、疑問点が生じたら監督員の指示によること。
	4. 施工過程における調整	工事現場進行の過程における調整については、支庁、土木事務所建築課長（又は担当建築技師）と充分に打合せを行い、指導を受けること。
	5. 完成図	設計図書を施工現場と一致するよう必要な訂正をした後、青写真に複写し B－5 版サイズに製本したもの学校2部、庁舎3部、および磁付マイラーベース（アセテート系）B－4版1部を提出する。訂正した原図は監督員に返納する。 完成図の提出期限は、工事契約期間の終了する日迄とする。{P－8　1.6.2}
	6. 試験成績書	都市ガス設備、液化石油ガス設備は、ガス供給事業者の規定するガス気密試験成績書を2部提出する。但当定検式による。その他の試験成績書は監督員の指示による。{P－7　1.5.6} {P－8　1.6.1}
	7. 申請書類	本工事の施工に必要な官公署等への申請書類は原本または、その写しを2部づつ作成し、完成図と一緒に提出する。{P－1　1.1.7}
	8. 保守指導業内容	本工事の機械設備について保守管理上必要な案内書を2ヶ所で着写にて2部作成し、完成図と一緒に提出する。
	9. 工事報告	工事報告は、別に定める工事出来高報告書により毎月末現在の出来高等を当月の25日までに監督員に提出する。
	10. 工事写真	完成写真は、工事完成時に撮影し、一部作成して工程写真と共に提出する。（写真はすべてカラーとする）施工された設備の全体をしくは一部が地中又は水中に埋没、埋没あるいはコンクリートに埋込まれる設備は写真で確認できる様にすること。なお、必要に応じスケール写し込みとする。{P－8　1.6.1}

Ⅲ 特記仕様（下記項目および特記事項中●印を付けたものを本工事に適用）

項目	特記事項

① 衛生器具設備　{P 79　2　1　1}

①	大便器用自動洗浄弁	○ハウエムブレーカー付フラッシュバルブ（ノンホールディング機構付）●ロータンク（防露型）洗浄管は固定。{P－46～114 / P－65}
②	小便器自動洗浄方式	○フラッシュバルブ　○ハイタンク　○水栓
③	暴示板	輪番製とし、取付は大便器および小便器各1組に1個とする。 （参）大便用A21L6．小便用A21L3（大人）．A21L9（生徒）
④	汚物入	プラスチック製とし、大便器1組に1個とする。
⑤	紙巻器	クロームメッキ製とする。{P－44}
⑥	水栓	原則として JIS 規格、JWWA 規格（日水協）適合品とし、節水こまとする。{P－45　1.1.3.}

② 屋内給水設備

①	給水方式	○公設水道直結式　●重力（高置水槽）方式　○圧力水槽方式　○加圧送水方式
②	管種	○水道用亜鉛鋼管　●塩ビライニング鋼管（◎黒●白）○内外面塩ビライニング鋼管（専用継手を使用）{P－67．P－83}
③	弁	水槽以降の配管には5kg/㎠型とし、その他は10kg/㎠型とする。（ＪＩＳ規格） 逆止弁は呼び径50以下の揚水ポンプ付属逆止弁もバイパス弁付きでよい。 呼び径65以上の仕切弁、逆止弁はライニング仕様とする。{P－71　1.7.2}
④	高置水槽	ＦＲＰ製（○一体型○組立型○単板構造○保温構造）設計用水平震度は1.0Gとする。2㎡以上は内外ハシゴ付。{P－82}
⑤	ポンプ電動機	全閉防まつ形とする。{P－39}
⑥	ボールタップフロート（定水位弁含む）	○銅板製　○ポリエチレン製{P－72}

③ 屋外給水設備

①	管種	○水道用亜鉛鋼管　○内外面塩ビライニング鋼管（専用継手を使用）　●ＨＩＶＰ　○ＳＧＰ－ＶＢ。{P－67．P－83}
②	継手材	専用継手としメジ部にコンパウンド、継手受口隙間に専用テープを使用すること。
③	仕切弁弁	呼び径32までは ＶＣ－１（180×180×550Ｈフタ Ｂ１），呼び径40～65までは ＶＣ－３（300×300×700Ｈフタ Ｂ２－Ａ）とする。呼び径80からは ＶＣ－５（450×450×1200Ｈフタ Ｂ２－Ｂ）とする。{図P－58．機材33 / 図P－59．機材34}
④	量水器	検針デジタル型　親メータ（○貸与　●買取り）　子メータ（●貸与　○買取り）
⑤	量水器弁	呼び径32までは ＭＣ－１（430×310×550Ｈフタ ＭＢ－１），呼び径40～75までは ＭＣ－２（710×510×750Ｈフタ ＭＢ－２）とする。呼び径100からは ＭＣ－３（1100×710×750Ｈフタ ＭＢ－３）とする。{図P61，機材36}
⑥	継手ジョイント	鋼管とビニル管の接続箇所には、エラス（又はフリー）ジョイントを使用する。

④ 屋内排水設備　{P 88}

①	汚水管	○排水用鋳鉄管（メカニカルジョイント型）　●硬質塩化ビニル管（ＶＰ）
②	雑排水管	●配管用炭素鋼ネ管（白）　●硬質塩化ビニル管（ＶＰ）
③	洗面器等の排水管	洗面器および浴器に直結する排水立管寸法は器具トラップよりワンサイズアップとする。
④	床上掃除口直下の曲管	汚水系統に取り付ける床上掃除口直下の曲管は90°長曲管とする。
⑤	器具との接続	鉛管、ＭＹジョイント接続とする。（浮食い、洗面器の配管接続はハンダ付とする） 流し等の排水接続は配管接続とする。（ジャバラは不可）
⑥	通気金物	●アルミ（耐蝕製）　●ビニル製
⑦	排水金物	ネジ込型（掃除口は差込型とする）

⑤ 屋外排水設備　{P 77}

①	管種	○ヒューム管（外圧１種Ｂ）　●硬質塩化ビニル管（●ＶＰ　○ＶＵ）　○ＨＩＶＰ　○陶型管
②	マンホール ふた	●鋳鉄製（●ＭＨＡ形，●ＭＨＢ形）　名称入り，蓋鎖付とする。
③	汚水・雑排水桝	既製コンクリート桝使用の。深さ1m以上の桝には足掛金物（巾＝150被覆付）を取り付けること。{図P64　機材39}

6. 給湯設備　{P 91．P 91}

①	管種	○銅管　○水道用亜鉛鋼管　○耐熱塩ビライニング鋼管（ＳＵＳ）　被覆銅管　○耐熱ビニル管
②	貯湯槽の材質	○ステンレス鋼板製（電気防食装置付）　○ステンレスクラッド鋼板製（電気防食装置付）　○鋼板製
③	断熱水槽の保温	ロックウール2号 50t．外装はステンレス鋼板（0.3ｔ）

7. 消火設備　{P 57．P 93}

①	管種	○配管用炭素鋼ネ管（白）　○外面ライニング鋼管（白）　○ＨＩＶＰ
②	屋内消火栓箱	ホース掛型とする。鋼製1＝1.6ｍ／ｍ断面積0.7㎡ 以上。但し連結送水管用放水口併設0.8㎡以上 操作方法表示付
③	弁	10kg/㎠型とする。（ＪＩＳ規格）　○仕型　○定圧定量型
④	ポンプ電動機	全閉防まつ型とし、出力11ＫＷ以上（スターデルタ起動）の場合は端子ボックス （参　200×200×100Ｈ）を取り付けること。

⑧ ガス設備　{P 191～201，図P 120．P 121}

①	種類	○都市ガス（発熱量　Kcal/㎥）　●液化石油ガス（プロパン）発熱量 12000 Kcal/kg
②	管種	●配管用炭素鋼ネ管（白）　○鋼管　●外面塩ビライニング鋼管（黒）
③	ガスメータ	●貸与品　○買取り
④	接合材	ガス専用接合材を使用すること。
⑤	継手材	専用継手としメジ部にコンパウンド、継手受口隙間に専用テープを使用すること。
⑥	転倒防止装	本工事に含む。
⑦	絶縁継手	外部から建物内への配管部に絶縁継手を設ける。
⑧	施工	有資格者の責任施工とする。

9. 屋探浄化槽設備　{P 207～218}

①	型式	建設省告示1292号に指定する構造とする。（　の　）
		処理対象人員（　　）人　処理水量（　　）㎥／日
	○ 単独処理	○分離接触ばっき方式　○分離ばっき方式　○散水濾床方式
	○ 合併処理	○嫌気ばっき方式　○散水濾床方式　○回転板接触方式　○長時間ばっき方式　○標準活性汚泥方式
②	マンホール ふた	○ＭＨＡ型　○ＭＨＢ型　○ＧＲＣ型　●鋳鉄（4.5ｔ）
③	放流水質（ＢＯＤ）	○30mg/ℓ　○60mg/ℓ　○30mg/ℓ　○他（　　）mg/ℓ
④	金物類	支持金物，ボルトナット，その他すべてステンレス鋼製とする。{P－215　2.1.24}
⑤	水質検査（合併処理）	浄化槽使用開始後6～8ヶ月内に1回放流水水質検査を行い報告書を監督員に提出する。 （浄化槽法第7条に基づく8項目＋大腸菌群数）

10. 暖房，冷房，空気調和，換気設備

1. 方式	○直接暖房　○蒸気　○温水 ○冷暖房　○空冷冷房専用　○空冷ヒートポンプ ○空気調和（　　）									
2. 設計条件		外気		室内						
				一般系統						
		湿度（DB）	湿度（RH）	湿度（DB）	湿度（RH）	湿度（DB）	湿度（RH）	湿度（DB）	湿度（RH）	
	夏季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	
	冬季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	
3. 機器付属の制御盤	共通仕様書第1編2.9.3による。 遠心冷凍機の主制御器は気中式とする。									
4. ボイラ	燃料（○灯油　○A重油　○B重油　○ガス）									
5. 燃焼温度計	○設ける。電動はバーナ電源（２次）側より取出すものとして配管配線を含む。{P－100　1.1.9}									
6. ばいじん量測定孔	○煙導の直線部に径150φの孔									
7. 煙道	鋼板厚3.2㎜{P－100　1.1.8}									
8. 風道	風速（○低速　○高速）{P－143～145}									
	フランジ部のダクト端折り返しは5㎜以上とし、ダクト折り返し部の四隅にはシールを施す。{P－161}									
	厨房，浴室などの多湿箇所の排気風道は、その経目及び継手を外面よりシール材でシールを施すか、又はねんだ付けし施し、必要により水抜管を設ける。{P－160～166}									
	◆シール材　　シリコンゴム系又はエトリルゴム系を基材としたもので、風道材質に悪影響を与えないものとする。{P－144 シール材}									
9. フレキシブルダクト	建築基準法施行令第108条の2の規定により、不燃材料の認定を受けたもので、十分な可撓性と耐圧強度及び耐食性を有するものとし、冷暖房に用いる場合は熱絶縁性の優れたものとする。{P－145　1.11.4}									
10. 風量測定口	取付箇所（○送風機に近接した部分　○外気取入付近　○取付を図示されたダンパー近接部分） ◆取付辺300未満は1個，300以上700未満は2個，700以上は3個とする。{P－148　1.11.17}									
11. チャンバー	内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外寸を示す。 外壁に面するガラリに直接取付けるチャンバー及びルーバーには，雪を設け最適りに排水する。{P－145　1.11.5}									
12. 防火ダンパー 防煙ダンパー 防火防煙ダンパー	共通仕様書によるほか下記による。 復帰方式（○連続式　○電動式，定格入力ＤＣ24Ｖ．0.5Ａ以下　○手元式） 操作方式（○瞬時通電式又は電動式，定格入力ＤＣ24Ｖ．0.5Ａ以下） 自動方式（○順送り自動機構　○同時開動機構） 表示用端子　○取付る ◆（財）日本建築センター評定品を使用する。{P－147}									
13. 配管材料	冷温水管（○配管用炭素鋼鋼管：白管　○　　） 冷却水管（○ライニング鋼管：ＶＡ　○　　） 蒸気管　配管用炭素鋼鋼管：黒管 油　管　配管用炭素鋼鋼管：黒管 冷媒管　銅管 膨張管，空気抜き管及び膨張タンクよりボイラへの給水管は，配管用炭素鋼鋼管（白管）とする。									
14. 可撓継手（鋼製フランジ付）	ステンレス製 一般配管用	管径	25以下	32～50	65～150	200以上	{P－73　1.7.9}			
		全長㎜	300	500	800	1000				
	ステンレス製 油配管用	管径	25以下	32～40	50～80		{P－151　1.12.10}			
		全長㎜	300	500	800					
	ゴム製	管径	40以下	50～60	100以上					
		全長㎜	300	500	700					
15. 防振継手	鋼製フランジ付・振動の出る機器については防振吊りを施すこと。{P 73　1.7.9}									
16. 弁類	ＪＩＳの呼び圧力5kg/㎠とする。ただし，特記部分はＪＩＳの呼び圧力10kg/㎠とする。 65Ａ以上の冷却水配管の弁は，ライニング弁とする。 屋内貯油槽及び油サービスタンクの最高液面以下に設ける元弁及びドレンバルブはＪＩＳ　Ｂ 2073（鋳鋼10kg/㎠ フランジ形外ねじ仕切弁）によるものとする。									
17. サービスタンクの油面計	ゲージ式（側圧式）{P－153　1.13.4}									
18. 多翼形送風機の基礎	○標準基礎　○防振基礎（Ａ形）　○防振基礎（Ｂ形）{P－158　図P－129～130 施工21～22}									
19. ポンプ基礎	○標準基礎　○防振基礎（Ａ形）　○防振基礎（Ｂ形）{P－155　図－128　施工20}									
20. 遠心冷凍機の基礎	○標準基礎　○防振基礎{図P－131　施工23}									
21. テラーユニットの基礎	○標準基礎（Ａ形）　○標準基礎（Ｂ形）　○防振基礎{図P－132　施工24}									
22. ユニット型空気調和機の基礎	○標準基礎（Ａ形）　○標準基礎（Ｂ形）　○防振基礎 {図P－132　施工24}									
23. パッケージ型空気調和機の基礎	○木台（防振パット共）　○コンクリート（防振パット共）									
24. 吹出口	アルミニウム製									
25. 温度計	共通仕様書によるほか，下記の箇所に取付ける。 ○温水ボイラの温水入口 ○空気調和機器の冷却水出口，還気風道及び外気風道 ○冷温水管寄せ（往）及び冷温水管寄せの各還り管									
26. 瞬間流量計及び流量測定口	共通仕様書によるほか，下記の箇所に取付ける。　○瞬間流量計　○流量測定口 冷凍機の冷水出口 ボイラ又は熱交換器の温水出口 冷温水管寄せの各還り管{P－148　1.11.17.} ◆測定用オッピングは32φピトー管流量計用とする。{P－154　1.13.7.}									
27. 膨張水槽の保温	ロックウール保温板（2号）50tを使用し，外装はステンレス鋼板0.3ｔとする。									
28. 暖気い風道の保温	フランジ部は保温材2枚重ねとする。									
29. パッケージ型空調機	屋外機カバー（○要　○不要）　材質はナイロンターポリン0.3ｔ1とする。 耐塩処理（○要　○不要） 三美電機＝離島仕様（但し屋外機鋼管樹脂系塗装処理），東芝＝重塩害仕様 ダイキン＝塩害対策形（Ｅ，型），松下＝重塩害対策仕様，日立＝耐塩標準品（但し，底板を樹脂系塗装処理），三菱重工＝中耐塩									

⑪ 各種試験，調整

給水設備	(1) 給水装置に設当する管は，水道事業者の規定圧力。ただし，最小鋼管175kg/㎠，ビニール管10kg/㎠とする。 (2) 揚水管は当該ポンプの全揚程に相当する圧力の2倍の圧力。（最小7.5kg/㎠） (3) 高置水槽以下の配管は，静水頭に相当する圧力の2倍の圧力。（最小7.5kg/㎠）{P－87　2.2.4}
消火設備	消防用設備等試験結果報告書の記入にあたって行う。消防用設備等の機能等についての試験基準に基づく外観試験及び性能試験を行う。{P－94　2.5.4}
給湯設備	給湯設備の試験に準ずる。
ガス設備	(1) 気密試験及び点火試験とする。（高圧側15.6kg/㎠，低圧側840㎜Ｈ2Ｏ）{P－197　2.2.5}
	(2) 点火試験は，ガスメーター取り付後，管内の空気を除去して行う。{P－201　3.2.5}
総合調整	各種機器調整及び風量，風速，騒音，温度，湿度の測定等。

⑫ 保温工事　{P20～38}

種別 ＼ 保温の厚さ 単位：㎜	呼び径	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	以上	保温材仕様	区分
給水・排水・消火及び通気管					20												フォーム内ポリン	ア
給湯管（断熱管含）				20					25		40		50				グラスウール	イ
冷温水（断熱管含）		30				40							50				グラスウール	ウ
冷水管		30				40							50				フォームポリスチレン	エ
温水管（断熱管含）			20				25		40		50						グラスウール	オ
蒸気管		25		30			40				50						グラスウール	カ
一般風道		屋内露出部50　屋内隠ぺい部25															グラスウール	キ
冷媒管		20															ロックウール	ク

施工箇所及び管種用途 ＼ 防露保温等施工種別		保温（下地含む）材	粘着テープ巻(25)	ポリフィルム	アスファルトフェルト	アルミ・ガラスクロスアルミはく	鋼板	原紙	ビニルテープ	綿布	アルミ・ガラスクロス	防水麻布	ステンレス鋼板	塩ビ（下地含む）鋼板	プライマー	保温材仕様区分
屋内露出	給水・消火管	筒	○					○		○				○		ア
	排水管	筒	○					○		○				○		ア
	給湯管	筒						○		○				○		イ
	冷温水管	筒		○	○			○		○				○		ウ
	冷水管	筒						○		○				○		エ
	温水管	筒						○		○				○		オ
	蒸気管	筒						○		○				○		カ
	冷媒管	筒						○		○				○		ク
	矩形風道	板												○注2		キ
	円形風道	筒												○注2		キ
屋内隠ぺい	給水・消火管	筒	○						○							ア
	排水管	筒							○							ア
	給湯管	筒						○			○					イ
	冷温水管	筒		○	○			○			○					ウ
	冷水管	筒						○			○					エ
	温水管	筒						○			○					オ
	蒸気管	筒						○			○					カ
	冷媒管	筒						○			○					ク
	矩形風道	板	○								○					キ
	円形風道	筒	○					○			○					キ
床下及び暗渠内	給水・排水管	筒	○					○						○	○	ア
	トレンチ・ピット内の排水管	筒	○					○						○	○	ア
	給湯管	筒						○	○					○	○	イ
	冷温水管	筒		○	○			○	○					○	○	ウ
	冷水管	筒						○	○					○	○	エ
	温水管	筒						○	○					○	○	オ
	蒸気管	筒						○	○					○	○	カ
	冷媒管	筒						○	○					○	○	ク
屋外露出及び多湿箇所	給水・消火管	筒	○					○		○				○		ア
	排水管	筒						○						○		ア
	給湯管	筒						○		○				○		イ
	冷温水管	筒		○				○		○				○		ウ
	冷水管	筒						○		○				○		エ
	温水管	筒						○		○				○		オ
	蒸気管	筒						○		○				○		カ
	冷媒管	筒						○		○				○		ク
	矩形風道	板						○						○		キ
	円形風道	筒						○						○		キ

参考）冷媒管の防露・保温要領



注）1 屋外露出の外装材には、保温内に水の浸入しないよう必要に応じてシールする。
2 屋内露出風道のステンレス鋼板は垂直鋼板又は着色亜鉛鋼板に統合変える。
但し、各種機械室の仕上げはアルミガラスクロスに金網押えとする。
3 冷水管の保温筒の継目は接着剤で貼合す。

参）保温カバー（チューブ）

発泡ポリエチレン又は架橋ポリプロピレン製	軟質塩ビフィルム被覆、接着剤付
厚さ7.0～100㎜	板又は着色亜鉛鋼板に統合変える。
耐熱温度　120℃	但し、各種機械室の仕上げはアルミガラスクロスに金網押えとする。
ガス管　〃　80℃	

成形に支障がある場合はロックウール保温材を成形補助材として使用する。

⑬ 共通事項

①	機材	使用機材は、九州地方建設局営繕部設備機材製造者等指定名簿（最新版）記載品、または同等品以上のものとする。
②	防火区画貫通部	区画貫通の管幅は、建築基準法に従い施工する。なお、その際の保温材・充填材は全てロックウールとし、共通仕様書に準じ施工する。{P－85　2.2.3(6)}
③	建物導入部の配管	管のたわみ性を利用した方法で施工する。{P－65　2.2.3(6)　P－196(9)　図P－149}
④	標識その他	機器類・弁類・保守上具及び配管等には適宜その名称、内容及び矢印等を記入、もしくはプラスチック製札に刻印したものを指示により取付ける。必要に応じ、消防法などによる標識（危険物・火気厳禁他）を設置する。{P－9　1.6.3　1.6.4}
⑤	配管用のスリーブ	原則として、垂直鋼板製とする。{P－74　1.7.13.}
⑥	防食コア	内面をライニングした管の使用にあっては、必ず管端に防食コアを装着する。
⑦	支持金物類	屋外、ピット内及び多湿箇所の支持金物類はステンレス鋼製とする。
⑧	はぜ折り	ラッキングにはボタンパンチスナップはぜとする。ダクトのはぜ折りのはＳ㎜以上とする。
⑨	弁	呼び径65以上の弁は外ネジ式とする。{P－71　1.7.2}
⑩	屋外集出の弁類	防露・保温の上ステンレス鋼板による外装を施し、弁棒はグリスアップする。
⑪	専用工具の使用	外面被覆鋼管の施工にあたっては、専用工具を使用する。{P－83　(4)}
⑫	器具類の隔関処理	洗面器等の取付壁面との隙間はシリコン材でシールする。{P－79　(5)}
⑬	鉛管及びコンクリート埋設鋼管	防食用ビニルテープで1／2重ね2回巻を行なう。{P－18　(5)　P－26　7.}
⑭	土中埋設鋼管継手	外装を被覆していない鋼管は、ペトロタム系ペーストを塗布のうえ、ペトロタム系防食テープ（ＪＩＳＺ1901厚さ0.4㎜）1／2重ね1回巻を行ない、さらに防食用ビニルテープ（ＪＩＳＺ1901厚さ0.4㎜）1／2重ね1回巻を行う。但し、弁、継手等の部分はペトロタム系防食シートで包み込み、さらに防食用ビニルテープを巻く。（施工手順を図形の上　工程写真に表わす）{P－18　(4)}
⑮	埋設管の導示テープ	下記の埋設管には、管頂部全長にわたって、粘着剤付標示テープを貼り付ける。 直結給水管（市水本管接続部）　<緑色>　給水管（水槽以降）　<空色> 揚水管（受水槽～高架水槽間）　<茶色>　井水管　<白色> 消火管　<橙色>　ガス管　<緑色>
⑯	埋設標	原則として、土中埋設のガス管、給水管及び消火管の分岐曲り部にはアルミ製表示板をコンクリート（200φ×300Ｈ）で巻込み、配管とステンレス線で緊結の上設置する。{P－86　(6)　P 196(4)}
⑰	既製コンクリート桝	厚さ100㎜とする。但し、点検用桝及び300□ほか600㎜□可。

図面番号	



凡例

記号	名称	仕様
——・——	給水管	土埋設 — 耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP) 土被以外 — 塩化ビニルライニング鋼管(白)
——G——	ガス管	土埋設 — 外面ライニング鋼管(黒) 土被以外 — 配管用炭素鋼々管(白)
——◁——	污水管	硬質塩化ビニル管(VP)
——	雑排水管	屋内主管 — 配管用炭素鋼々管(白) 屋内一般 〃 〃 〃 (〃) 土被以外 — 硬質塩化ビニル管(VP)
- - - -	通気管	硬質塩化ビニル管(VP)
——⋈——	仕切弁	JIS 5kg/cm²

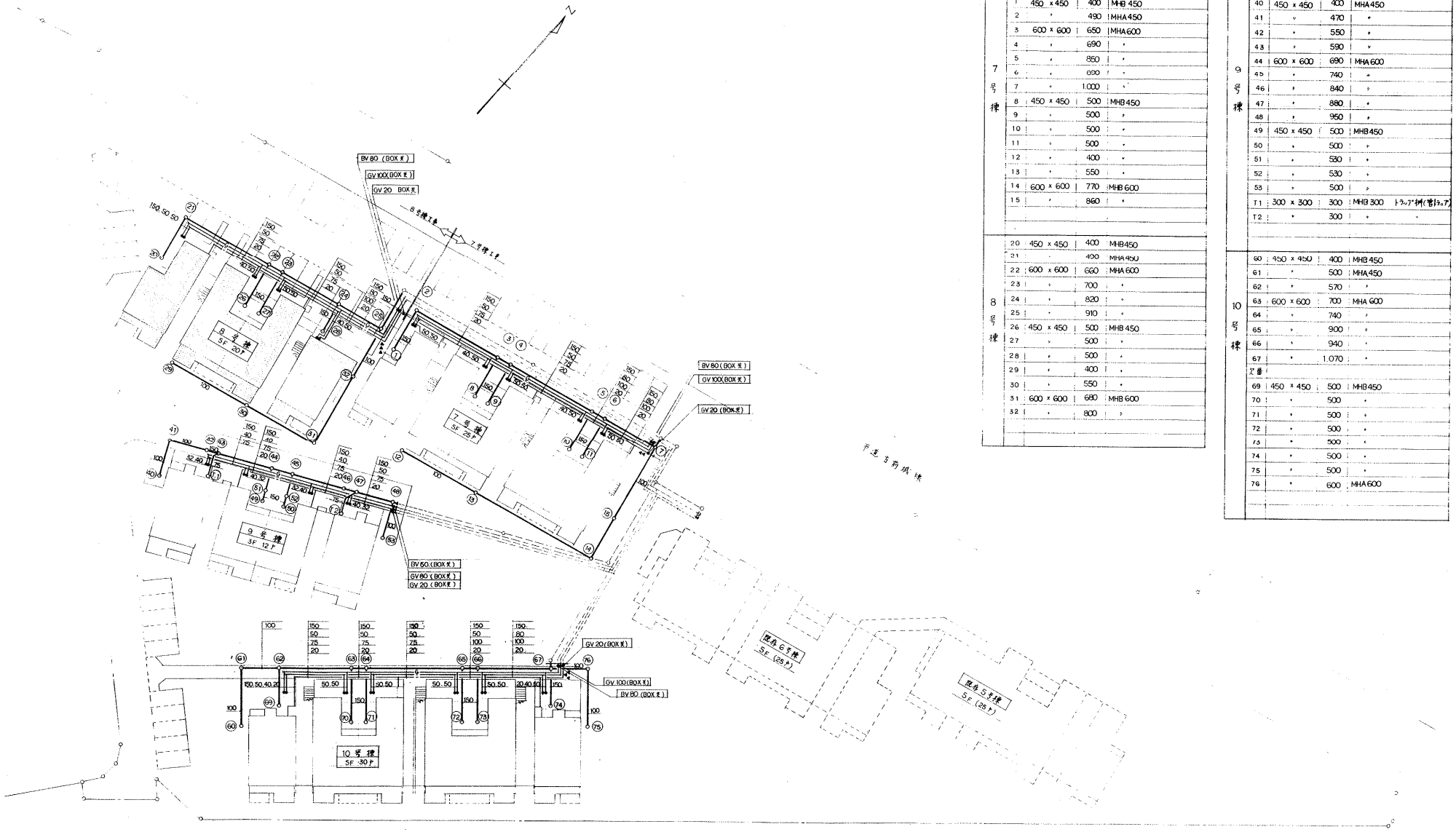
附近見取図 1:10,000

防蝕塗装工事

管種	区分	仕様
給水管(鋼管)	PS内ボンベ室内	合成樹脂調合ペイント2回塗
	インペイ	特記仕様書による
	立上し・埋設用	保温カバー
	コンクリート内・流し墓	防蝕テープ 1/2重ね 2回巻
	1Fピット内	防錆 特記仕様書による
排水管(鋼管類)	床転し・インペイ	保温カバー
	流し墓 PS内	
	土中・コンクリート内	防蝕テープ 1/2重ね 2回巻
	1Fピット内	防錆 特記仕様書による(ビニル管共)
(ビニル管)	床転し・インペイ	ライト保温カバー シルバー保温テープ
	屋内露出	塗装のみ
	流し内	防錆・塗装不要
	屋外露出	塗装のみ
通気管(鋼管ビニル管)	屋内露出	塗装のみ
	屋外露出	
ガス管(鋼管)	流し墓:コンクリート内	防蝕テープ 1/2重ね2回巻
	浴室内:1Fピット内	
	PS内:天井インペイ	塗装不要
	メーター室内	塗装のみ

注)全体配置図の詳細については、各図号の配置図を参照すること

図面番号
4



桝 リ ス ト

号棟	桝NO.	大きさ	参考深さ	マンホール 名 備考
7号棟	1	450 x 450	400	MHB 450
	2	〃	490	MHA 450
	3	600 x 600	650	MHA 600
	4	〃	690	〃
	5	〃	850	〃
	6	〃	890	〃
	7	〃	1.000	〃
	8	450 x 450	500	MHB 450
	9	〃	500	〃
	10	〃	500	〃
	11	〃	500	〃
	12	〃	400	〃
	13	〃	550	〃
	14	600 x 600	770	MHB 600
	15	〃	860	〃
8号棟	20	450 x 450	400	MHB 450
	21	〃	490	MHA 450
	22	600 x 600	660	MHA 600
	23	〃	700	〃
	24	〃	820	〃
	25	〃	910	〃
	26	450 x 450	500	MHB 450
	27	〃	500	〃
	28	〃	500	〃
	29	〃	400	〃
	30	〃	550	〃
	31	600 x 600	680	MHB 600
	32	〃	800	〃

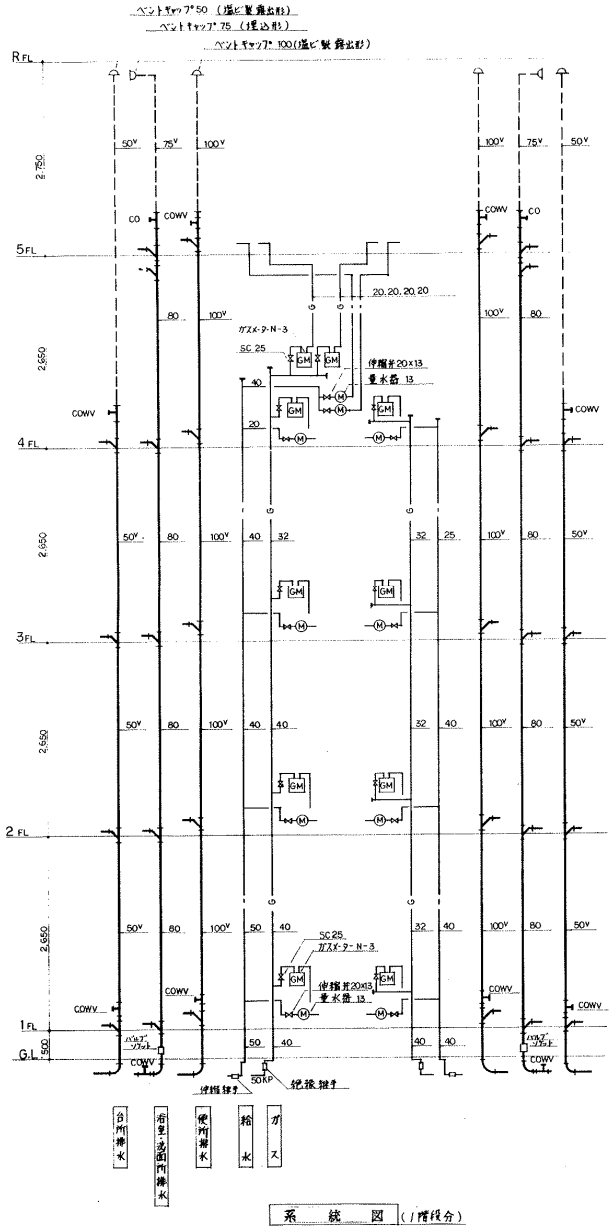
号棟	桝	大きさ	参考深さ	マンホール 名 備考
9号棟	40	450 x 450	400	MHA 450
	41	〃	470	〃
	42	〃	550	〃
	43	〃	590	〃
	44	600 x 600	690	MHA 600
	45	〃	740	〃
	46	〃	840	〃
	47	〃	880	〃
	48	〃	950	〃
	49	450 x 450	500	MHB 450
	50	〃	500	〃
	51	〃	530	〃
	52	〃	530	〃
	53	〃	500	〃
	T1	300 x 300	300	MHB 300 トラップ桝(雨水ヵ所)
	T2	〃	300	〃 〃
10号棟	60	450 x 450	400	MHB 450
	61	〃	500	MHA 450
	62	〃	570	〃
	63	600 x 600	700	MHA 600
	64	〃	740	〃
	65	〃	900	〃
	66	〃	940	〃
	67	〃	1.070	〃
	欠番			
	69	450 x 450	500	MHB 450
	70	〃	500	〃
	71	〃	500	〃
	72	〃	500	〃
	73	〃	500	〃
	74	〃	500	〃
	75	〃	500	〃
	76	〃	600	MHA 600

配置図 S=1:300

● は GV, BV を示し、名記なきは 別紙に従う

▲ は 汚水桝を示す

図面番号 5

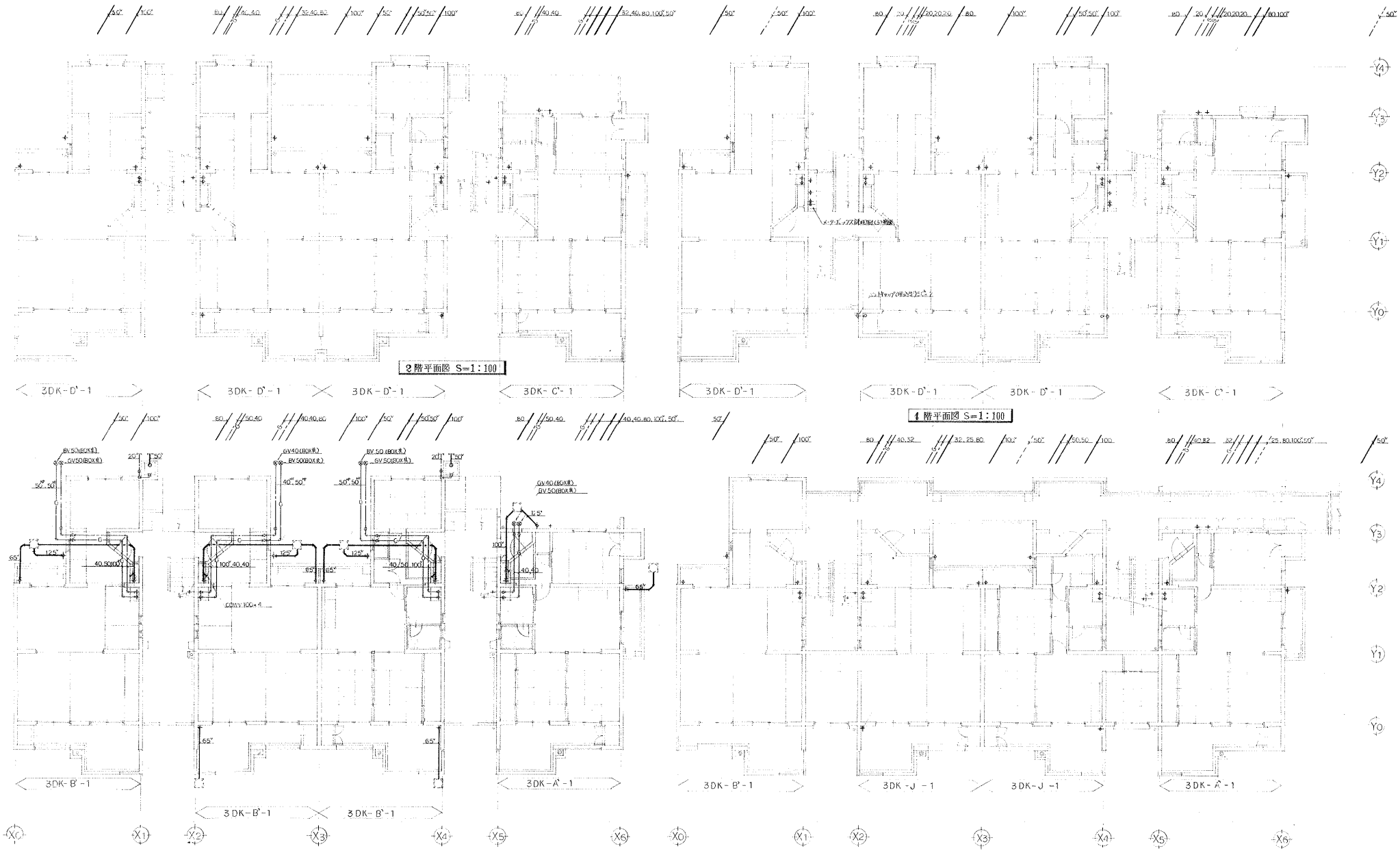


系統図 (1階段分)

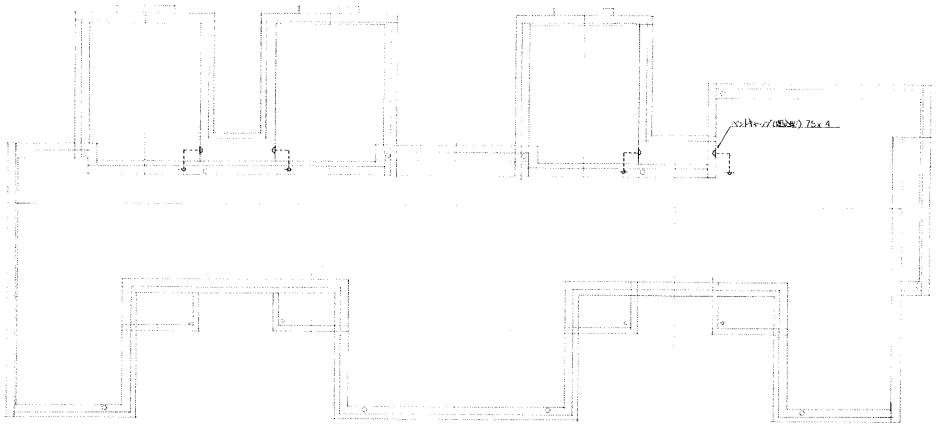
器具表

器具名称 型番	住戸数	7号棟 (25戸) 3DK B-2	3DK D-2	2DK F-2	3DK J-2	3DK F'-2	3DK F"-2	合計	8号棟 (20戸) 3DK B-1	3DK A-1	3DK D-1	3DK J-1	3DK C-1	3DK E-1	3DK F-1	合計	
洋風便器 BL 製品		1	5	10	3	2	4	1	25	4	2	6	2	2	1	3	20	節水型・露出ロータンク(防露)手洗付
洗面器 VL 630		1	5	10	3	2	4	1	25	4	2	6	2	2	1	3	20	Sトラップ 止水栓(アングル型 ブレード)
洗濯機パン 900×640×85H		1	5	10	3	2	4	1	25	4	2	6	2	2	1	3	20	横引トラップ 止め金具付
自在水栓 T30AR 13		1	5	10	3	2	4	1	25	4	2	6	2	2	1	3	20	浴室
〃 T31S13 ②TN52A13		1	5	10	3	2	4	1	25	4	2	6	2	2	1	3	20	台所
万能ホーム水栓 T200BS 13		1	5	10	3	2	4	1	25	4	2	6	2	2	1	3	20	洗濯機パン用
アングル形止水栓 T4A		1	5	10	3	2	4	1	25	4	2	6	2	2	1	3	20	浴室バランス釜用
クロムメッキアラブ 15A		1	5	10	3	2	4	1	25	4	2	6	2	2	1	3	20	台所湯沸器用(W文字入)
〃 15A		1	5	10	3	2	4	1	25	4	2	6	2	2	1	3	20	〃 (G文字入)
ヒューズホースコック L 185 (Y型)		1	5	10	3	2	4	1	25	4	2	6	2	2	1	3	20	台所レンヂ用
ヒューズコンセントコック L 194 (LA型)		1	5	10	3	2	4	1	25	4	2	6	2	2	1	3	20	〃 炊飯器用
可とう管コック N 144A (L型)		1	5	10	3	2	4	1	25	4	2	6	2	2	1	3	20	浴室バランス釜用
量水器 13mm (貸与品)		1	5	10	3	2	4	1	25	4	2	6	2	2	1	3	20	
伸縮管 20×13		1	5	10	3	2	4	1	25	4	2	6	2	2	1	3	20	
									25	4	2	6	2	2	1	3	~~20~~	
ガスメーター N-3 (貸与品)		1	5	10	3	2	4	1	25	4	2	6	2	2	1	3	20	
サービスコック SC 25		1	5	10	3	2	4	1	25	4	2	6	2	2	1	3	20	ロック装置付
キー付胴長ホーム水栓 T200BCS13									3								2	足洗場
排水目皿 50A									3								2	〃

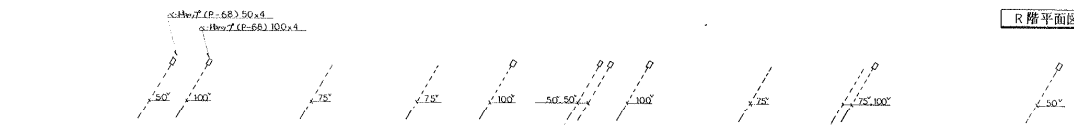
図面番号 6

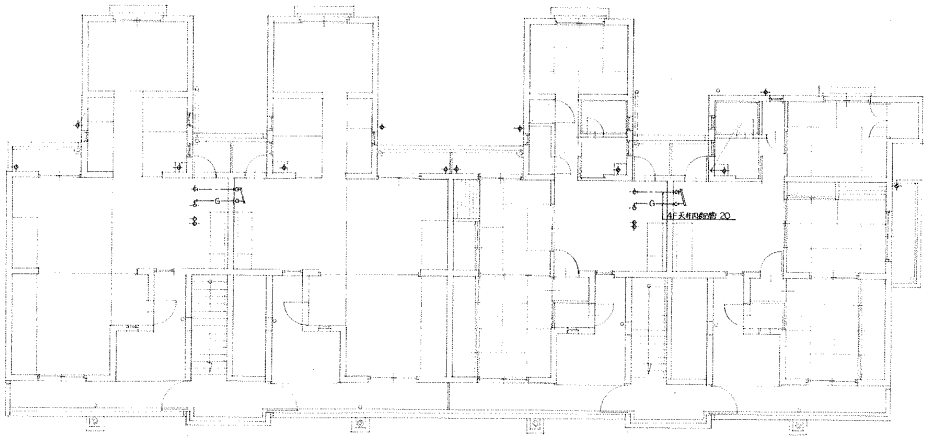

2階平面図 S=1:100
4階平面図 S=1:100
1階平面図 S=1:100
はピットを示す
3階平面図 S=1:100
3DK-D'-1
3DK-C'-1
3DK-B'-1
3DK-A'-1
3DK-J'-1
Y4
Y3
Y2
Y1
Y0
X0
X1
X2
X3
X4
X5
X6

図面番号
7



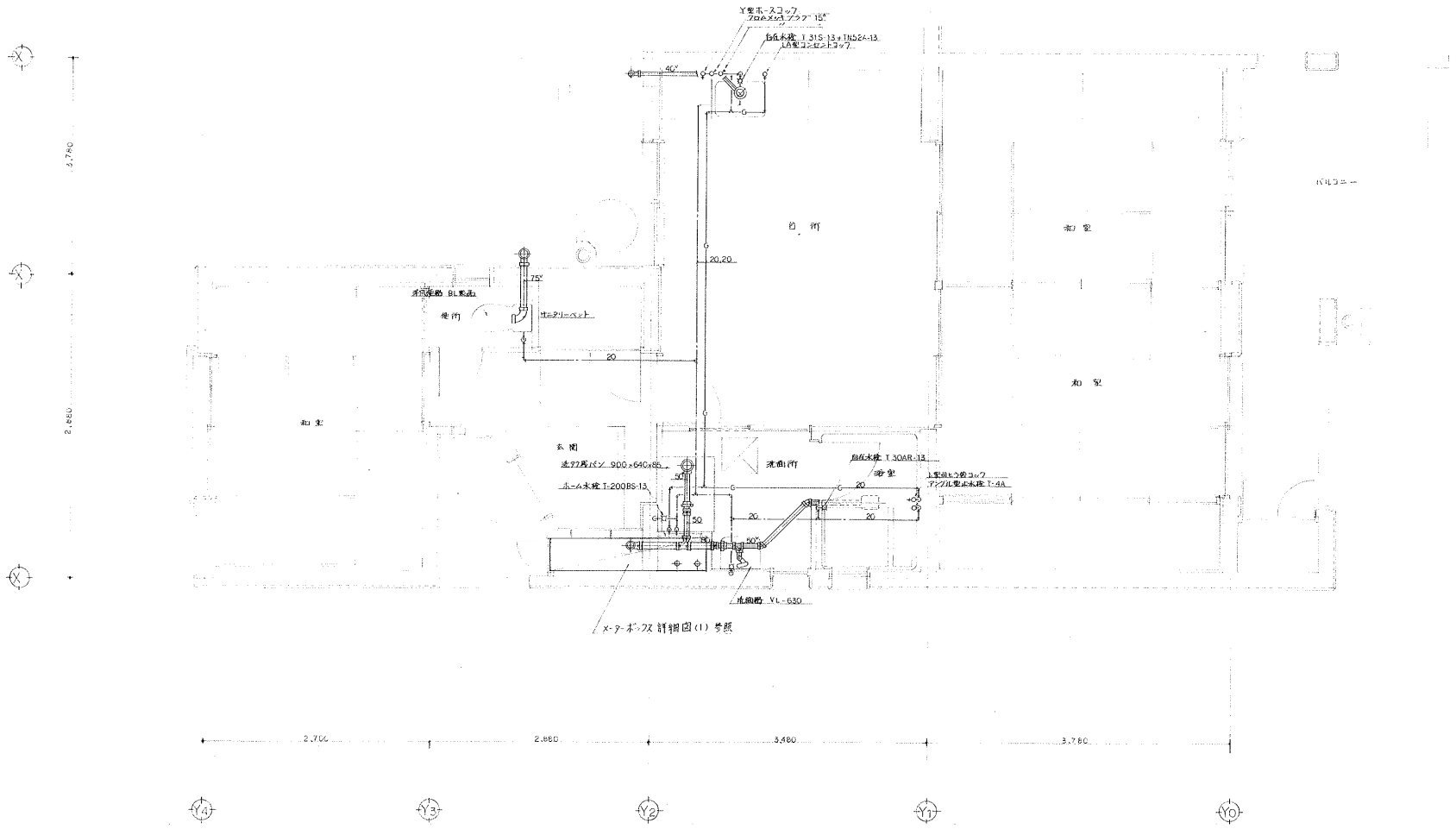
R階平面図 S=1:100



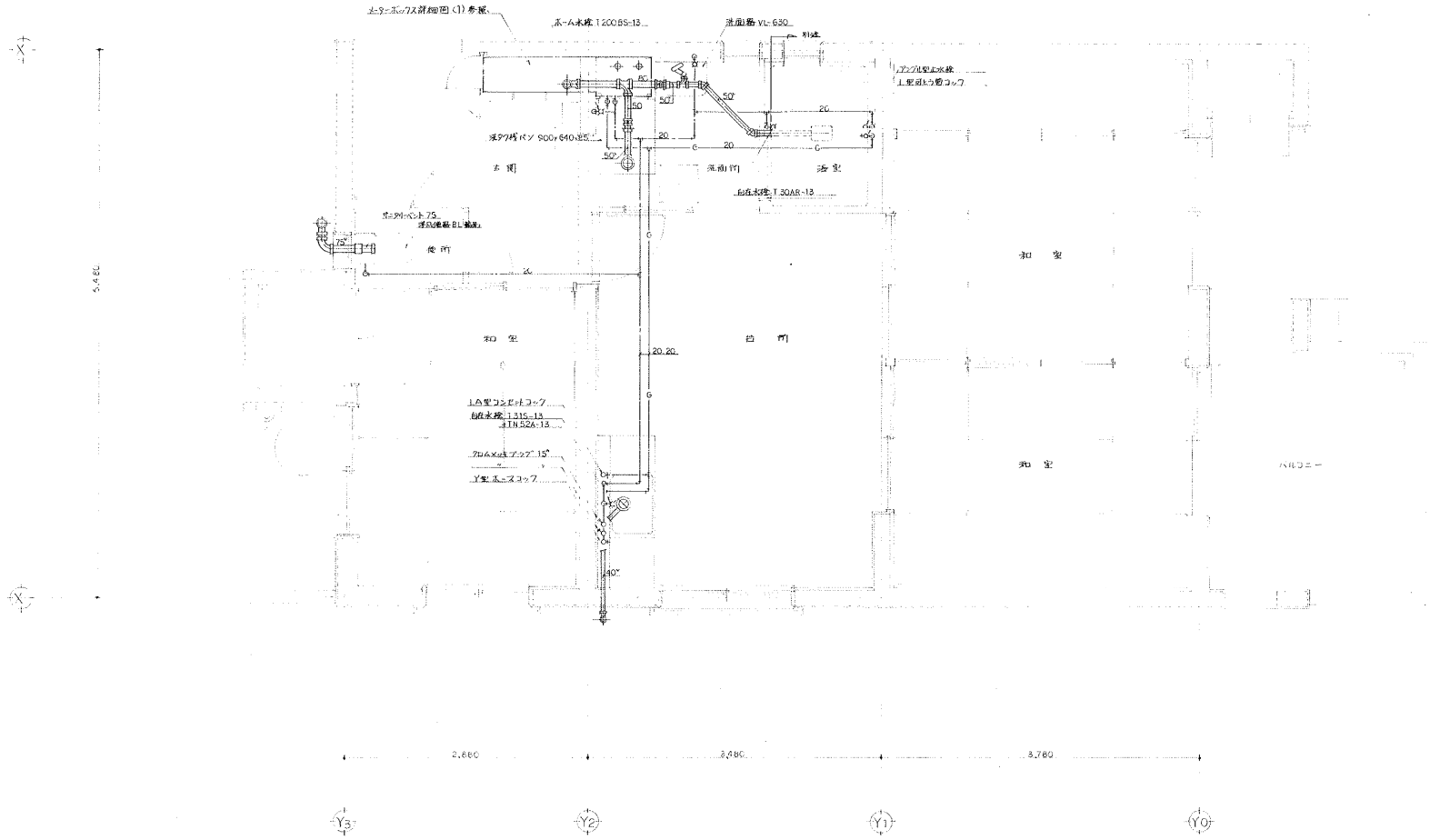


5階平面図 S=1:100

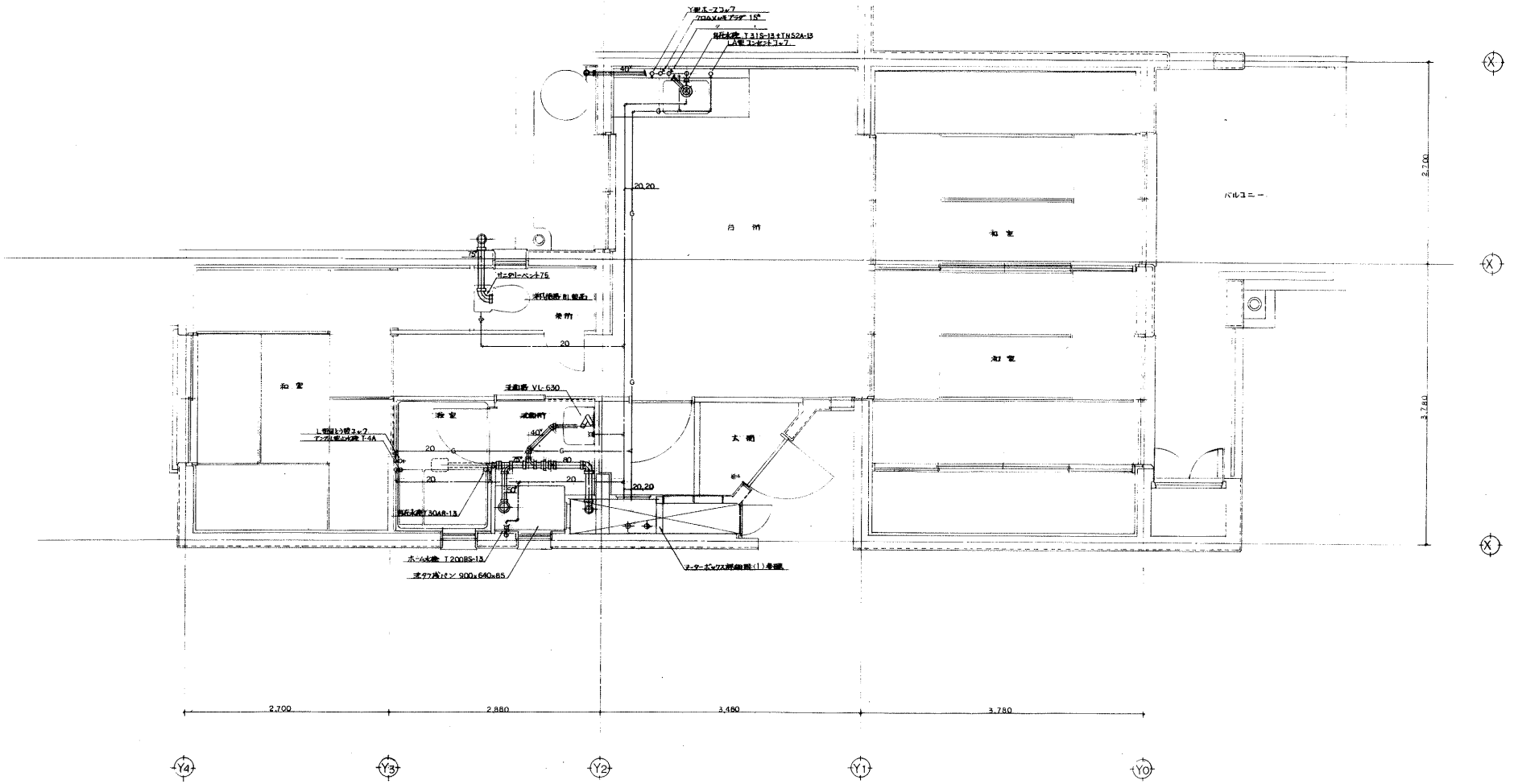
図面番号
8


Y型ホースコック
750Aメスアダプター15A
自在水栓 T31S-13+TN52A-13
LA型コンセントコック
40A
20,20
75A
洗濯機 BL乗込
便所
サニタリーベント
20
和室
浴室
和室
和室
バルコニー
玄関
逃げ勾配パン 900×640×85
ホーム水栓 T-200BS-13
50
50
20
20
20
50A
自在水栓 T30AR-13
上室頭ヒゆう形コック
アングル型水栓 T-4A
床面積 VL-630
メーターボックス 詳細図(1) 参照
2,760
2,860
2,700
2,880
3,480
3,780
Y4
Y3
Y2
Y1
Y0
X
X

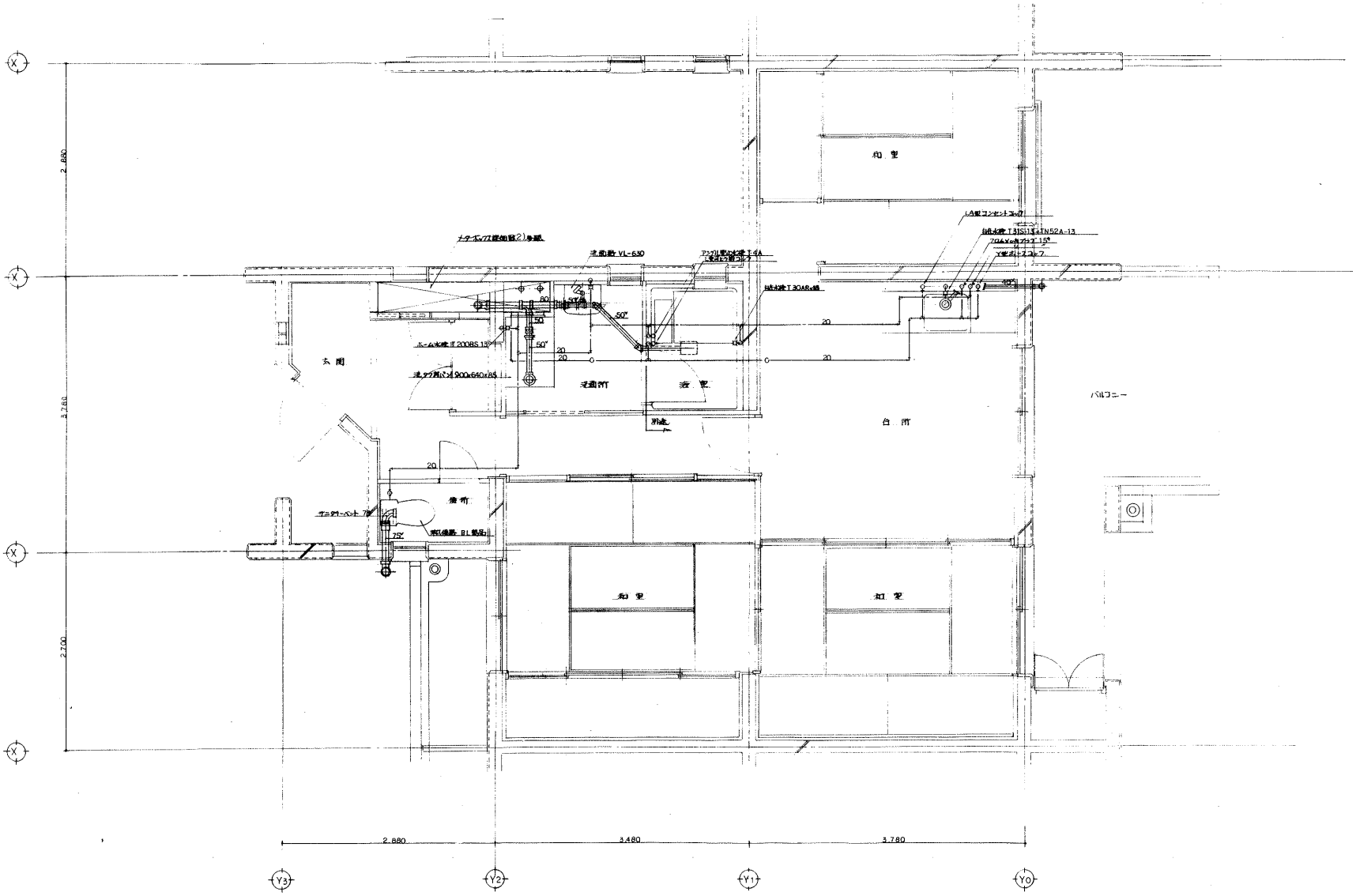
		図面番号 9


ヒーターボックス詳細図(1)参照
ホーム水栓 T200BS-13
洗面器 VL-630
排水
ダブル型定水栓
上型引上げ栓コック
洗濯パン 900×640×325
お 風
洗面所
浴 室
台所水栓 T30AR-13
ヒートベント75
洗面化粧台 BL-幅広
便 所
和 室
台 所
和 室
和 室
バルコニー
1ハ型コンビネコック
台所水栓 T315-13
+TN52A-13
クロスヘッドコック 15A
〃
Y型ホースコック
5,460
2,880
3,680
3,780
Y3
Y2
Y1
Y0

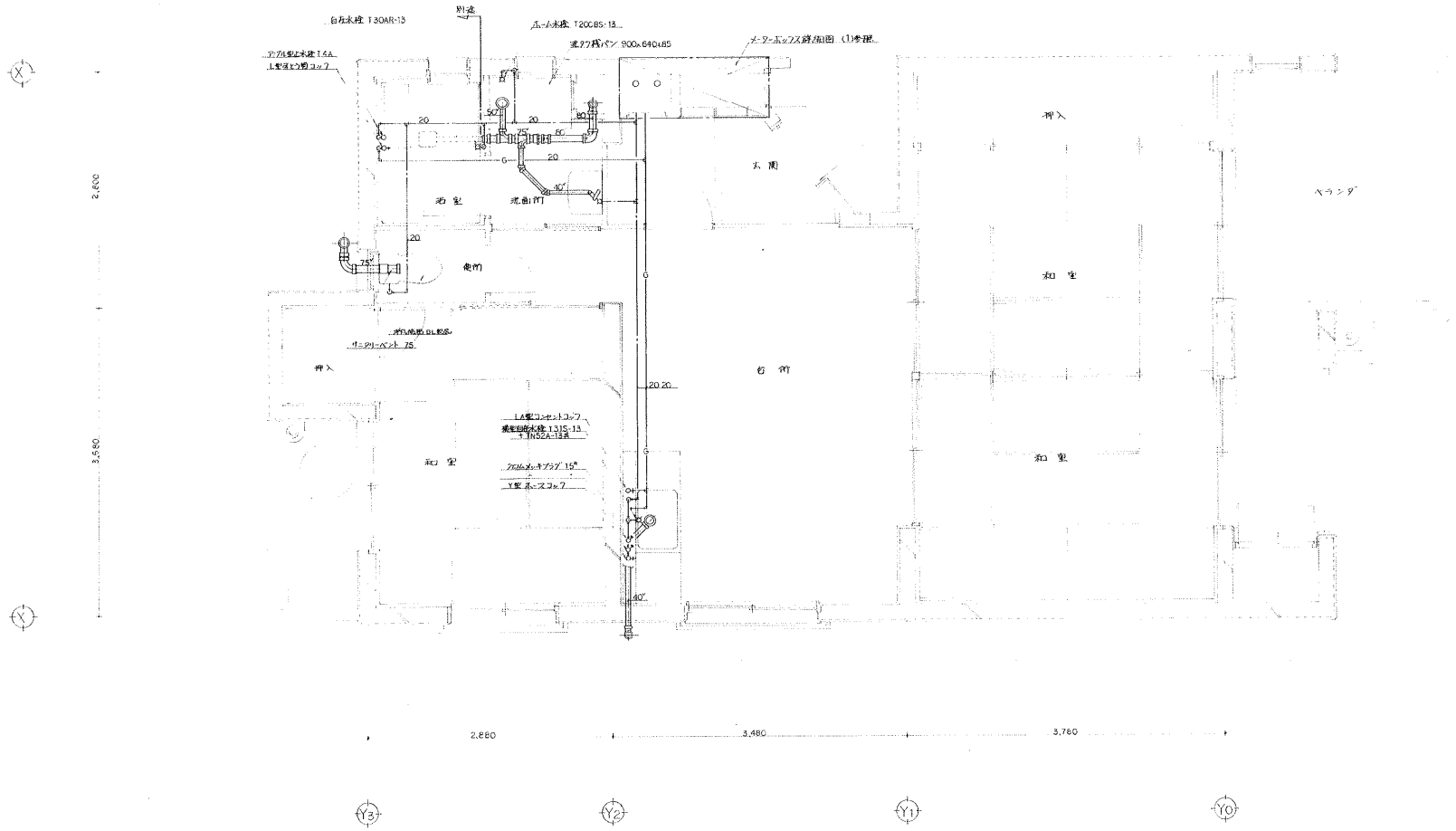
	図面番号 10


台所
和室
和室
和室
バルコニー
玄関
洗面
浴室
収納
2,700
2,880
3,460
3,780
2,100
3,240
Y4
Y3
Y2
Y1
Y0
X
X
X

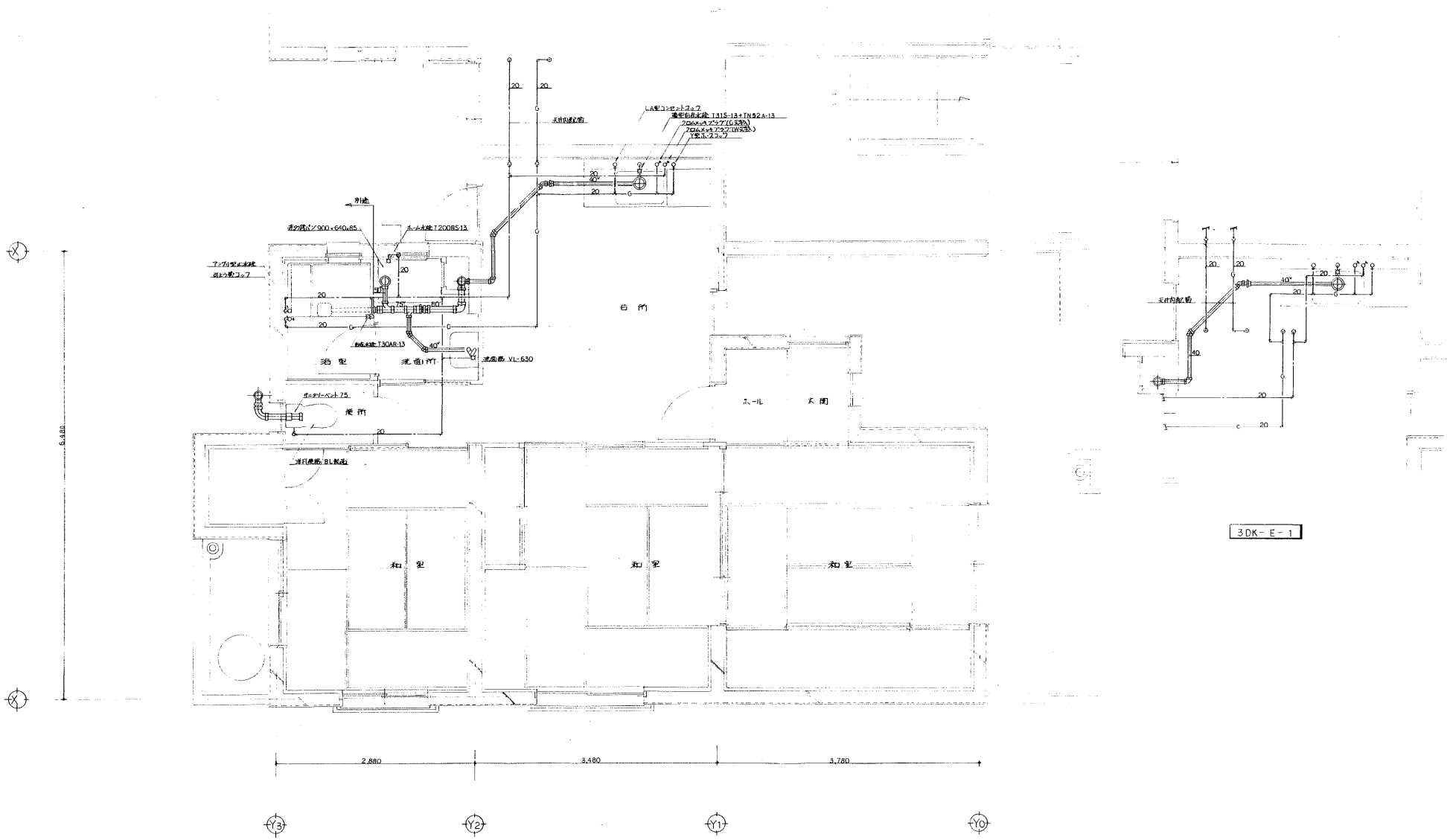
	図面番号 11



図面番号
12

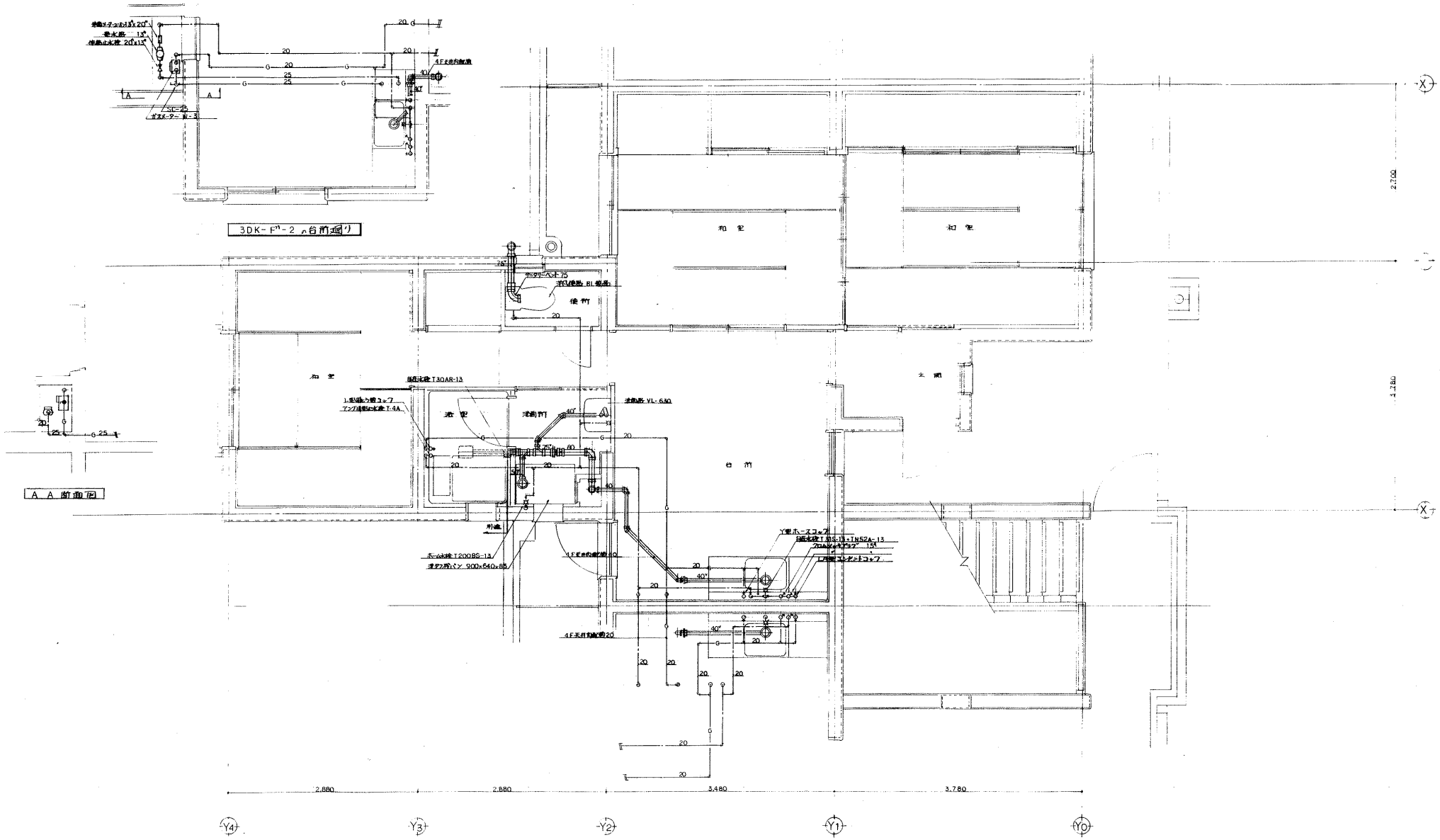

自在水栓 T30AR-13
排水
ホース水栓 T200BS-13
洗濯パン 900x640x85
ユニバーサル水栓 T6A
L型ほうき掛コック
ルーフドレンまわり詳細図 (1)参照
押入
玄関
若室
浴室
便所
ベランダ
和室
洗面
押入
和室
和室
LA型コンセントコック
逆止弁付水栓 T31S-13
T1N52A-13用
アロムメッキプラグ 15A
Y型ホースコック
2,600
3,690
2,880
3,480
3,760
Y3
Y2
Y1
Y0
X
Y

図面番号
13

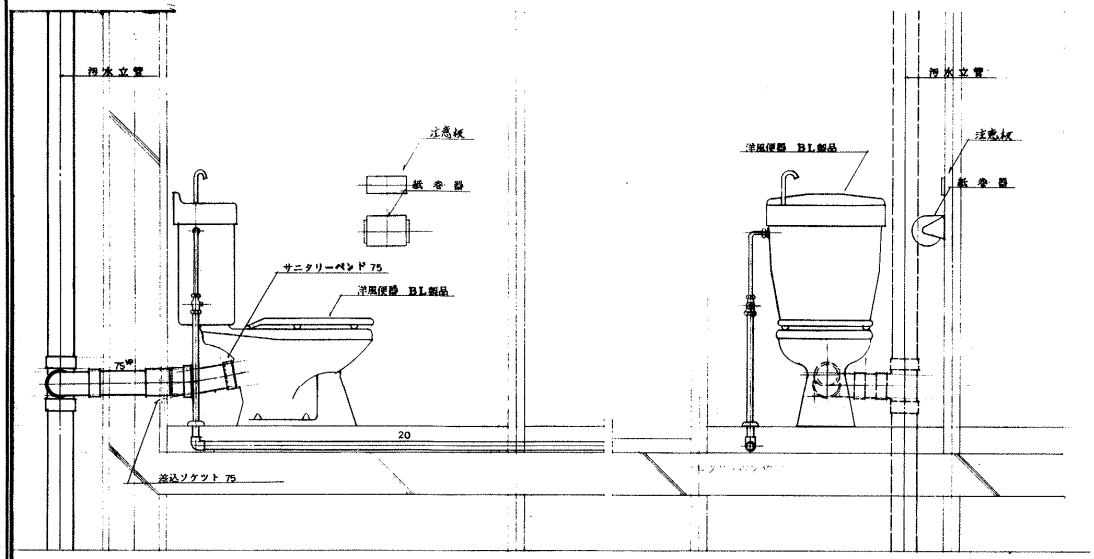


3DK- E - 1

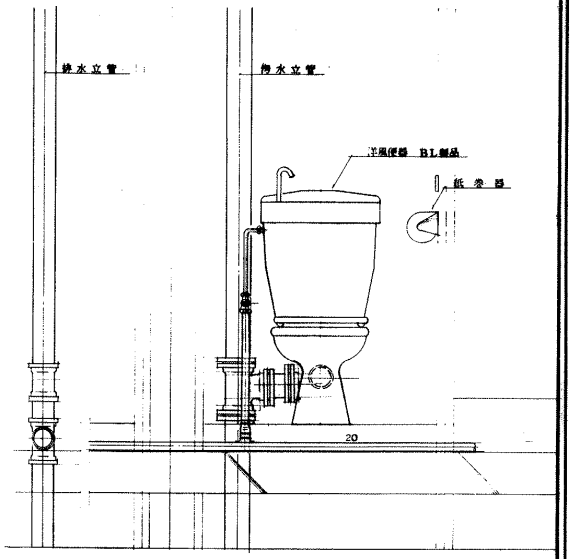
図面番号 14

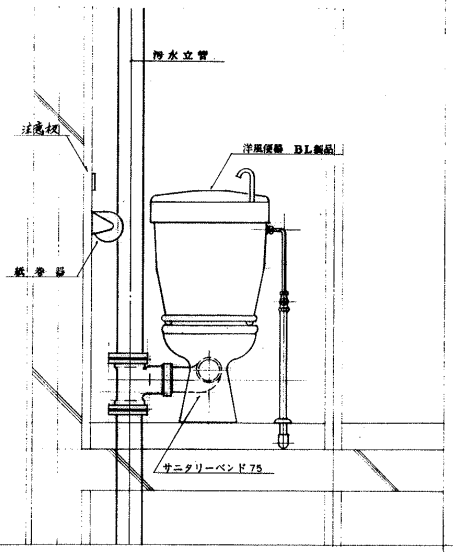

3DK-F''-2 の台所廻り
A A 断面図
和室
和室
洋室
洋室
後前
台所
土間
2,880
2,880
3,480
3,780
2,700
2,780
Y4
Y3
Y2
Y1
Y0
X
X

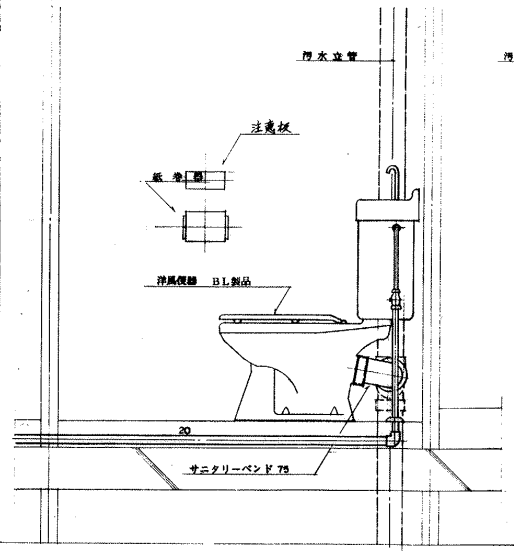
図面番号 15

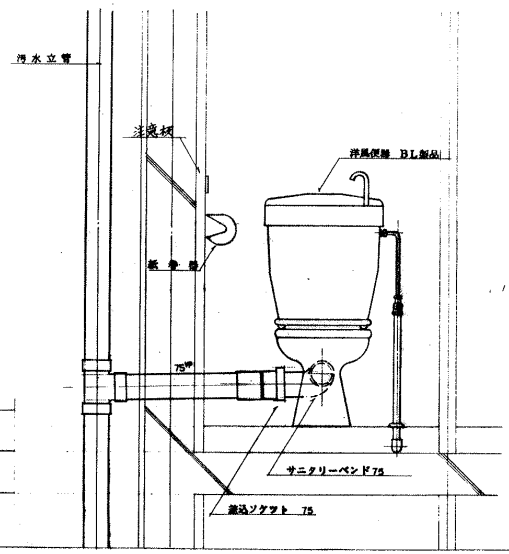


2DK－A.B.C　　3DK—A·C·E



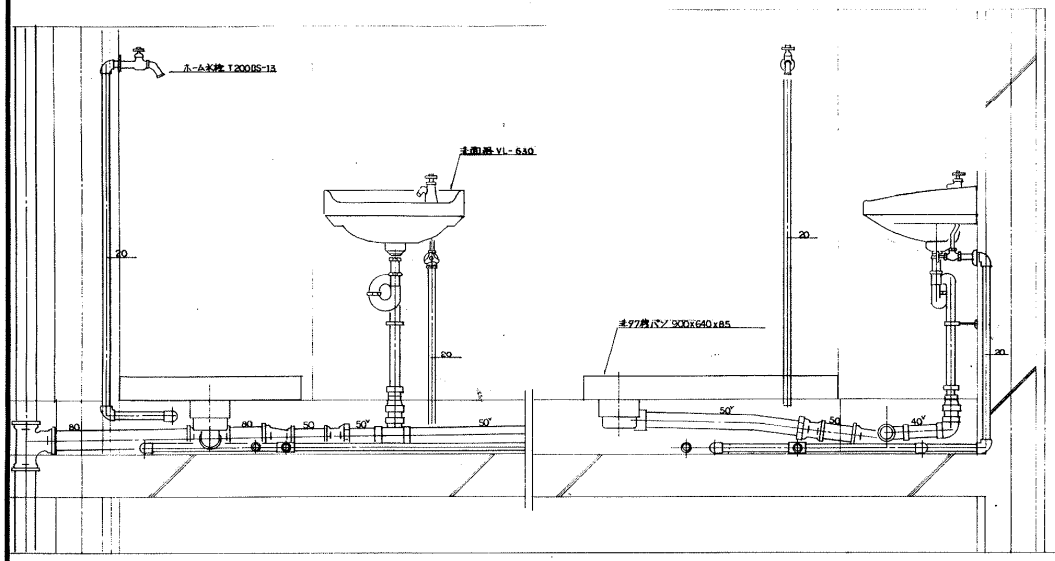




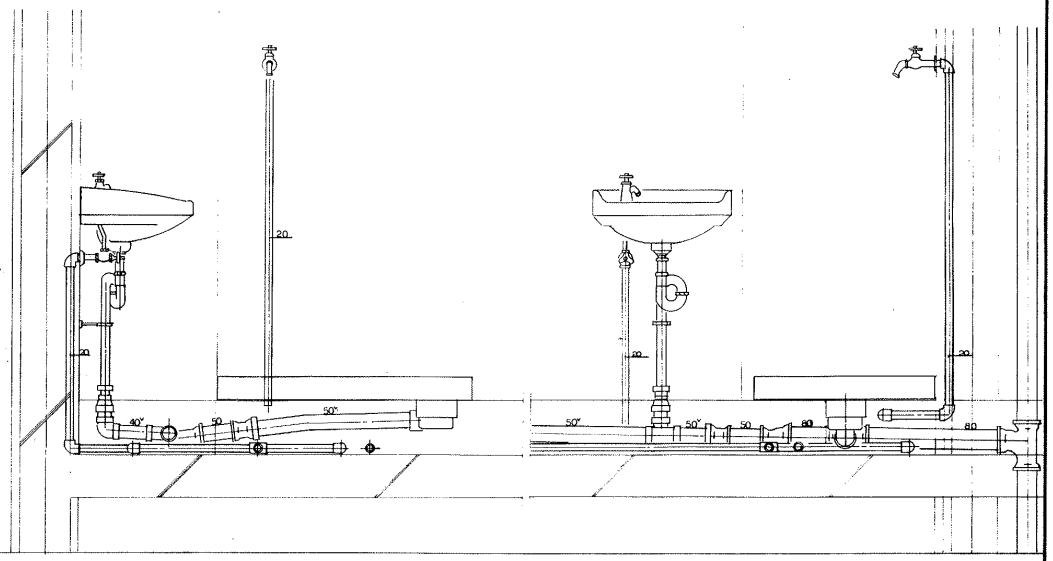


2DK－F　　3DK－B.D.F.J

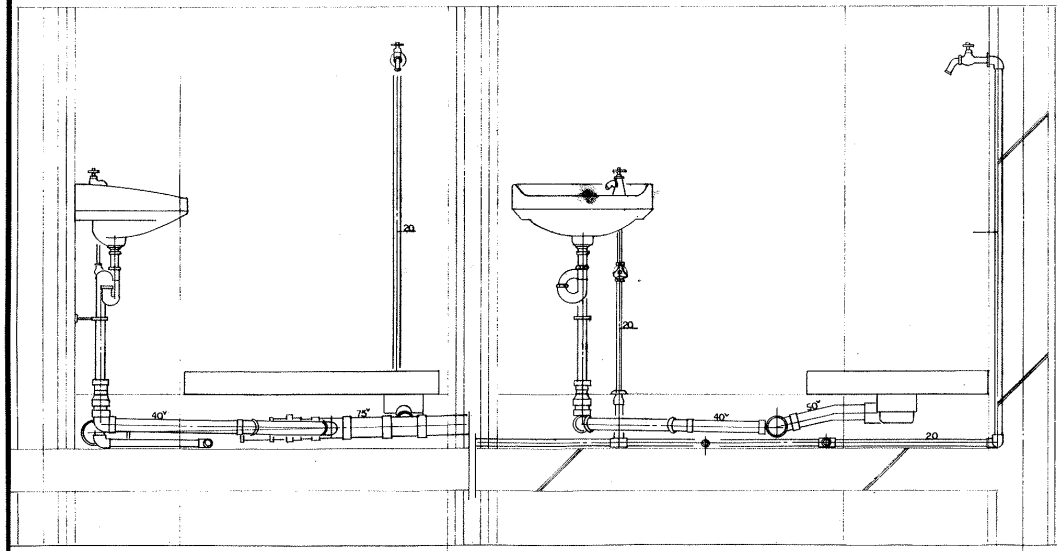
図面番号
16



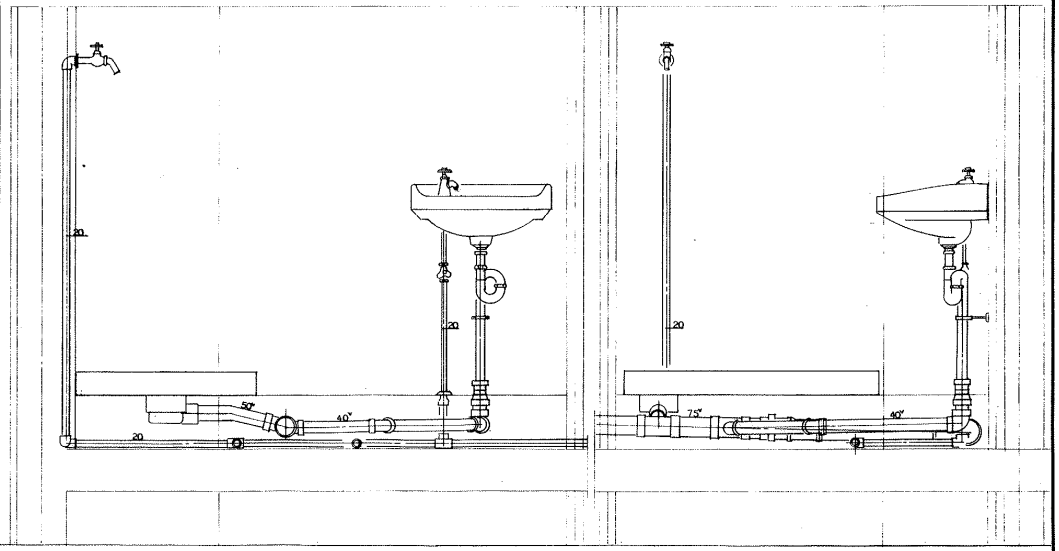
3DK-A'-1．J'-1



3DK-B'-1．

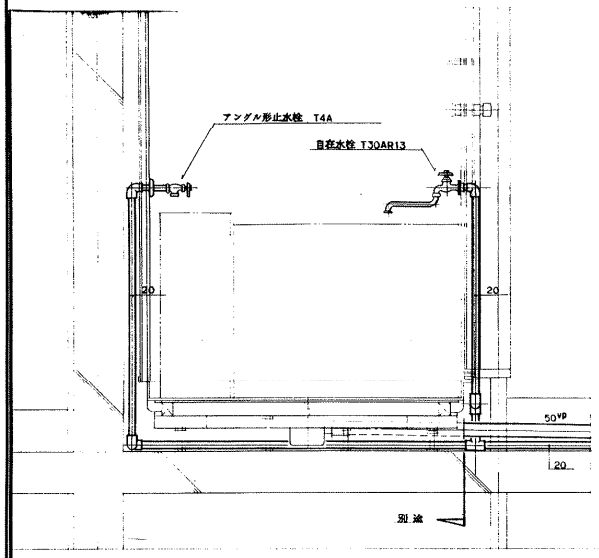


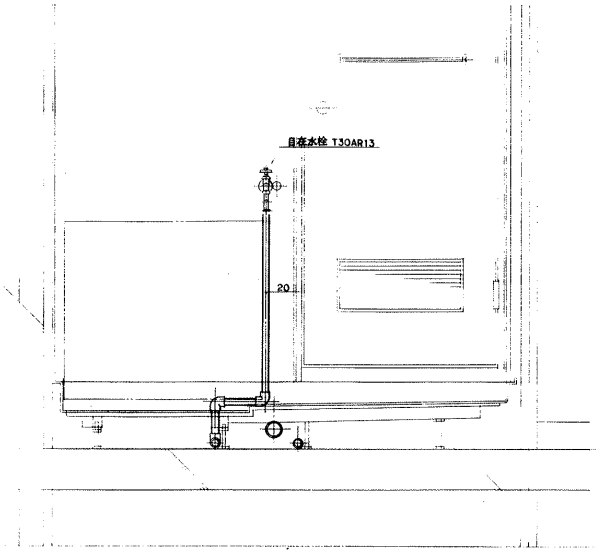
3DK-D'-1．F'-1



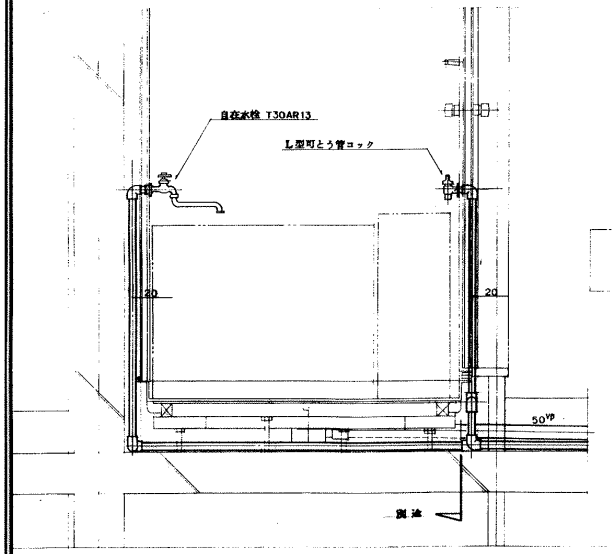
3DK-C'-1．E'-1

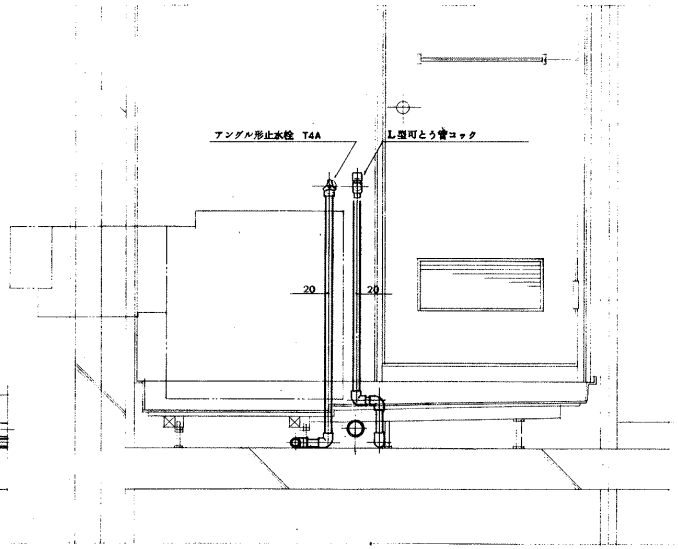
	図面番号 17





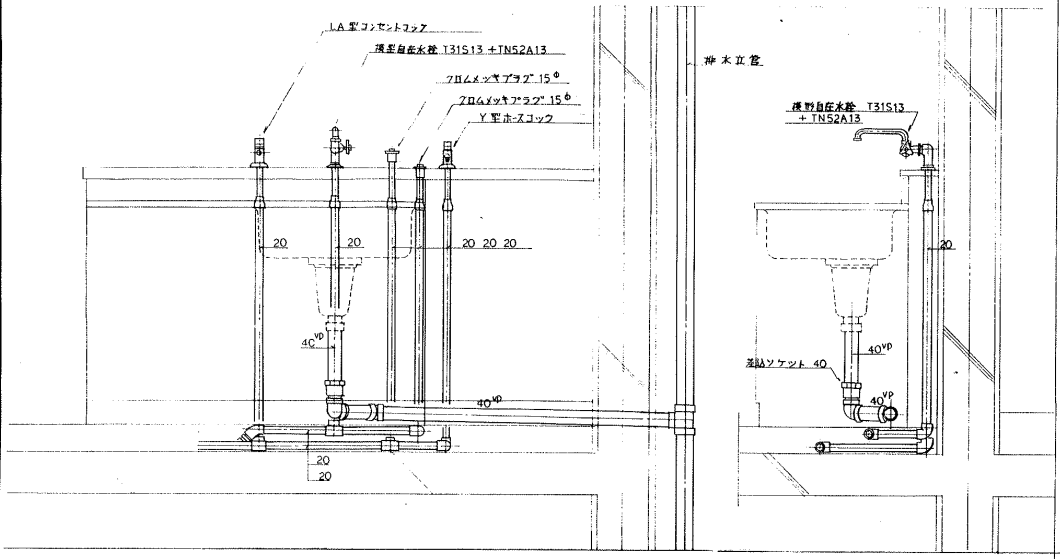
全タイプ共通



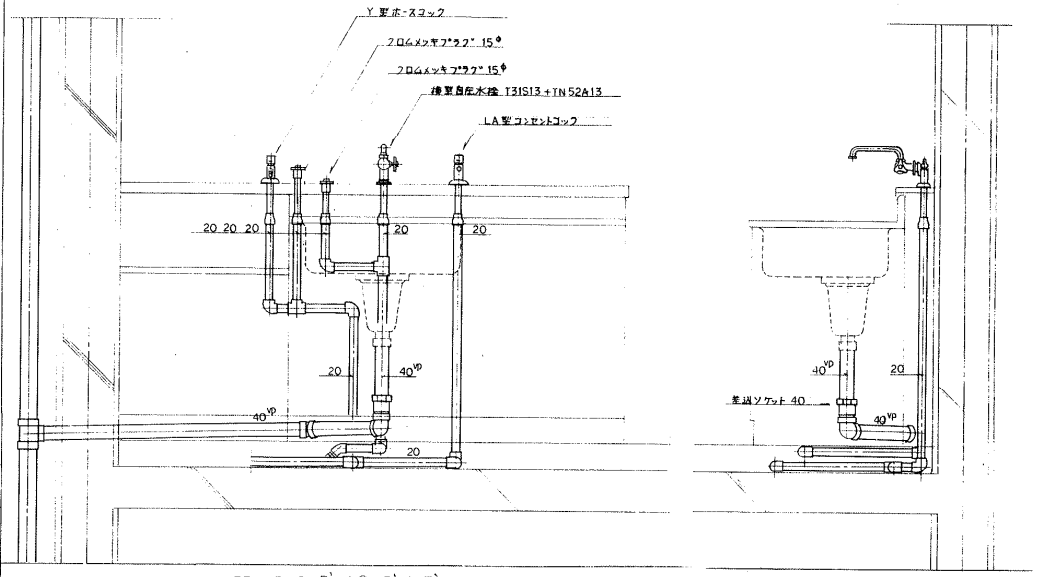


3DK-J-1

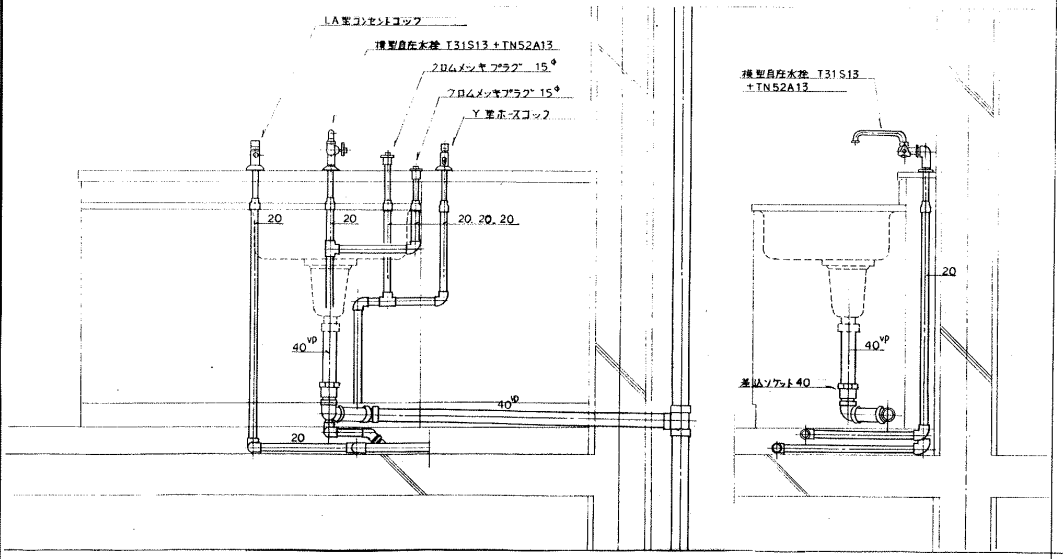
		図面番号 18

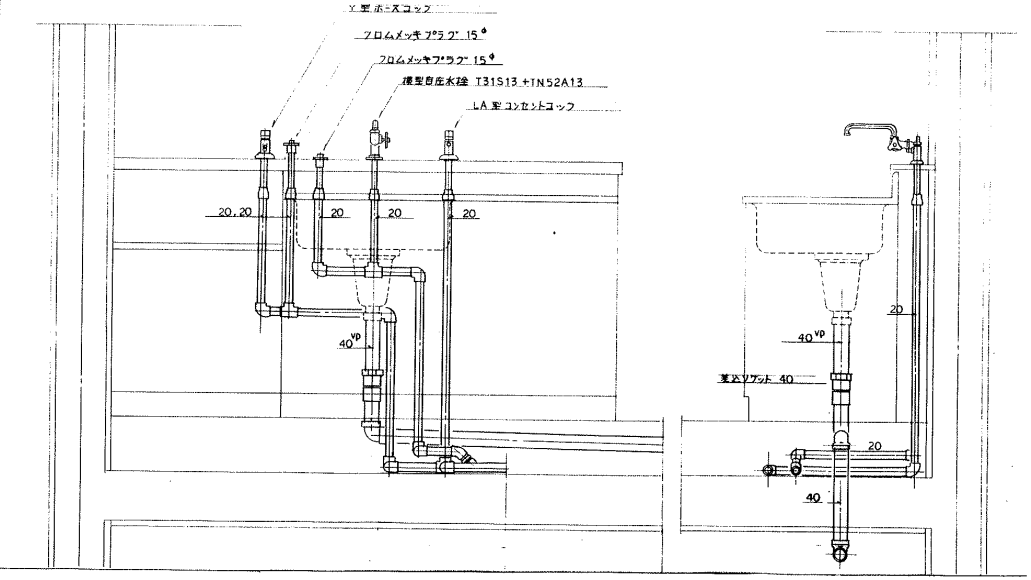


3DK-J-1



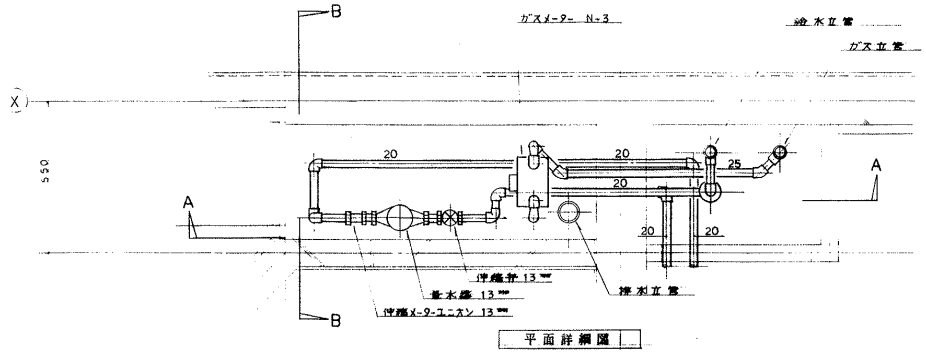
3DK-B-2, B'-1,2, D'-1, E'-1 (3DK-E'の排水管は3DK-Aに準ずる)



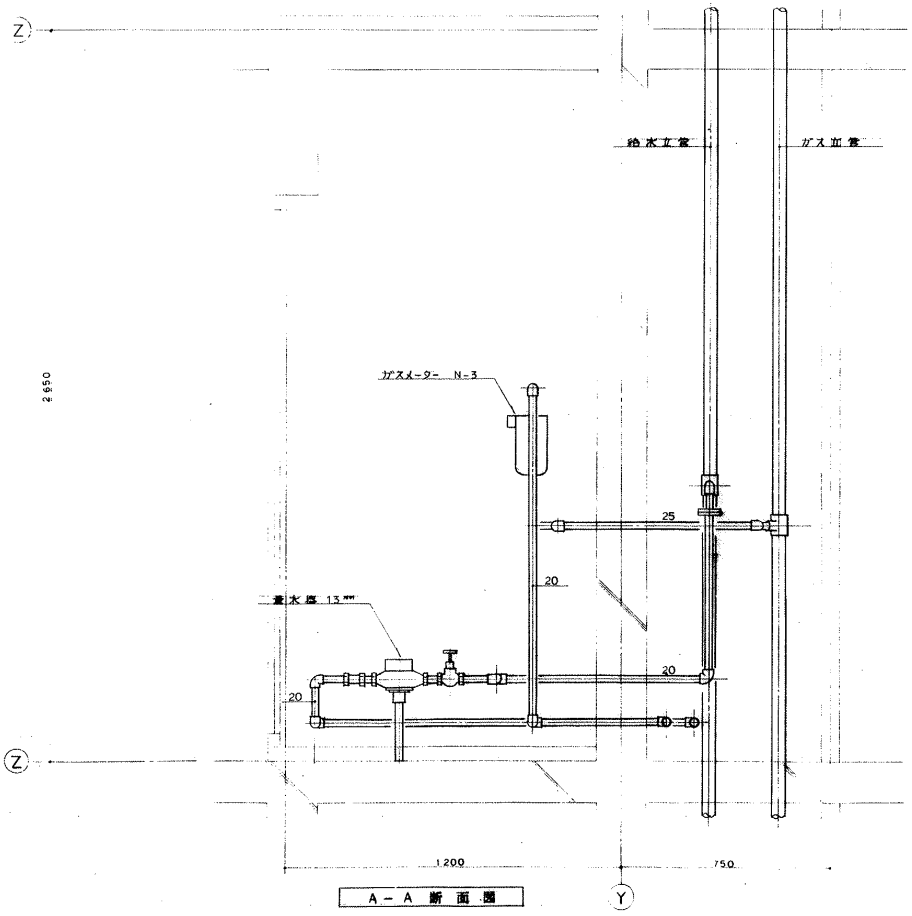


3DK-A-2, A-1, C-1,2, C'-1, F'-1 (3DK-A,Cの排水管は3DK-Bに準ずる)

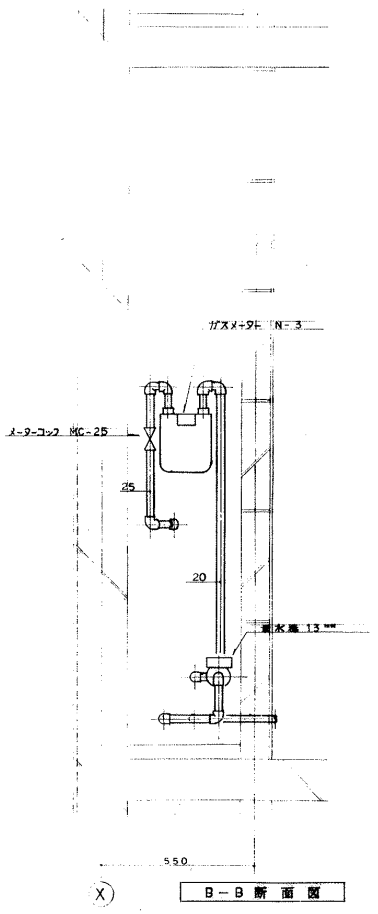
図面番号 19



平面詳細図

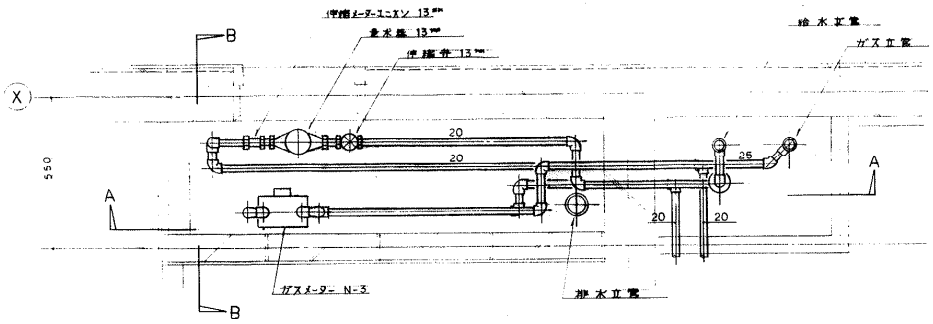


A－A 断面図

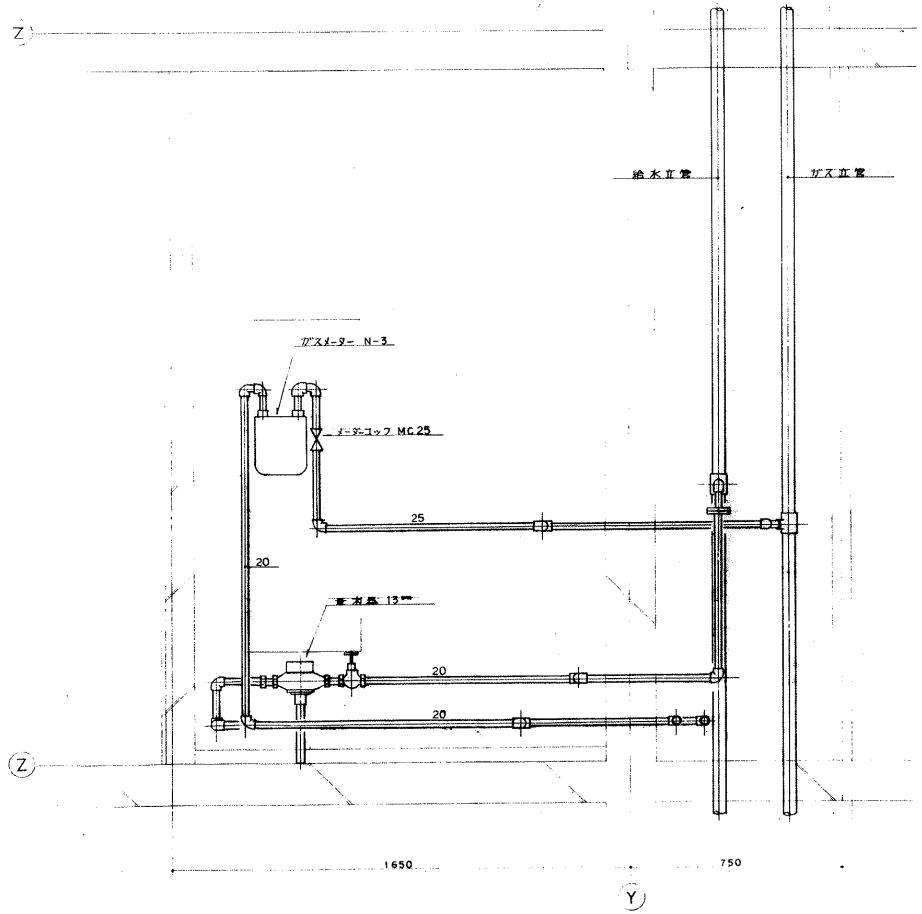


B－B 断面図

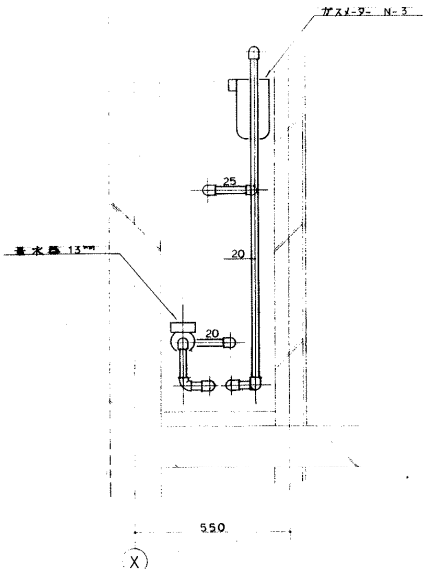
図面番号
20



平面詳細図

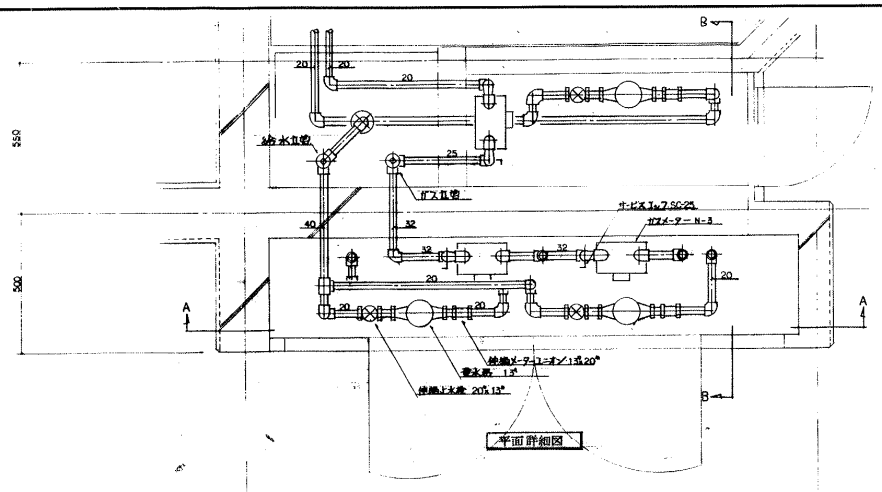


A－A 断面図

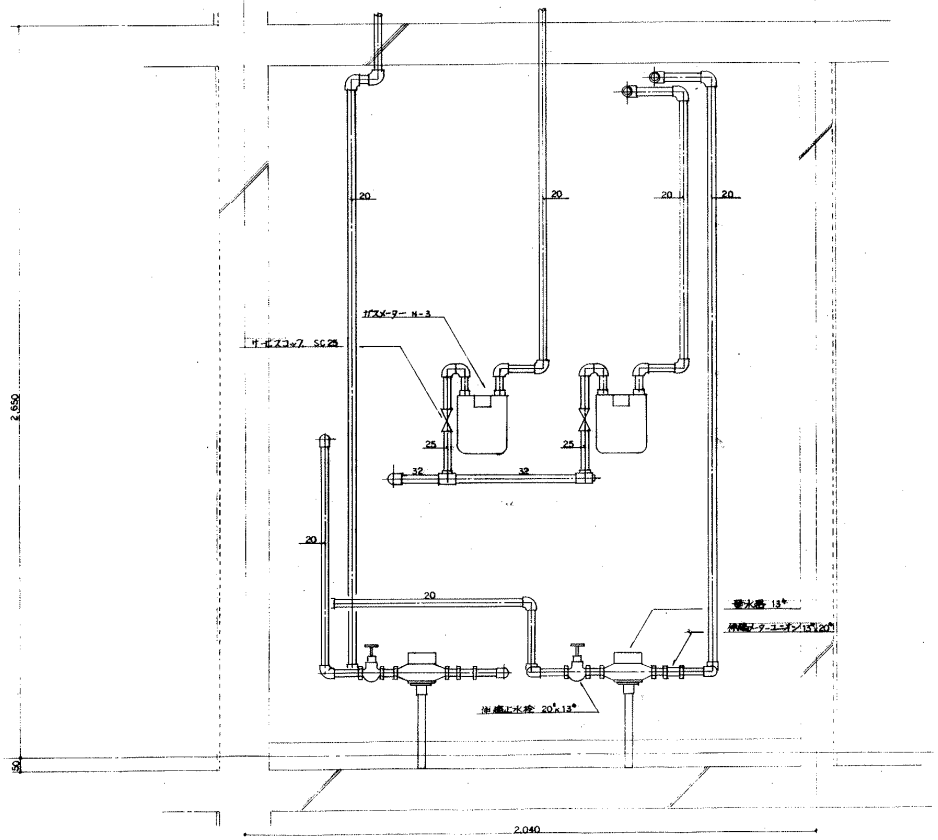


B－B 断面図

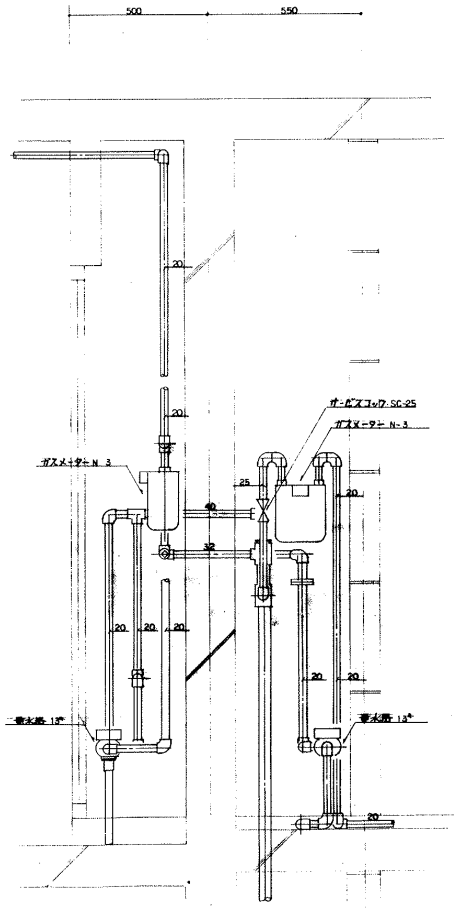
図面番号	21



平面詳細図



A-A 断面図



B-B 断面図

図面番号 22